SHARP

AQUOS

取扱説明書

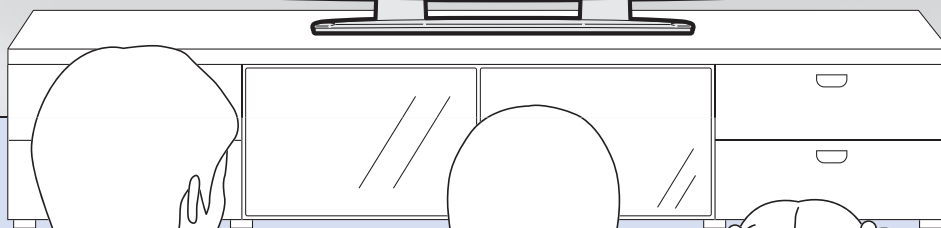
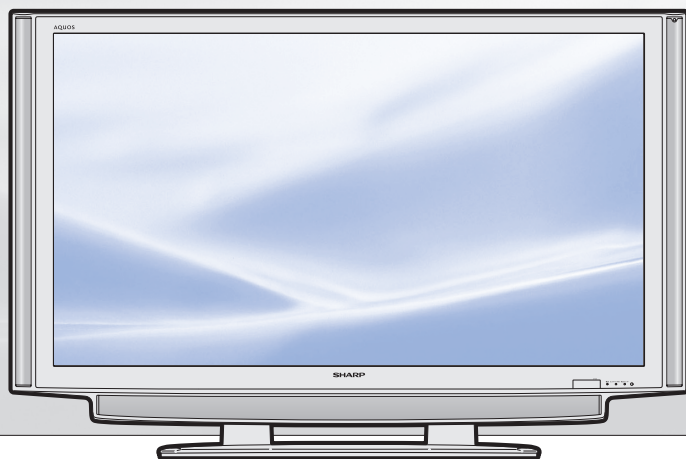
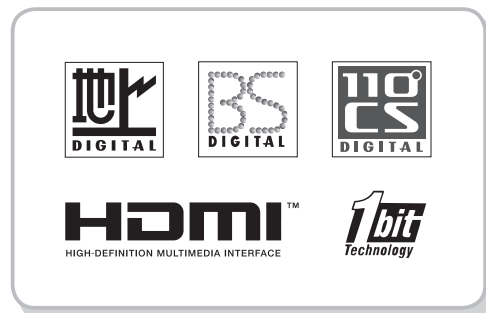
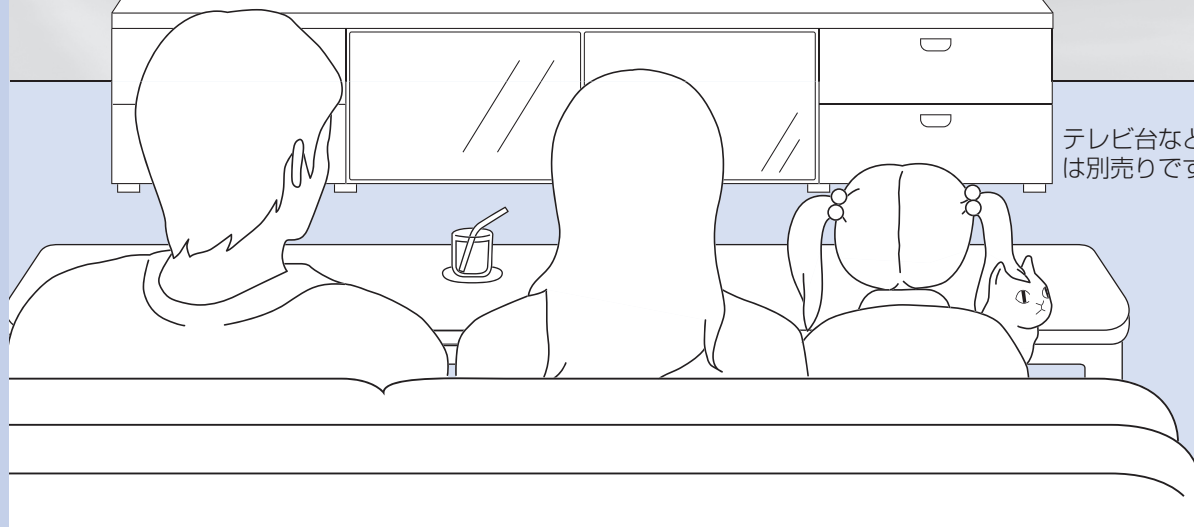
液晶カラーテレビ

形　名

エル　シー　　　　　　　ジーエックス

LC-52GX5

テレビ台などは別売りです。

はじめに
準備
番組を見る
他の機器で録画・再生
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
インターネットを楽しむ
写真の表示と印刷
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（9ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

● キーワードは、知りたい内容をもくじから探すときに便利です。
お使いいただく上で、特に大切な用語（キーワード）は太字にしています。

はじめに

テレビを見るための準備

詳しいもくじは …… **21**ページ

テレビを見る

詳しいもくじは …………… **59**ページ

次のページに続く

他の機器をつないで録画･再生する

詳しいもくじは ･････ **89**ページ

ビデオデッキやハードディスク･DVD（HDD/DVD）レコーダーで録画･再生する

キーワード　　　ページ

AQUOSレコーダーで録画・再生する(ファミリンク機能を使う)

キーワード ページ

ハイビジョン録画対応の i.LINK 端子付き録画機器で録画・再生する(AQUOSレコーダー以外の機器)

キーワード ページ

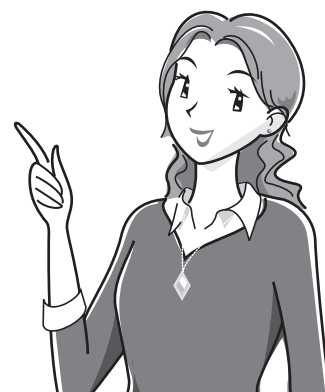
次のページに続く

本機の機能を活かした使いかた

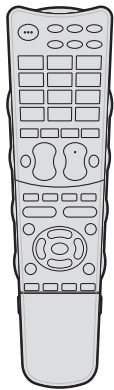
詳しいもくじは ･･････････ 129ページ

こんなときは

詳しいもくじは ･･････････ **177**ページ

- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（▶ **192**ページ）
- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

付属品の使いかた

● 安全と性能維持のため、同梱のケーブルを必ずご使用ください。

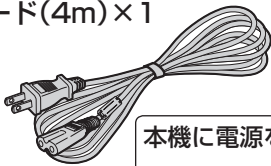
本機を操作する

リモコン×1

リモコン用乾電池
（単3形乾電池×2）

※アルカリ乾電池を
ご使用ください。

乾電池を入れて使います。
▶33ページ

電源コンセントとつなぐ

電源コード（4m）×1

本機に電源を供給します。
▶31ページ

転倒を防ぐ（台・壁・柱などに固定）

固定金具×2　ネジ×4

台などに固定するときに使います。
▶32ページ

クランプ×2　クランプ取付けネジ×2

市販のひもと金具を使い、壁や柱に
固定するときに使います。▶32ページ

保護カバーをつける（スタンドをはずした場合のみ）

保護カバー×2

スタンドをはずしたときの穴をふさぐ
ために使います。　▶202ページ

取扱説明書など

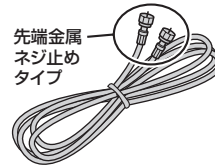
取扱説明書（本書）×1※　かんたん!!ガイド×1※
保証書×1

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書は
ございません。
This model is designed exclusively for Japan,
with manuals in Japanese only.

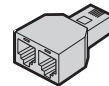
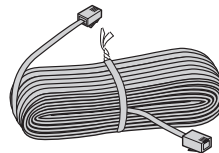
アンテナとつなぐ

VHF/UHF用アンテナケーブル（4m）×1

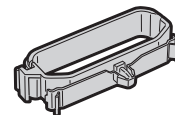
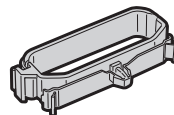
地上デジタル放送、地上アナログ放送を
見る場合につなぎます。　▶26～29ページ

BS・110度CSデジタル用アンテナケーブル
（4m）×1

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を
見る場合につなぎます。▶27～29ページ

電話回線とつなぐ

電話線（10m）×1　モジュラー分配器×1

デジタル放送の双方向通信を行うときに使います。
▶147ページ

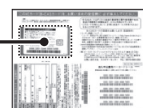
ケーブルをまとめる

ケーブルクランプ×2

アンテナケーブルなどをすっきり
まとめるときに使います。　▶31ページ

デジタル放送を見る

B-CASカード×1

デジタル放送を見る
ときに使います。
▶24ページ

- B-CASカードはB-CASパンフレットの袋の中の台紙についています。（同梱箱をご確認ください。）
- 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

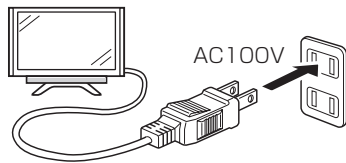
記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

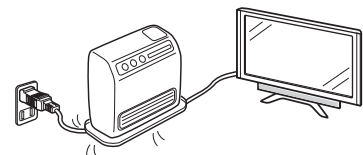
記号は、しなければならないことを表しています。

警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト
以外禁止

火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

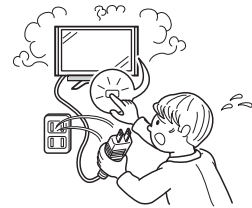
禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

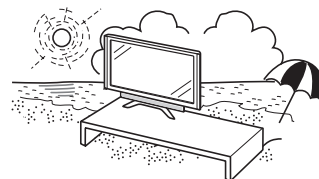
電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグ
を抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

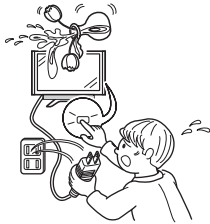
テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

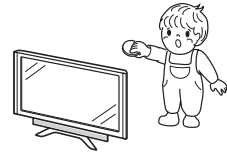
次のページに続く

⚠ 警告

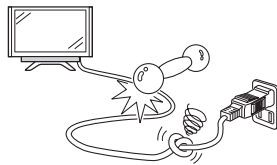
内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

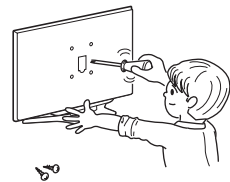
異物を入れない

禁止

通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

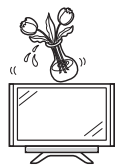
電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁止

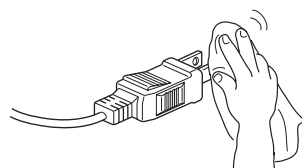
落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

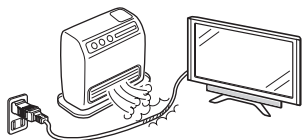
感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

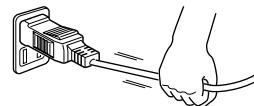
ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

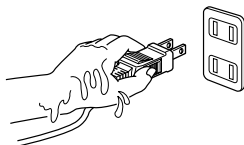
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

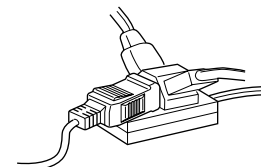
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

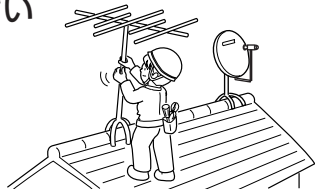
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

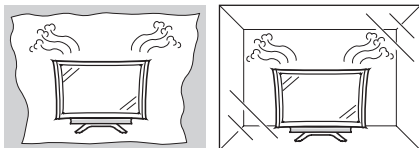
離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

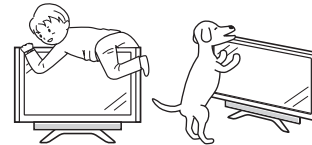
禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

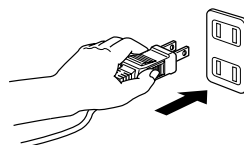
風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

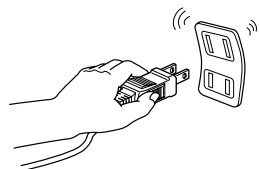
電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

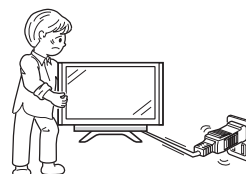
次のページに続く

⚠ 注意

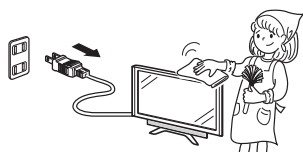
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

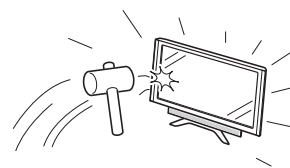
移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

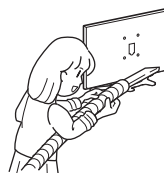
お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

禁止

液晶画面のパネルが割れることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く 内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。
  このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アルカリ電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

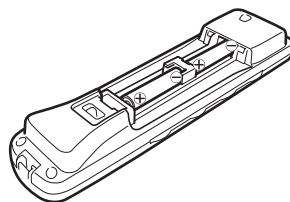
⚠ 注意

電池は幼児の手の届く所に置かない

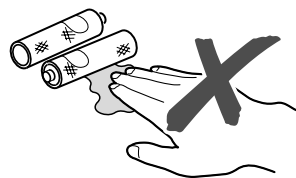
禁止

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおりに入れる

間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

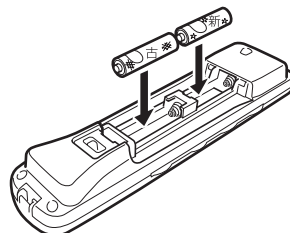
禁止

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

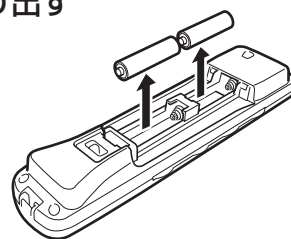
禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

禁止

電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

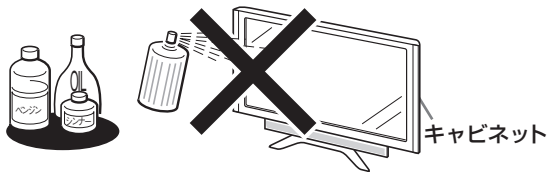
指示

電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた：⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

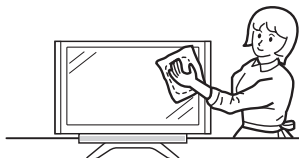
廃棄のしかた：⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

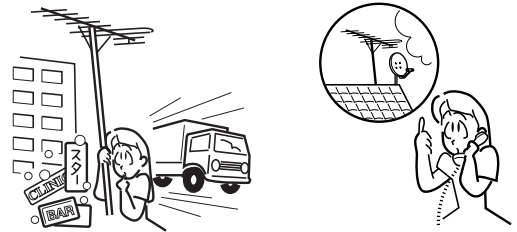
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたしたネルなどの布をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

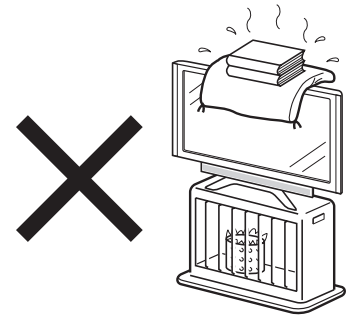
液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

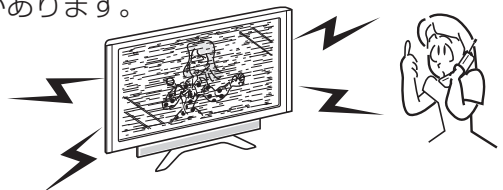
- お手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。)
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

AQUOSクリーニングクロス推奨品
24×24cm:
CA300WH1※
40×30cm:
CA300WH2※

※販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア(ネット販売)でお求めください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。(▶**27**～**29**ページ)
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

守っていただきたいこと

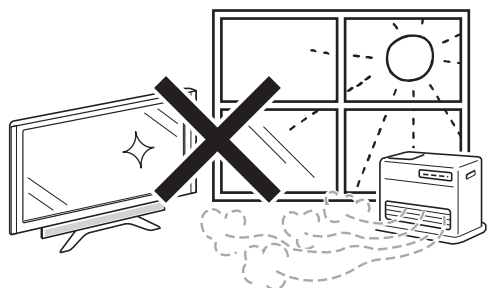
直射日光・熱気は避けてください

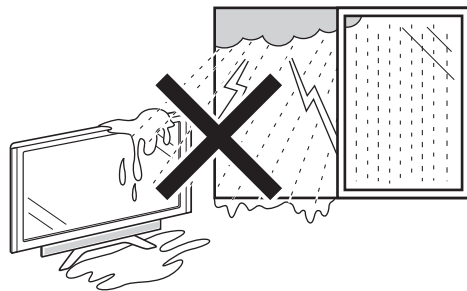
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

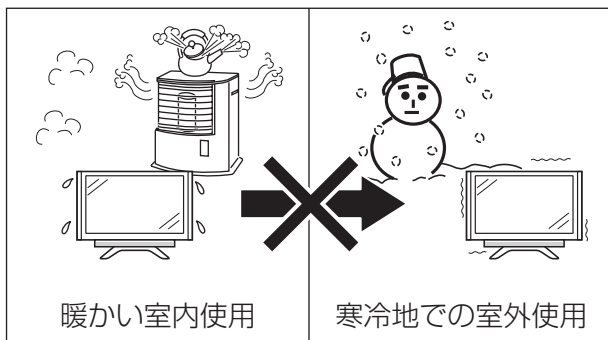
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

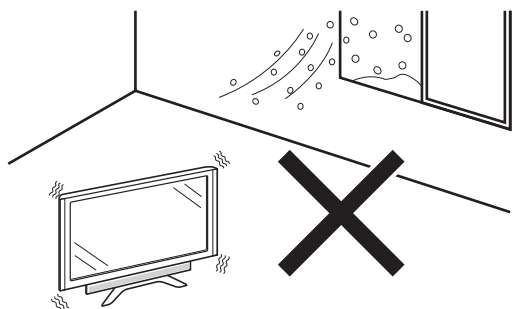
- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

- ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。（使用温度：0℃～40℃）

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

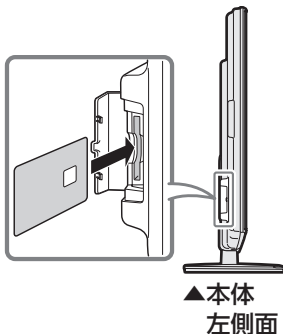
- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

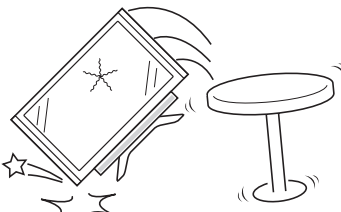
次のページに続く

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

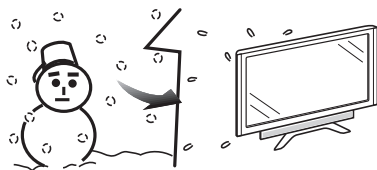
- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICチップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 挿入後は必ずカバーを閉めてください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

▲本体左側面

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となりますのでご注意ください。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

● 静止画を長時間表示しないでください。残像の原因となることがあります。

画面が暗くなったり、チラついたときは（蛍光管について）

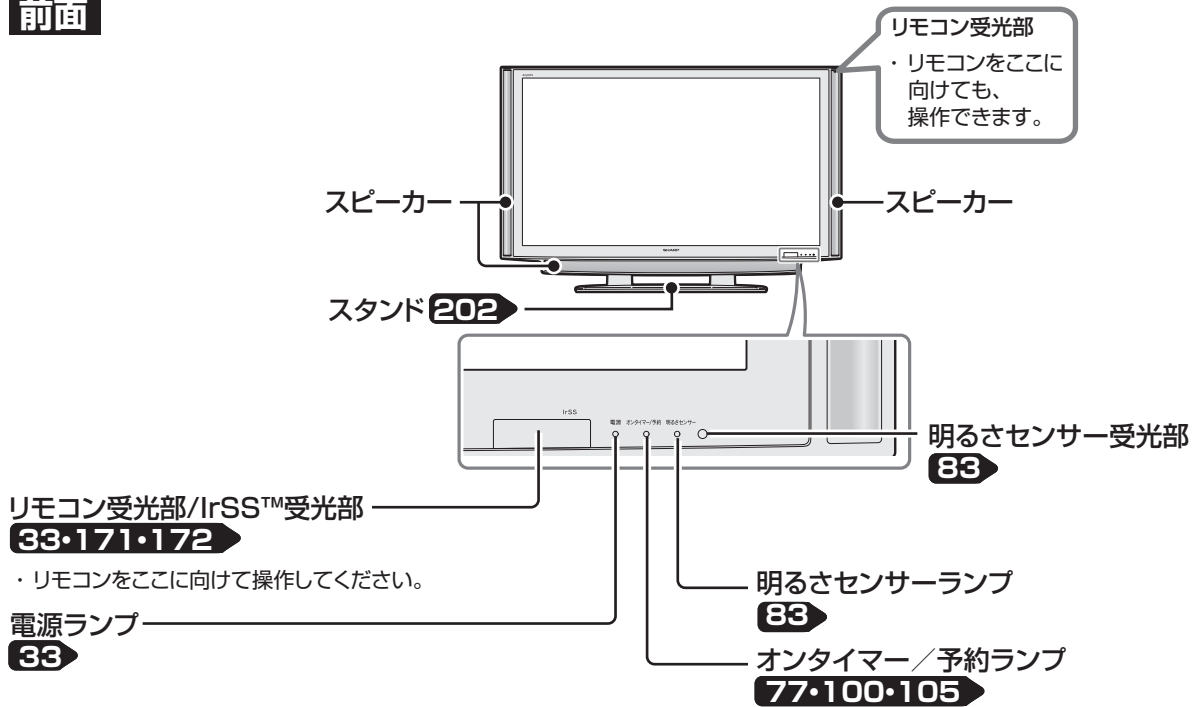
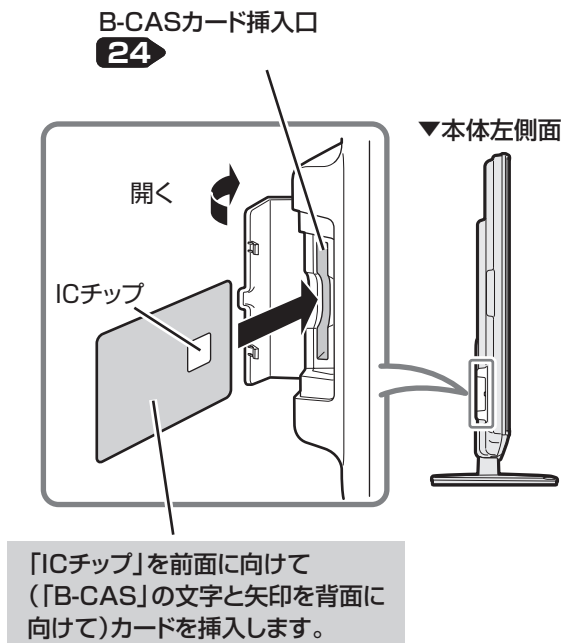
● 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間（室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安）
- 詳しくは、販売店またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。

● ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体の電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

本体

・ の中の数字は、詳しい説明を掲載しているおもなページです。

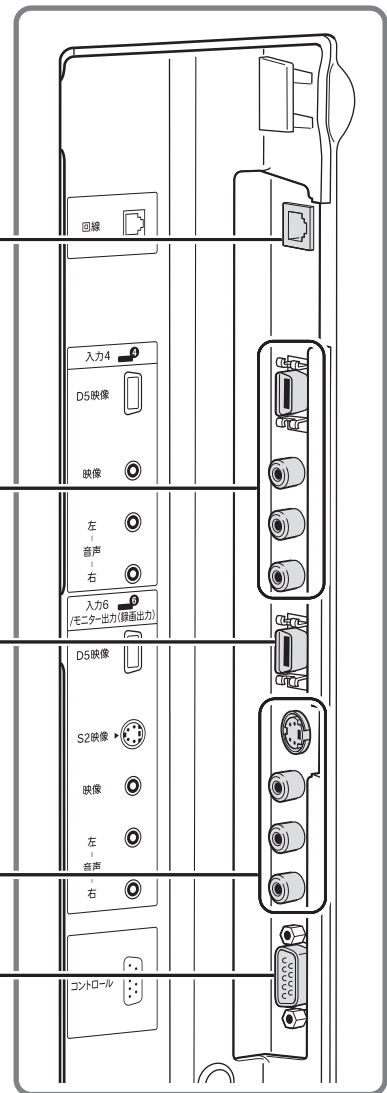
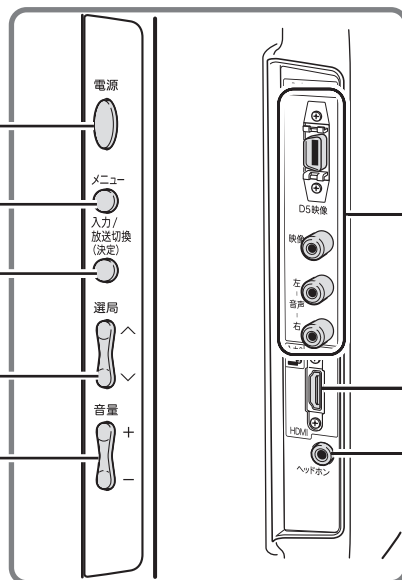
前面

側面

「ICチップ」を前面に向けて（「B-CAS」の文字と矢印を背面に向けて）カードを挿入します。

次のページに続く

背面

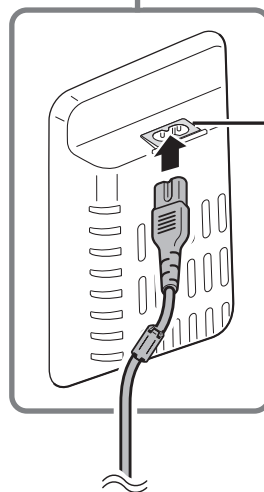
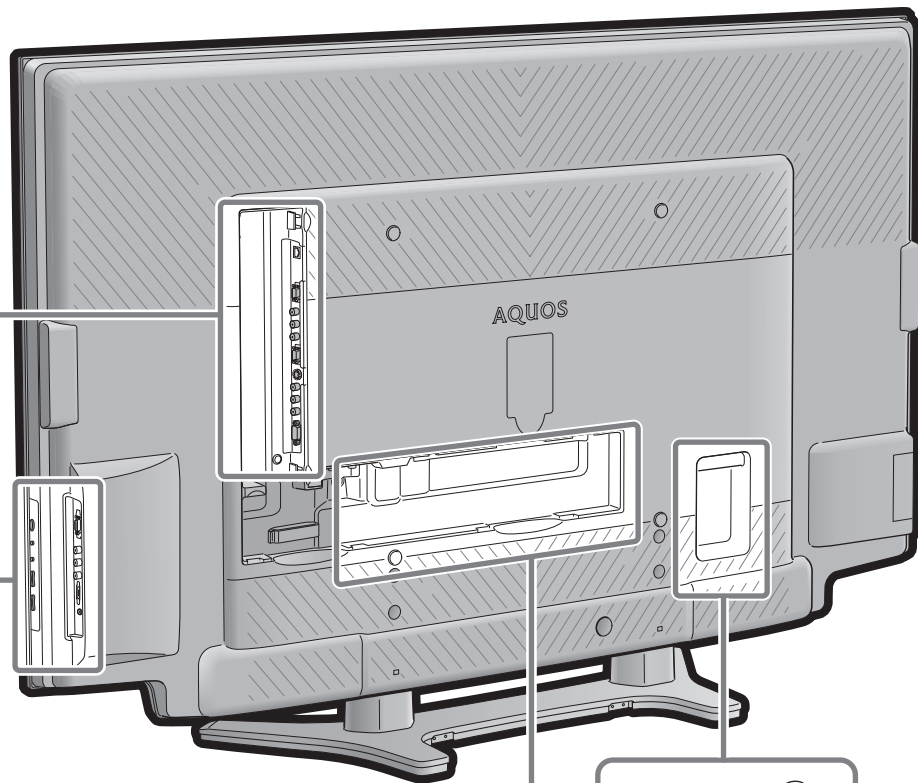
- 端子カバーのはずしかたについては、▶25ページをご覧ください。

ハイビジョン画質で録画したいとき

- モニター出力の映像は標準画質です。ハイビジョン画質をそのまま録画したいときは、i.LINK 端子に D-VHS ビデオデッキ、AV-HDD レコーダー、ブルーレイディスクレコーダーのいずれかを接続します。

※ヘッドホン端子について

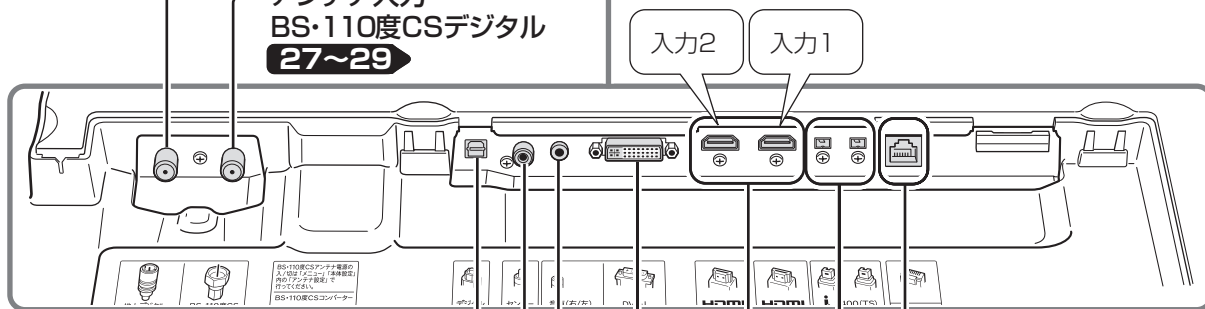
- ステレオミニプラグ（φ3.5mm）の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンをつないだとき、スピーカーからも音を出すように設定できます。（▶**86**ページ）
- 2画面表示中に、非操作画面の音声をヘッドホンから出力することができます。（▶**86**ページ）
- 入力ごとに別々の音量に設定できます。

30

ヘッドホンの音量表示（音量ボタン（青）を押すと、画面下部に表示されます。）

電源入力(AC100V)端子 31
電源コードを接続する

アンテナ入力
地上デジタル 地上アナログ(VHF・UHF) 26～29

アンテナ入力
BS・110度CSデジタル 27～29

入力2
入力1

デジタル音声出力(光)端子 110・136

センタースピーカー入力端子 138

入力7(音声)

DVI 端子付きパソコンなどをつなぐ

入力7 (DVI-I) 132・139

LAN端子 (10BASE-T/100BASE-TX) 153
• デジタル放送の双方向通信用端子（LAN：ローカルエリアネットワークの略称）

i.LINK(TS)端子 118

入力1・入力2 (HDMI) 91・92・109・110
HDMI 対応の機器をつなぐ

次のページに続く

リモコンのボタン

• 番組の選択手順と操作のしかたについて、詳しくは▶60ページをご覧ください。

電源を入／切する 33

CATV放送を選局する 63
3桁入力で選局する 63

選局する 61
• 各種設定の数字入力にも使用します。

音量を調整する 61
音を一時的に消す 61
• 消音となってから30分経過すると自動的に音量0になります。この状態から音声を聞くには、音量+ボタンで音量を調整してください。

連動データ放送を見る 76

AVポジションを選ぶ 81

番組表 番組表を表示する 66・68
裏番組 裏番組表を表示する 67
番組情報 番組情報を見る 76

メニューを消す
操作を終了する 34
• メニューや電子番組表を消したり操作を中止したいときなどに使うと便利です。

お好み選局／登録をする 63
映像を切り換える 73
字幕を表示する
（切り換える） 73
音声を切り換える 72・73

画面表示 画面にチャンネル番号などを表示する 62
画面サイズ 画面サイズを選ぶ 79・133

AQUOS.jp インターネットの画面を表示する 156
i.LINK i.LINK操作パネルを表示する 120

放送の種類を切り換える 60
初めてCSチャンネルを選ぶときは 39

選局 順／逆で選局する 61
• 地上デジタル放送は選局の順番を変更できます。
（変更のしかた 62）
• 工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。（解除のしかた 55）

入力切換 入力を切り換える 93

テレビ／データを切り換える 60

タイマーで電源を切る 178

メニューを表示する 34

カーソルボタンで選ぶ 34
決定する 34

1つ前の画面に戻る 34

カラーボタンで番組表の機能を使う 68•69
• 連動データ放送画面の操作にも使用します。 76

静止 画面を静止する 75
2画面 2画面表示にする 74
操作切換 操作画面を切り換える
（2画面表示時） 74

ファミリンク
112・114〜117
（ファミリンク対応の録画機器などを操作する）

リモコンの互換性について

• 工場出荷時の設定では、本機のリモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）では本機以外の AQUOS が操作できない場合があります。設定を変更すると操作が可能になります。

リモコン番号を変更する 87

▲リモコン背面

フタの開けかた

両側の突起部を持ち、引き上げます。

テレビを見るための準備

テレビを見る準備をする（電源を入れるまで）

準備のながれ

● 以下の順番で、本機の準備をします。

デジタル放送の種類と特長について ▶22･23ページ
・デジタル放送についてお知りになりたい場合にご覧ください。

▼

B-CASカードを挿入する･登録する ▶24ページ
・電源を入れる前にB-CASカードを挿入してください。

▼

本機を置く場所を決める ▶25ページ
・設置や接続に別売品を使う場合は､｢別売品について｣をご覧ください。

▼

端子カバーをはずす ▶25ページ

▼

アンテナのつなぎかた ▶26～29ページ
・テレビだけをつなぐ場合
・録画機器もつなぐ場合

▼

録画機器で再生映像を見るためのつなぎかた ▶30ページ

▼

電源コードをつないでケーブルやコードをまとめる ▶31ページ
・ケーブルをまとめ終わったら､端子カバーを取り付けてください。

▼

本機を固定して転倒を防ぐ ▶32ページ

▼

電源を入れる ▶33ページ
・リモコンに乾電池を入れて､本機の電源を入れます。

▼

放送を受信するために最初に必要な設定（かんたん初期設定）について ▶36ページ

デジタル放送の種類と特長について

● 本機では、従来の地上アナログ放送に加え、次の３種類のデジタル放送を受信できます。

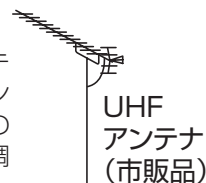
地上デジタル放送

2003年12月から東京･大阪･名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され､2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質とマルチチャンネルのサラウンド放送
- 天気予報やニュースなどの､番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

重要

・受信には、UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

UHF
アンテナ
（市販品）

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

・本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式には対応していません。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）

・スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

・スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。

緊急警報放送

・地震などの際の緊急警報放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

マルチビューサービス

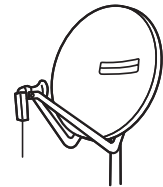
・一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。リモコンフタ内の映像切換ボタンで切り換えます。

重要

- **アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。**
- デジタル放送を受信するには、本機に B-CAS カードを入れてください（▶ **24** ページ）。
- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

- ARIB 放送規格の変更により、メニューなどの仕様が変わる場合があります。
  ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。
- 地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

BS デジタル放送	110 度 CS デジタル放送
放送衛星(Broadcasting Satellite)を使ったデジタル放送です。一部有料放送やNHKを除き、無料で楽しめます。	BSデジタル放送用人工衛星と同じ東経110度にある通信衛星(Communication Satellite)を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「e2 by スカパー！」があります。110度CSデジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルと視聴契約する必要があります。
• 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質 **• 視聴者参加型の双方向通信番組** **• 2種類のデータ放送(独立データ放送・番組に連動したデータ放送)**	**• テーマ別に専門化した多数のチャンネル** **• 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能** **• ボード(掲示板)機能でサービス情報の案内を閲覧可能**
重要 • 受信には、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。 BS・110度CS デジタル共用 アンテナ (市販品)	重要 • 受信には、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。**従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。** BS・110度CS デジタル共用 アンテナ (市販品)

降雨対応放送（BS のみ）

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。リモコンフタ内の映像切換ボタンで元の映像に戻れます。

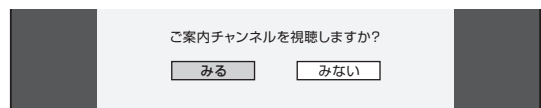
ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。

110度ＣＳデジタル放送の専用サービス

ご案内チャンネルの表示

- 未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

（画面例）

ボード（掲示板）

- プラットフォーム（e2 by スカパー！）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（▶ **180** ページ）

（画面例）

次のページに続く

B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する・登録する

B-CAS カードを挿入する（B-CAS カードの役割について）

- デジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送）を楽しむために、B-CAS（ビーキャス）カードを本機に必ず入れてください。B-CAS カードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードは、視聴情報などが記憶されますので常に本機に入れておいてください。

付属のB-CASカード

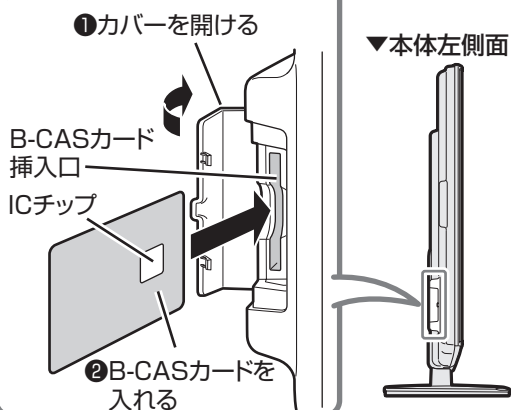
重要

B-CAS カードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- 金属部（IC）には触れない
- 分解、加工しない

1 B-CAS カードの台紙の内容を読み、同意の上でB-CAS カードを台紙からはずす

2 本体左側面の挿入口カバーを開ける

3 B-CAS カードを正しい向きで奥までしっかり差し込み、カバーを閉める

重要

- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- B-CAS カードは大切に保管してください。仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。

万一、B-CAS カードを抜く場合は

- 本体の電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

おしらせ

- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。（連絡先はカードに記載されています。）
- すべての接続を終えて電源を入れた後、「システム動作テスト」（▶ **150** ページ）を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

B-CASカードを登録（任意で無料）する

- B-CAS カードの登録をおすすめします。（任意登録で無料）

<ユーザー登録について>

- 「ユーザー登録はがき」または B-CAS 社ホームページ [http://www.b-cas.co.jp] のどちらか一方で、必要事項を記入の上、登録してください。

① B-CAS カードの台紙の登録用はがきに必要事項を記入し、郵送する

②インターネットの次のサイトで登録する

http://www.b-cas.co.jp

- e2 by スカパー！、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

WOWOW や e2 by スカパー! などの有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、e2 by スカパー！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送してください。（インターネットで申し込める場合もあります。）

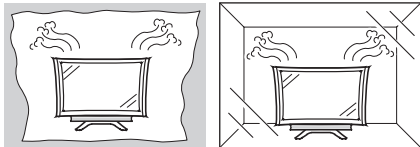
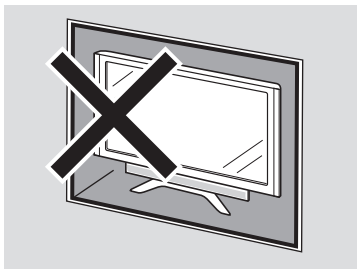
お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合には

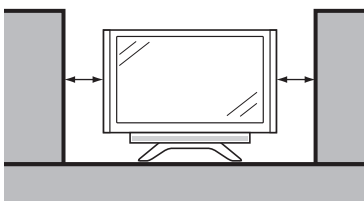
- デジタルチューナー付きレコーダーを使って有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードがレコーダーに挿入されていることをご確認ください。受信契約時に登録した B-CAS カードがレコーダーに挿入されていないと有料放送を録画することはできません。
- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

本機を置く場所を決める

● 以下のような設置のしかたをしないでください。

- 風通しの悪いところに入れない
- 密閉した箱に入れない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 布などをかけない
- 極端に温度や湿度が高い場所や温度が低い場所には設置しない（使用温度 0℃～ 40℃）

禁止

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどをしないでください。

● 設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 左右 10cm 以上スペースを空けてください。左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、メニューの視聴環境設定や音声調整で調整してください。

- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用して固定しておいてください。
- 本機を持ち上げたり、運んだりする場合は、スピーカーネット部を強く押さないでください。

● 別売品を使って設置することもできます。

- 別売の壁掛け金具やフロアーラックに取り付けてご使用になれます。（▶ **202** ページ・右記）
- 壁に掛けてお使いになる場合は、スタンドをはずし（▶ **202** ページ）、壁掛け金具を使って設置してください。（▶ **203** ページ）

別売品について

● 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具(取付角度可変タイプ)	AN-52AG4※
2	壁掛け金具(薄型タイプ)	AN-52AG5※
3	フロアーラック	AN-52FR5
4	壁寄せスタンド(壁寄せスタンドオプションAN-52RS1が必要です。)	AN-52WS1
	壁寄せスタンドオプション	AN-52RS1
5	壁寄せスタンド	AN-52WS2

※ 本機の金具取付ピッチは 400mm×400mmです。　（2008年5月現在）

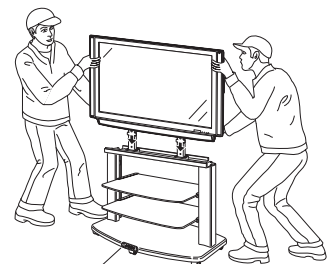
おしらせ

- 本機に適合する別売品が新しく追加発売になることがあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

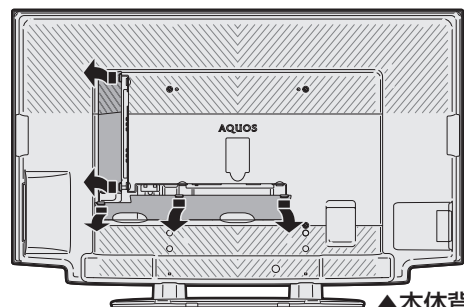
フロアーラックに設置する場合

⚠注意
- フロアーラックに設置する場合、手をフロアーラックの天板に挟まないように十分注意してください。

● 詳しくはフロアーラックの取扱説明書をご覧ください。

● スタンドのとりはずしかたについては▶ **202** ページをご覧ください。

フロアーラック(別売品: AN-52FR5)

端子カバーをはずす

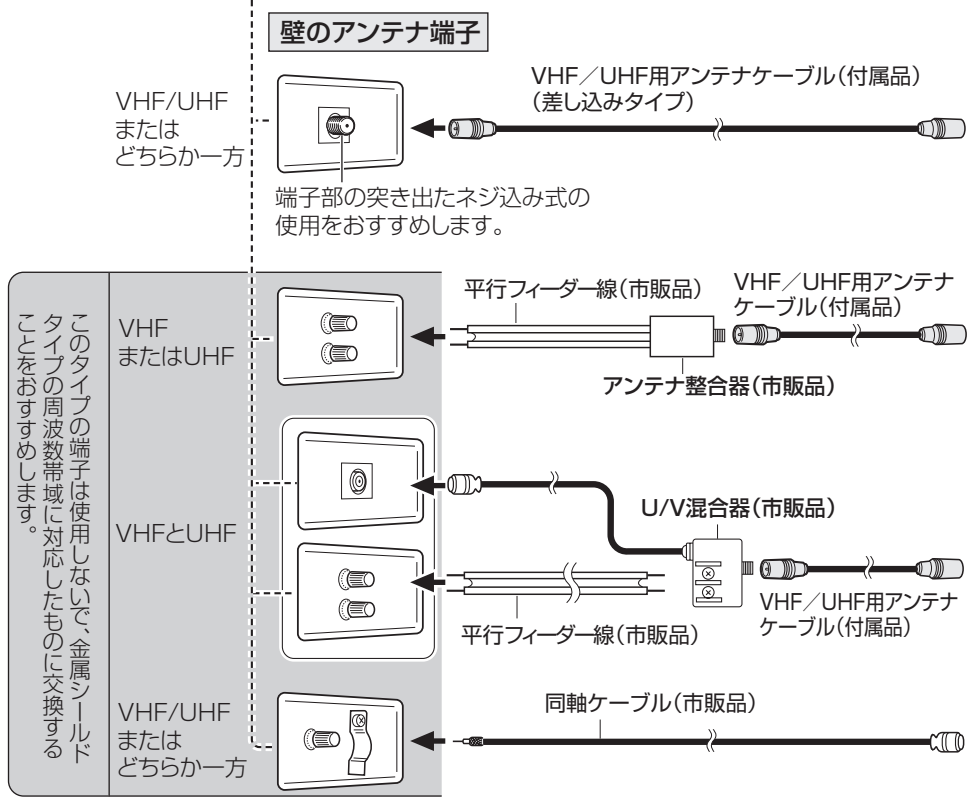
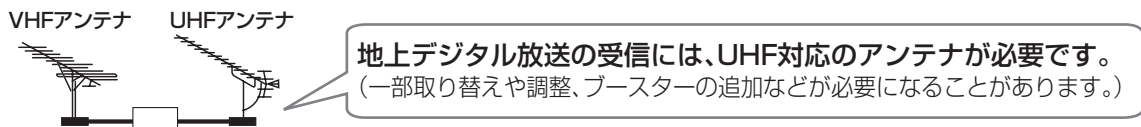
● フックを矢印の方向に押しながら、2 つの端子カバーをはずします。

▲本体背面

次のページに続く

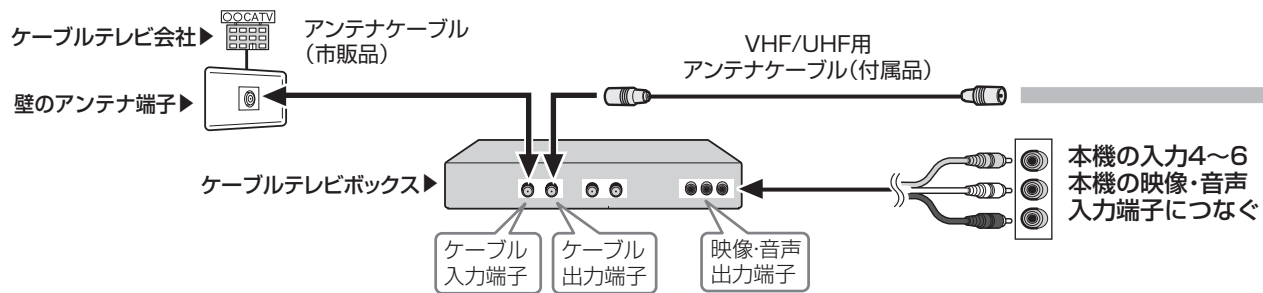
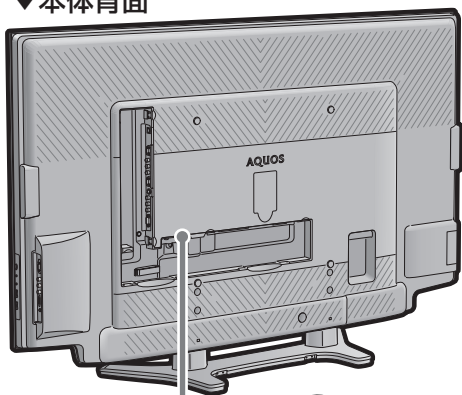
アンテナのつなぎかた（テレビだけをつなぐ場合）

● 録画機器もつなぐ場合は、「アンテナのつなぎかた（録画機器もつなぐ場合）」（▶ **28**･**29** ページ）をご覧ください。

地上デジタル・地上アナログ放送用アンテナとつなぐ

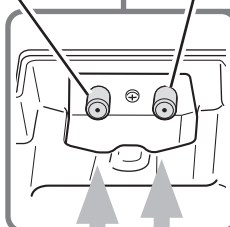
● 地上デジタル放送と、地上アナログ放送（従来の放送）を見るための接続です。
● BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送も見る場合は、「BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナとつなぐ」（▶ **27** ページ）をご覧ください。
● 一部、追加の部品が必要になる場合があります。販売店にご相談ください。

ケーブルテレビを見るときは

● 接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。
● CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（▶ **44** ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。

• 本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド(MID:C13～C22)帯」、「スーパーハイバンド(SHB:C23～C62)帯」です。トランスモジュレーション方式には対応していません。

▼本体背面

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

アンテナ入力
地上デジタル
地上アナログ
（VHF･UHF）

アンテナ入力
BS･110度CSデジタル

▶アンテナ端子部

録画機器をつなぐ場合のアンテナのつなぎかたは…
▶次ページをご覧ください。

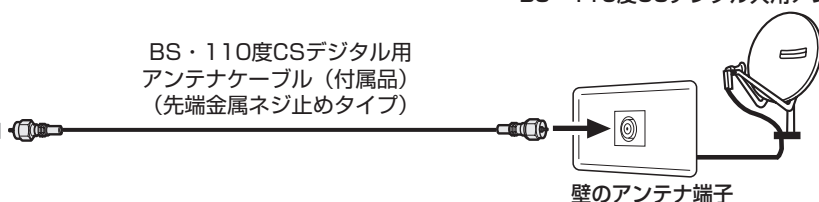
BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナとつなぐ

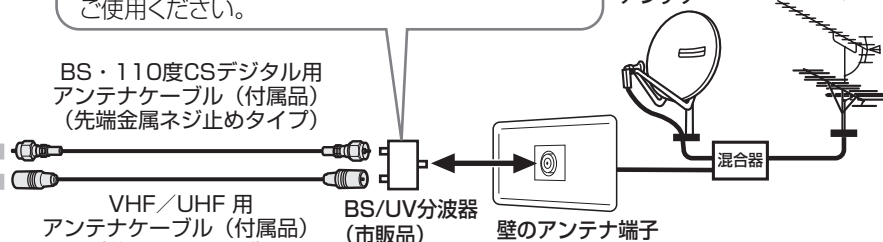
- ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。
- かんたん初期設定では､「BS/CS アンテナ設定」で「する」を選択します。（▶ **37** ページの手順 **6**）

おしらせ

- **接続しなおすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（▶ 31 ページ）**（BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子は、BS・110 度 CS デジタルアンテナに取り付けられた BS・110 度 CS コンバーターに +15V ／ +11V の電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。）
- ブースター、市販のアンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線は S-5C-FB など。）詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 従来の BS アナログアンテナでは、110 度 CS デジタル放送は受信できません。また、BS デジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

BS・110 度 CS デジタル共用アンテナを個人で設置しているとき
（BS・110 度 CS デジタルと VHF/UHF が別の端子のとき）

BS・110度CSデジタル用
アンテナケーブル（付属品）
（先端金属ネジ止めタイプ）

マンションなどの共聴システムで受信するとき
（BS・110 度 CS デジタルと VHF/UHF が混合されているとき）

次のページに続く

アンテナのつなぎかた（録画機器もつなぐ場合）

デジタルチューナー内蔵の録画機器の場合

付属のアンテナケーブル以外にアンテナケーブルが必要なときは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、次のページをご覧ください。

デジタルチューナーを内蔵していない録画機器の場合

壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS 混合の場合

付属のアンテナケーブル以外にアンテナケーブルが必要なときは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

● 壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合の場合は、右記をご覧ください。

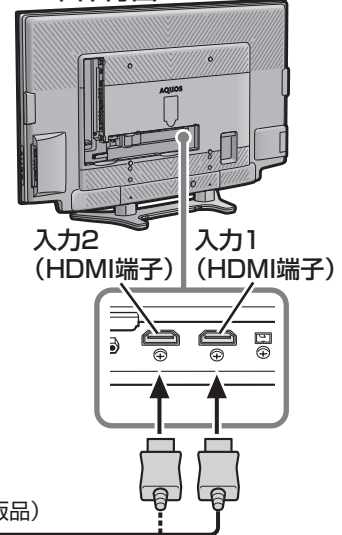
● 壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合の場合は、BS/UV分波器（市販品）を使って、VHF/UHF用とBS･110度CSデジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。

録画機器で再生映像を見るためのつなぎかた

HDMI 端子のある録画機器につなぐ場合の接続例

AQUOS レコーダーと接続している場合は

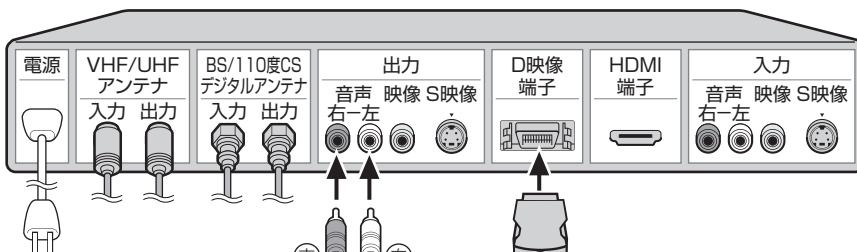
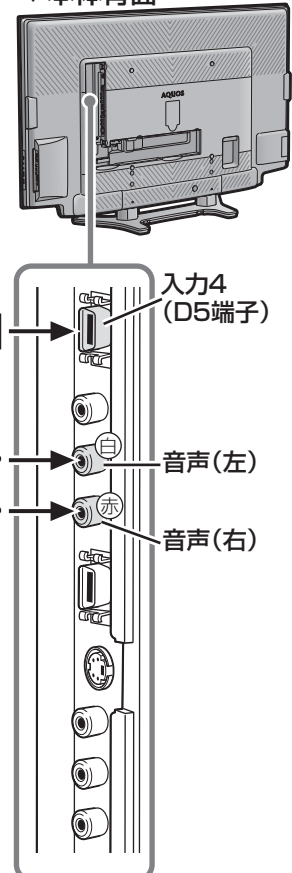
・「ファミリンク設定」をします。

▶ **111** ページ

D 映像端子のある録画機器につなぐ場合の接続例

▼録画機器（地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子の例）

電源
VHF/UHF アンテナ
入力 出力
BS/110度CS デジタルアンテナ
入力 出力
出力
音声 映像 S映像
右ー左
D映像 端子
HDMI 端子
入力
音声 映像 S映像
右ー左

▼本体背面

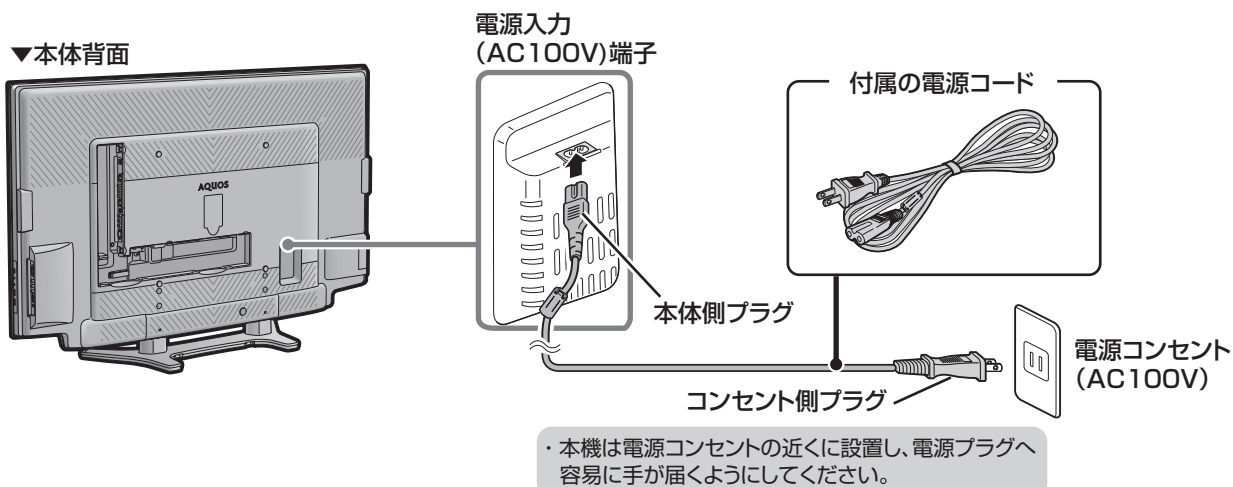
赤 白
D映像ケーブル（市販品）
入力4 （D5端子）
音声ケーブル（市販品）
白 赤
音声（左）
音声（右）

録画機器に HDMI 端子も D 映像端子もない場合は S 映像端子または映像端子につなぎます。
91 ページをご覧ください。

電源コードをつないで ケーブルやコードをまとめる

電源コードをつなぐ

⚠注意 接続が終わるまでは、電源スイッチ(赤)を「入」にしないでください。

● 付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面右側の「電源入力（AC100V）端子」に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

重要

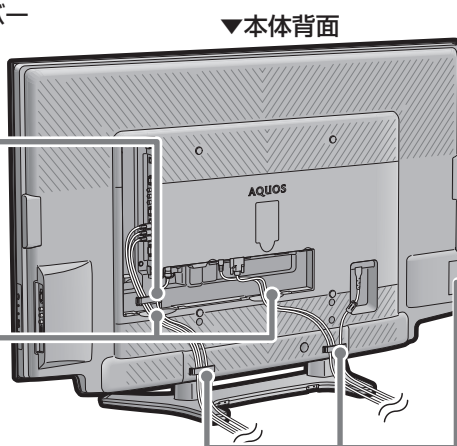
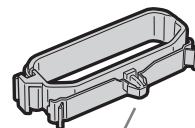
- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。
（再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

つないだケーブルやコードをまとめる

● ケーブル類は、ケーブルクランプですっきりまとめることができます。

1 端子カバーをはずす（端子カバーのはずしかた ▶25ページ）

2 取り付け済みのケーブルクランプにケーブルを固定する

3 端子カバーの開口部からケーブルを出し、端子カバーを取り付ける

4 ケーブルを持ち上げて、付属のケーブルクランプを下図のように取り付ける

本体背面の穴に、穴位置の角度に合わせて挿入して取り付けます。

5 ケーブルクランプにケーブルをはめて固定する

- 最後に、接続したケーブルが抜けていないか確認してください。

次のページに続く

本機を固定して転倒を防ぐ

⚠注意

- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

● 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

壁や柱に固定する

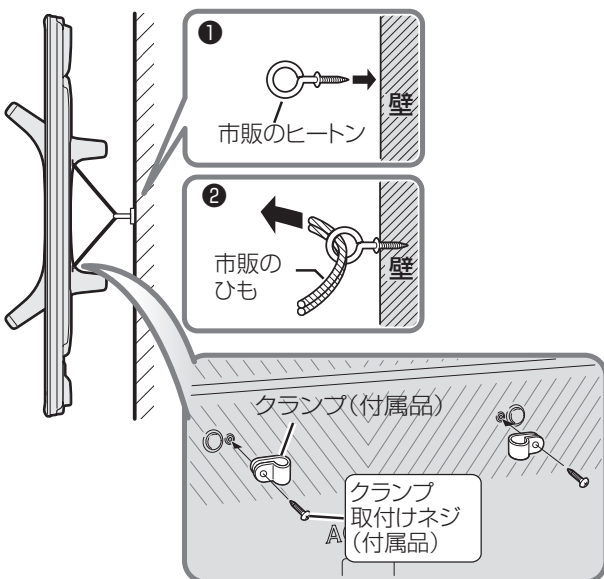
付属の転倒防止用部品

クランプ×2

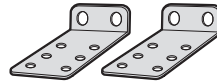
クランプ取付けネジ×2

1 付属の転倒防止用クランプ（2 個）を、付属のクランプ取付けネジで本機に取り付ける

2 市販の金具（ヒートン）を壁または柱に取り付ける

❶ヒートンを壁に取り付ける
❷ひもを通す
・ひもを固定する金具は、ひもがはずれない形状のヒートンをご使用ください。
・取り付けた金具が容易に外れないか確認してください。

3 本機に取り付けたクランプと、壁または柱に取り付けた金具（ヒートン）の穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する

テレビ台などに固定する

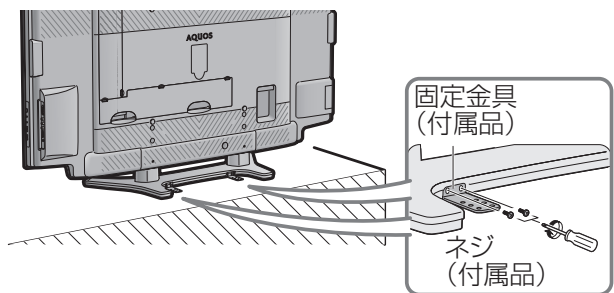
付属の転倒防止用部品

固定金具×2

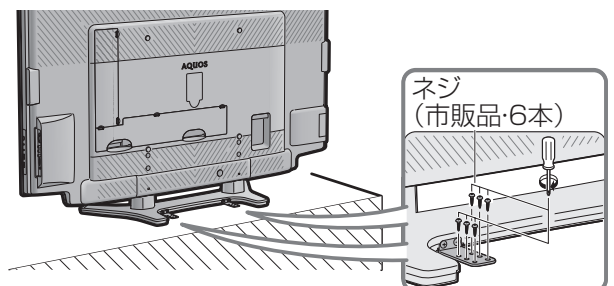
固定金具取付けネジ×4

重要

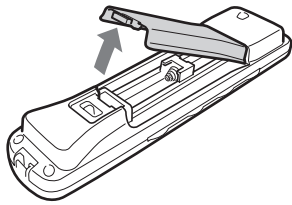
・ 必ず 2 人以上で作業を行ってください。
・ 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
・ 設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、柱か間柱（壁内部の柱）に固定してください。（▶左記）

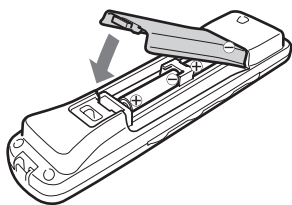
1 設置するテレビ台などの上に位置決めする

2 付属の転倒防止用固定金具を、付属のネジでスタンドに取り付ける

3 固定金具の穴に、上から市販のネジを取り付けて本機を固定する

・ 市販のネジは、確実に固定できる形状のものをお使いください。

電源を入れる

リモコンに乾電池を入れる

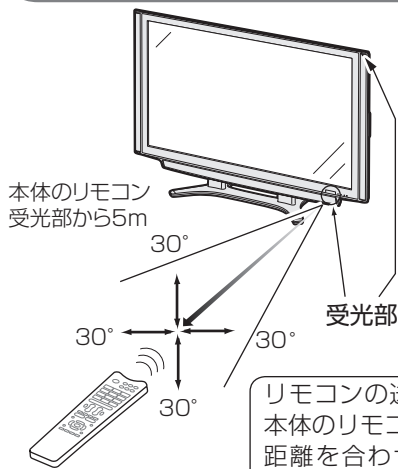
1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

△部分を軽く押しながら、カバーを矢印のように持ち上げます。

2 付属の単３形乾電池（アルカリ）を入れ、電池カバーを元どおりに閉める

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

おしらせ

乾電池を交換するときは

- 乾電池は単３形のアルカリ乾電池をご使用ください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンの送信範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に１個のリモコンボタンを押してください。

重要

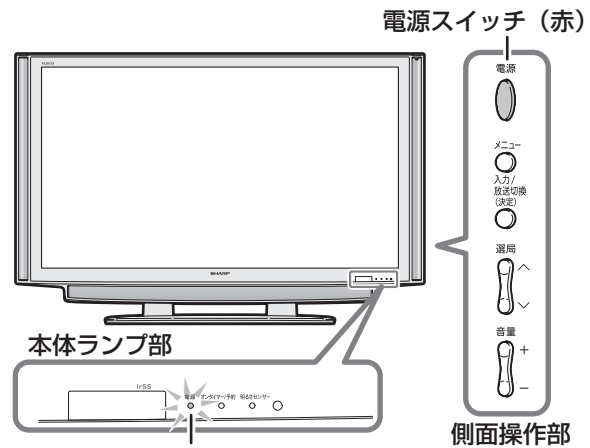
リモコン使用上のご注意

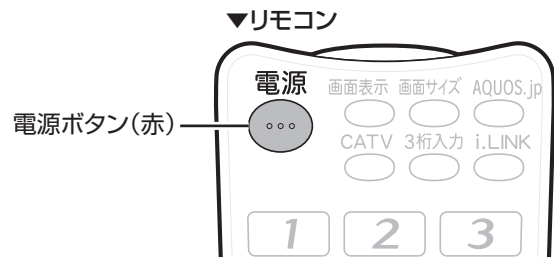
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコン番号（▶ **87** ページ）を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外のAQUOSでは正しく操作できない場合があります。

電源を入れる

● あらかじめケーブル類を接続してください。

1 本体の側面操作部にある電源スイッチ（赤）を押し、電源を「入」にする

・電源ランプが緑色に点灯します。

- 緑色点灯：動作状態
- 赤色点灯：待機状態
- 橙色点灯：パワーマネージメント状態（▶ **179**ページ）

2 リモコンの電源ボタン（赤）で電源を入／切する

▼リモコン

おしらせ

- 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
- 本機の電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）
- 電源コードを接続している場合は、本体の電源を「切」にしても微少な電力が消費されています。

クイック起動機能について（▶ 78 ページ）

- リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。（この機能を使用すると待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。）

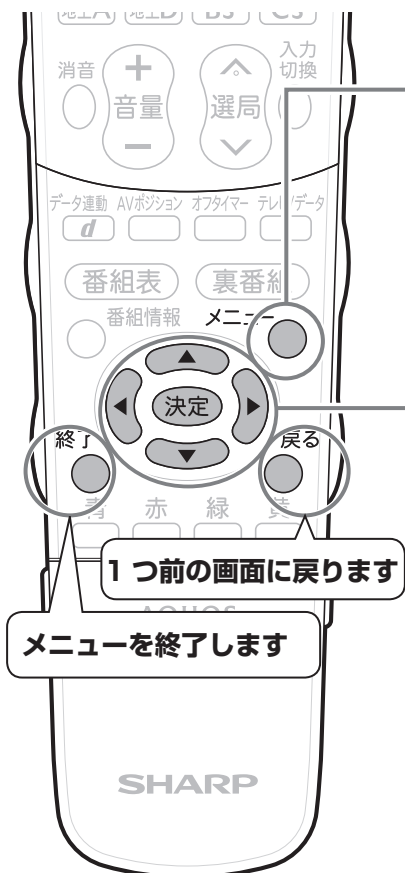
録画中の電源（切）について

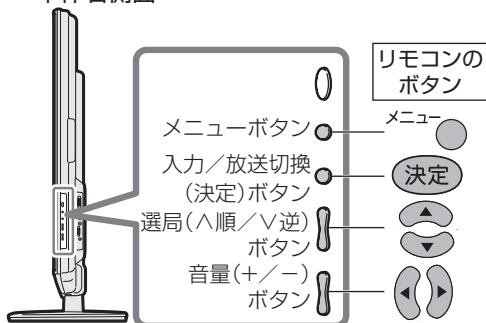
- 本機のモニター出力（録画出力）からデジタル放送を出力してビデオデッキなどで録画する場合、本体の電源スイッチで電源を切らないでリモコンの電源ボタンで電源を切る（待機状態にする）ようにしてください。

本機の機能と操作のしかた（メニュー操作）

- 本機をお使いになるときに、設定を行うための画面を呼び出します。この、設定を行う画面のことを「メニュー」と呼びます。
- メニューからさまざまな設定が行えます。（▶35ページ）

メニューの基本操作

- メニューの操作は通常、リモコンで行います。（本体側面のボタンでも操作できます。）

本体でも操作できます

▼本体右側面

メニューを表示しているときは、上図のように本体右側面のボタンがカーソルボタンと決定ボタンとして機能します。

1. メニューを押してメニューを表示する

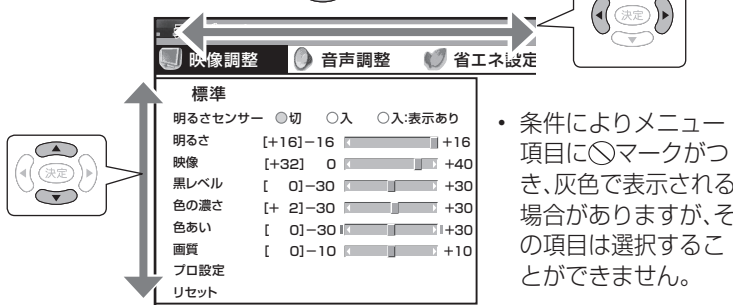
メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。

▼メニュー画面

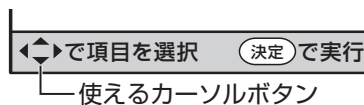
2. 項目を選ぶ

①設定する項目の分類を ◀ ▶ で選ぶ

②設定する項目を ▲ ▼ で選ぶ

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

③ガイド表示に「決定」が表示されているときは 決定 を押す

ガイド表示に「決定」が表示されていないときは手順 3 に進む

ガイド表示の例（画面下部に表示されます）

- 表示中の画面で使用できるボタンが案内されています。案内は、画面によって異なります。

3. ガイド表示を参考に、操作を進める

操作方法は、機能や項目によって異なります。使用するボタンについては、ガイド表示を参考にしてください。

- メニュー画面や電子番組表などの表示色を変更することができます。（画面表示色設定▶86ページ）

メニュー画面を英語で表示するには ▶**213**ページ
To display menu screens in English ▶Page **213**

メニューの項目の一覧

- メニューボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。
  カーソルボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押してください。
- ここでは、本機で表示されるすべてのメニュー項目を記載していますが、実際にすべての項目が同時に表示されることはありません。本機の状態により必要な項目が表示されます。

▼メニュー画面

テレビ　メニュー　[映像調整]

映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定　お知らせ

映像調整

映像をお好みの状態に調整する項目です。

項目	ページ
明るさセンサー／明るさ／映像／黒レベル／色の濃さ／色あい／画質	82
プロ設定	83

音声調整

音声をお好みの状態に調整する項目です。

項目	ページ
高音／低音／バランス	84
サラウンド	84

省エネ設定

電力資源を有効に使用するための設定項目です。

項目	ページ
無信号オフ※2	178
パワーマネージメント※3	179
無操作オフ	179
オフタイマー	178

本体設定

使用環境に合わせた設置調整に関する機能の項目です。

項目	ページ
かんたん初期設定※7	36·38
地域設定※1	42
チャンネル設定※1	44·47
アンテナ設定※1	40
スピーカー設定	85
入力スキップ設定	94
入力解像度※3	135
自動同期調整※3	134
入力表示選択※4	94
位置調整※2	78
画面調整※3	134
オートワイド※2	80
映像反転	85
クイック起動設定	78
Language(言語設定)	213
時計設定	77·78
リモコン番号設定	87
個人情報初期化	192

機能切換

本機のいろいろな機能の設定項目です。

項目	ページ
ファミリンク設定	111·117
入力選択※5	94·135
入力6端子設定	102
ヘッドホン設定	86
センタースピーカー入力	138
デジタル固定※1	103
字幕表示設定※1	73
番組名表示設定※1	76
ゲーム時間表示設定※4	141
映像オフ	85
オンタイマー設定	77
チャイルドロック	131
画面表示色設定	86

デジタル設定

デジタル放送を視聴するための設定項目です。

項目	ページ
録画画面サイズ設定※1	78
デジタル音声設定※1	136
ダウンロード設定※1	191
番組表設定※1	70·71
通信設定※6	148·154
i.LINK設定	119
暗証番号設定※1	130
視聴年齢制限設定※1	131
双方向サービス設定※1	150
システム動作テスト※1	150

お知らせ

本機が受信した情報を確認するための項目です。

項目	ページ
受信メッセージ一覧	180
ボード※7	180
受信機レポート	180
B-CASカード番号表示	180

おしらせ

※１　テレビ視聴時のみ表示されます。
※２　入力７、インターネット、IrSS™、ホームネットワーク選択時は表示されません。
※３　入力７選択時のみ表示されます。
※４　入力１～７選択時のみ表示されます。
※５　入力４～７選択時のみ表示されます。
※６　入力１～７選択時は表示されません。
※７　インターネット閲覧時、IrSS™ モード、ホームネットワークモードのときは表示されません。

- ⃠マークがつき、灰色で表示されるメニュー項目は、選択できません。
- メニュー項目の詳細は「メニュー項目の一覧」(▶**194～197**ページ)をご覧ください。
- メニューの表示内容は変更される場合があります。

放送を受信するために最初に必要な設定（かんたん初期設定）について

●お買い上げ後、B-CASカードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。「かんたん初期設定」は画面を見ながら操作・設定してください。受信できる地上デジタル・地上アナログ放送のチャンネルが設定されます。

かんたん初期設定を中断した場合は…

- 初めて電源を入れて「かんたん初期設定」を行っている途中で電源が切れた場合は、次に電源を入れた場合に再度「かんたん初期設定」画面になります。
- 「かんたん初期設定」をリモコンの終了ボタンを押して終了した場合は、次に電源を入れても「かんたん初期設定」画面が表示されません。メニューから選んで「かんたん初期設定」をやり直してください。（▶**38** ページ）

1 メッセージを確認して決定する

- 途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。電源を切った場合は、再度電源を入れると「かんたん初期設定」画面が表示されます。
- B-CAS カードが正しく挿入されていないときは、「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されます。
電源を切り、▶ **24** ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

◆地域を設定する

2 お住まいの地域を選ぶ

決定する

3 お住まいの地域を選ぶ

決定する

◆郵便番号を入力する

4 郵便番号を入力する

1 ～ 10/0

決定する

- 「0」を入力するときは 10/0 を押します。

おしらせ

- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

◆チャンネルを設定する

5 「する」を選ぶ

決定 決定する

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。

▼

- 自動的に地上デジタル放送・地上アナログ放送のチャンネルが登録されます。

1 ～ 12 は、リモコンの**数字ボタン（チャンネルボタン）**に対応しています。

- 次の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

おしらせ

チャンネル設定の途中で「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上デジタル放送を受信できる地域の場合**
  いったん電源を切って VHF/UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れなおすと手順 **1** の画面が表示されます。
  なお、地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナが必要です。
- **まだ、地上デジタル放送を受信できない地域の場合**
  決定ボタンを押してください。アナログ放送のチャンネル設定が始まります。

チャンネル設定の途中で「地上アナログ放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上アナログ放送を受信する場合**
  いったん電源を切って VHF/UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れなおすと手順 **1** の画面が表示されます。
- **地上アナログ放送を受信しない場合**
  決定ボタンを押して手順 **6** へ進みます。

◆ BS･CS アンテナを設定する

6 「する」または「しない」を選ぶ

決定 決定する

- BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、手順 **8** に進みます。

- 「する」を選んだときは、次の画面が表示されます。

接続確認
地域設定
BS/CSアンテナ電源自動設定中

- 次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

次の画面が表示されたときは

- **BS・CS アンテナを接続していないとき**
  「次へ」を選び決定ボタンを押してください。
- **BS・CS アンテナを接続しているとき**
  いったん電源を切って、BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。（▶ **27** ～ **29** ページ）
  電源を入れなおすと手順 **1** の画面が表示されます。

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、手順**8**の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや移転などで BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは（▶ 40、41 ページ）

次のページに続く

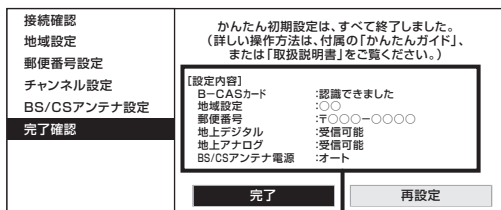
つづき　テレビを見るための設定をする

7 決定 受信状態を確認して決定する

・「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	いったん電源を切り、アンテナ線を確認してください。（▶ **27** ～ **29**・**40** ページ）
受信できません。【E】	いったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。（▶ **27** ～ **29**・**40** ページ）

8 設定された内容を確認する

設定内容が表示されますので確認してください。

9 間違いがなければ「完了」を選ぶ

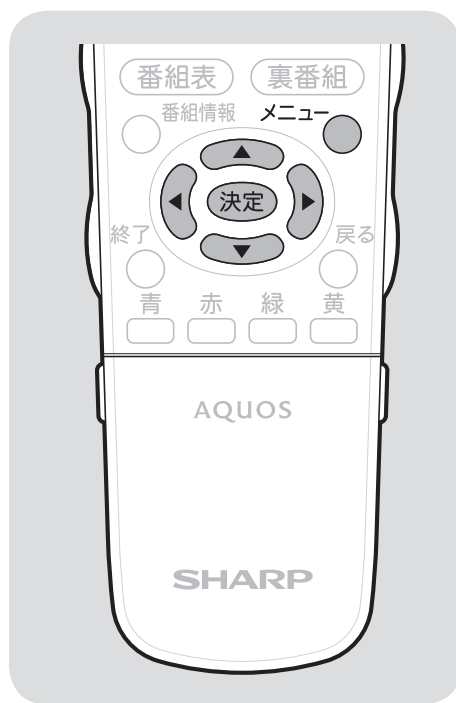
 決定する

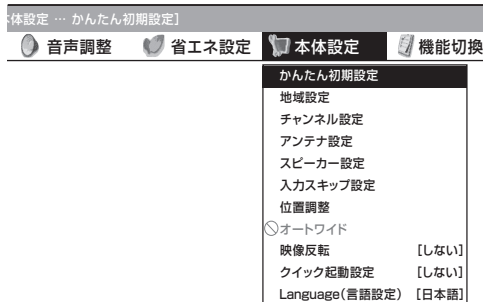
・これで設定は完了です。

映りかたを確かめましょう。▶56ページをご覧ください。

おしらせ

・デジタル放送の双方向番組を利用する場合は、双方向通信のための接続と設定が必要です。（▶ **146**・**151** ページ）
・B-CAS カードの挿入や電話回線の接続が正しく行われているかをテストできます。（「システム動作テスト」▶ **150** ページ）

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

1 メニュー メニューを表示する

2 「本体設定」－「かんたん初期設定」を選ぶ

3 決定 決定する

・「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。（▶ **36** ページ）

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたい場合

● 次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定をする	• デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110度CSデジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。（▶ **40** ページ）
お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）	• デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。（▶ **42** ページ）
地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは	• 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。（▶ **44** ページ）
デジタル放送のチャンネルの個別設定	• デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。（▶ **45** ページ）
地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは	• 地上アナログ放送（従来のVHF・UHF放送）の受信設定です。工場出荷時は、東京地区で受信できるVHFチャンネルが設定されています。 • 受信できる地上アナログ放送のチャンネルを探します。（▶ **47** ページ）
地上アナログ放送のチャンネルの個別設定	• 地上アナログ放送のチャンネルの受信状態や設定を個別に変更することもできます。（▶ **54** ページ）
CATV（ケーブルテレビ）のチャンネルの設定	• CATVチャンネルのスキップを解除します。（▶ **55** ページ）

CSチャンネルのネットワーク情報を取得する
（110度CSデジタル放送を初めて選局するとき）

● CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。

押すボタン

1 CS　**CSデジタル放送を選んで、約5秒待つ**

2 1　**1チャンネルを選んで、約5秒待つ**

3 番組表　**選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認する**

おしらせ

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合

• 数字ボタン（チャンネルボタン）1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、約5秒待ちます。（1 または 2 を押したとき、「現在放送されていません。[E203]」と表示される場合がありますが、そのままの状態で約5秒待ってください。そのまま待つことでCSネットワーク情報を取得することができます。）

次のページに続く

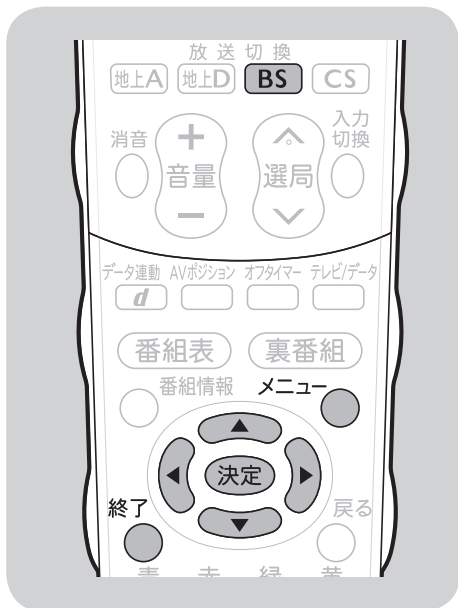
デジタル放送用アンテナの設定をする

● デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（▶ **36**・**38** ページ）を行ってください。）

重要

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS･CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

BS･110度CSデジタル用アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

（例） BSデジタル放送のアンテナ設定をする

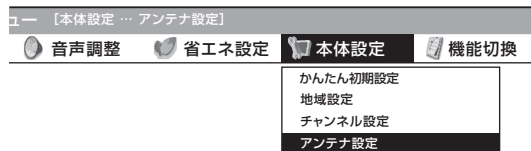
1 BS デジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定は行えます。

2 メニュー **メニューを表示する**

- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作を行ってください。

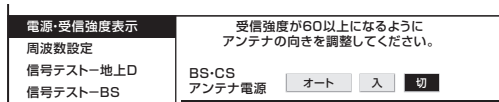
3 「本体設定」－「アンテナ設定」を選ぶ

決定 **決定する**

4 「電源・受信強度表示」を選ぶ

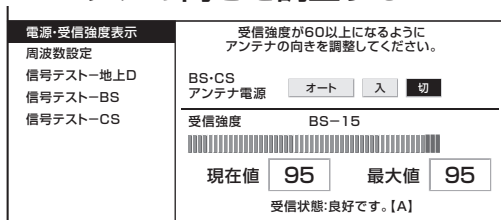
決定 **決定する**

◆アンテナに電源を供給するための設定

5 「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

電源･受信強度表示
周波数設定
信号テスト−地上D
信号テスト−BS
受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。
BS･CS アンテナ電源　オート　入　切

「オート」	本機の電源が「入」のとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を「切」にしたときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
「入」	本機の電源が「入」のとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を「切」にしたときも、常にアンテナ電源は「入」になります。「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。
「切」	アンテナ電源が常に「切」になります。 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。

◆受信強度の調整

6 受信強度が最大になるようにアンテナの向きを調整する

・受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

7 決定 決定する

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・手順 **6** で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、信号が強すぎる、または不足しているなどの場合で、処置が必要です。詳しくは「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（▶ **186** ページ）をご覧ください。
この場合、次のようなメッセージが表示されます。

受信強度が60以下です。【B】
アンテナ信号が強すぎます。【C】
アンテナ信号が不足しています。【C】
アンテナ信号が良くありません。【D】
受信できません。【E】

・地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。
・受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。
（表示される数値は、受信 C/N※の換算値です。）
※受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

信号テストをするときは

（例） BSデジタル放送の信号テストをする

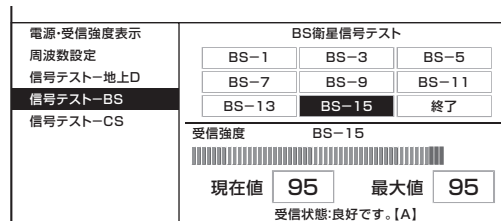
1 前ページの手順 **4** で「信号テストー BS」を選ぶ

決定 決定する

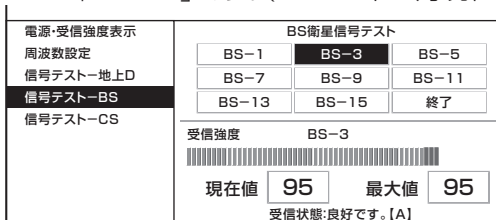
電源・受信強度表示
周波数設定
信号テストー地上D
信号テストーBS
信号テストーCS

BS衛星信号テスト

BS−1	BS−3	BS−5
BS−7	BS−9	BS−11
BS−13	BS−15	終了

受信強度　BS−15
現在値 95　最大値 95
受信状態:良好です。【A】

2 確認したい項目を選ぶ

決定 決定する

・現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」です。（2008年４月現在）

・「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。

3 「終了」を選ぶ

決定する

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の信号テストについて

・手順 **1** で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

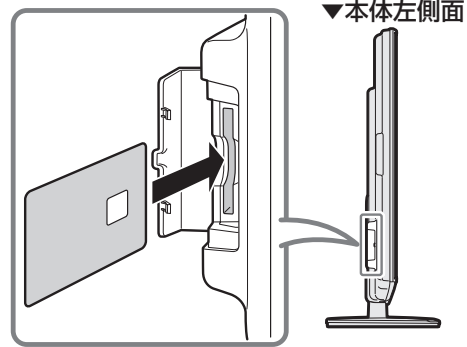
周波数設定について

・手順 **1** で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
通常は、設定する必要はありません。
（例：BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます。）

次のページに続く

お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

重要

- B-CAS カードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（▶ **24** ページ）

地域選択／郵便番号設定

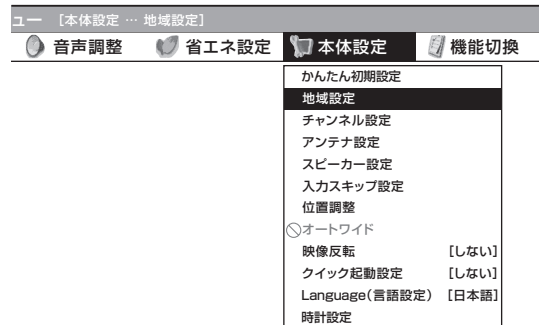
- 地上デジタル放送の地域情報を受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。

  チャンネル設定（▶ 44 ページ）の前に、必ず地域設定をしてください。
- お客様がお住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。

押すボタン

1 メニュー **メニューを表示する**

- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作を行ってください。

2 **「本体設定」－「地域設定」を選ぶ**

 決定する

◆地域選択

3 「地域選択」を選ぶ

決定 決定する

- 「地域選択」は、工場出荷時は「関東」ー「東京」に設定されています。
- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタル一自動」を行ってください。

4 お住まいの地域を選ぶ

決定 決定する

地域選択
郵便番号設定

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

5 お住まいの都道府県または地域を選ぶ

 決定する

地域選択
郵便番号設定

お住まいの地域を設定してください。

福岡	佐賀
長崎	熊本
大分	宮崎
鹿児島	鹿児島 島部
沖縄	

◆郵便番号設定

6 「本体設定」－「地域設定」を選ぶ

決定 決定する

7 「郵便番号設定」を選ぶ

決定 決定する

8 1 ～ 10/0 郵便番号を入力する

決定 決定する

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で入力しなおします。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 郵便番号で「0」を入力したい場合は、10/0を押します。

次のページに続く

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは

● 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。
チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」（▶ 42 ページ）をしてください。

押すボタン

1 地上D **地上デジタル放送を選ぶ**

2 メニュー **メニューを表示する**

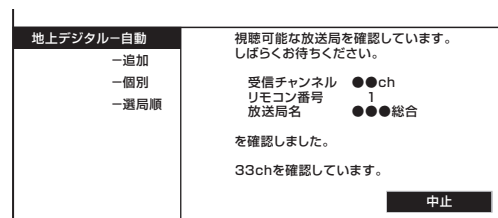
3 **「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ**
決定 **決定する**

4 **「地上デジタル」を選ぶ**
決定 **決定する**

5 **「地上デジタル－自動」を選ぶ**
決定 **決定する**

6 **「する」を選ぶ**
決定 **決定する**

7 **サーチ範囲を選ぶ画面で「UHF」または「全チャンネル」を選ぶ**
決定 **決定する**

- 通常は「UHF」を選びます。
- CATV パススルーの場合は「全チャンネル」を選びます。
- 自動登録が始まります。

- 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

重要

新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

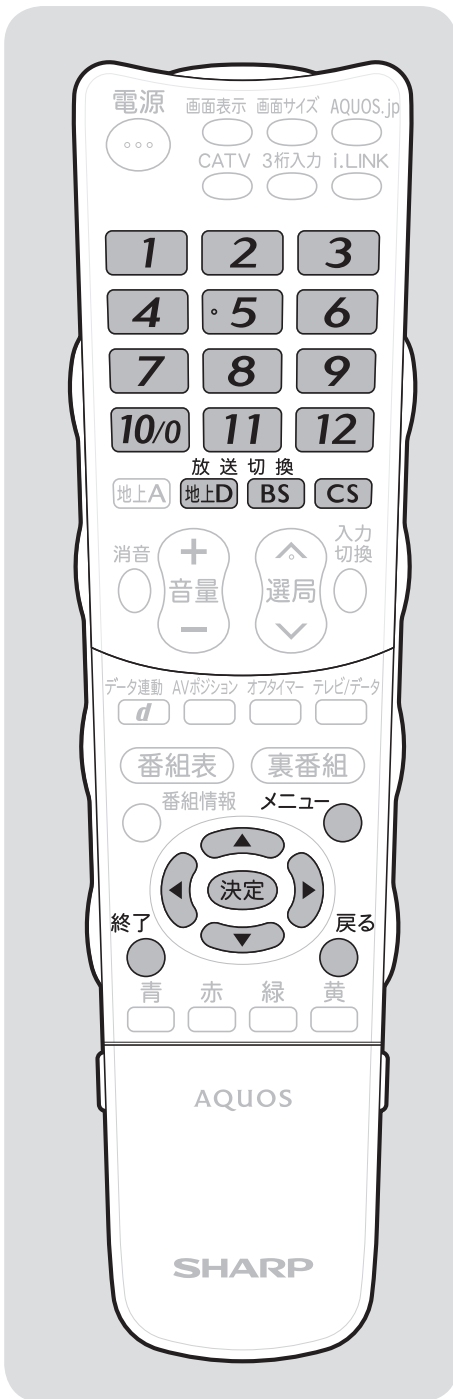
- 「地上デジタル－自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **5** で「地上デジタル－追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

おしらせ

地上デジタル放送の CATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式には対応していません。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

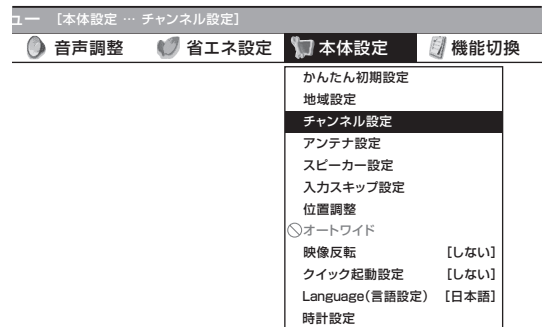
デジタル放送のチャンネルの個別設定

● 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番 (地上デジタル放送のみ)	受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別できます。
スキップ	選局(∧順／∨逆)ボタン(緑)で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。地上デジタル放送のチャンネルをスキップ設定したときは、番組表や裏番組表にスキップ設定したチャンネルを表示するかどうかを設定できます。

(例)地上デジタル放送の設定内容を変更する

1 地上D / BS / CS　**デジタル放送を選ぶ**

2 メニュー　**メニューを表示する**

3 **「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

4 **「地上デジタル」「BS デジタル」「CS デジタル」のいずれかを選ぶ**

決定　**決定する**

地上デジタル	地上デジタル放送の受信チャンネルの設定です。(チャンネル設定をする前に、必ず地域設定をお住まいの地域に設定しておいてください。)
地上アナログ	
BSデジタル	
CSデジタル	
デジタル登録	

- 「地上デジタル」を選んだ場合は、次ページの手順 **5** に進みます。
- 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、次ページの手順 **6** に進みます。

次のページに続く

5 「地上デジタル−個別」を選ぶ

 決定する

地上デジタル−自動	放送局	3桁	スキップ
−追加	テレビ ① ●●●●●	051	
−個別	テレビ ② ●●●●●	061	
−選局順	テレビ ③ ●●●●●	121	
	テレビ ④ ●●●●●	041	
	テレビ ⑤ ●●●●●	021	

以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

6 変更したいチャンネルを選ぶ

 決定する

7 変更したい項目を選ぶ

 決定する

(例)地上デジタルの枝番を変更する場合

地上デジタル−自動	放送局	3桁	スキップ
−追加	テレビ ① ●●●●●	051-1	
−個別	テレビ ② ●●●●●	051-2	
−選局順	テレビ ③ ●●●●●	121	
	テレビ ④ ●●●●●	041	
	テレビ ⑤ ●●●●●	021	

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　枝番　スキップ　戻る

8 1 〜 12

画面の指示に従い、入力欄に数字を入力して「確認」を選ぶか、「する」「しない」を選ぶ

• 枝番を入力する場合は、1〜9を押します。

 決定する

• 数字ボタンや枝番が重複している場合は、「数字ボタン（枝番の場合は「枝番」）が重複しています。置き換えますか？」の確認画面が表示されます。
数字ボタンを置き換える場合
「確認」を選び決定ボタンを押します。
置き換えずに別の数字にする場合
画面の「戻る」を選ぶかリモコンの戻るボタンを押してから、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

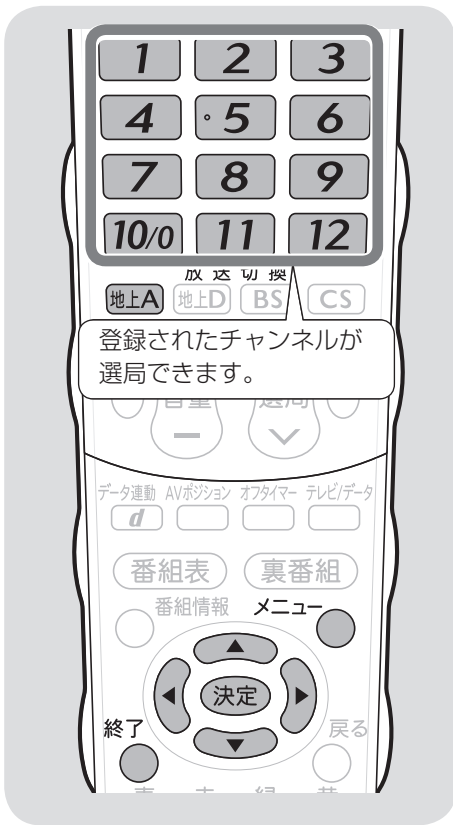
• 地上デジタル放送では、1〜12の数字ボタン（チャンネルボタン）の番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
• 3桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は7地域）ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

スキップしたチャンネルを電子番組表や裏番組表で非表示にするには（地上デジタル放送のみ）

① 前ページ手順**4**で「地上デジタル」を選び、決定する
② 「地上デジタル−個別」を選び、決定する
③ スキップするチャンネルを選び、決定する
④ 「スキップ」を選び、決定する
⑤ 「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する
⑥ 「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」を選び、決定する
• スキップ設定した地上デジタル放送のチャンネルが、番組表や裏番組表に表示されなくなります。
ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組表に表示されます。

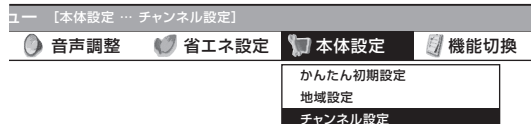
地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは

- お住まいの地域で受信できる VHF と UHF のチャンネルを自動的に登録できます。
- 登録できるチャンネルは最大 12 局です。

押すボタン

1 地上A **地上アナログ放送を選ぶ**

2 メニュー **メニューを表示する**

- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作を行ってください。

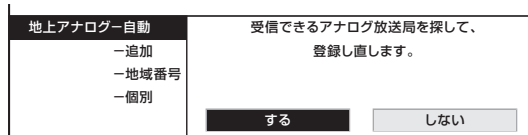
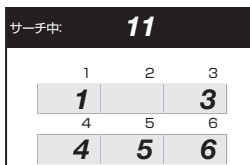
3 **「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

4 決定 **「地上アナログ」で決定する**

5 **「地上アナログー自動」を選ぶ**

決定 **決定する**

6 **「する」を選ぶ**

決定 **決定する**

- 画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 見つかったチャンネルが表示されます。
- 放送チャンネルがまったく見つからない場合は、設定前のチャンネルが表示されます。
- チャンネル設定が完了すると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

重要

- 登録完了まで電源を切らないでください。
- この操作を行ったときは、現在登録されているチャンネルを消して新たに登録しなおします。

おしらせ

「地上アナログー地域番号」について

- 「地上アナログー自動」を行ってもチャンネルが受信できない場合、「地域番号早見表」(▶ **48** ～ **49** ページ)、「地域番号一覧表」(▶ **50** ～ **53** ページ) で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認し、手順 **5** で「地上アナログー地域番号」を選びます。お住まいの地域に最も近い都市名の地域番号を数字ボタン (チャンネルボタン) または左右カーソルボタンで入力し、「開始」で決定ボタンを押します。
- 工場出荷時は、地域番号「000」に設定されています。

「地上アナログー追加」について

- 空きチャンネルに追加できる放送局がないかどうかを自動で探したい場合、手順 **5** で「地上アナログー追加」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選んで決定します。見つかったチャンネルが右側に表示されていきます。

次のページに続く

「地上アナログー自動」を行っても受信できないチャンネルがあるときは

- 地域番号一覧表（▶ **50** ～ **53** ページ）に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が正しい場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- お住まいの都市の地域番号で設定しても受信できない場合があります。このときは、「地上アナログー追加」（▶ **47** ページ）または「地上アナログー個別」（▶ **54** ページ）を行ってください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。（地域番号「000」は除く）
- 地域番号設定をした後、「地上アナログー追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。（UHF放送が受信できる地域など）

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021
	青森市	010
	明石市	063
	昭島市	030
	秋田市	015
	阿久根市	095
	上尾市	027
	朝霞市	027
	旭川市	002
	足利市	027
	厚木市	033
	網走市	001
	我孫子市	029
	尼崎市	061
	安城市	054
い	飯田市	045
	池田市	061
	生駒市	061
	石巻市	014
	和泉市	061
	伊勢崎市	025
	伊丹市	061
	市川市	029
	一宮市	054
	市原市	029
	茨木市	061
	今治市	081
	入間市	027
	いわき市	020
	岩国市	077
う	宇治市	060
	宇都宮市	101
	宇部市	076
	浦安市	029
え	海老名市	033
	江別市	001
お	青梅市	030
	大分市	091
	大垣市	047
	大阪市	061
	大館市	016
	大津市	058
	大牟田市	086
	岡崎市	054
	岡山市	070
	沖縄市	096

五十音	都市名	地域番号
お	小樽市	007
	小田原市	035
	帯広市	005
	小山市	027
か	各務原市	106
	加古川市	063
	鹿児島市	094
	橿原市	065
	柏市	029
	春日井市	054
	春日部市	027
	門真市	061
	金沢市	041
	鎌倉市	033
	刈谷市	054
	川口市	027
	川越市	027
	川崎市	033
	河内長野市	061
	川西市	064
き	木更津市	029
	岸和田市	061
	北九州市	084
	北見市	009
	岐阜市	047
	京都市1	060
	京都市2	098
	桐生市	102
く	釧路市	004
	熊谷市	103
	熊本市	090
	倉敷市	070
	久留米市	085
	呉市	073
こ	高知市	082
	甲府市	043
	神戸市	061
	郡山市	019
	小金井市	030
	越谷市	027
	小平市	030
	小牧市	054
	小松市	041
さ	さいたま市	027
	堺市	061
	佐賀市	087

五十音	都市名	地域番号
さ	酒田市	018
	相模原市	033
	佐倉市	029
	佐世保市	089
	札幌市	001
	座間市	033
	狭山市	027
し	静岡市	049
	下関市	075
	周南市	074
	上越市	038
す	吹田市	061
	鈴鹿市	057
せ	瀬戸市	054
	仙台市	013
そ	草加市	027
た	大東市	061
	高岡市	040
	高崎市	025
	高槻市	061
	高松市	078
	宝塚市	061
	立川市	030
	多摩市	105
ち	茅ケ崎市	034
	千葉市	029
	調布市	030
つ	津市	057
	つくば市	029
	土浦市	029
	鶴岡市	018
と	東京２３区	030
	徳島市	097
	所沢市	027
	鳥取市	067
	苫小牧市	006
	富山市	039
	豊川市	055
	豊田市	056
	豊中市	061
	豊橋市	055
	富田林市	061
な	長岡市	037
	長崎市	088
	長野市	044
	流山市	029
	名古屋市	054
	那覇市	096
	奈良市	065
	習志野市	029
に	新潟市	037
	新座市	027
	新居浜市	080
	西宮市	061
ぬ	沼津市	052
ね	寝屋川市	061
の	野田市	029
	延岡市	093
は	函館市	003
	秦野市	036
	八王子市	104
は	八戸市	011
	羽曳野市	061
	浜田市	069
	浜松市	050
	半田市	054
ひ	東大阪市	061
	東久留米市	030
	東村山市	030
	彦根市	059
	日立市	023
	ひたちなか市	022
	日野市	030
	姫路市	062
	枚方市	061
	平塚市	034
	弘前市	010
	広島市	071
ふ	福井市	042
	福岡市	083
	福島市	019
	福山市	072
	藤枝市	053
	藤沢市	033
	富士市	051
	富士宮市	051
	府中市（東京）	030
	船橋市	029
へ	別府市	091
ほ	防府市	074
ま	前橋市	025
	町田市	033
	松江市	068
	松阪市	057
	松戸市	029
	松原市	061
	松本市	046
	松山市	079
み	三郷市	027
	三島市	052
	三鷹市	030
	水戸市	022
	都城市	092
	宮崎市	092
む	武蔵野市	030
	室蘭市	008
も	盛岡市	012
	守口市	061
や	矢板市	100
	焼津市	049
	八尾市	061
	八千代市	029
	八代市	090
	山形市	017
	山口市	074
	大和市	033
よ	横須賀市	033
	横浜市	033
	四日市市	057
	米子市	068
わ	和歌山市１	107
	和歌山市２	099

次のページに続く

地域番号一覧表

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル											
			放送局名											
工場出荷時設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK 総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK 教育
	旭川	002	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	函館	003	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				NHK 教育		札幌テレビ
	釧路	004	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	帯広	005	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK 教育
	苫小牧	006	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	NHK 総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	007	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK 総合	
	室蘭	008	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	北見	009	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK 教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
青森	青森	010	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK 総合		NHK 教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	011	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK 教育		NHK 総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	012	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK 総合		IBC テレビ		NHK 教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	014	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK 教育							NHK 総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK 教育)		NHK 総合		秋田放送テレビ		NHK 教育	(NHK 総合)	秋田朝日放送	(秋田放送テレビ)	秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK 教育		テレビユー山形	さくらんぼテレビ	NHK 総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	018	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK 総合			NHK 教育		山形テレビ		テレビユー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK 総合		福島テレビ	
	いわき	020	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビユー福島		NHK 総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK 教育		福島放送
	会津若松	021	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK 総合		NHK 教育			福島テレビ		テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	022	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	023	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	矢板	100	40	2	30	36	33	42	7	45	9	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	宇都宮	101	51	2	49	53	5	55	7	57	31	41	11	44
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京
群馬	前橋	025	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	102	51	2	57	53	40	55	7	35	9	59	41	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	103	51	2	35	53	5	55	16	57	30	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
千葉	千葉	029	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23 区	030	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBS テレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	104	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	40 東京メトロポリタン	37 TBS テレビ	7	31 フジテレビ	9	45 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	多摩	105	49 NHK 総合	2	47 NHK 教育	51 日本テレビ	61 東京メトロポリタン	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	9	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	5	37 TBS テレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	035	52 NHK 総合	2	50 NHK 教育	54 日本テレビ	5	56 TBS テレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	036	47 NHK 総合	2	49 NHK 教育	51 日本テレビ	5	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	037	21 新潟テレビ 21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK 総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK 教育
	上越	038	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5	37 新潟テレビ 21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	039	1 北日本テレビ	2	3 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK 教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	040	50 北日本テレビ	2	48 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK 教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 MRO テレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK 教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	042	39 福井テレビ	2	3 NHK 教育	4	5	6 MRO テレビ	7	8	9 NHK 総合	10	11 FBC テレビ	12
山梨	甲府	043	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	044	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	48 信越放送	12
	飯田	045	44 長野朝日放送	2	3 NHK 教育	4 NHK 総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	046	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	047	1 東海テレビ	2	39 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	37 岐阜放送
	各務原	106	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	41 岐阜放送
静岡	静岡	049	1	2 NHK 教育	31 静岡第一テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK 総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	050	1	30 静岡第一テレビ	3	4 NHK 総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK 教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	051	1	54 NHK 教育	27 静岡第一テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK 総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	052	1	51 NHK 教育	61 静岡第一テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK 総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	053	1	44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK 総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	054	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	055	56 東海テレビ	2	54 NHK 総合	4	62 CBC テレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK 教育	10	60 メ～テレ	52 テレビ愛知
	豊田	056	57 東海テレビ	2	53 NHK 総合	4	55 CBC テレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK 教育	10	61 メ～テレ	49 テレビ愛知
三重	津	057	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	33 三重テレビ	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28 NHK 総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABC テレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK 教育
	彦根	059	1	52 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK 教育

次のページに続く

地域番号一覧表（つづき）

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル／放送局名											
京都	京都 1	060	1	2	36	4	19	6	34	8	26	10	11	12
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	京都テレビ	関西テレビ	奈良テレビ	読売テレビ		NHK 教育
	京都 2	098	32	2	34	4	21	6	7	8	9	10	11	12
			NHK 京都	NHK 総合	京都テレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
大阪	大阪	061	1	2	36	4	19	6	34	8	9	10	30	12
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	京都テレビ	関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
兵庫	神戸	061	1	2	36	4	19	6	34	8	9	10	30	12
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	京都テレビ	関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
	姫路	062	1	50	56	54	5	58	7	60	9	62	11	52
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
	明石	063	1	51	55	53	19	57	7	59	9	61	30	49
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
	川西	064	1	29	33	35	5	37	7	39	9	41	11	31
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
奈良	奈良	065	51	2	36	4	19	6	62	8	55	10	11	12
			(NHK 総合)	NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	奈良テレビ	関西テレビ	(奈良テレビ)	読売テレビ		NHK 教育
和歌山	和歌山 1	107	1	32	3	42	5	44	7	46	9	48	30	25
				NHK 総合		毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
	和歌山 2	099	1	50	3	54	5	58	7	60	9	62	56	52
				NHK 総合		毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
鳥取	鳥取	067	1	2	3	4	5	6	7	24	9	22	11	12
			日本海テレビ		NHK 総合	NHK 教育				山陰中央テレビ		BSS テレビ		
島根	松江	068	30	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			日本海テレビ		山陰中央テレビ			NHK 総合				BSS テレビ		NHK 教育
	浜田	069	1	2	54	4	5	6	7	58	9	10	11	12
				NHK 総合	日本海テレビ		BSS テレビ			山陰中央テレビ	NHK 教育			
岡山	岡山	070	23	2	3	4	5	25	35	8	9	10	11	12
			テレビせとうち		NHK 教育		NHK 総合	瀬戸内海テレビ	OHK テレビ		西日本放送		山陽放送	
広島	広島	071	31	2	3	4	5	6	7	8	9	35	11	12
			テレビ新広島		NHK 総合	RCC テレビ			NHK 教育			広島ホームテレビ		広島テレビ
	福山	072	5	2	57	4	54	6	3	8	9	7	11	11
			NHK 総合		広島ホームテレビ		テレビ新広島		NHK 教育			RCC テレビ		広島テレビ
	呉	073	1	2	24	4	5	6	26	8	9	10	11	12
			NHK 教育		広島ホームテレビ		広島テレビ		テレビ新広島		RCC テレビ		NHK 総合	
山口	山口	074	1	2	3	4	28	6	38	8	9	10	11	12
			NHK 教育				山口朝日放送		テレビ山口		NHK 総合		山口放送	
	下関	075	41	2	23	4	21	6	33	8	39	10	35	12
			NHK 教育	九州朝日放送	TVQ 九州放送	山口放送	山口朝日放送	(NHK 総合)	テレビ山口	RKB 毎日放送	NHK 総合	テレビ西日本	福岡放送	(NHK 教育)
	宇部	076	55	2	3	4	24	6	44	8	58	10	61	12
			NHK 教育	九州朝日放送			山口朝日放送	(NHK 総合)	テレビ山口	RKB 毎日放送	NHK 総合	テレビ西日本	山口放送	
	岩国	077	1	2	3	4	62	6	28	8	9	10	11	12
			NHK 教育			RCC テレビ	テレビ山口		山口朝日放送		NHK 総合	南海テレビ	山口放送	広島テレビ
徳島	徳島	097	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	38
			四国テレビ		NHK 総合	毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
香川	高松	078	33	2	39	4	37	6	31	8	41	10	29	19
			瀬戸内海テレビ		NHK 教育		NHK 総合		OHK テレビ		西日本放送		山陽放送	テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2	3	29	25	6	7	37	9	10	11	35
				NHK 教育		あいテレビ	愛媛朝日テレビ	NHK 総合		テレビ愛媛		南海テレビ		広島ホームテレビ
	新居浜	080	1	2	3	4	14	6	7	36	9	10	27	12
				NHK 総合		NHK 教育	愛媛朝日テレビ	南海テレビ		テレビ愛媛			あいテレビ	
	今治	081	1	30	3	27	14	32	7	36	9	34	11	38
				NHK 教育		あいテレビ	愛媛朝日テレビ	NHK 総合		テレビ愛媛		南海テレビ		広島ホームテレビ
高知	高知	082	1	2	3	4	5	6	7	8	9	38	11	40
						NHK 総合		NHK 教育		高知放送		テレビ高知		高知さんさんテレビ

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル											
			放送局名											
福岡	福岡	083	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	19	37
			九州朝日放送		NHK 総合	RKB 毎日放送		NHK 教育			テレビ西日本		TVQ 九州放送	福岡放送
	北九州	084	1	2	23	35	5	6	7	8	9	10	11	12
				九州朝日放送	TVQ 九州放送	福岡放送		NHK 総合		RKB 毎日放送		テレビ西日本		NHK 教育
	久留米	085	57	2	46	48	5	54	7	8	60	10	14	52
			九州朝日放送		NHK 総合	RKB 毎日放送		NHK 教育			テレビ西日本		TVQ 九州放送	福岡放送
	大牟田	086	58	19	53	61	5	50	7	8	55	10	43	12
			九州朝日放送	TVQ 九州放送	NHK 総合	RKB 毎日放送		NHK 教育			テレビ西日本		福岡放送	
佐賀	佐賀	087	19	36	40	38	48	52	57	60	9	10	11	12
			TVQ 九州放送	サガテレビ	NHK 教育	NHK 総合	RKB 毎日放送	福岡放送	九州朝日放送	テレビ西日本	(NHK 総合)		熊本放送	
長崎	長崎	088	1	2	3	4	5	6	37	8	27	10	25	12
			NHK 教育		NHK 総合		長崎放送		テレビ長崎		長崎文化放送		長崎国際テレビ	
	佐世保	089	1	2	3	17	5	31	7	8	9	10	11	35
				NHK 教育		長崎国際テレビ		長崎文化放送		NHK 総合		長崎放送		テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2	16	4	22	6	34	8	9	10	11	12
				NHK 教育	熊本朝日放送		熊本県民テレビ		テレビ熊本		NHK 総合		熊本放送	
大分	大分	091	1	2	3	34	5	6	36	32	24	10	11	12
			(NHK 教育)		NHK 総合	あいテレビ	大分テレビ	(NHK 総合)	テレビ大分	テレビ愛媛	大分朝日放送	南海テレビ		NHK 教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35	7	8	9	10	11	12
								テレビ宮崎		NHK 総合		宮崎放送		NHK 教育
	延岡	093	1	2	3	4	5	6	7	39	9	10	11	12
				NHK 教育		NHK 総合		宮崎放送		テレビ宮崎				
鹿児島	鹿児島	094	1	2	3	4	5	6	32	8	38	10	30	12
			南日本放送		NHK 総合		NHK 教育		鹿児島放送		鹿児島テレビ		鹿児島読売テレビ	
	阿久根	095	1	17	3	23	5	35	7	8	9	10	11	12
				鹿児島読売テレビ		鹿児島放送		鹿児島テレビ		NHK 総合		南日本放送		NHK 教育
沖縄	那覇	096	1	2	3	4	5	6	7	8	28	10	11	12
				NHK 総合						沖縄テレビ	琉球朝日放送	琉球放送テレビ		NHK 教育

おしらせ

- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。（2007 年 2 月現在）

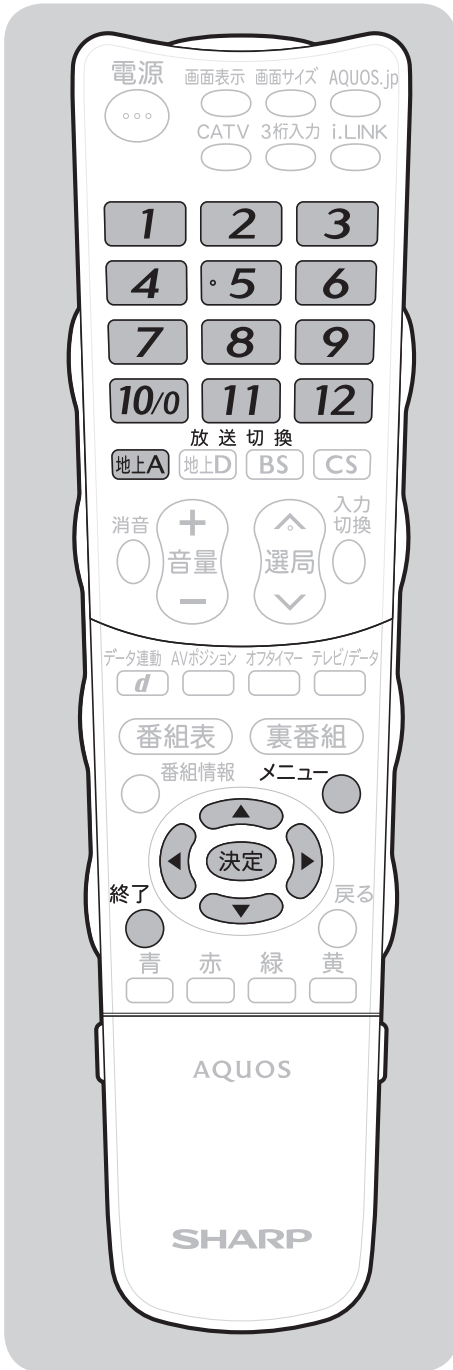
その他の地域番号　（＊印のチャンネルはスキップされません。）

- 地域番号は「000」から「107」までありますが、次の番号に該当する地域はありません。

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	＊29	2	＊27	＊25	5	＊23	7	＊21	＊31	＊19	11	＊17
026	＊43	2	＊45	＊39	＊40	＊37	7	＊35	9	＊33	＊41	＊31
028	＊33	2	＊35	＊25	5	＊23	＊16	＊21	＊28	＊19	11	＊17
031	＊51	2	＊49	＊53	＊47	＊55	7	＊57	9	＊59	11	＊61
032	＊30	2	＊32	＊26	＊28	＊24	7	＊22	9	＊20	11	＊18
048	＊1	2	＊3	4	＊5	6	＊35	8	＊9	10	＊11	＊28
066	1	＊32	3	＊42	5	＊44	7	＊46	9	＊48	＊30	＊26

次のページに続く

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定

● 登録したチャンネルは、個別に以下の項目を変更できます。

項目	内容
受信チャンネル	リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに選局するチャンネルを設定します。地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、この操作で一局ずつ設定してください。新聞の番組表などのチャンネルの順番に合わせておくと便利です。
チャンネル表示	画面に表示されるチャンネル番号を設定します。お住まいの地域で使い慣れたチャンネル表示に変更できます。
受信微調整	受信中の映像（設定画面の背景で表示されている映像）が最も鮮明に見えるように、受信状態を調整します。−64 ～ 0 ～ +63 の範囲で調整できます。
スキップ	選局(∧順／∨逆)ボタン(緑)で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップの設定をし、「しない」で解除されます。

押すボタン

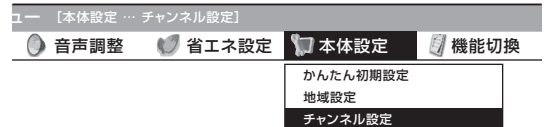
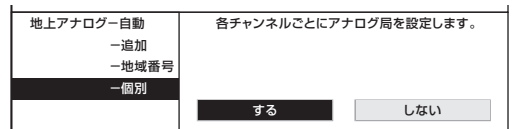
1 地上アナログ放送を選ぶ

2 メニュー メニューを表示する

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

決定 決定する

4 決定 「地上アナログ」で決定する

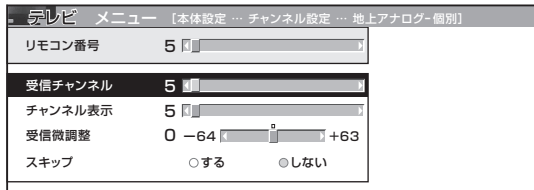
5 「地上アナログ－個別」を選ぶ

決定 決定する

6 「する」を選ぶ

決定 決定する

7 変更したい放送チャンネルを選ぶ

8 変更したい項目を選ぶ

（例）受信チャンネルを変更する場合

9 画面の指示に従い、数値や項目を設定する

- 詳しくは、前のページの表を参照してください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

選局ボタン(緑)でCATVチャンネルを選局したいときは(CATVスキップ解除)

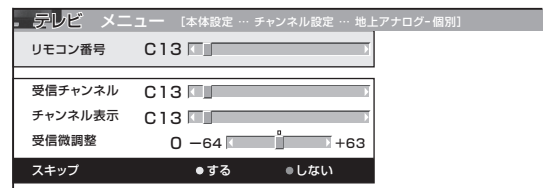
● CATVチャンネル（C13～C63）は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタン（緑）で選局したいときは、次の操作を行ってください。

1 前ページの手順 1 ～ 6 を行う

2 「リモコン番号」を選ぶ

3 スキップを解除したいCATVチャンネルを選ぶ

4 「スキップ」を選ぶ

5 「しない」を選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

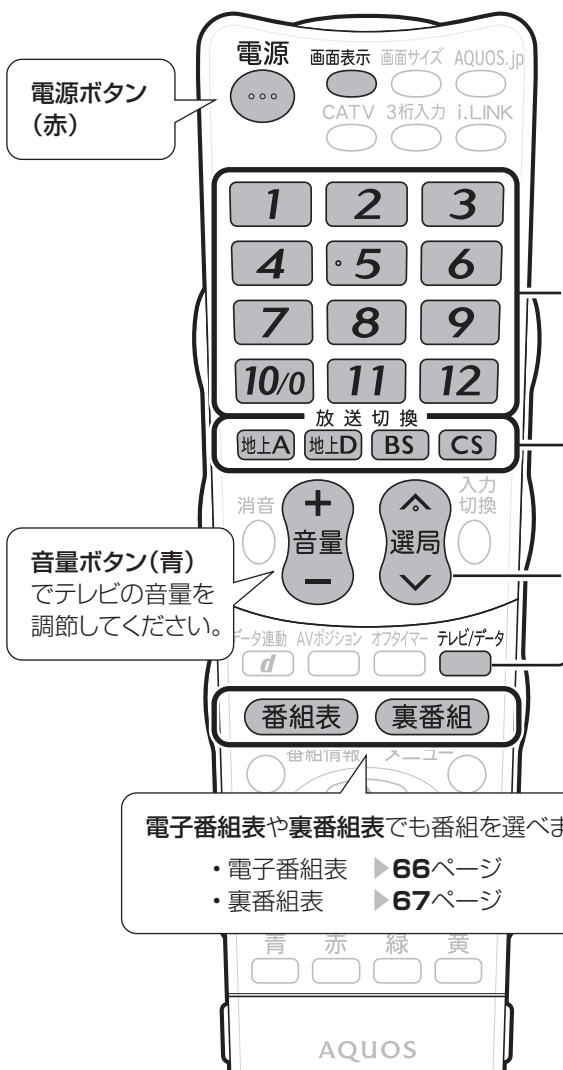
CATV（ケーブルテレビ）放送について

- CATVのサービスが行われている地域のみ受信できます。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。（CATVチャンネルを選ぶ▶ **63** ページ）
- 「受信チャンネル」の設定で、CATVチャンネルを設定すると、リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）でCATVチャンネルを選局できます。
- 左上の手順 **8** で「受信チャンネル」を選び、手順 **9** で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

次のページに続く

映りかたを確かめる

- リモコンを使って番組を選んでみましょう。
- 本体の電源を入れてから操作します。

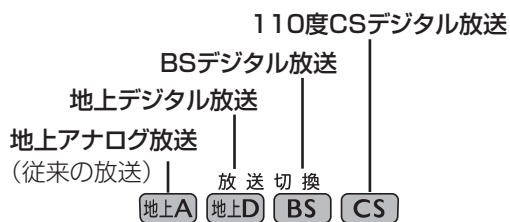
電源ボタン（赤）

音量ボタン（青）でテレビの音量を調節してください。

電子番組表や**裏番組表**でも番組を選べます。

・電子番組表 ▶**66**ページ
・裏番組表 ▶**67**ページ

1 放送の種類を選ぶ

放送切換ボタンを押します。

- 地上A：地上アナログ放送（従来の放送）
- 地上D：地上デジタル放送
- BS：BSデジタル放送
- CS：110度CSデジタル放送

デジタル放送の場合は
テレビ／データボタンを押します。

- テレビ/データを押すと、テレビ放送⇔データ放送※が切り換わります。

※ 放送がある場合に切り換わります。

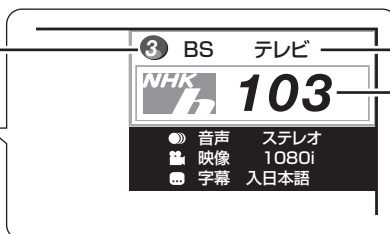
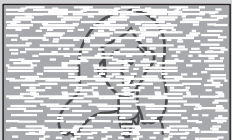
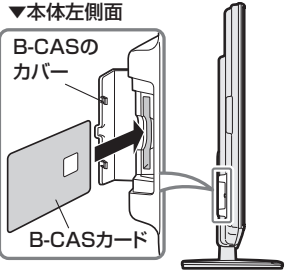
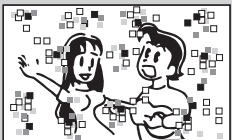
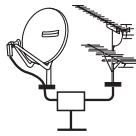
2 チャンネルを選ぶ

数字ボタン（チャンネルボタン）を押します。

選局ボタン（緑）を押します。

- ︿：順方向に選局
- ﹀：逆方向に選局

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

- テレビ画面の**チャンネルサイン**で確認できます。チャンネルサインは画面表示を押すと表示できます。画面表示を繰り返し押すと表示内容が変わります。（▶ **62** ページ）

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

（「放送が受信できません。[E202]」と表示される）

ここをお確かめください

	こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
地上アナログ放送	色じま模様が出る	・付属のアンテナケーブルを使用していますか。 ・古いケーブルは使わないでください。	8・26～29 –
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線が切れていませんか。 ・アンテナの向きは正しいですか。 ・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してください。	– – 26
デジタル放送	映像も音声も出ない	・アンテナケーブルは接続されていますか。 ・端子を間違えて接続していませんか。 ・アンテナケーブルが切れていませんか。 ・BS･CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。 ・B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 ・B-CAS のカバーは閉めてありますか。 ▼本体左側面 B-CASのカバー B-CASカード	26～29･58 – – 37・40 24 –
	画面に四角いノイズ(モザイク)が出る	・アンテナの向きは正しいですか。 ・「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（▶ **186** ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。 ・110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	– 38 –
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	・WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。	24
	110度CSデジタル放送が視聴できない	・アンテナやアンテナケーブル、分波器は指定のものを使用していますか。	8・27～29
	画面にノイズが出る	・ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。 ・アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	– 26～29・58
	特定のチャンネルだけ映らない	・有料放送は視聴契約が必要です。 ・アンテナの受信強度を確認してください。	24 38

● アンテナの接続については、次ページをご覧ください。

次のページに続く

アンテナ接続のワンポイントアドバイス

● お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

こんなときは

アンテナ線を、レコーダーを経由して本機に接続している場合に、レコーダーは放送を受信できるのに本機は受信できない。

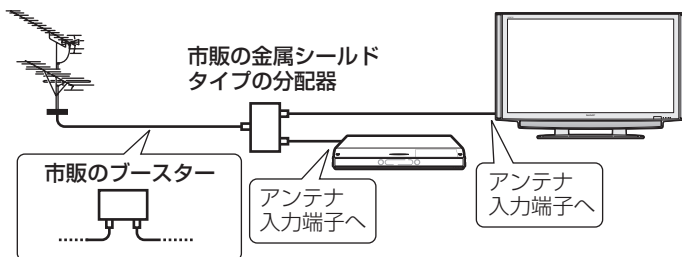
アドバイス

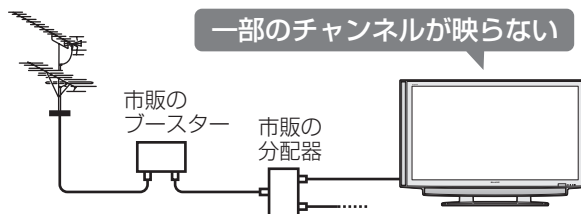
レコーダーに入力しているアンテナ線を本機の入力に直接接続してみてください。

本機が受信できる場合は、本機の故障ではありません。
- レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、本機が受信できないことがあります。レコーダーの出力端子から本機の入力端子に接続するのは止めましょう。

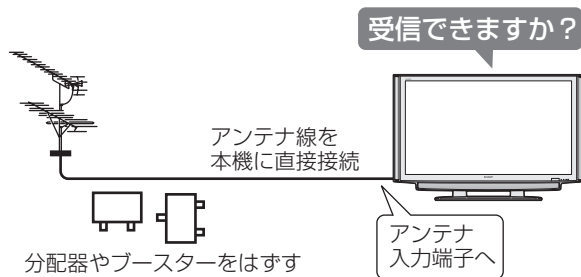
解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して、レコーダーと本機のそれぞれに接続してください。

それでも受信できない場合は…
- アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

分配器やブースターを使用している場合に一部のチャンネルだけ映らない。

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線を本機に直接接続してみてください。（本機に付属のアンテナケーブルをご使用ください。また、レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。）

正しく受信できる場合は、本機の故障ではありません。
- 分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

解決方法

市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

それでも受信できない場合は…
- ご購入のご販売店などにご相談ください。

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

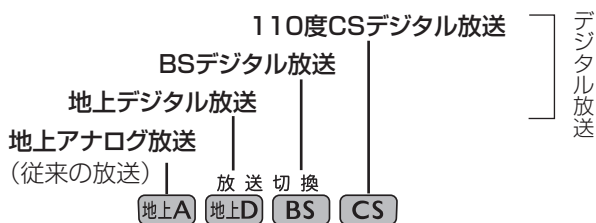
基本的な選びかた

● リモコンを使って番組を選んでみましょう。

電源を入れてください。
（本体の電源ランプが赤のときに押すと電源が入ります。）

1 放送の種類（ネットワーク）を選ぶ

①放送切換ボタンを押します。

地上アナログ放送（従来の放送）— 地上A
地上デジタル放送 — 地上D
BSデジタル放送 — BS
110度CSデジタル放送 — CS
（地上D・BS・CS：デジタル放送）

おしらせ

・デジタル放送は B-CAS カード（▶ **24** ページ）を挿入しないと視聴できません。
・**110 度 CS デジタル放送を初めて選局するときは、▶ 39 ページをご覧ください。**

デジタル放送は、電子番組表や裏番組表でも番組を選べます。
（▶**66**·**67**ページ）

②デジタル放送の場合はメディア（テレビ／データ※）の選択ができます。

・放送がある場合のみ切り換わります。

テレビ放送の例 ⟷（テレビ/データ）⟷ データ放送の例

※ 2008 年 4 月現在、BS デジタルのラジオ放送は行われておりません。ラジオ放送が再開された場合は、テレビ放送→ラジオ放送→データ放送→テレビ放送の順に切り換わります。

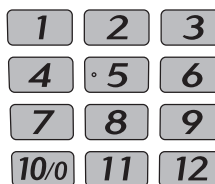
工場出荷時のデジタルチャンネル一覧

・右記のチャンネル一覧は 2008 年 5 月現在のもので、変更されることがあります。
・デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／データボタンを押すと、放送の種類とテレビ／データが切り換わり、その放送のデジタル登録画面が表示されます。
・放送のないメディア（テレビ／データ）には切り換わりません。

BS デジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	テレビ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	ー	ー
2	NHK BS2	102	ウェザーニュース	910
3	NHK h	103	ー	ー
4	BS 日テレ	141	ー	ー
5	BS 朝日1	151	ー	ー
6	BS-iテレビ⑥	161	ー	ー
7	BS ジャパン	171	ー	ー
8	BS フジ·181	181	ー	ー
9	WOWOW	191	ー	ー
10/0	スターチャンネル	200	ー	ー
11	BS 11	211	ー	ー
12	TwellV	222	ー	ー

2 チャンネルを選ぶ

数字ボタン(チャンネルボタン)または選局ボタン(緑)を押します。

- 数字ボタン（チャンネルボタン）には、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルの一覧も確認できます。(▶64ページ)
- リモコン番号を1または2に設定している場合、リモコンが放送切換の状態を記憶しています。数字ボタン(チャンネルボタン)を押すと、記憶している放送切換ボタンが光ります。数字ボタン(チャンネルボタン)で選局する際は、ボタンが光った放送を選局します。リモコン番号については▶87ページをご覧ください。
- リモコン番号が0のときは、現在視聴している放送のチャンネルが選局されます。

- 地上デジタル放送は、選局順が設定できます。(▶62ページ)

3 音量を調節する

音量ボタンや消音ボタンで調節します。

- 「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。
- 一時的に音を消せます。

110度CSデジタル放送のチャンネル

数字ボタン(チャンネルボタン)	テレビ チャンネル番号
1	100
2	001
3	－
4	－
5	－
6	－
7	－
8	－
9	－
10/0	－
11	－
12	－

地上デジタル放送のチャンネル

数字ボタン(チャンネルボタン)	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合·東京	011
2	NHK教育·東京	021
3	－	－
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	－	－
11	－	－
12	放送大学	121

工場出荷時は関東の東京で受信できるチャンネルが登録されています。

おしらせ

- 3桁のチャンネル番号でも選局できます。(▶ 63 ページ)

次のページに続く

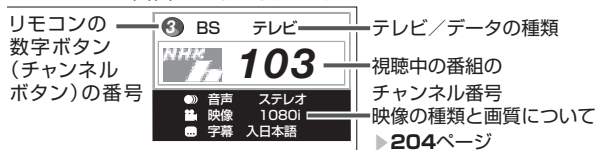
放送の種類やチャンネルの確認のしかた

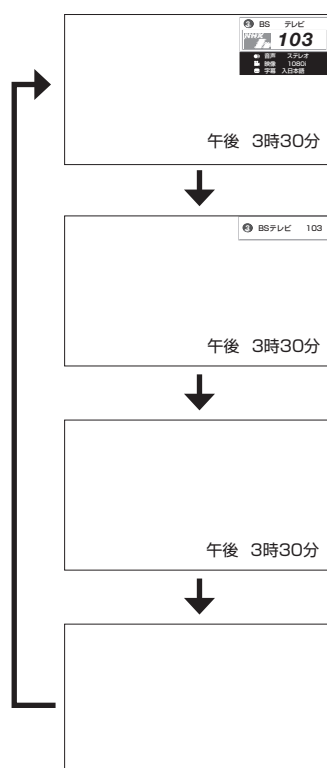
● 放送の種類やチャンネルはテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

1 画面表示 **チャンネルサインを表示する**

▼テレビ画面のチャンネルサイン

- リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）の番号
- テレビ／データの種類
- 視聴中の番組のチャンネル番号
- 映像の種類と画質について ▶**204**ページ

(3) BS テレビ
103
音声 ステレオ
映像 1080i
字幕 入日本語

2 画面表示 **チャンネルサインを消すときは数回押す**

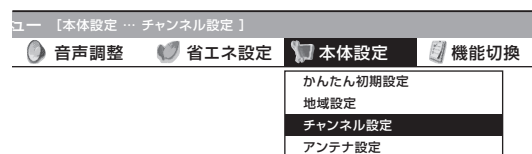
・次のように切り換わります。

・上記は、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻表示」を「する」にしている場合です。

選局ボタンでの選局される順番を変更する（地上デジタル放送のみ）

● 工場出荷時は、電子番組表（▶ **66** ページ）に表示されている順番で選局されます。この順番を 3 桁チャンネル番号順に変更することもできます。

1 地上D **地上デジタル放送を選ぶ**

2 メニュー **メニューを表示する**

3 **「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

4 **「地上デジタル」を選ぶ**

決定 **決定する**

5 **「地上デジタル－選局順」を選ぶ**

決定 **決定する**

6 **「モード 1」または「モード 2」を選ぶ**

・**「モード 1」**：番組表に表示されている順番で選局できます。
・**「モード 2」**：チャンネル番号（3 桁）の順番で選局できます。

決定 **決定する**

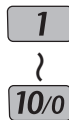
・操作を終了する場合は終了ボタンを押します。

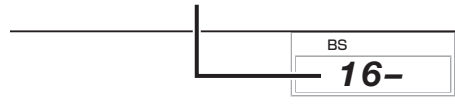
その他の選びかた

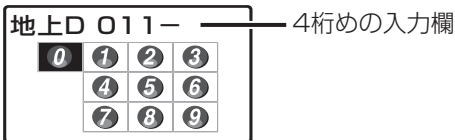
3 桁入力で選ぶ（デジタル放送のみ）

● 3 桁チャンネル番号（デジタルチャンネル一覧 ▶ **60** ページ）を入力しても選局できます。

1 地上D / BS / CS　**デジタル放送の種類を選ぶ**

2 3桁入力　**3 桁入力欄を表示する**
- 繰り返し押して放送の種類を切り換えることもできます。

1 〜 10/0　**3 桁チャンネル番号を入力する**

（例）BSデジタル放送の161チャンネル（BS-iテレビ⑥）を選んでいるとき

- 間違った番号を入力した場合は、3 桁入力ボタンを押してから入力しなおします。

地上デジタル放送の場合は
- 地上デジタル放送でチャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4 桁め（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタン（チャンネルボタン）で枝番を入力します。

ケーブルテレビのチャンネルを選ぶには

● ケーブルテレビ（CATV）放送を視聴するには、CATV 会社との契約が必要です。

● CATV チャンネルは工場出荷時、チャンネルスキップ「する」に設定されています。（解除のしかた ▶ **55** ページ）

● 本機の CATV チャンネルは、C13 〜 C 63 チャンネルの範囲で選局できます。

（例）C23を選ぶとき

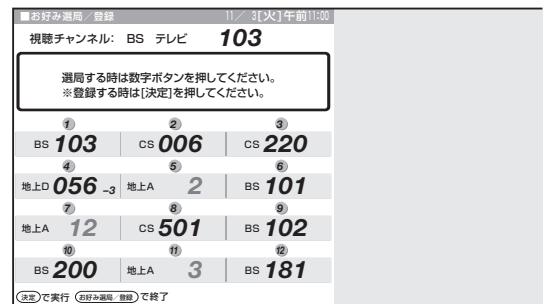
1 CATV　**CATV を選ぶ**

2 2 / 3　**チャンネル番号を入力する**

よく見るチャンネルを登録して選局できるようにする（お好み選局／登録）

● よく見るチャンネルを 12 局まで登録しておき、数字ボタン（チャンネルボタン）で選局できます。

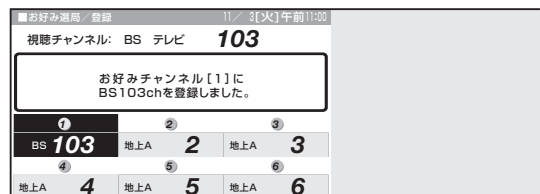
● 地上デジタル、地上アナログ、BS デジタル、110 度 CS デジタルやテレビ、データを混在させた登録ができるので、放送の種類を切り換えずにチャンネルを換えられ、チャンネルが選びやすくなります。

1 お好み選局/登録　**お好み選局／登録画面を表示する**
- お好み選局／登録ボタンはリモコンのフタ内にあります。

2 1 〜 12　**チャンネルを選ぶ**
- 視聴したいチャンネルを直接選局できます。

おしらせ

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する

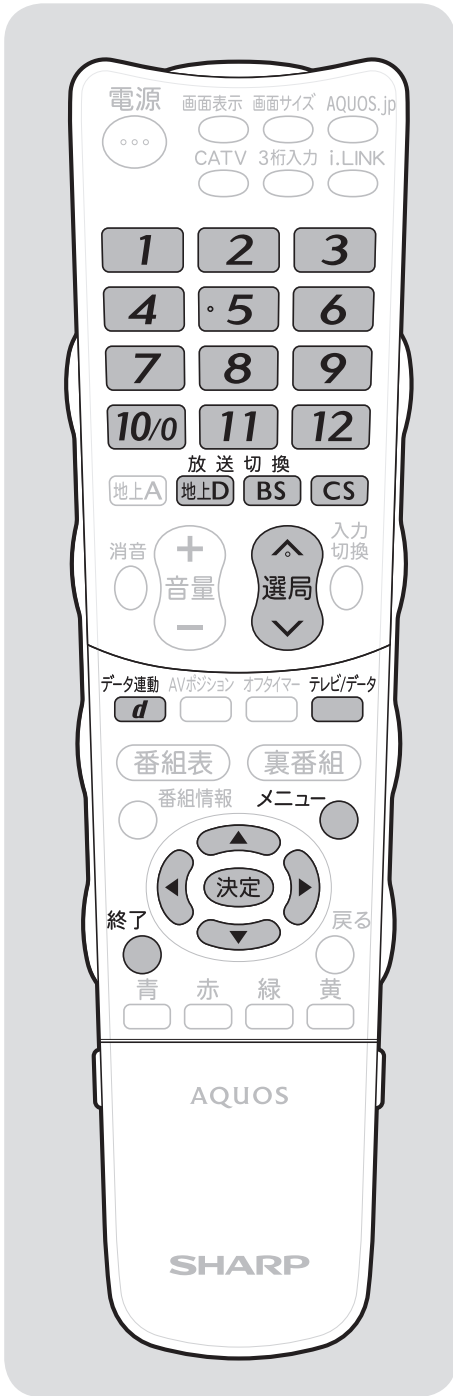
① 登録したいチャンネルを選局する
② お好み選局／登録ボタンを押す
③ 決定を押す
④ 登録したい先の数字ボタン（チャンネルボタン）を押す

（登録例）

⑤ 終了ボタンを押し、画面表示を消す（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

- 登録したチャンネルを変更するには、上記①〜⑤を行って、新たなチャンネルを登録しなおします。
- お好み選局／登録画面は、工場出荷時には地上アナログ放送のチャンネルに設定されています。
- お好み選局／登録ボタンを押して登録されたチャンネルの確認だけを行い、そのまま終了ボタンを押して終了することもできます。

次のページに続く

デジタル放送のチャンネルのボタン番号を確認・変更するときは

● 数字ボタン（チャンネルボタン）の登録内容が確認できます。また、現在の登録を変更することもできます。

登録チャンネルを確認する

押すボタン

1

登録を確認したいデジタル放送を選局する

• 確認したいデジタル放送の種類（地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送）やメディア（テレビ／データ）を選びます。

2

メニューを表示する

3

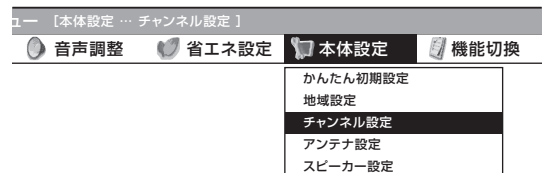
「本体設定」ー「チャンネル設定」を選ぶ

決定する

4

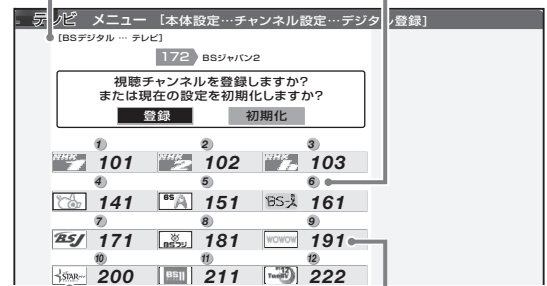
「デジタル登録」を選ぶ

決定する

5

「する」を選ぶ

決定する

• チャンネルの一覧が表示されます。

(例)BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

• 終了する場合は、終了ボタンを押します。

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

チャンネルを登録する

1 登録したいチャンネルを選局する

2 メニュー ○ メニューを表示する

3 「本体設定」ー「チャンネル設定」を選ぶ

決定 決定する

4 「デジタル登録」を選ぶ

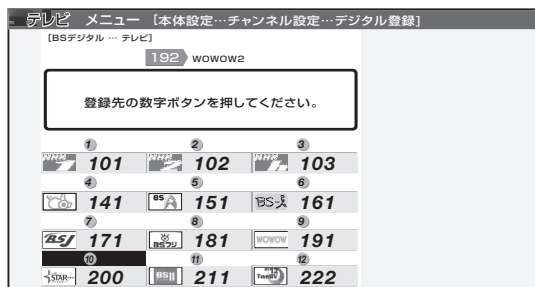
決定 決定する

5 「する」を選ぶ

決定 決定する

6 「登録」を選ぶ

決定 決定する

7 1 ～ 12 登録したい数字ボタン（チャンネルボタン）を押す

- 登録確認画面が表示されます。
- 終了する場合は、終了ボタンを押します。（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

おしらせ

- 登録できるのは、各デジタル放送ネットワーク（地上、BS、CS）の各メディア（テレビ／データ）につき12局までです。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順 **6** で「初期化」を選び、決定ボタンを押します。

独立データ放送の番組から選ぶ

1 BS　BS デジタル放送を選ぶ

2 テレビ/データ　データ放送に切り換える

3 選局　天気予報や株価のチャンネルを選ぶ

連動データ放送（）の番組から選ぶ

押すボタン

1 データ連動 d　デジタル放送の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

2 メニューに表示されている目次から、天気予報や株価の項目を選ぶ

3 決定　決定する

- 操作のしかたは、表示されているメニューの内容によって異なります。

電子番組表(EPG※)で番組を選ぶには

映画や音楽などジャンルごとの番組一覧を表示したり、一週間先までに放送される番組を確認できます。

電子番組表とは

- テレビ画面に表示される番組の一覧表のことを「電子番組表」といいます。
- 地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送では電子番組表が送信されています。デジタル放送の受信中に(番組表)を押すと、電子番組表が表示できます。

※「EPG」とは、Electronic Program Guide のことです。

こんなことができます

		ページ
基本の使いかた	電子番組表で番組を選ぶ	**68 ～ 69**
	番組情報を見る	**68**
	放送中の他の番組(裏番組)を調べる	**67**
番組の便利な探しかた	分類(ジャンル)で番組を探す	**69**
	日時を指定して番組を探す	**69**
電子番組表を活用するための設定のしかた	地上デジタル放送の電子番組表を速く表示させる	**70**
	電子番組表のジャンルアイコンを目立たせる	**70**
	電子番組表の表示のしかたを変える	**71**

電子番組表の見かた

時間帯を縦に表示した場合

(モード 1 の例)

選択中の放送の種類とテレビ/データの種別

選択している日にち

放送局名

チャンネル番号

時間帯

AM:午前
PM:午後

番組名

時間帯を横に表示した場合

(モード 3 の例)

選択中の放送の種類とテレビ/データの種別

選択している日にち

選んでいる番組の情報

選択されているチャンネル

登録されている数字ボタン(チャンネルボタン)の番号

チャンネルロゴ

放送局名

チャンネル番号

番組名

カラーボタンに対応

おしらせ

- 本機で電子番組表を表示できるのは、デジタル放送のみです。
- 電子番組表やメニュー画面などの表示色を変更することができます。（画面表示色設定▶ **86** ページ）
- 本書ではおもに BS デジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。
- 地上デジタル放送の電子番組表は、送信している各チャンネルから取得する必要があります。

電子番組表の表示内容について

表示される情報の期間

- テレビ放送……8 日分
- データ放送……最低 1 日分
- 表示時間………3 時間または 6 時間（表示のしかたによって変わります。▶ **71** ページ）

おしらせ

- 電源を入れてからすぐに番組表ボタンを押すと、番組表の内容が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	録画予約（VHSテープ予約）している番組
	録画予約（ファミリンク[2]（i.LINK）予約）している番組
	録画予約（ファミリンク[1]（標準）予約）している番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止されている番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース／報道		映画
	スポーツ		アニメ／特撮
	情報／ワイドショー		ドキュメンタリー／教養
	ドラマ		劇場／公演
	音楽		趣味／教育
	バラエティ		福祉

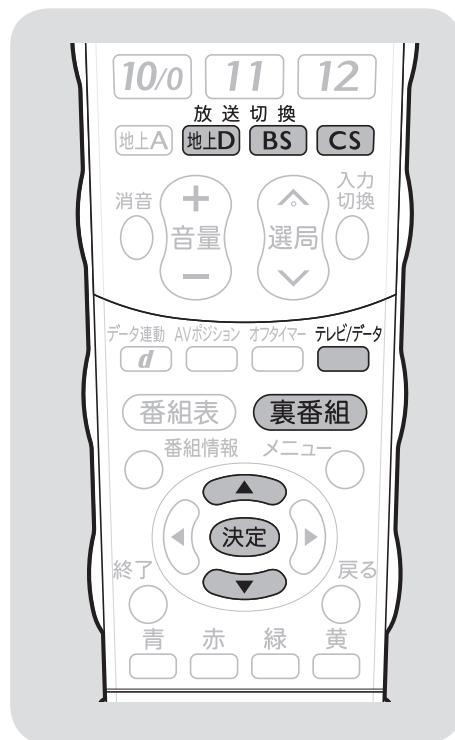
放送中の他の番組（裏番組）を調べる

● 視聴中に（裏番組）を押すと、裏番組を一覧で確認できます。

押すボタン

1 （裏番組） 裏番組表を表示する

テレビ　裏番組表　[BSデジタル … テレビ]　11/ 3 [火] 午前11:30
①101　NHK BS1　午前11:25～午前11:55
街角ステーション

① 101 NHK BS1	街角ステーション
② 102 NHK BS2	純愛ドラマ総集編
③ 103 NHK h	ニッポン温泉巡り
④ 141 BS 日テレ	テレビでお買い物
⑤ 151 BS 朝日1	勇者の食卓
⑥ 161 BS - iテレビ⑥	コレクション F
⑦ 171 BS ジャパン	J-ショップ
⑧ 181 BS フジ･181	らくらくショッピング
⑨ 191 WOWOW	シネマアイ
⑩ 200 スター･チャンネル	ラスト･サプライズ

2 （▲▼） 裏番組を選ぶ

3 （決定） 決定する

- 選んだ番組に切り換わります。

おしらせ

- 地上D･BS･CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ･データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示できます。
- 裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン（地上 D · BS · CS）、テレビ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

次のページに続く

電子番組表の使いかた

1 番組表 電子番組表を表示する

- 放送切換ボタンやテレビ／データボタンで放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。

（モード 1 の例：放送局名の表示は変更になることがあります。）

電子番組表を閉じる

番組表 電子番組表を閉じる

- 通常の画面に戻ります。

番組内容の紹介（番組情報）を見るには

1 内容を確認したい番組を選ぶ

2 青 青ボタン（番組情報を見る）を押す

- 番組情報が表示されます。

- 番組情報案内に従って、カラーボタン、テレビ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

視聴中の番組の情報を見るには

- 視聴中に 番組情報 を押してください。（▶ **76** ページ）

（電子番組表を表示する必要はありません。）

番組表表示中の音声について
- 電子番組表を表示しているときに次の操作をしたときは、一時的に音声が停止します。
  - カーソルボタンで別のチャンネルを選んだとき
  - 放送切換ボタン(地上D·BS·CS)で放送の種類を切り換えたとき
  - 赤ボタンでジャンル検索画面を表示したとき
  - 緑ボタンで日時検索画面を表示したとき
  - 黄ボタンで予約リスト画面を表示したとき

2 見たい番組を選ぶ

(時間帯を縦に表示した場合)

3 決定する
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が表示されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。(予約については ▶ **98** ページをご覧ください。)

おしらせ
- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- 電子番組表の表示方式を切り換えることができます。(▶ **71** ページ)

分類(ジャンル)で番組を探すには

押すボタン

1 赤 赤ボタン(ジャンル検索)を押す

2 ジャンルを選ぶ

時間帯を選ぶ

 決定する

3 見たい番組を選ぶ

 決定する

- 黄ボタンを押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

日時を指定して番組を探す

押すボタン

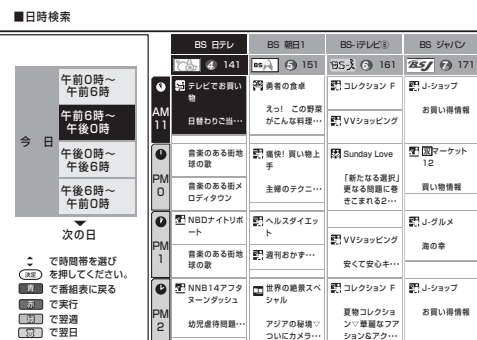
1 緑 緑ボタン(日時検索)を押す

2 時間帯を選ぶ

 決定する
- 緑ボタンと黄ボタンで日にちを変更できます。

3 見たい番組を選ぶ

 決定する

次のページに続く

電子番組表をもっと便利に利用する

● 電子番組表をもっと便利に利用するため、電子番組表の表示内容の設定を変更できます。

地上デジタル放送の電子番組表を速く表示させる

● 番組表取得設定（地上デジタル放送の番組表取得設定）を「する」に設定すると、地上デジタル放送の電子番組表が電源待機中に自動取得されます。自動取得しておくと、電子番組表の表示が速くなります。

1 メニュー　メニューを表示する

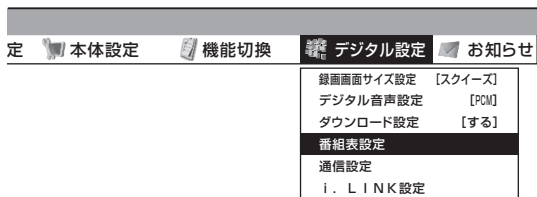
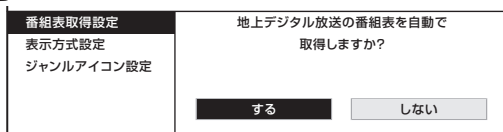
2 「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「番組表取得設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「する」を選ぶ

決定　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

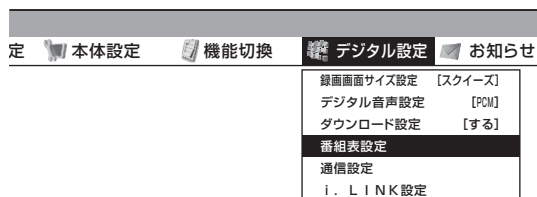
おしらせ

- 番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機が放送局の番組情報を取得しているためです。）また、本体の電源スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

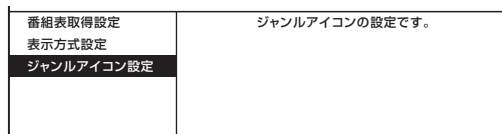
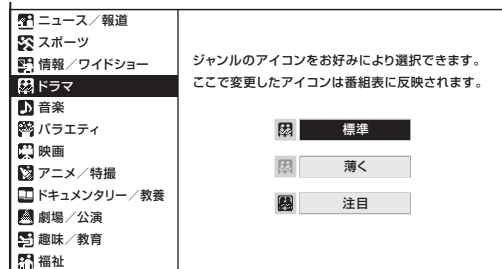
電子番組表のジャンルアイコンを目立たせる

● ジャンルアイコン設定で電子番組表のジャンルを示すアイコン（▶ **67** ページ）に濃淡を付けて、識別しやすくできます。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「ジャンルアイコン設定」を選ぶ

決定　決定する

4 ジャンル名を選ぶ

決定　決定する

5 「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選ぶ

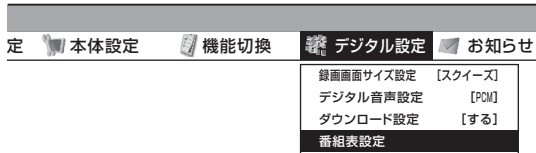
決定　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

電子番組表の並べかたや表示範囲を変える

● 表示方式設定で、番組表に一度に表示できる範囲の設定や、チャンネルの横・縦の設定ができます。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「表示方式設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「モード1」「モード2」「モード3」「モード4」のいずれかを選ぶ

- **「モード 1」**：新聞のテレビ欄のように横に 9 チャンネル分を同時表示します。（工場出荷時には「モード 1」に設定されています。）
- **「モード 2」**：新聞のテレビ欄のように横にチャンネルを並べ表示します。
- **「モード 3」**：縦にチャンネルを並べ横に 6 時間分を表示します。
- **「モード 4」**：縦にチャンネルを並べ横に 3 時間分を表示します。

決定　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

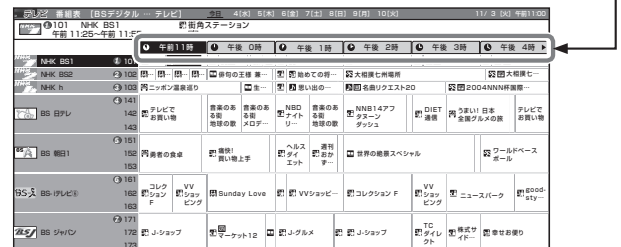
モード 1 の電子番組表の例

時間帯を縦配列

モード 2 の電子番組表の例

時間帯を縦配列

モード 3 の電子番組表の例

時間帯を横に 6 時間分

モード 4 の電子番組表の例

時間帯を横に 3 時間分

- モード 3・4 にしたときも、番組表の操作のしかたはモード 1・2 の場合と同様です。ただしチャンネルを選ぶのは上下カーソルボタン、時間帯を選ぶのは左右カーソルボタンになります。

音声・映像・字幕を切り換える

地上アナログ放送で二重音声放送（二ヶ国語、主音声＋副音声、ステレオ）の番組を見るときは

● 二重音声放送やステレオ放送の番組をご覧のとき、音声を切り換えて楽しめます。

おしらせ

音声の見分けかた

・二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、テレビ画面のチャンネルサインの色で区別することができます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

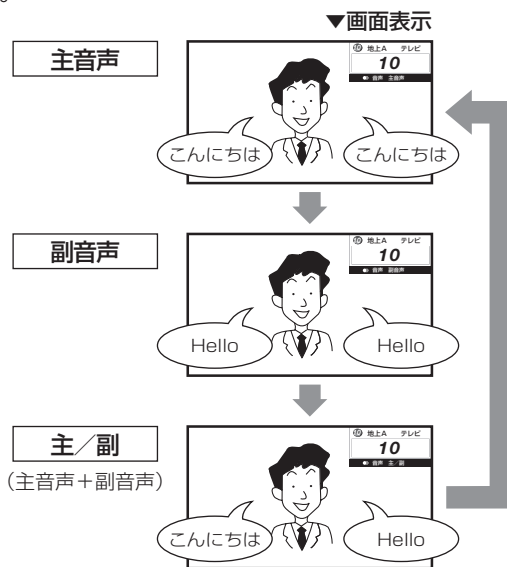
二重音声放送の音声を切り換える

● ニュースや洋画などの二ヶ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の２種類の音声が楽しめます。

押すボタン

お好みの音声を選ぶ

・ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

▼画面表示

音声をモノラルで聞きたいときは

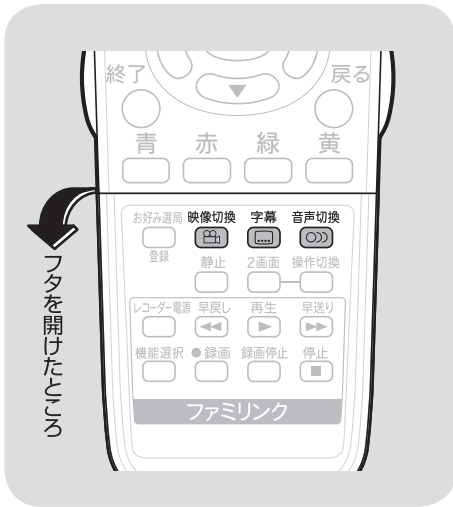
● ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

● 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
テレビ画面右上のチャンネルサインに「モノラル」と表示されます。
ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。

・雑音が多いときは、音声切換ボタンで「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

デジタル放送で映像・音声・字幕を切り換える

- 複数の映像(最大4つ)または音声(最大8つ)がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

おしらせ

音声の選択について

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声 1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「音声 1」で録画します。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

字幕表示設定について

- メニューの「機能切換」－「字幕表示設定」で設定します。

項目	内容
する	・字幕のあるデジタル放送の番組で、字幕を常に表示させます。 ・リモコンフタ内の字幕ボタンを押すと、複数の字幕の切り換えができます。字幕表示は消えません。
しない	・リモコンフタ内の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切と複数の字幕の切り換えができます。(工場出荷時の設定)

複数の映像を楽しむ

押すボタン

映像を切り換える

- ボタンを押すたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

押すボタン

音声切換

音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。

マルチ音声番組のとき　→音声1 → 音声2〜8※ →

※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主 → 副 → 主/副 →

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

押すボタン

字幕を表示する（切り換える）

- ボタンを押すたびに字幕※の表示が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに字幕表示が出ます。(切り換わりかたは、左記の「字幕表示設定」によって変わります。)

※ 放送局から強制的に表示する字幕が送られてくる場合があります。その際は、字幕表示「入」「切」やチャンネルサインに関係なく、字幕を表示します。

- 「字幕表示設定」を「しない」に設定しているとき

字幕が2種類あるとき　→字幕非表示 → 字幕1表示 → 字幕2表示 →

字幕が1種類のとき　→字幕非表示 → 字幕表示 →

- 「字幕表示設定」を「する」に設定しているとき

字幕が2種類あるとき　→字幕1表示 → 字幕2表示 →

字幕が1種類のとき　字幕表示のまま変化なし

2つの映像を同時に見たいときは（2画面機能）

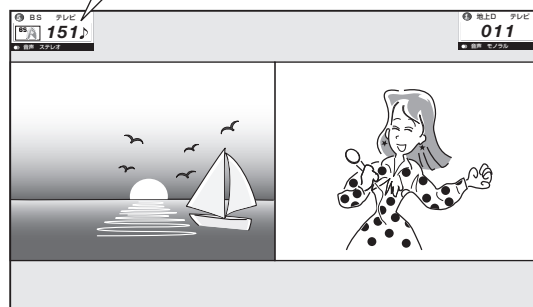
2画面のうち操作する画面を選ぶ

- 本機は2つの異なる映像を同時に表示できます。
- 2画面のとき、「♪」マークのある操作画面は、チャンネルや入力の切り換えと音量調整ができます。

- 2画面表示しているとき、次の操作はできません。
  - メニューの表示
  - 電子番組表の表示
  - i.LINK 操作パネルの表示
  - 画面サイズの切り換え
  - AV ポジションの切り換え
  - 画面の静止
  - お好み選局／登録

1 2画面を表示する

操作できる画面の上に、「♪」マークが表示されます。この画面の音声が聞けます。

（2画面の表示例）

- 2画面表示中に録画予約または視聴予約が開始されたときは、1画面（操作画面）に戻ります。

2 選局する

- 放送切換ボタンを押して放送を選びます。
- 地上アナログ放送（地上A）を選局するときは、手順**3**で操作画面を左側にしてください。
- 操作画面の番組は、数字ボタン（チャンネルボタン）または選局（∧順／∨逆）ボタン（緑）で選局できます。
- 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

3 操作画面を切り換える

- 押すたびに、「♪」マークが左／右に移動して、操作画面が切り換わります。

「♪」マークのある操作画面の音量を調整する

- ヘッドホン接続時、非操作側画面（「♪」マークのない側の画面）の音声を聞くことができます。（▶ **86** ページ）

4 1画面に戻す

- 「♪」マークのある画面が1画面表示されます。
- 右画面は、最後に右画面で選局していたチャンネルまたは外部入力が保持されます。

- 2画面機能を入／切すると、まれに画面や録画出力の映像が一瞬途切れた状態になることがあります。
- ハイビジョンの映像（1080i、720p、1080p）を2画面にしたときは16：9表示になります。
- 視聴予約していた番組が始まると、2画面表示が解除され、視聴予約をしていた番組が1画面に表示されます。
- 右画面に「♪」があるときに2画面を解除した場合は、再度2画面表示にすると、前回右画面で表示されていたチャンネルが両画面に表示されます。

2 画面の組み合わせ

● 2 画面機能で表示できる画面は、画面の左右、放送や入力によって異なります。

（地上A＝地上アナログ、地上D＝地上デジタル）

		右画面			
		地上A	地上D	BS/CS	外部入力※1･2･5
左画面	地上A	×	○	○	○
	地上D	×	○※4	○※4	○
	BS／CS	×	○※4	○※4	○
	外部入力※5･6	×	○	○	○※3

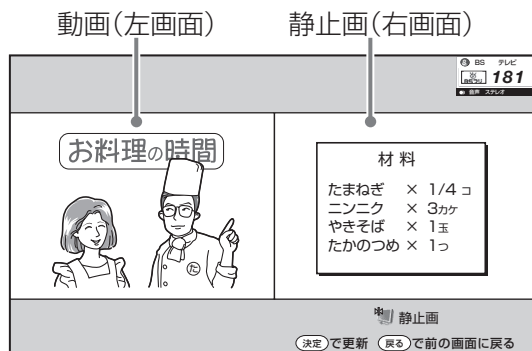
※ 1 右画面には 480i 信号（地上アナログ放送と同じ画質）のみ表示できます。外部入力で高解像度信号（480p/1080i/720p/1080p）が入力されている場合は、表示できません。ただし、i.LINK 入力は表示できます。
※ 2 入力 1、2、3 は左画面のみです。
※ 3 同じ外部入力どうしの 2 画面表示はできません。
（HDMI と DVI 入力の組み合わせの場合も 2 画面表示できません。）
※ 4 デジタル放送どうしの 2 画面のときは、データ放送画面は左画面のみ表示されます。データ放送を表示できる画面には「♪」マークの隣に「d」マークが表示されます。
※ 5 入力 7 は 2 画面表示できません。
IrSS™、ホームネットワークのときは 2 画面表示できません。
※ 6 入力 1、2、3 は、PC の信号が入力されている場合は表示できません。

見ている画面を静止させる

● いま見ている放送や映像を静止できます。
料理番組のメモをとったりするときに便利です。

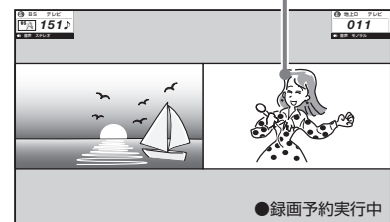
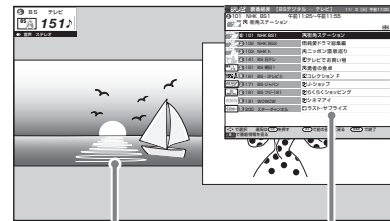
視聴中に映像を静止させる

• 動画と静止画の 2 画面になります。

動画（左画面）　静止画（右画面）

• 静止画表示中に決定ボタンを押すと、そのときに表示されていた動画が新しい静止画として表示されます。
• 1 画面に戻すには戻るボタン、終了ボタンまたは静止ボタンを押します。

おしらせ

• 録画予約実行中、デジタル固定中、i.LINK 録画中に 2 画面にすると、録画中の画面が右側に表示されます。右側の画面を他の放送や外部入力に切り換えることはできません。（右側の画面を操作画面にしているときに選局などの操作をすると、「予約を解除しますか？」という画面を表示します。）

録画予約実行中、デジタル固定中、i.LINK録画中

• テレビとインターネットを同時に表示することもできます。（▶ **156** ページ）
• 2 画面表示中も、裏番組ボタンを押すと裏番組表（▶ **67** ページ）を表示できます。

操作画面　操作画面の裏番組表

• 裏番組表で見たい番組を選んで決定ボタンを押すと、操作画面が選んだ番組になります。

おしらせ

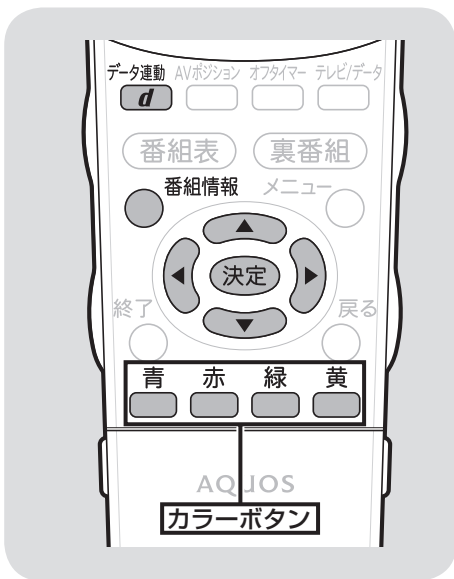
• 次の場合は、静止画が解除されます。
・選局や入力切換の操作をしたとき
・メニューボタンを押したとき
・i.LINK ボタンを押したとき
・映像を静止してから 30 分経過したとき
• 静止画表示中は画面サイズや AV ポジションの切り換えや、番組表、裏番組、番組情報の表示はできません。

次のページに続く

番組に連動したデータ放送を見る

● テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、連動データ放送が視聴できます。

おしらせ

・電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約20 秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

データ放送画面を表示する

データ連動

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（例）

・テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

データ放送画面の基本操作

● データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

● 例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

見ているデジタル放送の番組の詳細を知りたいときは

● デジタル放送の番組視聴中に番組情報が表示できます。

番組名表示設定

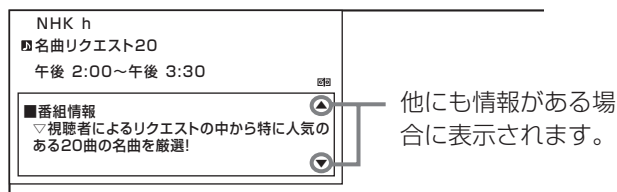
・選局したときに番組名を表示するようにも設定できます。
・メニューの「機能切換」－「番組名表示設定」で設定します。

項目	内容
する	番組を選局したときに番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。
しない	何も表示しません。

番組情報

デジタル番組の視聴中に番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

他にも情報がある場合に表示されます。

・番組情報の右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで表示の送り・戻しができます。
・番組情報を消すときは、もう一度番組情報ボタン、または終了ボタンを押します。

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れるには（オンタイマー設定）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。設定すると、本体のオンタイマー／予約ランプが赤色に点灯します。
- メニューの「機能切換」－「オンタイマー設定」で設定します。設定する場合は、「オンタイマー」を「入」にして、以下の各項目を設定します。
- オンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合には、右記の「時刻設定」で合わせてください。

項目	内容
オン時刻（時）	タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。
オン時刻（分）	タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。
オン入力	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示される放送の種類（地上A、地上D、BS、CS）または入力を選びます。入力6は、「入力6端子設定」（▶**102**ページ）が「入力」に設定されているときのみ選べます。
オン CH	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示されるチャンネルを選びます。
音量	タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0～60の範囲で選べます。

おしらせ

- オンタイマーで外部入力を使用する場合には、あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。
- お出かけになるときなどオンタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は、本体の電源スイッチで電源を切るか、オンタイマーを解除し、オンタイマー／予約ランプの色を確認してください。
- 一度オンタイマーを「入」にすると「切」にするまで毎日繰り返しオンタイマーが働きます。
- オンタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）

時刻が合っていないときは（時刻設定）

- 画面に現在時刻を表示したり、指定した時刻に電源を自動的に入れるオンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計を正しい時刻に合わせる必要があります。

自動時刻設定機能について

- デジタル放送を受信している場合は、自動的に時刻が設定されます。

  デジタル放送が受信できないなど、自動設定されないときは、下記の手動設定を行ってください。

手動で時刻を設定する

- メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定します。

おしらせ

- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は12時間表示です。
- 設定後、現在時刻を確認したいときは、時刻表示（▶**78**ページ）を「する」に設定したあと、画面表示ボタンを押してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電が起きた場合、時刻情報は消去されます。この場合は、時刻設定をしなおしてください。

（例）午前10時30分に合わせる

1 **上下カーソルボタンで「午前10」時に合わせる**

2 **右カーソルボタンを押す**

3 **上下カーソルボタンで「30」分に合わせ、決定ボタンを押す**

はじめに
準備
番組を見る
他の機器で録画・再生
ファミリンクで録画・再生
本機の機能活用
インターネットを楽しむ
写真の表示と印刷
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

次のページに続く

電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くする（クイック起動設定）

● リモコンで電源を「入」にしてからの本機の起動時間を短くします。

● メニューの「本体設定」－「クイック起動設定」で設定します。

項目	内容
しない	クイック起動しません。
する（常に有効）	電源切時に常に有効にします。「しない」のときより待機時の消費電力が増えます。
する（2 時間のみ有効）	電源切後 2 時間のみ有効にします。「する（常に有効）」のときより、待機時の消費電力が抑えられます。

おしらせ

・ クイック起動設定を「する」に設定した場合は、待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。

時刻を表示するには（時刻表示）

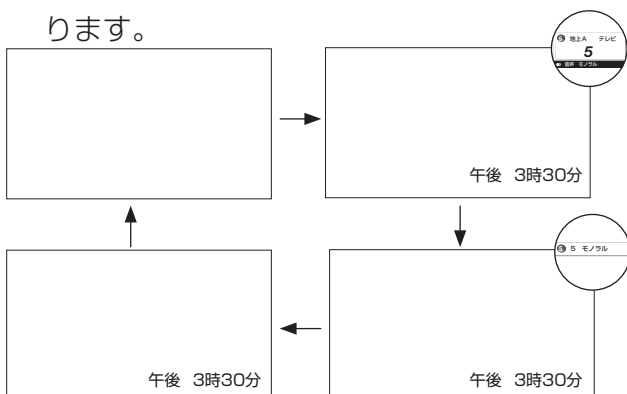
重要

・ デジタル放送が受信できないなど、時刻が自動設定されないときは、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で時刻を合わせておいてください。（▶ **77** ページ）

時刻表示のしかたを選ぶ

● メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻表示」で設定します。

項目	内容
する	画面表示ボタンを押すたびに、現在時刻を表示／非表示にします。
する（30 分ごと）	毎時 00 分と 30 分に現在時刻を表示します。
しない	表示しません。

●「する」に設定したときは、画面表示ボタンを押すごとに、以下のように表示が変わります。

16：9 映像を録画機器で録画するときは（録画画面サイズ設定）

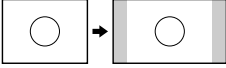
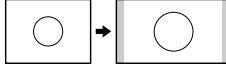
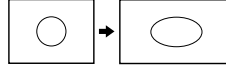
● 本機で受信したデジタル放送の 16：9 映像を録画機器に録画するときの画面サイズを設定できます。

● メニューの「デジタル設定」－「録画画面サイズ設定」で設定します。

項目	内容
レターボックス	4：3 のテレビで見たとき、画面の上下に黒い幕が入った元の映像と同じ 16：9 映像を表示します。
スクイーズ	4：3 のテレビで見たとき、横方向に圧縮された映像になります。

おしらせ

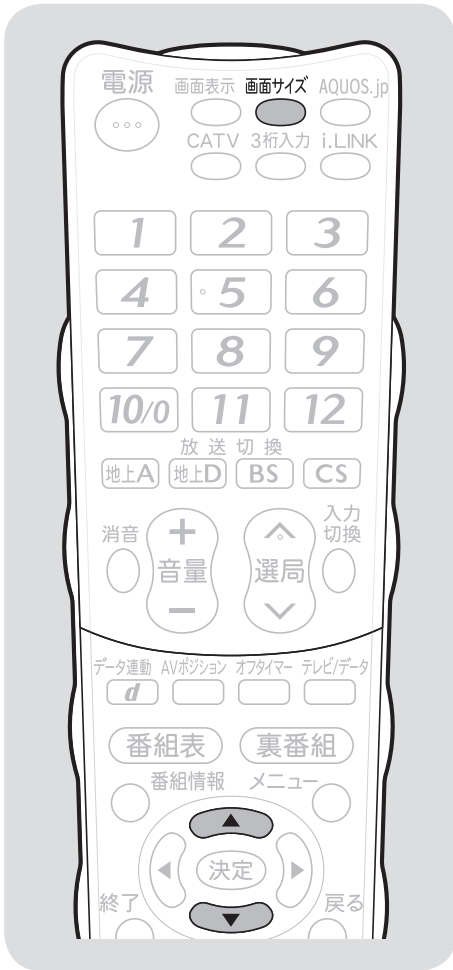
・ 録画した映像を 4：3 のテレビで見る場合に必要な設定です。本機で見る場合は 16：9 映像のまま見ることができますので、設定を変える必要はありません。
・ テレビ視聴時に設定できます。
・ 録画予約実行中、デジタル固定中は設定できません。

画面の位置がずれているときは（位置調整）

● メニューの「本体設定」－「位置調整」で設定します。（インターネット閲覧時はできません。）

項目	内容
水平位置	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
垂直位置	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
リセット	工場出荷時の状態に戻します。

映像の左右に黒帯が出たり上下幅が変わるときは（画面サイズ）

- 画面サイズを切り換えて、映像の左右や上下の幅を変えることができます。
- 映像の種類（▶**95**ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

ノーマル	スマートズーム	ワイド
通常のテレビ（4：3サイズ）の映像をそのまま映します。	通常の4：3映像をより自然に拡大して映します。	通常の4：3映像を画面いっぱいに映します。
Dot by Dot/アンダースキャン	**フル**	**シネマ**
入力信号どおりの映像で映します。 16:9　16:9	16：9から4：3に圧縮された映像を元の16：9に戻して画面いっぱいに映します。	シネスコまたは16：9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

押すボタン

1 画面サイズ **画面サイズ切換メニューを表示する**

- 表示中に次の操作を行います。

2 画面サイズ **お好みの画面サイズを選ぶ**

- 上下カーソルボタンでも選べます。

画面サイズ切換
ノーマル
スマートズーム
ワイド
シネマ
フル

映像の種類	選択できる画面サイズ
480i 地上アナログ放送 ビデオ映像など 480p	→ノーマル→スマートズーム→ワイド→シネマ→フル→
1080i ハイビジョン	→フル1→フル2（1035i）※→Dot by Dot→スマートズーム→ワイド→シネマ→
1080p ハイビジョン	→フル→Dot by Dot→スマートズーム→ワイド→シネマ→
720p ハイビジョン	→フル→アンダースキャン→スマートズーム→ワイド→シネマ→

※1035iは、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。

重要

- 本機の画面サイズ切換機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を、画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換え、位置調整（▶**78**ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（オートワイド機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

次のページに続く

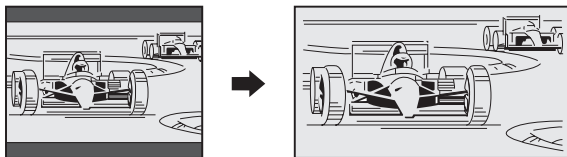
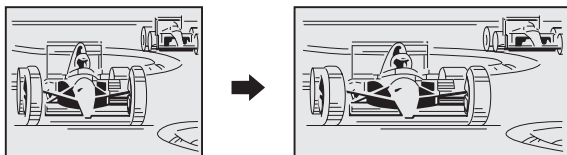
映像を自動で最適な大きさに切り換える／画面の大きさが勝手に変わるのを防ぐ（オートワイド機能）

● オートワイド機能は、オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示する機能です。デジタル放送視聴時は選択できません。

項目	内容
映像判別	受信している地上アナログ放送や入力1～6から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」（▶ **79** ページ）にします。
S2 対応 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	入力6のS2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。
D 端子識別 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	入力4・5・6のD映像端子と外部機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D-コンポーネント変換ケーブルのときはD端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
HDMI 識別	入力1・2・3から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってはオートワイド機能が働かない場合があります。
- 映像判別は、D端子から入力された映像が480p、1080i、720p、1080pの場合は働きません。また、HDMI端子から入力された映像が、1080i、720p、1080pの場合も働きません。
- S2対応を設定しても、入力された映像によっては最適な画面サイズにならない場合があります。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像の場合

横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)の場合(映像判別を除く)

画面が大きくなったり小さくなったりするときは

- オートワイド機能が働いているときに、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
  これは最適な画面サイズを探すために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、手順 **4** ～ **5** ですべての項目の設定を「しない」にしてください。

1 設定したい放送や入力に切り換える

映像判別を設定するとき
- 地上アナログ放送を選局するか、入力1～6に切り換えます。

S2 対応を設定するとき
- S端子ケーブルをつないだ入力6に切り換えます。

D 端子識別を設定するとき
- D端子ケーブルをつないだ入力4・5・6に切り換えます。

HDMI 識別を設定するとき
- HDMIケーブルをつないだ入力1・2・3に切り換えます。

2 メニュー　メニューを表示する

3 「本体設定」－「オートワイド」を選ぶ

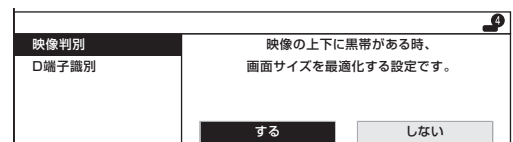
決定する

4 設定したい項目を選ぶ

決定する

5 「する」を選ぶ

決定する

（例）映像判別の場合

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

映画やゲームなどに適した映像・音声にする(AVポジション)

おしらせ

- AV ポジションの「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「ダイナミック」は、映像調整（▶ **82** ページ）を行うと、行った調整が反映されたまま記憶されます。入力切換を行っても、「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「ダイナミック」は、それぞれ記憶された設定で調整されます。
- 入力ごとに個別の調整を用意したいときは、「AV メモリー」で設定してください。
- AV ポジションは入力ごとに別のものを選べます。（例えば、テレビは「標準」、入力 1 は「ダイナミック」など）ただし、i.LINK 入力のときはテレビのときと同じ AV ポジションになります。
- 「PC」は入力 1 ～ 3、入力 7 選択時に表示されます。
- インターネット、IrSS™、ホームネットワークの画面のとき、「映画」と「ゲーム」は選べません。

項目	内容
標準 （工場出荷時の設定）	映像や音声の設定がすべて標準値になります。
映画	コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。 すばやい反応を要求されるゲームの場合は、このモードでお使いください。
PC	PC 用の画面モードです。
AV メモリー	入力ごとにお好みの調整内容を記憶できます。
ダイナミック（固定）	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。 この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。
ダイナミック	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。

押すボタン

1 AVポジション AV ポジションを表示する

- 画面左下に現在のAV ポジションが表示されます。

A Vポジション：標準

AVポジション表示

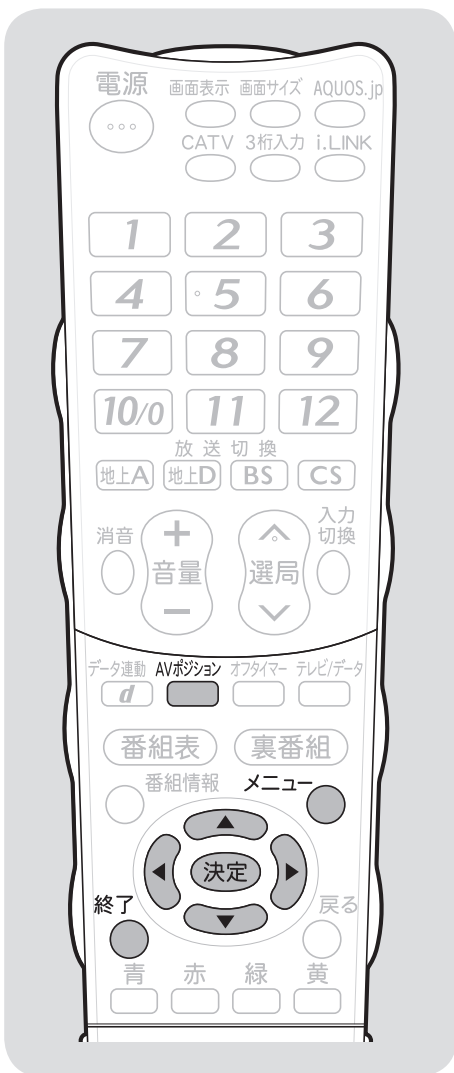
2 AVポジション 表示が出ている間に再び AV ポジションボタンを押し、お好みの設定を選ぶ

- ボタンを押すたびに、AV ポジションが次のように切り換わります。

標準 → 映画 → ゲーム → PC → AVメモリー → ダイナミック(固定) → ダイナミック → 標準

次のページに続く

画面の明るさや色を変えるには（映像調整）

● 選択している AV ポジションの映像を調整できます。

項目	内容
明るさセンサー	室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを設定します。 明るさセンサーの動作する明るさの範囲を手動で調整することもできます。 （明るさセンサー設定 ▶ **83** ページ）
明るさ	画面をお好みの明るさに調整します。調整すると明るさセンサーは「切」になります。
映像	映像の強弱を調整します。
黒レベル	画面を見やすい明るさに調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色あい	肌色を調整します。
画質	画面をお好みの画質に調整します。
プロ設定	映像をさらにきめ細かく調整します。（▶ **83** ページ）
リセット	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

押すボタン

1 AVポジション　映像調整をしたい AV ポジションを選ぶ

2 メニュー　メニューを表示する

3 「映像調整」を選ぶ

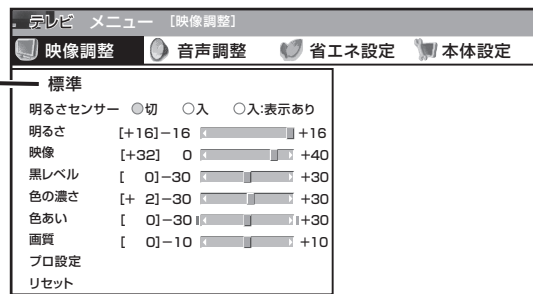
・選択中の AV ポジションが表示されます。
この画面から AV ポジションボタンを押して AV ポジションを切り換えることもできます。

4 調整したい項目を選ぶ

5 「プロ設定」以外を設定する場合
左右カーソルボタンでお好みの設定にする

「プロ設定」を設定する場合

決定ボタンを押し、画面に従って操作する

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・AV ポジションごとに、お好みの映像調整を記憶できます。先に A V ポジション（▶ **81** ページ）を選んでから映像調整してください。

AV ポジションによる違いについて

・「ダイナミック（固定）」では、調整できません。
・「AV メモリー」は、入力ごとの調整となります。
・その他の AV ポジションで映像調整を行うと、すべての入力でその結果が有効になります。

映像調整の各項目の設定範囲については、▶194・196ページをご覧ください。

プロ設定の項目

「プロ設定」の各項目の設定範囲については、「メニュー項目の一覧」
（▶ **194**・**196** ページ）をご覧ください。

項目	内容
カラーマネージメント※	色の構成要素となる 6 つの系統色および肌色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。
色温度	青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。また、色温度ごとに R ゲイン、G ゲイン、B ゲインの値を変えて、ホワイトバランスを微調整することができます。
ディテール強調	微小信号レベルを検出し、細部を強調します。
QS 駆動（120Hz）	• **アドバンス**（120Hz 駆動）：通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、より滑らかに表示します。また、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 • **スタンダード**：動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 • **しない**：QS 駆動を停止します。
アクティブコントラスト	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「リビングルーム」「シアタールーム」「スタンダード」「しない」の 4 つの中から選べます。
ガンマ設定	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を、あらかじめ設定されている 4 つの中から選べます。
Ｉ／Ｐ設定	「動画より」の設定（通常のテレビ放送やビデオなどをきめ細かい映像で楽しむモード）と「静止画より」の設定（静止画やグラフィックなどの画像を、チラツキのない滑らかな映像で楽しむモード）を切り換えます。 元がプログレッシブの映像（480p、720p、1080p）および PC 信号入力では、選択できません。
フィルムモード	フィルム収録のＤＶＤなど、元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生します。 ＡＶポジションが「ゲーム」のとき、元がプログレッシブの映像（480p、720p、1080p）および PC 信号入力では、選択できません。
3 次元ノイズリダクション	ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。
MPEG ノイズリダクション	デジタル圧縮で発生したブロックノイズや文字のエッジ部分に発生しやすいモスキートノイズを低減します。
3 次元設定	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、選択できません。
モノクロ	白黒映像にします。
明るさセンサー設定	明るさセンサー「入」時の、稼動範囲の上限と下限をおこのみの値に設定できます。 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲が少ない場合は、明るさセンサーが働きません。

プロ設定を工場出荷時の設定に戻したいときは

- ▶ **82** ページの手順 **4** で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

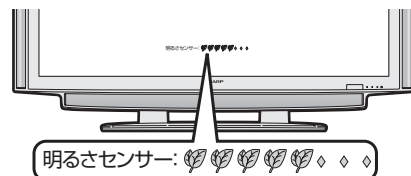
※ カラーマネージメントの調整項目について
例: 色相の調整の場合

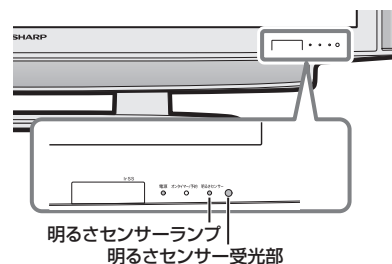
系統色	調　整 −30……0……+30
R(赤)	マゼンタに近づく⟷黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく⟷緑に近づく
G(緑)	黄に近づく⟷シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく⟷青に近づく
B(青)	シアンに近づく⟷マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく⟷赤に近づく
肌色	マゼンタに近づく⟷緑に近づく

おしらせ

- 「QS 駆動（120Hz)」の設定を「アドバンス」または「スタンダード」にすると映像が乱れる場合があります。その場合は「しない」にしてください。
- QS 駆動の設定を「アドバンス」にしても、映像によっては効果が分からないことがあります。

明るさセンサーを「入：表示あり」にすると

- 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。

メニューや音量表示中、消音中は表示されません。

- 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。
- 明るさセンサーを「入」または「入：表示あり」に設定すると、明るさセンサーランプが点灯します。

画面のチラつきやざらつきを抑えてすっきりさせるには

- 左記の「プロ設定」の「3 次元ノイズリダクション」や「MPEG ノイズリダクション」を「強」または「弱」に設定してみてください。

次のページに続く

お好みの音質にするには（音声調整）

- 選択しているAVポジションの音声を調整できます。
- お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

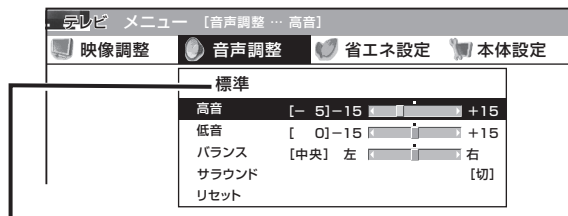
項目	内容
高音	高音を調整できます。
低音	低音を調整できます。
バランス	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
サラウンド	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンド空間を実現します。
リセット	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

押すボタン

1

音声調整をしたいAVポジションを選ぶ

2 メニュー **メニューを表示する**

3 **「音声調整」を選ぶ**

- 選択中のAVポジションが表示されます。
  この画面からAVポジションボタンを押してAVポジションを切り換えることもできます。

4 **調整したい項目を選ぶ**

5 **「高音」「低音」「バランス」を設定する場合**
お好みの設定にする

「サラウンド」を設定する場合

決定ボタンを押す

「入」または「切」を選ぶ

決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 次の場合は音声調整が行えません。
  - AVポジションを「ダイナミック（固定）」にしているとき
  - ヘッドホンを接続しているとき（「ヘッドホン設定」が「モード2」のときを除く）
  - 入力6端子設定を「モニター出力（可変）」に設定しているとき
  - ファミリンク機能選択メニューで「AQUOSオーディオで聞く」に設定しているとき
  - IrSS™モードのときはサラウンドの設定ができません。
- ヘッドホンで音声を聴いているときは、サラウンドの効果が得られません。
- 入力6／モニター出力（録画出力）端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
- 放送やDVDなどのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。その際はサラウンドを「切」にしてお楽しみください。
- ＡＶポジションごとに、お好みの音声調整を記憶できます。先にＡＶポジション（▶ **81** ページ）を選んでから音声調整を行ってください。

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
  左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

音声調整の設定範囲については、▶194ページをご覧ください。

部屋や置きかたに適した音質を選ぶには

● この機能は、当社が開発した視聴環境に適した音質の設定機能です。

おしらせ
- 視聴環境設定は、一般的な洋室、寝室、和室を目安に音を設定していますが、部屋によっては効果が分かりにくい場合があります。その場合は、音声調整（▶**84** ページ）で調整してください。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「本体設定」－「スピーカー設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 決定 **「視聴環境設定」で決定する**

4 **「個別設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

視聴環境設定

個別設定することで、本機を設置した部屋や設置場所に合わせたサウンドに設定します。

［現在の設定］

ユーザー選択 ：個別設定
部屋の種類 ：洋室
設置場所 ：コーナー置き

標準 個別設定

- 「標準」は、設定オフの状態になります。

5 **視聴している部屋の種類を選ぶ**

決定 **決定する**

洋室	フローリングの床のように反響の大きい部屋の場合に選びます。
寝室	ベッドなどの音声を吸収するものがある部屋の場合に選びます。
和室	畳部屋で音声を吸収する大きな家具がない部屋の場合に選びます。

6 **本機の設置場所を選ぶ**

決定 **決定する**

壁寄せ	部屋の壁面に平行に設置している場合に選びます。
コーナー置き	部屋の角に設置している場合に選びます。
壁掛け	専用の壁掛け金具で、部屋の壁に設置する場合に選びます。（▶**203**ページ）

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

映像の向きを変えるには（映像反転）

● 映像を反転して映せます。映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利です。

● メニューの「本体設定」－「映像反転」で設定します。

● 決定ボタンを押さなくても、選択しただけで画面が反転します。

項目	内容
しない	通常の表示にします。（工場出荷時の設定） ABC
左右反転	左右を反転します。 ABC（左右反転表示）

おしらせ
- メニューも反転表示されます。
- 音声は左右反転しません。

映像を消して音声だけを聞くときは（映像オフ）

● メニューの「機能切換」－「映像オフ」で設定します。

項目	内容
する	映像を消して、音声だけを楽しめます。
しない	映像と音声を楽しむ通常の状態にします。

- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは
- 選局ボタン（緑）を押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。

次のページに続く

ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変えるには

● ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「機能切換」ー「ヘッドホン設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

ヘッドホン使用時の音声出力を切り換えます。

モード1	ヘッドホンからのみ音声が出力されます。（スピーカーからは音が出ません）
モード2	ヘッドホンとスピーカーの両方から同じ音声が出力されます。
モード3	1画面時はヘッドホンからのみ出力され、2画面時は操作側音声がスピーカーから出力され、非操作側音声がヘッドホンから出力されます。

3 **「モード 1」「モード 2」「モード 3」のいずれかを選ぶ**

決定　**決定する**

1 画面でヘッドホンを使用しているとき

項目	スピーカー	ヘッドホン
モード 1（スピーカーから音を出さない）	×（出力されません）	見ている画面の音声
モード 2（スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむ）	見ている画面の音声	見ている画面の音声 ※
モード 3（スピーカーから音を出さない）	×（出力されません）	見ている画面の音声

※「モード 2」ではヘッドホンをつないだときに、消音ボタンでヘッドホン出力を停止できません。

2 画面でヘッドホンを使用しているとき

項目	スピーカー	ヘッドホン
モード 1（スピーカーから音を出さない）	×（出力されません）	操作画面（「♪」マークのある側）の音声
モード 2（スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが同じ画面の音声を一緒に楽しむ）	操作画面（「♪」マークのある側）の音声	操作画面（「♪」マークのある側）の音声 ※
モード 3（ヘッドホンとスピーカーで別々の画面の音声が楽しめる）	操作画面（「♪」マークのある側）の音声	非操作画面の音声 ※

※「モード 2」「モード 3」ではヘッドホンをつないだときに、消音ボタンでヘッドホン出力を停止できません。

おしらせ

・1 画面で「モード 2」を選んでいるときや、2 画面で「モード 2」または「モード 3」を選んでいるときは、スピーカーの音量を変えるにはリモコンの音量ボタン（青）を、ヘッドホンの音量を変えるには本体側面の音量ボタンを操作します。
・2 画面で本体側面の選局ボタン・入力／放送切換（決定）ボタンを押すと、操作画面側が切り換わります。

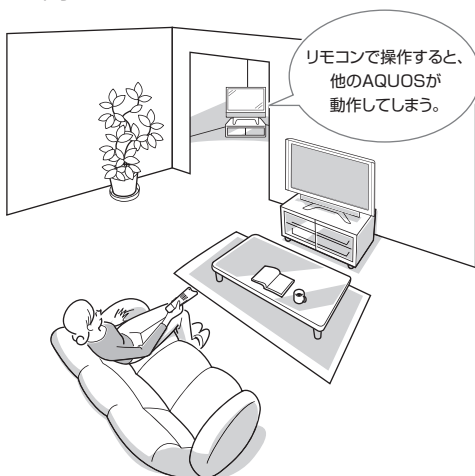
2画面で「モード3」を選んだとき

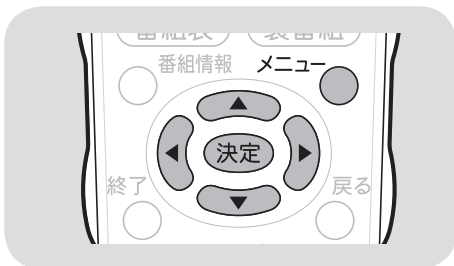
番組表やメニューなどの配色を変えるには（画面表示色設定）

● 番組表、裏番組表、番組情報、メニュー画面、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面、AQUOS.jp 画面、お好み選局画面などの表示色を、「ブルー系」「グレー系」「レッド系」「グリーン系」の 4 種類から選ぶことができます。

● メニューの「機能切換」－「画面表示色設定」で設定します。

2台のAQUOSをそれぞれのリモコンで操作するには

- 2台のAQUOSを近くに設置している場合に、リモコンの操作でAQUOSが2台とも動作してしまう場合があります。このとき、リモコン番号の設定を行うと他のAQUOSの動作を防ぐことができます。

リモコン番号について

- リモコン番号には「1」「2」「0」があり、リモコン側のリモコン番号と本体側のリモコン番号を合わせると、リモコンで本体が操作できるようになります。
- 2台のAQUOSを近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他のAQUOSと異なる番号に設定してお使いください。例えば、他のAQUOSが「1」なら本機は「2」にします。
- 「0」は本機以外のAQUOSが操作できない場合に使用します。

おしらせ

- 工場出荷時の設定は、本機・リモコンともリモコン番号「1」です。

本機のリモコンで本機以外のAQUOSも操作できます

工場出荷時の設定では本機のリモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で本機以外のAQUOSを操作できない場合があります。この場合は、リモコン背面のリモコン番号切換スイッチの位置を「0」に切り換えます。（操作できないAQUOSもあります。）

本体とリモコンのリモコン番号を設定する

重要

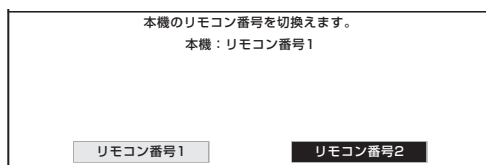
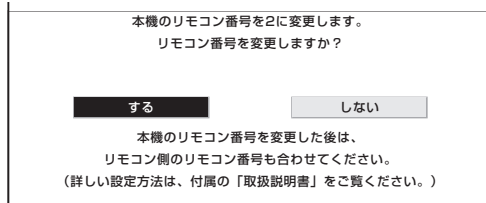
- 先にリモコン側のリモコン番号を変更すると、リモコンで本体の設定が行えません。

◆本体側の切り換え

押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

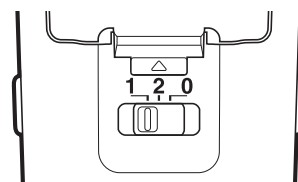
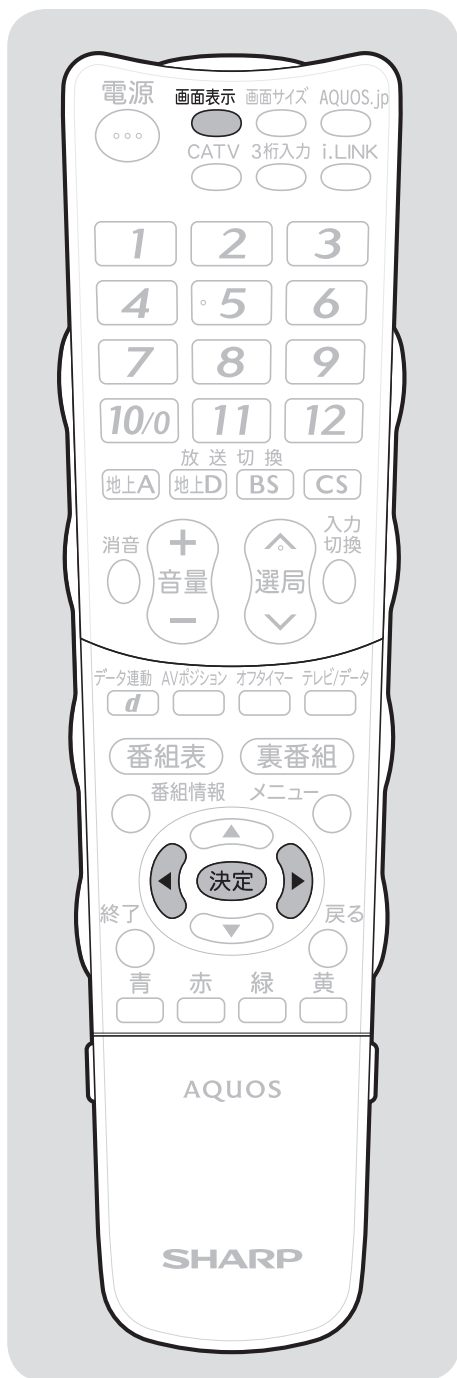
2 「本体設定」－「リモコン番号設定」を選ぶ
決定　決定する

3 「リモコン番号 1」または「リモコン番号 2」を選ぶ
決定　決定する

4 「する」を選ぶ
決定　決定する

おしらせ

本体のボタンで、本体のリモコン番号を設定するには

① 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを5秒間押すと切換メニューが表示されます。
② 本体の音量（＋／－）ボタンで「リモコン番号 1」または「リモコン番号2」を選択します。
③ 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを押して決定します。

◆リモコン側の切り換え

- リモコン背面のリモコン番号切換スイッチの位置を「1」または「2」に切り換えます。

本体のリモコン番号をリモコンに合わせる

● リモコンと本体のリモコン番号が異なるとき、本体をリモコンのリモコン番号に合わせることができます。

押すボタン

1 画面表示 **5 秒以上押し続ける**

・本体のリモコン番号変更画面が表示されます。

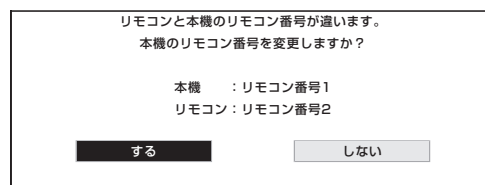
2 **メッセージを確認し、「する」を選ぶ**

決定 **決定する**

▼本体のリモコン番号変更画面

リモコンと本機のリモコン番号が違います。
本機のリモコン番号を変更しますか？

本機　　：リモコン番号1
リモコン：リモコン番号2

する　しない

・リモコン番号切換メニューが表示され、番号切換ができます。
・設定されているリモコン番号が本体とリモコンとで異なっている場合、リモコンボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号が異なります」と表示されます。

おしらせ

・本体のリモコン番号変更画面が表示されてから、約 10 秒以内に操作を行ってください。約 10 秒を経過すると、画面が消えます。

個人情報を初期化したときは

・個人情報を初期化すると、本体側のリモコン番号は「1」に戻ります。

他の機器をつないで録画・再生する

ビデオデッキやハードディスク・DVD(HDD/DVD)レコーダーで録画・再生する

AQUOSレコーダーで録画・再生する(ファミリンク機能を使う)

ハイビジョン録画対応の i.LINK 端子付き録画機器で録画・再生する(AQUOSレコーダー以外の機器)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどを再生する

ビデオデッキや DVD プレーヤーをつなぐ

- お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

おしらせ

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（㊥黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。
- 映像の種類と画質について ▶ **95**・**204** ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- **ゲーム機との接続については、140 ページをご覧ください。**

- HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ 1 HDMI ケーブルは、必ず市販の HDMI 規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

※ 2 入力 6 の S2 映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定できます。（S2 対応 ▶ **80** ページ）

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

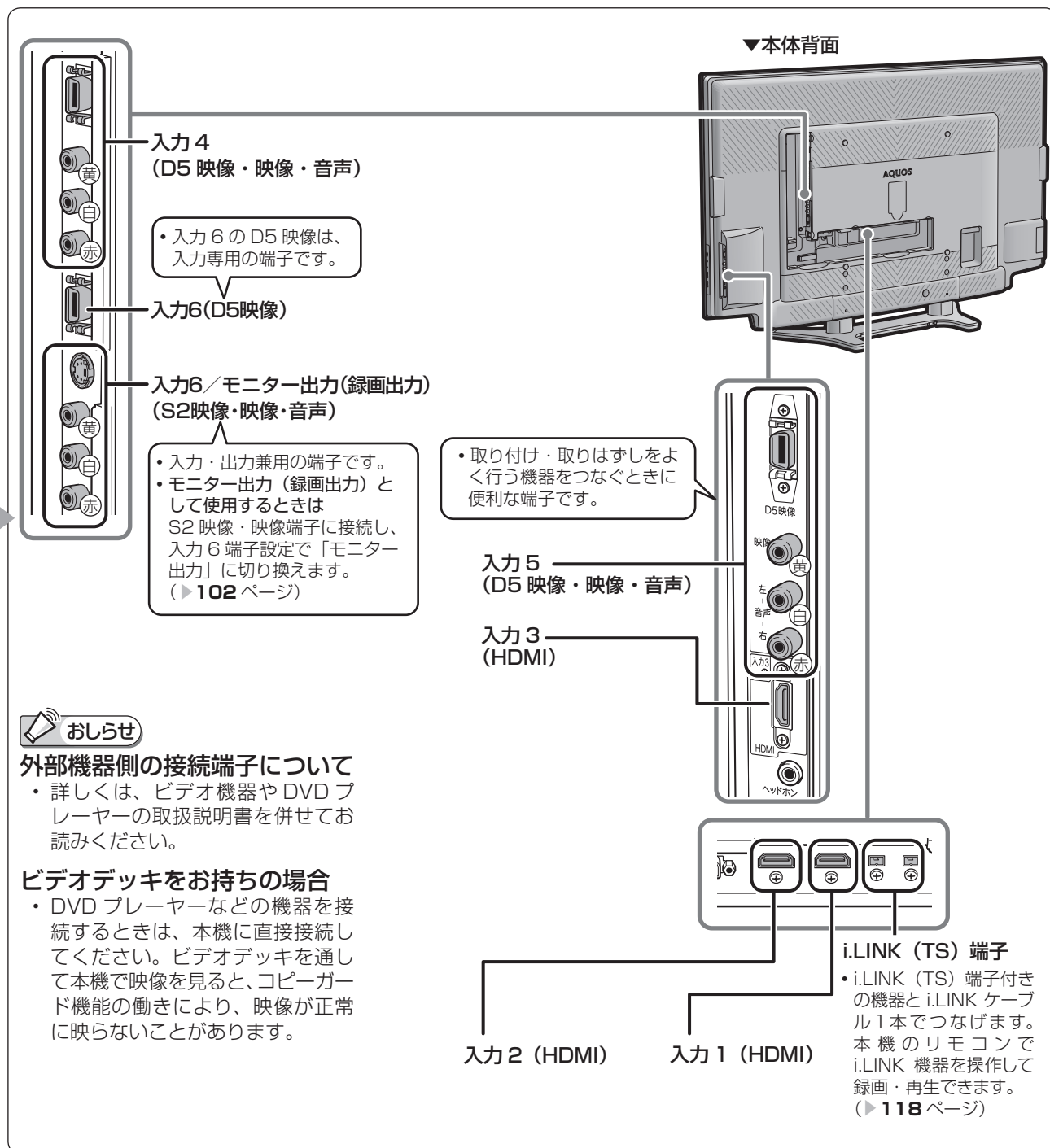
おしらせ

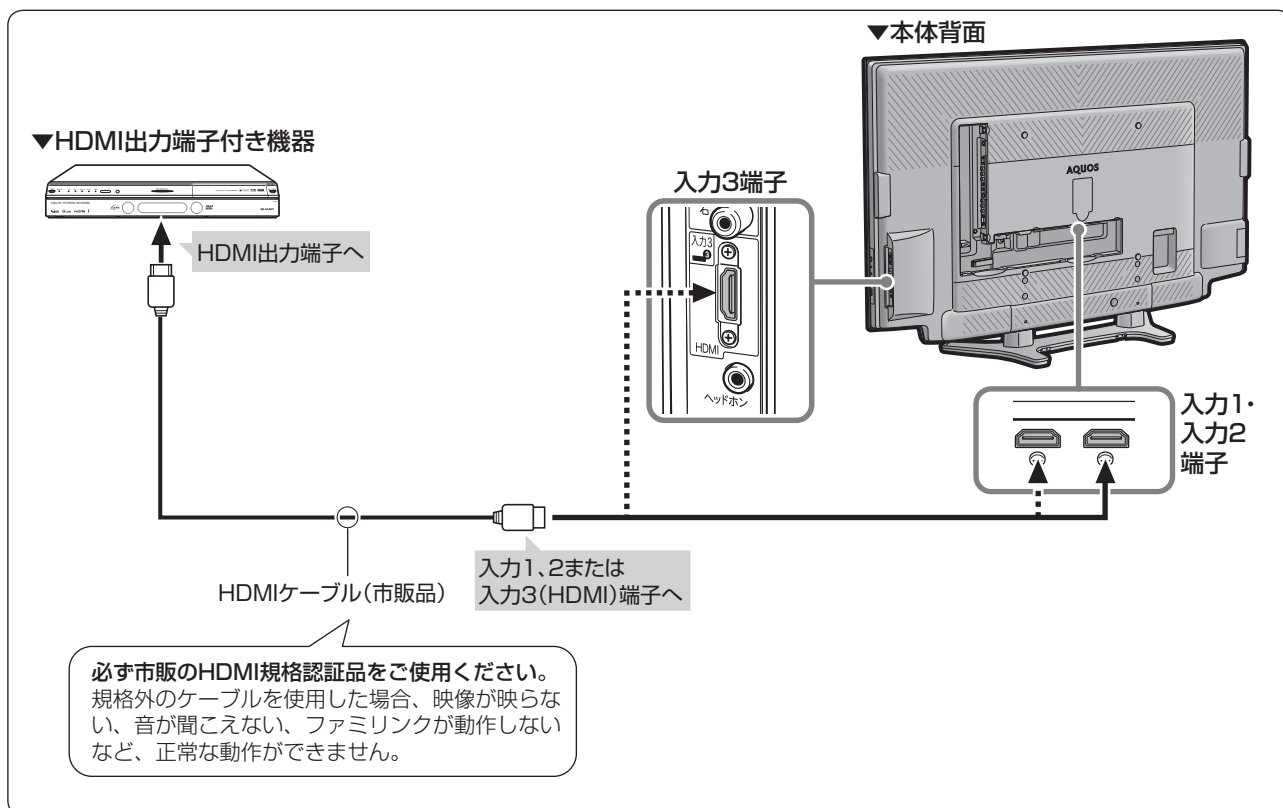
外部機器側の接続端子について

- 詳しくは、ビデオ機器や DVD プレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

ビデオデッキをお持ちの場合

- DVD プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

次のページに続く

HDMI 出力端子付き機器の接続のしかた

- HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる新しい規格の専用端子です。
- HDMI 出力端子付き機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力 1」、「入力 2」または「入力 3」を選びます。

- HDMI 入力では、HDMI ケーブルによっては、映像にノイズが発生する場合があります。HDMI 認証ケーブルを使用してください。

- HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

対応している映像信号

- 1080p（24Hz/60Hz）、720p、1080i、480p、480i、VGA
- PC の接続と対応する信号について、詳しくは▶ **132** ページをご覧ください。

対応している音声信号

- 種類：リニア PCM
  サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

HDMI出力端子付き機器がファミリンク対応AQUOSレコーダーやAQUOSオーディオなどの場合は、本機のリモコンで操作できます。
詳しくは▶**108**ページをご覧ください。

ビデオデッキやDVD プレーヤーの画面に切り換える（入力切換）

灰色で表示した手順は外部機器の操作です。

押すボタン

1 外部機器を本機に接続し、電源を入れる

2 再生したいビデオテープやディスクをセットする

3 入力切換 **入力切換メニューを表示する**

- 表示中に次の操作を行います。

4 入力切換 **繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ**

- 選択した入力に切り換わります。
- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 例えば、本機の入力 1 に接続した機器の映像を見たいときは、「入力 1」を選びます。

選べる入力について

- 入力４～６は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- 入力６は、入力６端子設定（▶ **102** ページ）を「入力」にし、入力６に外部機器が接続されているときのみ選択できます。出力に設定している場合は「モニター出力」または「録画出力」と表示されます。

5 外部機器を再生状態にする

- 外部機器の再生映像が本機の画面に表示されます。
- 外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。
設定のしかたについては、接続した外部機器の説明書をご覧ください。

本体のボタンで切り換えるときは

- 本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも入力を切り換えられます。

ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。

→地上 A→地上 D→BS→CS→入力1～7→i.LINK（接続時）→IrSS™→ホームネットワーク→

（放送の種類も切り換えられます。）

- 本体の入力／放送切換（決定）ボタンで切り換えるときは、入力切換メニューは表示されません。

次のページに続く

入力４～６の映像が表示されないときは（入力選択）

● 入力４～６の映像が表示されない場合、以下の操作を行ってください。

1 入力切換 **表示されない入力(入力４～6)を選ぶ**

2 メニュー **メニューを表示する**

3 **「機能切換」－「入力選択」を選ぶ**

決定する

4 **「D 端子」「S 端子」「ビデオ映像」のいずれかを選ぶ**

決定する

- 工場出荷時の設定は「自動」です。
- 「自動」の場合、D 端子→ S 端子→映像端子の優先順位で映像が表示されます。(S 端子は入力６のみです。)

使用していない入力をスキップするには（入力スキップ設定）

● 入力１～３、入力７、IrSS™、ホームネットワークを使用しないため、入力切換の際にこれらを飛ばして切り換えたい場合は、以下の操作を行ってください。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「本体設定」－「入力スキップ設定」を選ぶ**

決定する

3 **スキップしたい項目を選ぶ**

決定する

4 **「する」を選ぶ**

決定する

おしらせ

- 同様の操作で、本体の入力／放送切換（決定）ボタンで入力／放送を切り換える場合に地上 A、地上 D、BS、CS を飛ばして切り換える（スキップする）設定もできます。

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

● 入力１～７に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

例えば、入力５にゲーム機をつないだとき、入力切換メニューの「入力５」を「ゲーム」の表示にできます。

● お好みの名称を入力できる「ユーザー設定」の「編集」機能もあります。

例）入力5を「ゲーム」の表示にする

1 入力切換 **変更したい入力を選ぶ**

- ここでは「入力５」を選びます。

2 メニュー **メニューを表示する**

3 **「本体設定」－「入力表示選択」を選ぶ**

決定する

4 **表示させたい名称を選ぶ**

- ここでは「ゲーム」を選びます。

決定する

ユーザー設定について

- お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。
  (文字入力のしかた▶ **144**ページ)
- ここで入力できるのは全角で5文字まで、半角で10文字までです。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

見られる映像の種類について

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1080p、720p、1080i、480p、480i、VGA

・ 対応している音声信号はリニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

D端子につないで見られる映像の種類

D端子の種類	映像の種類
D5	1080p、720p、1080i、480p、480i
D4	720p、1080i、480p、480i
D3	1080i、480p、480i
D2	480p、480i
D1	480i

おしらせ

・ 映像の種類について詳しくは、▶ **204** ページをご覧ください。

おしらせ

・ 入力ごとに設定できる名称は異なります。

表示できる名称について

入力1／入力2／入力3

(自動)入力1 ※	入力1 ※	ビデオ1 ※
ビデオ	HDMI	HDMI1 ※
DVD	ゲーム	HDD
DVR	BD	

※「入力2」選択時は、(自動)入力2 入力2 ビデオ2 HDMI2 と表示されます。(入力3も同様)

- HDMI機器を接続し、「(自動)入力1」の表示に設定されている場合、表示の内容が変わることがあります。(「自動(入力2)」「自動(入力3)」も同様)

入力4／入力5／入力6

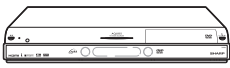
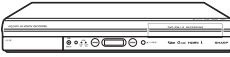
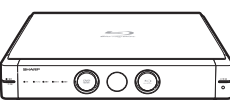
入力4 ※	ビデオ4 ※	ビデオ
コンポーネント1 ※	コンポーネント	D端子1 ※
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR
BD		

※「入力5」選択時は、入力5 ビデオ5 コンポーネント2 D端子2 と表示されます。

※「入力6」選択時は、入力6 ビデオ6 コンポーネント3 D端子3 と表示されます。

- 「入力6」は、出力に設定されているときは「モニター出力」または「録画出力」と表示されます。

入力7

入力7	ビデオ7	ビデオ
DVI-I	DVD	ゲーム
PC		

デジタル放送の録画について

● 録画機器の種類と録画のしかたにより、つなぎかたや操作のしかたが異なります。

録画機器の種類	つなぎかた	すぐに録画する場合	録画予約する場合
ファミリンクに対応したレコーダー	▶**109**ページ ▶**110**ページ	▶**112**ページ	▶**113**ページ ▶**114**ページ
ハイブリッドダブレコ※に対応したレコーダー ※ ハイブリッドダブレコについては▶**99**ページをご覧ください。	レコーダーの取扱説明書をご覧ください。	レコーダーの取扱説明書をご覧ください。	レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
i.LINK機器	▶**118**ページ	▶**123**ページ ▶**125**ページ	▶**127**ページ
ビデオデッキや、デジタルチューナーが搭載されていない録画機器	▶**97**ページ	▶**102**ページ ▶**103**ページ	▶**104**ページ ▶**105**ページ

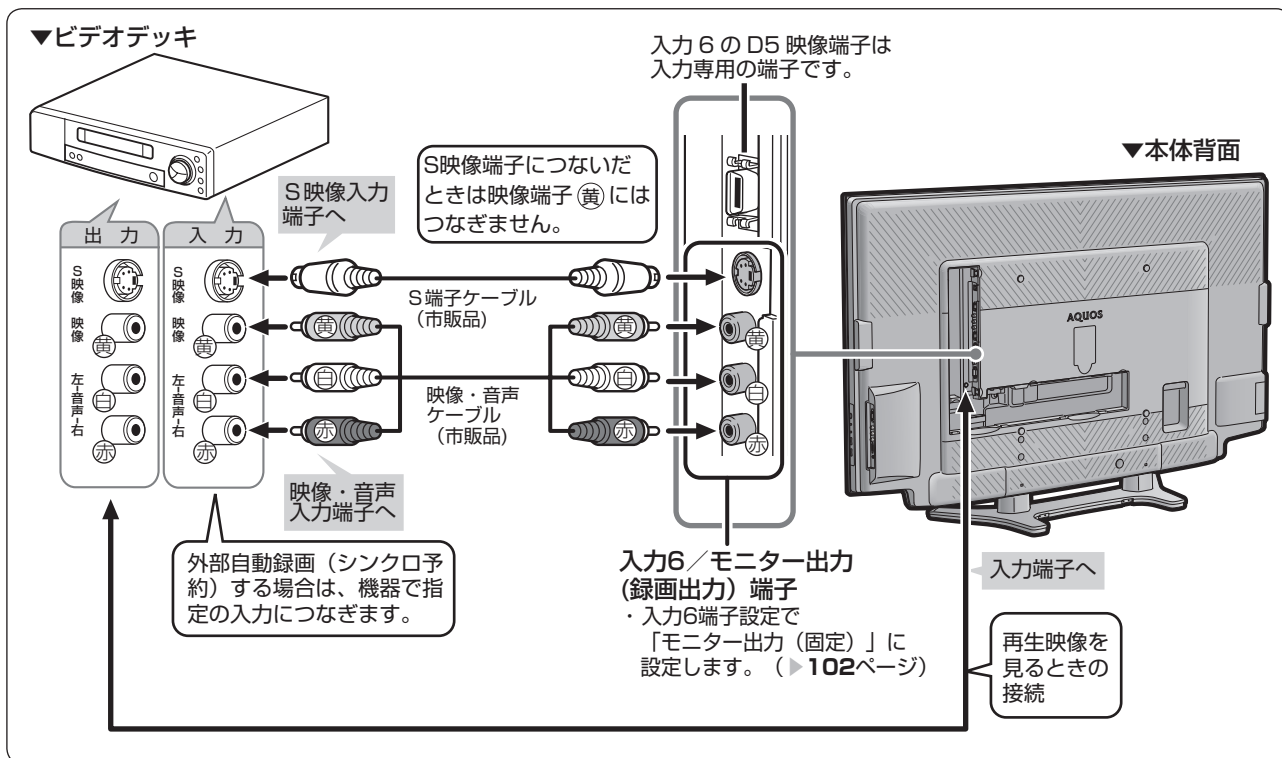
重要

- 本機の入力６ ／モニター出力（録画出力）端子と接続した場合、**標準画質**で出力されます。ハイビジョン画質の映像をハイビジョン画質のまま録画するには、以下の方法があります。
  - **i.LINK機器をお持ちの場合**：i.LINK機器をi.LINK接続し、本機で受信した放送を録画する（▶ **118** ～ **128**ページ）
  - **デジタルチューナー付きハイビジョン対応録画機器をお持ちの場合**：録画機器で録画する（▶録画機器の取扱説明書）
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

おしらせ

- モニター出力にはデジタル放送の字幕やデータ放送は出力されません。
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを通してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とビデオデッキを直接接続してお楽しみください。
- デジタル放送をビデオデッキやデジタルチューナーが搭載されていない録画機器で録画する場合は、「デジタル固定」または「VHSテープ予約」で録画することをおすすめします。
- 録画予約実行の準備が始まると、デジタル固定が解除されます。

ビデオデッキを接続する

- お持ちのビデオデッキなどにデジタルチューナーが付いていない場合でも、本機の入力６／モニター出力（録画出力）端子と接続し、本機で受信したデジタル放送を録画できます。
- 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。

外部自動録画（シンクロ予約）とは

- 外部自動録画（シンクロ予約）とは、録画機器側で録画出力信号を受信すると、これに連動して電源が入り、録画を開始する機能です。（詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。）
- お持ちの録画機器に外部自動録画機能（シンクロ予約機能）が付いている場合、録画機器で予約を設定しなくても録画予約できます。
  シンクロ予約機能が付いていない場合は、接続している録画機器側で同じ日、時、チャンネルなどの予約が必要です。（▶ **105** ページ）

入力６／モニター出力（録画出力）端子について

- 背面の入力６／モニター出力（録画出力）端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。**録画出力として使用するときは、必ず「モニター出力（固定）」に設定してください。**
- 設定のしかたは、▶ **102** ページをご覧ください。

次のページに続く

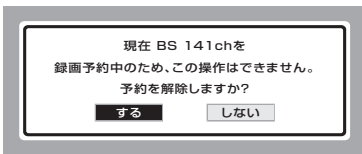
予約のながれ（「視聴予約」と「録画予約」）

おしらせ

- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- 最大 16 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し(▶ **101** ページ)が必要です。
- 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 番組が開始する 2 分前までに予約を完了してください。開始 2 分前になると、予約ができません。
- 本機で受信したデジタル放送の 16：9 映像を録画機器に録画するとき、録画した映像を 4：3 のテレビで見る場合の画面サイズを設定できます。(▶ **78** ページ)
- テレビの電源が切れている場合は、デジタル音声出力（光）端子からは、出力されません。MD へ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。

実行中の録画予約を解除するには

- 2 画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面を操作画面にします。それから、数字ボタン（チャンネルボタン）などで選局操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 141chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

コピー制御信号について

- デジタル放送のほとんどの番組には録画可能回数を制限するコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧になるか、下記へお問い合わせください。

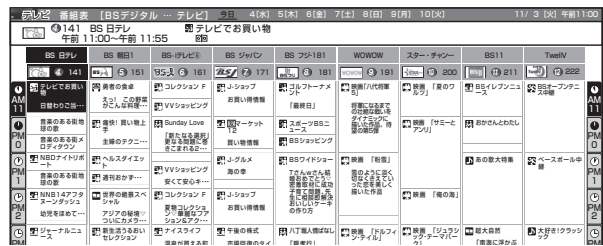
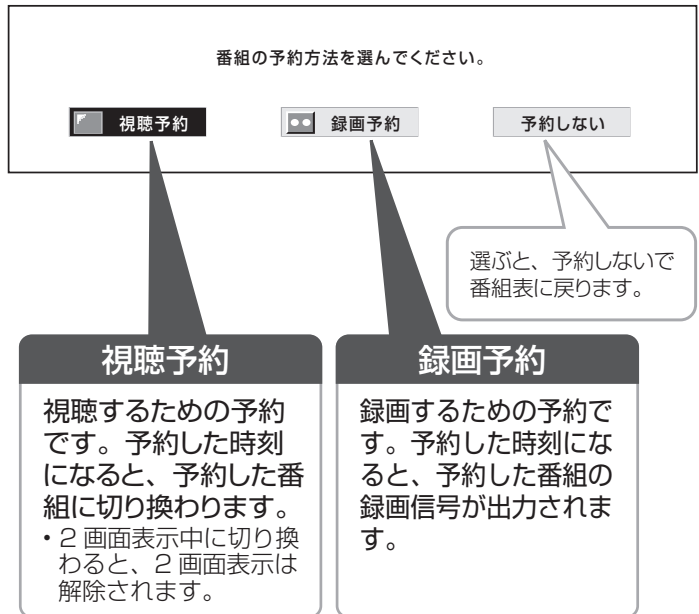
コピー制御お問合せセンター
電話：0570-000-288
（午前 10 時～午後 8 時）
（2008 年 3 月現在）

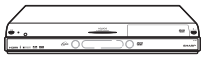
ダビング 10 について

- デジタル放送番組の全てがダビング 10 になるわけではありません。

1 デジタル放送を視聴中に電子番組表を表示させる

2 予約したい番組を選ぶ

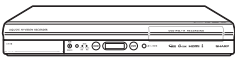
- 日時指定やジャンル検索で選ぶこともできます。

3 予約の種類を選ぶ

次ページの手順5へ　次ページの手順4へ

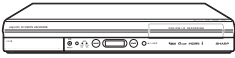
4 録画予約の方法(録画機器)を選ぶ

▼予約選択画面

録画予約の方法を選んでください。

ファミリンク[1](標準)　ファミリンク[2](i.LINK)　VHSテープ予約

ファミリンク[1](標準)
(▶113ページ)

予約した時間に合わせて、ファミリンク対応の録画機器を録画開始／録画終了させます。

ファミリンク対応の録画機器
(ファミリンク対応のAQUOSレコーダーなど)

- 録画機器側のチューナーで放送を受信して録画します。

ファミリンク[2](i.LINK)
(▶127ページ)

ハイブリッドダブレコ対応のAQUOSレコーダーの場合

予約した時間に合わせて、ハイブリッドダブレコ※対応の AQUOS レコーダーでダブレコを行います。

i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキ・AV-HDDレコーダー・ブルーレイディスクレコーダーの場合

予約した時間に合わせて、その他のi.LINK機器を録画開始／録画終了させます。

VHSテープ予約
(▶105ページ)

予約した時間に合わせて、番組の映像･音声を出力します。
外部入力に対応しているビデオデッキで録画します。

外部入力対応のビデオデッキ

※ ハイブリッドダブレコについて:対応のAQUOSレコーダーでは、レコーダーのチューナーで録画している時間でも本機のチューナーを利用して2番組同時に録画できます。詳細はレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- 現在接続されている機器が表示されます。
- ファミリンク[1][2]は、機器が接続されていない場合は選択できません。予約する前に機器を接続し、録画に使用する機器を選択してください。(▶**111**･**122**ページ)

5 予約する

① 「予約する」を選ぶ

- 無料放送や契約済みの番組を予約します。

▼視聴予約･ファミリンク[1](標準)予約の場合

予約する　予約しない

▼ VHSテープ予約･ファミリンク[2](i.LINK)予約の場合

予約する　詳細を設定する　予約しない

「詳細を設定する」を選んだ場合は

- 複数の映像や音声のある番組を予約したときは、録画する映像や音声を選べます。(▶ **106** ページ)
- ファミリンク [2] (i.LINK) で予約した場合は、録画する i.LINK 機器を変更できます。(▶ **128** ページ)

② 「戻る」を選び、予約を終了する

- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

予約を設定した後に電源を切る場合は
リモコンの電源ボタン(赤)でお切りください。
VHS テープ予約を設定した場合は
接続している録画機器でも予約の準備が必要です。

次のページに続く

見たい番組を予約する（視聴予約）

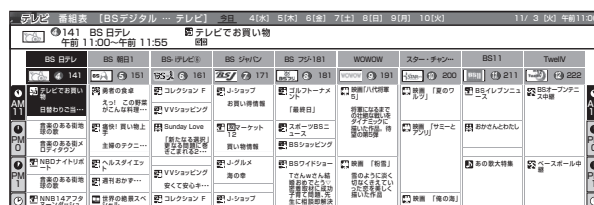
● 電子番組表で視聴予約すると、設定した時刻に自動的に予約した番組に切り換わります。（電源待機状態のときは、自動的に電源が入ります。）

● 見たい番組の見逃しを防いだり、番組開始までテレビを消しておきたい場合などに便利です。

押すボタン

1 番組表 電子番組表を表示する

2 予約したい番組（まだ放送されていない番組）を選ぶ

決定 決定する

・ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **69** ページ）

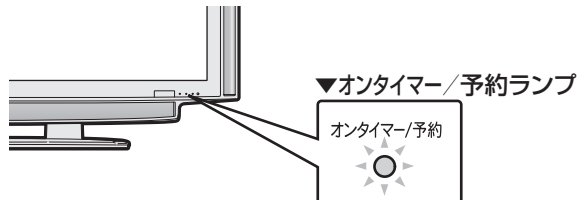
3 「視聴予約」を選ぶ

決定 決定する

4 「予約する」を選ぶ

決定 決定する

5 決定 「戻る」で決定する

・視聴予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

・本機の電源を切るときは、リモコンで電源「切」（待機状態）にしてください。

おしらせ

・有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
・録画予約と合わせて、16 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（▶ **101** ページ）が必要です。
・予約を確認することもできます。（▶ **101** ページ）
・別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
・視聴予約の開始によって本機の電源が入ったときは、番組が終了すると自動的に電源が切れます。ただし、何らかの操作をすると番組が終了しても電源は切れません。
・2 画面表示中に視聴予約していた番組が始まると、2 画面表示が解除され、視聴予約をしていた番組が 1 画面に表示されます。

予約の確認・取り消し・変更をするには

● 電子番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取り消しや変更をすることができます。

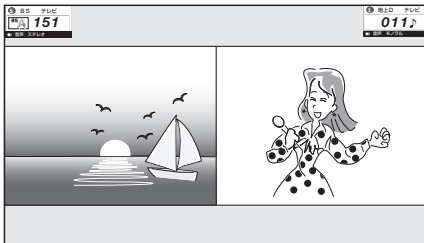
押すボタン

1 番組表 **電子番組表を表示する**

黄 **予約リストを表示する**

放送局名・番組名・放送日時

視聴のみの予約

録画予約

2 **確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ**

決定 **決定する**

・予約の設定内容が表示され、確認できます。

3 **◆予約を取り消したいとき**

「取り消す」を選ぶ

決定 **決定する**

「する」を選ぶ

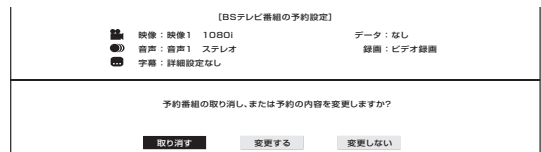
決定 **決定する**

◆予約を変更したいとき

「変更する」を選ぶ

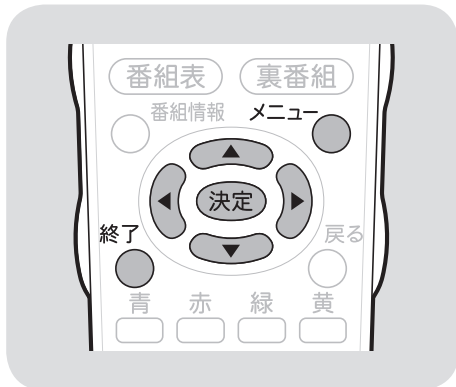
決定 **決定する**

予約操作をやり直す

・VHS テープ予約のときは ▶ **105** ページ
・ファミリンク [2]（i.LINK）で予約したときは ▶ **127** ページ
・ファミリンク [1]（標準）で予約したときは ▶ **113** ページ

実行中の録画予約を解除するには

・2 画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面（右側の画面）を操作画面にします。

次に、数字ボタン（チャンネルボタン）などで選局操作をしてください。「予約を解除しますか？」と表示されたら左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

デジタル放送をデジタルチューナーが搭載されていない録画機器で録画する

おしらせ

- オンタイマー（▶ **77** ページ）で「オン入力」を「入力 6」に設定しているときは、「入力 6 端子設定」ができません。

再生するときの設定のしかたは

- 外部機器の映像を見たいときは、手順 **3** で「入力」を選びます。

「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定したときは

- 入力切換メニューの「入力 6」の表示が「モニター出力」に変わります。また、デジタル固定中や録画予約中は「録画出力」と表示されます。

モニター出力の設定には以下の制約があります。

- 録画予約中は、予約番組（デジタル放送）を出力します。
- デジタル固定中は、固定したデジタル放送を出力します。
- モニター出力（入力 6）端子からは、D5 映像端子、HDMI、DVI からの入力は出力されません。
- S2 端子は、デジタル放送のみ出力されます。

出力 ＼ TV視聴状況	入力6／モニター出力(録画出力)	
	S2端子	映像端子
地上アナログ	×	○
地上D/BS/CS	○	○
ビデオ映像	×	○
D端子映像	×	×
HDMI信号	×	×
DVI信号	×	×

録画の準備をする

録画機器を接続する

- 録画機器を本機につなぎます。（▶ **97** ページ）

録画するときの設定のしかたは（入力 6 端子設定）

1 メニュー　**メニューを表示する**

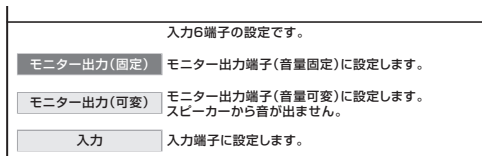
2 **「機能切換」－「入力 6 端子設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定
ファミリンク設定
入力6端子設定　［入力］

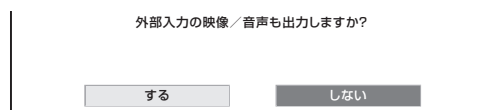
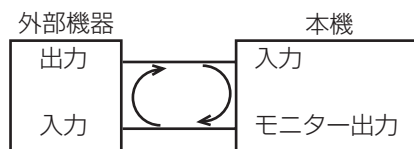
3 **「モニター出力（固定）」を選ぶ**

決定　**決定する**

入力6端子の設定です。
モニター出力(固定)　モニター出力端子(音量固定)に設定します。
モニター出力(可変)　モニター出力端子(音量可変)に設定します。スピーカーから音が出ません。
入力　入力端子に設定します。

モニター出力（固定）

- 音声出力端子から出力される音量レベルが一定の大きさで固定されます。
- スピーカーの音量を調整しても音声出力端子の音量レベルは変わりません。
- 入力 6 端子設定の表示が「モニター出力（固定）」に変わります。

4 **「しない」を選ぶ**

決定する

- 本機と録画機器をループ接続（下図）している場合、「する」を選ぶと、ハウリング（ブー音）や画面の乱れが生じます。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

視聴中の番組を録画する

灰色で表示した手順は録画機器の操作です。

1 メニュー 入力６端子を「モニター出力（固定）」に切り換える（▶ **102** ページ）

2 録画機器の電源を「入」にし、録画の準備をする

・録画機器を本機とつないだ外部入力に切り換えます。

3 録画するデジタル放送の番組を選局する

（NHK ハイビジョンを選局したときの画面表示例）

4 録画機器側の録画操作をする

・録画が始まります。

録画中に他の番組を見たいときは

・右記の「デジタル固定」を設定したあと、選局してください。
・録画中にインターネットの画面を見ると、録画が中断されることがあります。録画中にインターネットの画面を表示したい場合は、右記の「デジタル固定」を設定してください。

録画の途中で電源を切るときは

・右記の「デジタル固定」を設定し、リモコンで電源「切」（待機状態）にしてください。

おしらせ

・録画機器の操作については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
・字幕やデータ放送は録画できません。

録画しながら他のチャンネルを見たり電源を切りたいときは（デジタル固定）

● デジタル放送を予約なしで録画している場合、通常は録画中に本機のチャンネルを変えると、変えたチャンネルで録画が続きます。また本機の電源を切った場合（待機状態）は映像が録画できなくなります。

「デジタル固定」を「する」に設定すると、他のチャンネルを見たりリモコンで電源を切ったりしても録画が継続されます。

押すボタン

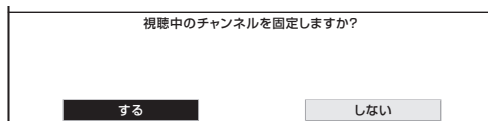
1 録画するチャンネルを選ぶ

2 メニュー メニューを表示する

3 「機能切換」－「デジタル固定」を選ぶ

決定 決定する

4 「する」を選ぶ

決定 決定する

・視聴中のデジタル放送のチャンネルに固定されます。
・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・デジタル固定中に手順 **1** ～**3**を行うと、「BS xxxch 固定中です。操作するには設定を解除する必要があります。デジタル固定を解除しますか？」の表示になります。
・デジタル固定を解除するときは、手順 **4** で「しない」を選び、決定します。
・録画予約実行中や i.LINK 入力時は、デジタル固定にできません。
・デジタル固定した録画中の番組を他の番組を見ながら確認するには２画面ボタンを押します。２画面の右側に録画中の番組が表示されます。
・録画予約の準備が始まると、デジタル固定は自動的に解除されます。（▶ **106** ページ）
・本体の電源スイッチを切ると、デジタル固定が解除されます。

次のページに続く

デジタル放送をビデオデッキで録画予約するながれ（VHS テープ予約）

- 「VHS テープ予約」は、デジタルチューナーのない録画機器（ビデオデッキや HDD レコーダーなど）にデジタル放送を録画するための予約です。

録画予約の設定開始

録画機器と本機の電源を切る

↓

録画機器を本機につなぐ ▶97ページ

↓

本機の電源を入れる ▶33ページ

↓

入力6端子を出力用に切り換える ▶102ページ

↓

電子番組表で、
録画予約したい番組を
VHSテープ予約する ▶105ページ
- 予約設定後、リモコンで本機の電源を「切」にします。

おしらせ

- 録画機器がどの方法に対応しているかは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 「外部自動録画に対応しているビデオデッキ」の場合は、番組の延長や放送時間の変更に追従して、録画できます。

外部自動録画に対応していないビデオデッキなどをお使いの場合は、個別の録画機器への予約が必要です。予約したい番組のチャンネル、録画日、開始時刻、終了時刻をメモしておきましょう。

外部自動録画（シンクロ予約）に対応しているビデオデッキやレコーダーの場合

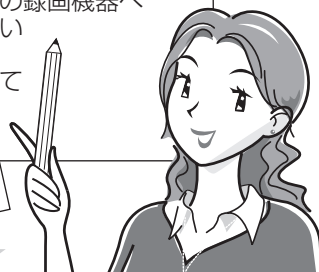
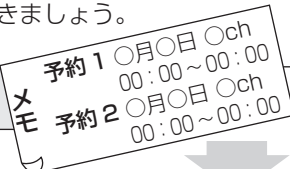
↓

録画機器側の設定をする

① 録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定します。

② 録画用ビデオテープやディスクを入れ、録画の準備をします。

③ 録画機器のリモコンで電源を「切」にします。（予約開始前に本機の電源を入れると、予約前の放送が録画されてしまいます。）

↓

設定完了

外部自動録画に対応していないビデオデッキやレコーダーなどの場合

↓

録画機器側の設定をする

① 本機で設定した予約と同じ日付・時刻を、録画機器の予約機能で設定します。（上で作成したメモをご覧ください。）

② 予約するチャンネルは、本機を接続した外部入力に設定します。

③ 録画用ビデオテープやディスクを入れ、録画の準備をします。

④ 録画機器のリモコンで電源を「切」にします。

↓

設定完了

- 予約開始時刻になると、録画機器の電源が入り、本機で受信したデジタル放送を録画機器側で録画開始します。
- 予約終了時刻になると、録画機器の電源が切れます。

デジタル放送をビデオデッキで録画予約する（VHS テープ予約）

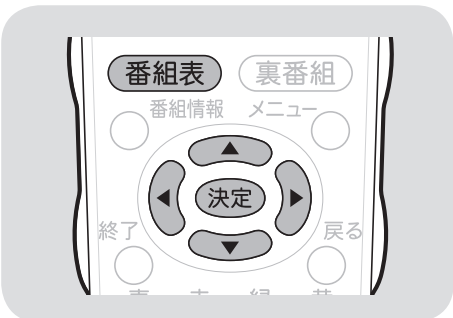
重要

- ファミリンク機能で録画・再生するときは、事前にファミリンクを使うための準備を行ってください。▶ **108** ページ
- 録画予約する前に、必ず試し録りをしてください。
- 番組開始の２分前から予約準備が始まります。番組が始まる２分前までに予約をしてください。開始２分前になると、予約できません。
- 録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定しているときに本機の電源を入れると、入力６／モニター出力（録画出力）端子から信号が出力されるため、録画機器で録画が始まります。不要な録画を避けるためには、録画予約が終了したあとは、録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を「しない」状態にしてください。
- 録画機器は起動時に選局しているチャンネルの映像を録画するので、他のチャンネルでのタイマー録画が先に実行されると、予約開始時間になっても他のチャンネルを録画し続けます。

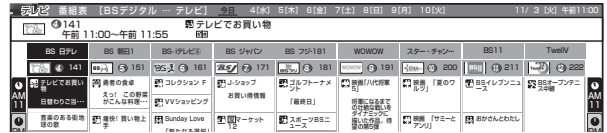
おしらせ

- 字幕やデータ放送は録画できません。
- 有料放送を予約する場合、有料放送のプラットフォームや放送局と契約していないと予約どおりに録画できません。
- 最大 16 番組まで予約できます。さらに予約したいときは、既存の予約を取り消してください。（▶ **101** ページ）
- 予約を確認することもできます。（▶ **101** ページ）

外部自動録画に対応していないビデオデッキなどの場合

- 手順 **2** で予約する番組を選ぶ際に、番組のチャンネル、録画日、開始時刻、終了時刻をメモしておくと、手順 **6** の後で録画機器側で同じ予約を設定するときに役に立ちます。

押すボタン

1 番組表 **電子番組表を表示する**

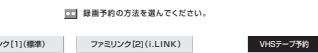
2 **予約したい番組を選ぶ**

決定 **決定する**

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **69** ページ）

3 **「録画予約」を選ぶ**

決定 **決定する**

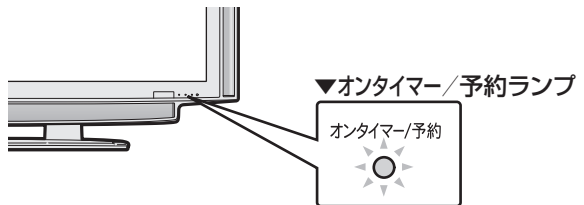
4 **「VHS テープ予約」を選ぶ**

決定 **決定する**

5 **「予約する」を選ぶ**

決定 **決定する**

- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
- 「詳細を設定する」を選び、決定したときは「予約の詳細設定」（▶ **106** ページ）に進みます。

6 決定 **「戻る」で決定する**

- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

録画予約設定後に電源を切るときのご注意

- リモコンの電源ボタン（赤）で「切」（待機状態）にしてください。本体の電源スイッチ（赤）で「切」にした場合は、予約が実行されません。

• このあと、録画機器側でも同じ予約を設定します。

次のページに続く

予約の詳細設定

- 複数の映像や音声が含まれる番組を予約したときに、録画したい映像や音声を選ぶことができます。
- 映像（最大４つ）や音声（最大８つ）の数は、番組によって異なります。

1 ▶ **105**ページの手順１ ～ ４を行う

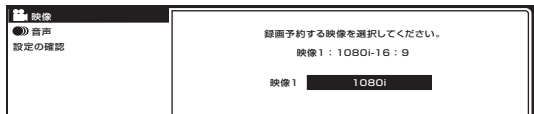
2 「詳細を設定する」を選ぶ

決定 決定する

この番組をVHSテープ予約しますか?
予約する　詳細を設定する　予約しない

3 「映像」または「音声」を選ぶ

決定 決定する

- マルチビュー（いろいろな角度から見た映像）を含む番組を予約したいときは､「マルチビュー」も選べます。

4 録画したい映像や音声を選ぶ

決定 決定する

5 「設定の確認」を選ぶ

決定 決定する

6 画面に表示された内容を確認する

決定 「確認」で決定する

- 番組表に戻ります。番組表ボタンを押すと、番組表が消えます。
- 電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで切ります。
- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

• このあと、録画機器側でも同じ予約を設定します。

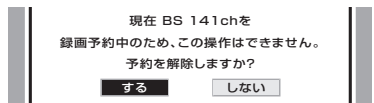
「詳細を設定する」時のメッセージについて

以下のようなメッセージが表示されることがあります。

▼視聴制限のある番組を予約したとき

- 数字ボタン（チャンネルボタン）で暗証番号を入力してください。（▶ **131** ページ）

実行中の録画予約を解除するには

２画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面（右側の画面）を操作画面にします。それから、数字ボタン（チャンネルボタン）などで選局操作をしてください。「予約を解除しますか？」と表示されたら左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

デジタル固定の自動解除について

デジタル固定中に視聴・録画予約開始２分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

録画と予約のこんなときは／録画予約がうまくできないときは

こんなときは

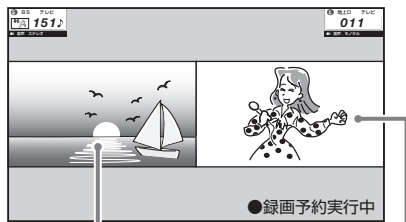
録画中に裏番組を見たいときは

- 録画予約の場合は、録画予約実行中に見たい番組を選局すると、録画が継続されたまま、選局した番組に切り換わります。
- 予約せずに録画する場合は、録画するチャンネルをデジタル固定（▶ **103** ページ）してから録画を開始し、見たい番組を選局してください。

録画中にインターネットの画面を見たいときは

- ネットワークの接続と設定を行ってから、AQUOS.jp ボタンを押し、AQUOS.jp ボタンまたは上下カーソルボタンで表示したい画面を選んで決定ボタンを押します。録画予約の場合は、インターネットの画面を表示しても録画が継続されます。予約せずに録画する場合は、録画するチャンネルをデジタル固定（▶ **103** ページ）してから録画を開始し、見たい番組を選局してください。

録画中の画面を他の番組を見ながら確認したいときは

- リモコンフタ内の２画面ボタンを押します。２画面の右側に録画中の画面が表示されます。

- リモコンフタ内の操作切換ボタンで録画中の画面を操作画面にしたときに、選局などの操作をすると、「予約を解除しますか？」という画面を表示します。

電子番組表から予約した番組の放送時間が変更されたときは

- 変更された放送時間に合わせて、視聴または録画できます。
  ［例］**録画予約したスポーツ中継が延長された場合**
  →スポーツ中継が終了するまで録画します。

  録画予約したドラマの放送時間がスポーツ中継の延長で遅れた場合
  →遅延した放送時間で録画します。
  ただし、放送局からの情報によっては、番組の時間変更に対応できない場合もあります。

  ※「VHS テープ予約」で外部自動録画に対応していない録画機器の場合、録画機器に手動で予約設定するため放送時間の変更後は録画されません。
  外部自動録画に対応していない録画機器に、放送時間が変更される可能性が高い番組を録画したいときは、録画機器の予約設定をするときに、変更時間を見込んで予約してください。

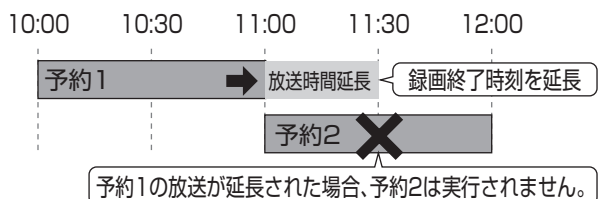
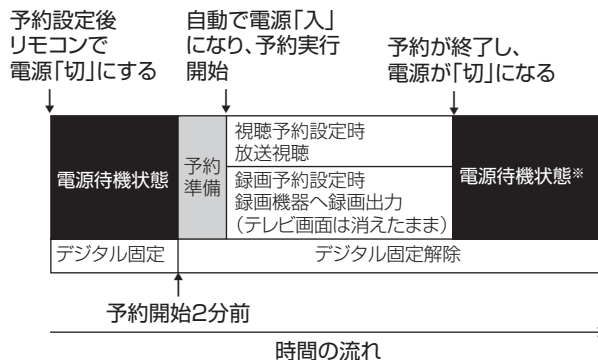
- 延長した予約と他の予約が重なったときは、他の予約は実行されません。

予約設定時から予約終了後までの本機の動作

予約設定後リモコンで電源「切」にする
自動で電源「入」になり、予約実行開始
予約が終了し、電源が「切」になる

電源待機状態	予約準備	視聴予約設定時 放送視聴 / 録画予約設定時 録画機器へ録画出力（テレビ画面は消えたまま）	電源待機状態※
デジタル固定	デジタル固定解除		

予約開始2分前

時間の流れ

※ 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

デジタル固定中のときは

- デジタル固定中に視聴・録画予約開始２分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

録画予約ができないときは

録画予約した番組が録画されていなかった場合は

- 受信機レポート（▶ **180** ページ）をご確認ください。
  - 「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。
  - レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。
  - レポートに「予約の開始時間に電源が切れていました。」と書かれている場合は、本体の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時刻に電源が入らなかった事例です。録画予約した場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。
  - 受信機レポートに「予約時に指定された i.LINK 機器が使えませんでした。」という表示が出た場合は、i.LINK 機器の接続（▶ **118** ページ）や選択（▶ **122** ページ）を見直してください。

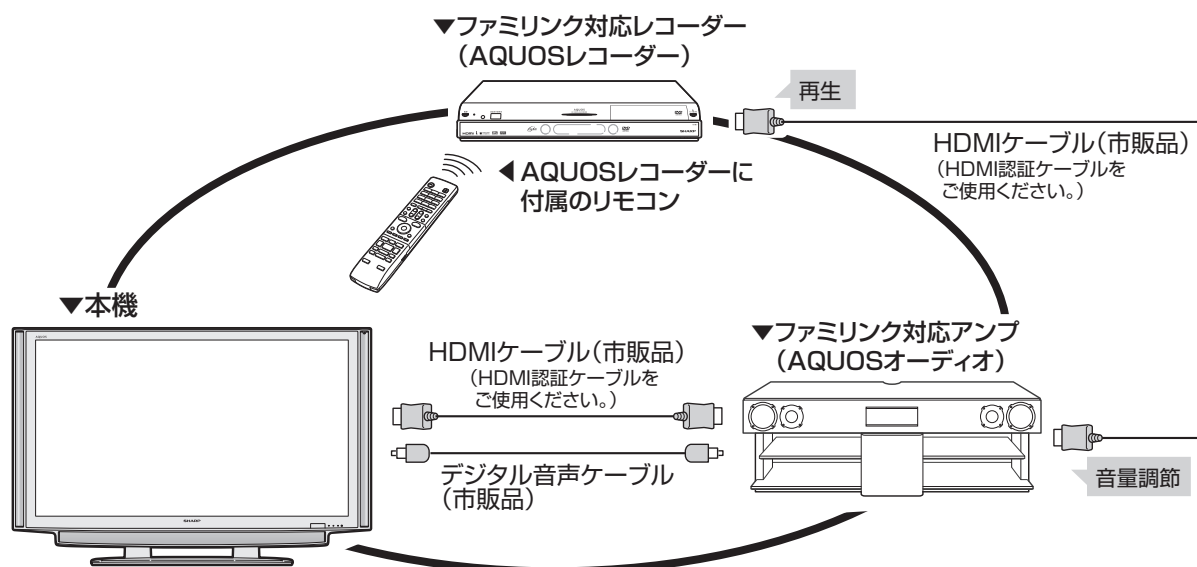
VHS テープ予約で録画できないときは

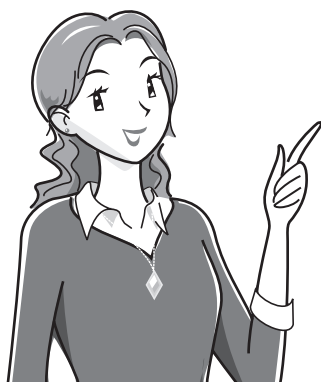
- 録画予約を設定したら、リモコンでビデオデッキの電源を切ってください。電源が入っていたり、ビデオデッキの操作中は、録画されない場合があります。（お使いの機器により操作のしかたが異なりますので、機器の取扱説明書をご覧ください。）
- 外部自動録画（シンクロ予約）に対応していないビデオデッキの場合は、本機の入力６／モニター出力（録画出力）端子と接続した外部入力から録画する状態になっていることを確認してください。ビデオデッキの内蔵チューナーから録画する設定になっていると、デジタル放送を録画できません。
- ビデオテープが入っていない場合やテープ残量が足りない場合は、正しく録画できません。

ファミリンクを使うための準備をする

ファミリンクでできること

- ファミリンク機能に対応したレコーダーや AV アンプを HDMI 認証ケーブルで接続すると、レコーダーや AV アンプを本機のリモコンで操作できます。
- ファミリンク対応の AQUOS レコーダーに付属のリモコンで、リモコンを持ち変えずに、本機・AQUOS レコーダー・AQUOS オーディオの操作ができるので便利です。

ファミリンクとは
HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用し、HDMI で規格化されている AV アンプや DVD レコーダーを相互に制御するためのコントロール機能です。

おしらせ

- ファミリンクの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するときは→ AQUOS ファミリンクについて（対応機種）」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション　http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- ファミリンクを使うときは、本機のリモコンを本機に向けて操作してください。AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオは直接リモコン信号を受信しません。

ファミリンクを使うには

最初に、
- **接続（▶109・110 ページ）**
- **本機の設定（▶111 ページ）**
- **接続する機器の設定**

を行ってください。

- AQUOS レコーダー側の設定も必要です。機器に付属の取扱説明書をご覧の上、設定を行ってください。

ファミリンク対応機器のつなぎかた

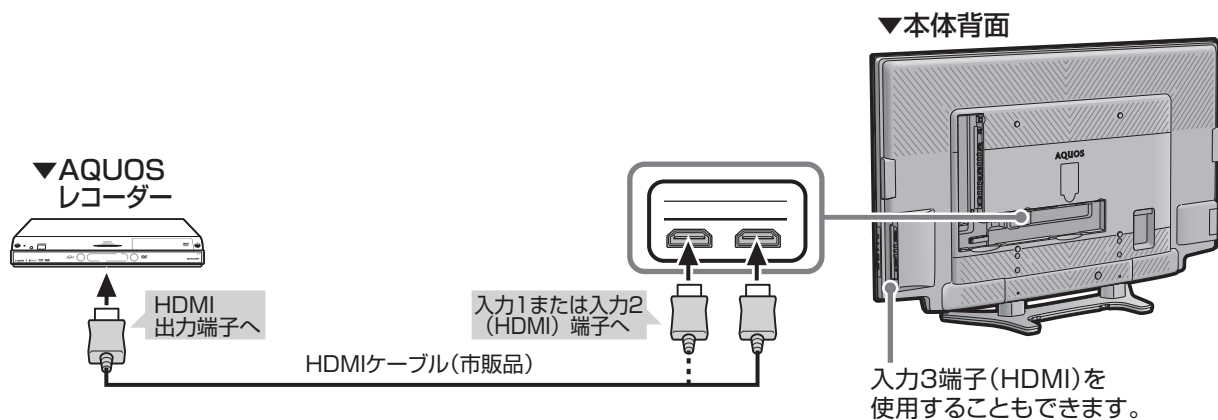
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは 3 台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- **109** ～ **110** ページに示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

重要

- ケーブルを抜き差ししたり接続方法を変えた場合は、すべての機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れなおし、本機の入力を入力 1・2・3 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

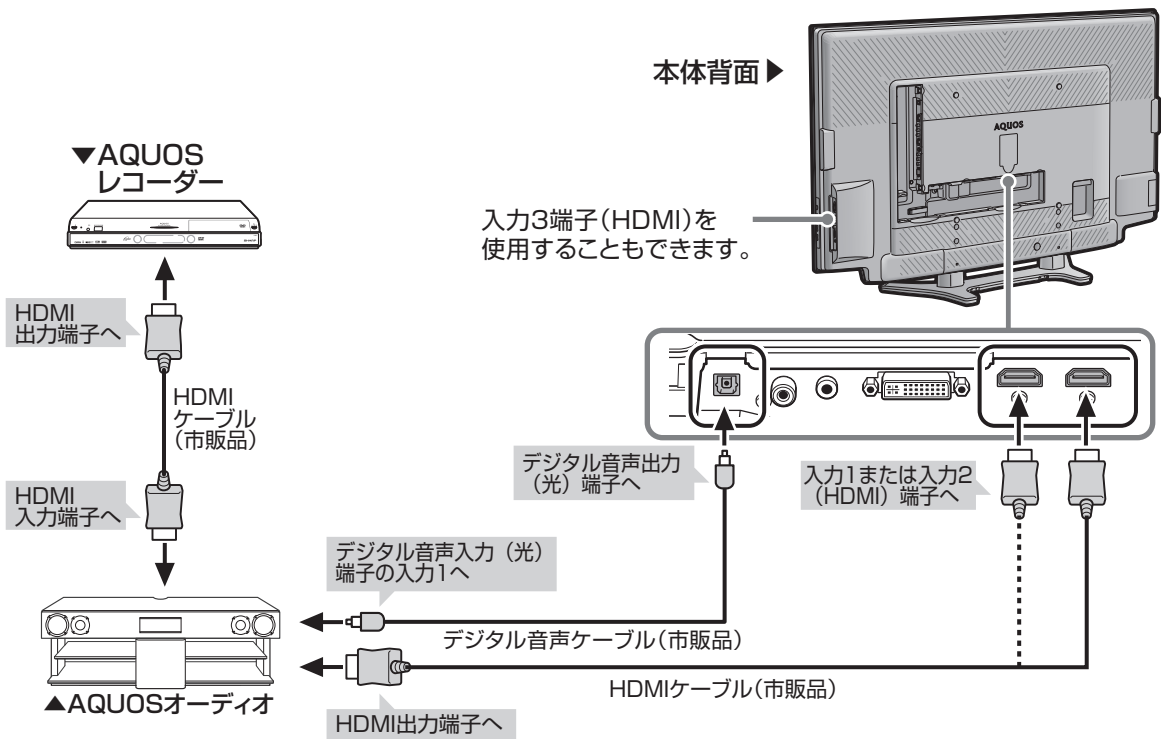
おしらせ

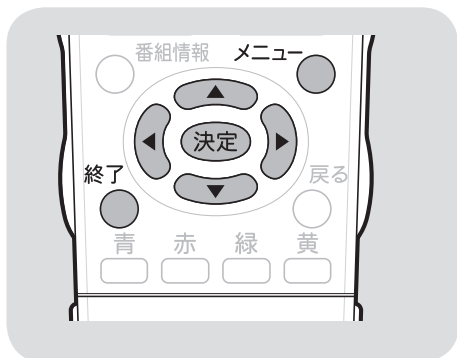
- 1 つの AQUOS レコーダーを i.LINK と HDMI で同時に接続するときは、「i.LINK 自動切換」を「しない」にしてください。(▶ **119** ページ)
  AQUOS レコーダーを i.LINK 接続する場合は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機と AQUOS レコーダーをつなぐ

AQUOSオーディオを同時につなぐときは次ページをご覧ください。

次のページに続く

AQUOS オーディオを同時につなぐとき

●HDMIケーブル(市販品)およびデジタル音声ケーブル(市販品)が必要です。

ファミリンク機能を使うための設定をする

- 本機に付属のリモコンでも操作できます。
- 以下の設定をしないと、ファミリンクの連動機能などが働きません。

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- 「連動起動設定」を「する」に設定すると、ファミリンク対応機器を操作したときに、電源待機状態にある本機を自動的に電源「入」にできます。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」–「ファミリンク設定」を選ぶ

決定　決定する

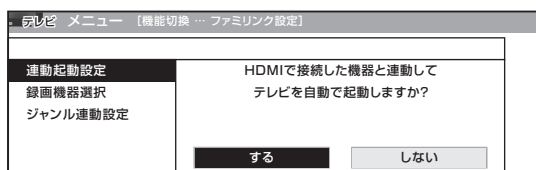
省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定

ファミリンク設定	
入力6端子設定	[入力]
ヘッドホン設定	[モード1]
センタースピーカー入力	[する]
デジタル固定	[しない]
字幕表示設定	[しない]
番組名表示設定	[しない]

3 「連動起動設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「する」または「しない」を選ぶ

決定　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

レコーダーの接続時に、録画を行う機器を選ぶ

- AQUOS レコーダーを本機に接続している場合は、「録画機器選択」で、リモコンの録画ボタンを押したときに録画を行うファミリンク対応レコーダーを設定します。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」–「ファミリンク設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「録画機器選択」を選ぶ

決定　決定する

4 リモコンの録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ

決定　決定する

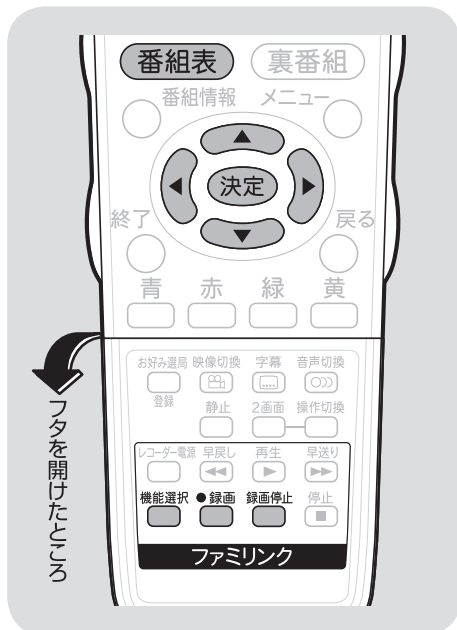
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

AQUOS オーディオを接続しているときの設定画面について

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

重要

ワンタッチ録画を行う前に

- AQUOS レコーダー側の録画準備をしてください。次のことなどを確認します。
  - B-CASカードが挿入されていますか
  - アンテナが接続されていますか
  - 録画メディア(HDD、DVDなど)に空き容量がありますか
- あらかじめ、「ファミリンク設定」の「録画機器選択」で録画機器を設定します。（▶ **111** ページ）
- 初期設定では入力 1 に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

1 ●録画 **録画したい番組の視聴中に録画ボタン（赤）を押す**

- 「録画機器選択」（▶ **111** ページ）で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。

2 録画停止 **録画を停止する**

- 「録画機器選択」(▶ **111** ページ) で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」(▶ **111** ページ) で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタン（赤）を押しても録画できません。

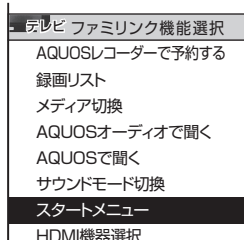
AQUOS レコーダーのスタートメニューを表示する

- AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 機能選択 **ファミリンク機能選択メニューを表示する**

2 **「スタートメニュー」を選ぶ**

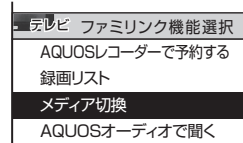
 決定する

テレビ ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
スタートメニュー
HDMI機器選択

- AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
- スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するときは→ AQUOS ファミリンクについて（対応機種）」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

AQUOSレコーダーの再生･録画するメディア(HDD/DVDなど)を切り換える

1 機能選択 **ファミリンク機能選択メニューを表示する**

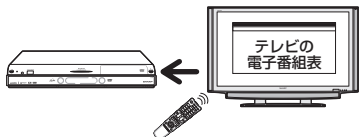
2 **「メディア切換」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 **レコーダーのメディアの種類（「HDD」や「DVD」など）を選ぶ**

- AQUOS レコーダー側の操作したい録画メディアを選びます。
- 「メディア切換」で決定を押すごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。
- 確実に録画するためには、レコーダーの録画メディアは HDD を選択することをおすすめします。
- AQUOS レコーダーの機種によっては、DVD を選択していても、自動で HDD に切り換えて録画を開始します。

AQUOS レコーダーに録画予約する

本機の電子番組表で録画予約するには

本機の電子番組表と同じ予約の内容で予約を設定

● 本機の電子番組表から接続している AQUOS レコーダーに録画予約できます。

1 AQUOS レコーダー側の準備をする

- 本機と AQUOS レコーダーを接続します。
- HDD に録画する場合は、HDD の残量を確認します。
- 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。

2 番組表 電子番組表を表示する

3 予約したい番組を選ぶ

決定する

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **69** ページ）

4 「録画予約」を選ぶ

決定する

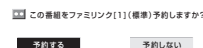
番組の予約方法を選んでください。
視聴予約 録画予約 予約しない

5 「ファミリンク [1]（標準）」を選ぶ

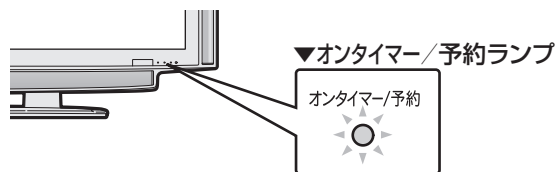
決定する

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後に録画機器選択（▶ **111** ページ）を行ってください。

6 「予約する」を選ぶ

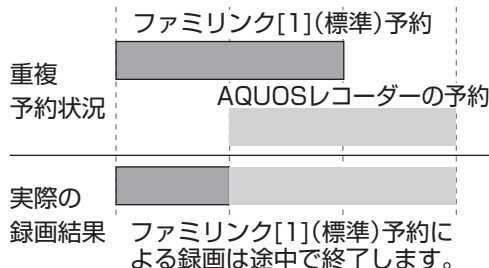
決定する

- AQUOS レコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOS レコーダーの予約を取り消してください。

7 決定 「戻る」で決定する

- 電子番組表画面に戻ります。
- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

重要

ファミリンク [1]（標準）で録画予約するときのご注意

- VHS テープ予約やファミリンク [2]（i.LINK）予約と同様、テレビは録画予約状態になります。2 画面にすると、右画面は録画中の画面となります。他の放送や外部入力に切換できません。
- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

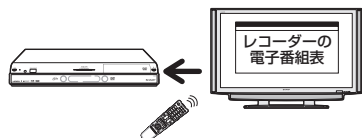
- レコーダー側の予約を取り消すと、本機でファミリンク [1]（標準）予約した番組が録画されます。

- 予約の確認・取り消し・変更については▶ **101** ページをご覧ください。

録画エラーのメッセージが出たときは、▶ 188ページをご覧ください。

はじめに
準備
番組を見る
他の機器で録画・再生
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
インターネットを楽しむ
写真の表示と印刷
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

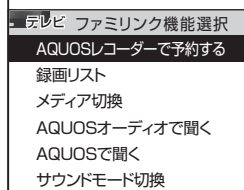
次のページに続く

AQUOS レコーダーを再生する

AQUOS レコーダーの電子番組表で録画予約するには

1 機能選択 **ファミリンク機能選択メニューを表示する**

2 「AQUOS レコーダーで予約する」を選ぶ

決定 **決定する**

テレビ　ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換

- 入力が切り換わり、レコーダー側の番組表が表示されます。

3 **予約したい番組を選び、録画予約の操作をする**

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの 決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で操作します。（詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

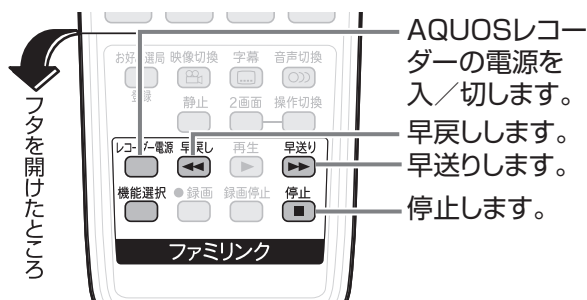
最後に録画した番組を、AQUOS のリモコンで再生する（ワンタッチプレー）

- 本機のリモコンでHDMI 接続したAQUOS レコーダーを操作できます。

再生 ▶ **録画した番組を再生する**

- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ファミリンク機能選択メニューから「録画リスト」を選びます。

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、リモコンフタ内のファミリンクボタンで次の操作が行えます。

録画リストから再生する

● 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。

1 機能選択 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「録画リスト」を選ぶ

決定する

- AQUOSレコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOSレコーダーの録画リストが表示されます。

3 再生したい番組(タイトル)を選ぶ

再生 再生する

- 録画リストは本機のリモコンの   で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、停止を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

おしらせ

- AQUOSレコーダーがDVDモードになっていてDVDビデオなどのディスクがセットされている場合など、録画リストがない場合、録画リストは表示されません。
  ファミリンク機能選択メニューから「メディアの切換」を選んで、AQUOSレコーダーのモードを切り換えてください。

視聴するHDMI対応の録画機器を選ぶ

● 複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選ぶことができます。

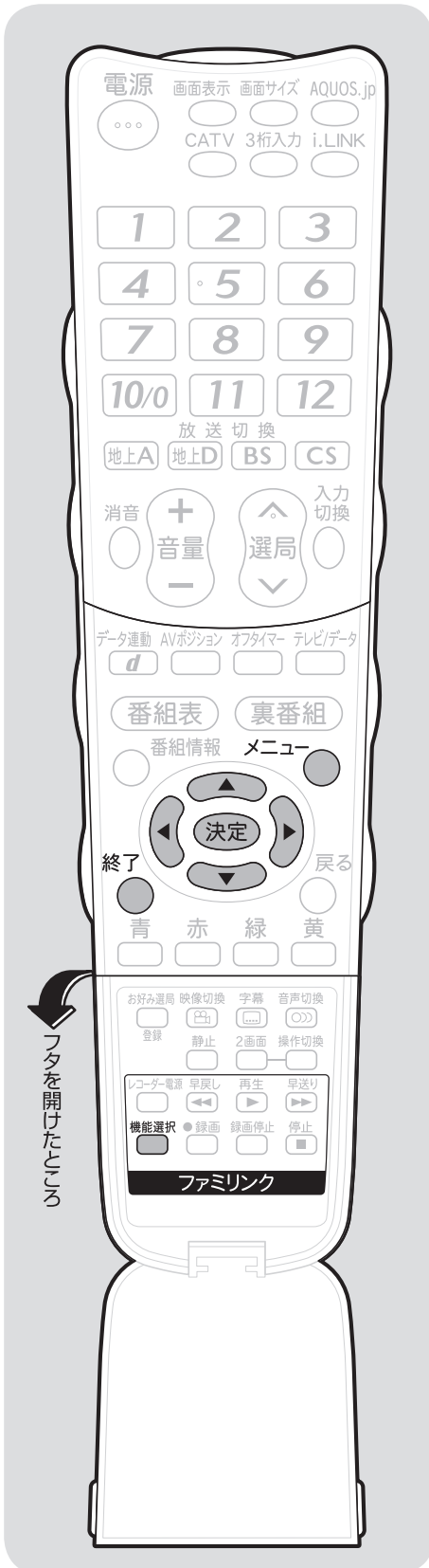
1 機能選択 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「HDMI機器選択」を選ぶ

決定 決定する

テレビ ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
スタートメニュー
HDMI機器選択

- 「HDMI機器選択」で 決定 を押すたびに、接続されている機器を順次切り換えていきます。(ファミリンクに対応していない機器は、本機に直接接続されていない場合は選択することはできません。)

次のページに続く

AQUOS オーディオで聞く

AQUOS オーディオで聞く

● AQUOS オーディオからのみ音声を出力できます。

1 機能選択 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「AQUOS オーディオで聞く」を選ぶ

決定 決定する

- 本機の音声が停止し、AQUOS オーディオからのみ音声が出力されます。
- 画面中央に「ファミリンク接続された AQUOS オーディオから音声を出力します。」と表示されます。
- 本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。
- 本機からの音声出力に戻したいときは、機能選択 を押し、上下カーソルボタンで「AQUOS で聞く」を選びます。

おしらせ

- AQUOS オーディオを接続していないときは、「AQUOS オーディオで聞く」は選べません。

「AQUOS オーディオで聞く」に設定中のご注意

- ヘッドホン設定を「モード３」に設定している場合、2 画面のときは、非操作画面側の音声がヘッドホンから出力されます。
- 入力 6 端子設定（▶ **102** ページ）を「モニター出力（可変）」に設定しているときは、モニター出力の音声が停止します。
- 本機のメニューの「音声調整」「スピーカー設定」「センタースピーカー入力」の設定はできません。

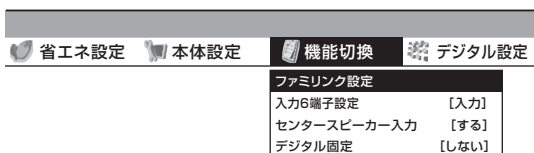
番組内容に適した音に切り換える

番組のジャンルに適したサウンドモードに自動切換する

● デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオを適切なサウンドモードに切り換えられます。

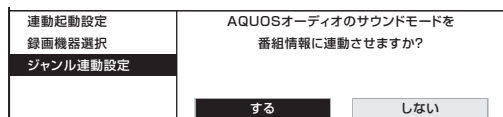
1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」−「ファミリンク設定」を選ぶ

決定する

3 「ジャンル連動設定」を選ぶ

決定する

4 「する」を選ぶ

決定する

• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

• 地上アナログ放送やDVD映像はジャンル情報がないので、「サウンドモード切換」で手動で切り換えます。
• サウンドモードについて詳しくはAQUOSオーディオの取扱説明書をご覧ください。

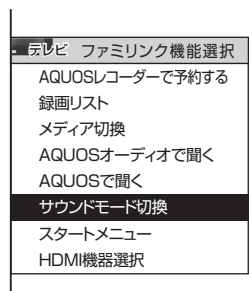
手動でサウンドモードを切り換える

● AQUOSオーディオのサウンドモードを手動で切り換えます。

1 機能選択　ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「サウンドモード切換」を選ぶ

決定　決定する

• 「サウンドモード切換」で決定ボタンを押すごとに、サウンドモードが順次切り換わります。

AQUOSレコーダー以外のi.LINK機器を使う

AQUOSレコーダーをi.LINK接続する場合は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

i.LINK(アイリンク)について

- i.LINK※は、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続できます。

※ i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbps/800Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400/S800と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送が可能です。

- 本機で接続できるi.LINK機器は以下のとおりです。

D-VHSビデオデッキ(D-VHS)
AV-HDDレコーダー(AV-HDD)
ブルーレイディスクレコーダー(BD)
HDV方式ハイビジョンビデオカメラ(HDV)

- 機器によっては機器の認識やコントロール、録画や再生ができない場合があります。
- DVDレコーダーやDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

- 本機とi.LINK機器をi.LINK接続して録画できるのは、本機で受信したデジタル放送のみです。地上アナログ放送や外部入力は、i.LINK録画ができません。また、ハイビジョンビデオカメラでは本機のデジタル放送をi.LINK録画できません。

i.LINK機器をつなぐ

- 接続には「S400」タイプのi.LINKケーブル(市販品)をお使いください。

1台のi.LINK機器を接続する場合(例)

- i.LINK接続は、i.LINKケーブルだけでできます。
  映像·音声端子などはつなぐ必要がありません。

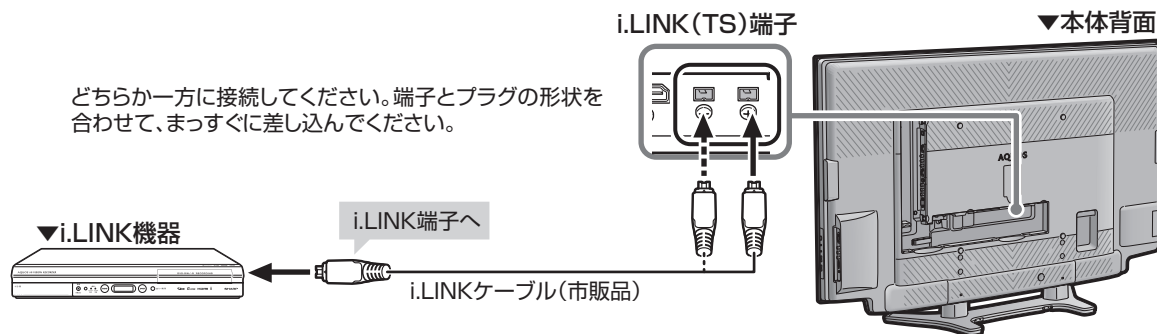
i.LINK(TS)端子

▼本体背面

どちらか一方に接続してください。端子とプラグの形状を合わせて、まっすぐに差し込んでください。

▼i.LINK機器

i.LINK端子へ

i.LINKケーブル(市販品)

i.LINK機器を再生したときテレビの入力が切り換わるようにする

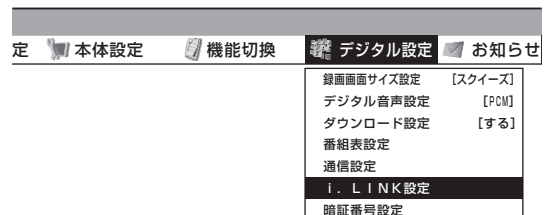
● 接続されたi.LINK機器を再生状態にしたとき、自動的に入力を切り換える設定です。

i.LINK機器を制御するための設定項目

項目	内容
i.LINK自動切換	・「する」に設定すると、i.LINK録画機器を再生したときに、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるようになります。 ・AQUOSレコーダーをi.LINKとHDMIで同時に接続するときは「しない」に設定してください。
録画モード設定	・i.LINK機器の録画モードを自動的に制御するように設定できます。 ・現在発売されているi.LINK機器のほとんどは、i.LINK機器側で録画モードを制御するため、**通常は「しない」に設定してください。** ・本機から録画モードを正常に制御できない場合は、「しない」に設定してください。

1 メニュー　**メニュー画面を表示する**

2 **「デジタル設定」－「i.LINK 設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

3 **設定したい項目を選ぶ**

決定　**決定する**

（例）「i.LINK 自動切換」を選んだとき

4 **「する」または「しない」を選ぶ**

決定　**決定する**

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

重要

・下図のようなループ（輪）接続をしないでください。

・i.LINK 機能使用中は、使用していないi.LINK 機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
・本機が対応していない機器（DVD レコーダーや DV 機器、PC、PC 周辺機器など）を同時に接続していると、誤動作することがあります。
・接続した i.LINK 機器の認識やコントロール、録画・再生が正しくできなくなったときは、i.LINK ケーブルの抜き差しを行うことで、復帰する場合があります。
・1 つのレコーダーを i.LINK と HDMI で同時に接続するときは、「i.LINK 自動切換」を「しない」にしてください。

おしらせ

・本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。

本機が電源待機状態のときは、データのやりとりができません。

i.LINK機器を操作(録画/再生)する

i.LINK操作パネルの使いかた

● 本機に対応したi.LINK機器は、i.LINK操作パネルを表示して、本機のリモコンで録画や再生などの操作ができます。

i.LINK操作パネルを表示させる

● i.LINK操作パネルからi.LINK機器を選ぶための準備です。

1 i.LINK機器を接続し、i.LINK機器の電源を入れる

2 本機の電源を入れる

i.LINK

3 i.LINK操作パネルを表示する

・i.LINK機器をつなぎ変えたり、次のような画面が表示されたときは、「i.LINK機器の選択」(▶**122**ページ)が必要です。

現在選択されている機器のマーク

4 i.LINK操作パネル上の操作ボタンを選ぶ

決定する

・操作を終了する場合は、i.LINKボタンを押します。

操作パネル(例)

● 操作パネルの使いかたについては、次ページをご覧ください。

D-VHSの操作パネル

▶ 再生中　00:00:00　予約　D-VHS
01 D-VHS ●● ●●●●●●
電源　■　▶　❚❚　●　機器選択
再生　⏮　◀◀　▶▶　⏭　入力切換
で操作を選択　決定で実行　i.LINKで表示切

BDの操作パネル

▶ 再生中　00:00:00/00:00:00　ディスク残　50%　録画中
01 BD ●● ●●●●●●
電源　■　▶　❚❚　録画リスト　録画操作
再生　⏮　◀◀　▶▶　⏭　機器選択
⏏　−30秒　+30秒　入力切換
で操作を選択　決定で実行　i.LINKで表示切

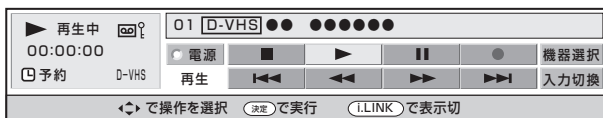
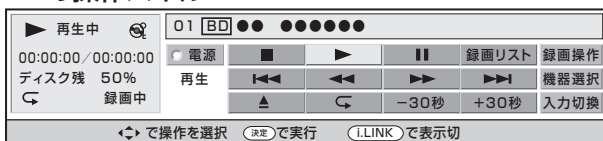
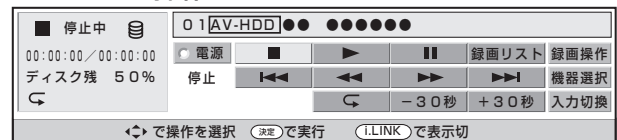
AV-HDDの操作パネル

■ 停止中　00:00:00/00:00:00　ディスク残　50%
01 AV-HDD ●● ●●●●●●
電源　■　▶　❚❚　録画リスト　録画操作
停止　⏮　◀◀　▶▶　⏭　機器選択
−30秒　+30秒　入力切換
で操作を選択　決定で実行　i.LINKで表示切

HDV(ビデオモード)の操作パネル

■ 停止中　00:00:00
01 HDV ●● ●●●●●●
■　▶　❚❚　機器選択
停止　◀◀　▶▶　入力切換
で操作を選択　決定で実行　i.LINKで表示切

HDV(カメラモード)の操作パネル

カメラ　00:00:00　撮影中
01 HDV ●● ●●●●●●
■　●　機器選択
撮影　入力切換
で操作を選択　決定で実行　i.LINKで表示切

i.LINK 操作パネルの使いかた

- i.LINK 操作パネルの操作方法
  ① リモコンのカーソルボタンで、i.LINK 操作パネル上の操作ボタンを選ぶ
  ② リモコンの決定ボタンを押す
- 詳しい操作方法については、**122** ～ **126** ページをご覧ください。

i.LINK 操作パネルの見かた（BD の場合）

おもな操作ボタンの機能

次のページに続く

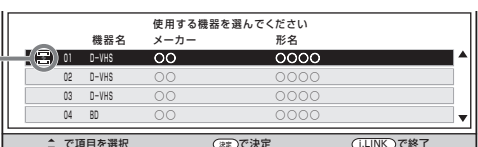
i.LINK 機器を選択する

- i.LINK 機器を接続しなおした場合は、i.LINK 操作パネルの機器選択画面で操作する i.LINK 機器を選びます。
- 接続された i.LINK 機器は、自動的に機器選択画面のリストに表示されます。

1 i.LINK 操作パネルを表示する

- 「操作できる i.LINK 機器がありません」と表示されたときは、i.LINK 機器が正しく接続されているか確認してください。（▶ **118** ページ）
- i.LINK 機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順 **3** に進んでください。

2 「機器選択」を選ぶ

決定する

- 機器選択画面が表示されます。

3 操作したい機器を選ぶ

決定する

現在選択されている機器のマーク

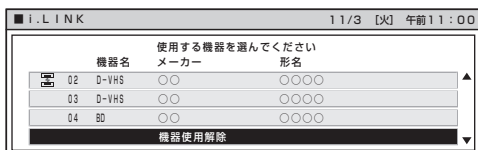
- 選んだ i.LINK 機器の操作パネルが表示されます。
- 1 台目の機器は自動で認識されます。

おしらせ

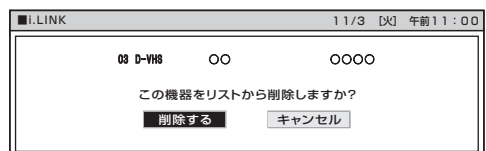
- 本機で認識できない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。また、リストに表示されている機器であっても、機器によっては操作ができる機能が制限されているものもあります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続機器によっては、リストにメーカー名や機器名が正しく表示されないことがあります。この場合は、i.LINK ケーブルを取りはずし、リストから名前を削除した後で i.LINK ケーブルを接続しなおしてください。
- 接続した i.LINK 機器によっては、AV-HDD であっても「D-VHS」と表示されることがあります。この場合は、i.LINK 機器操作が D-VHS の機能に制限されます。（i.LINK 機器の制限により、録画リストなどはご利用になれません。）
- 機器選択画面のリストに⊘マークがついている i.LINK 機器は、本機が対応していないため、操作できません。
- 同じ機種であっても 1 台ごとに別の機器として認識します。
  機器選択画面に同一の機種名が複数表示される場合は、一方を選択して、操作パネルから機器を操作できるか確認してください。
  もし操作できない場合は、他方を選択して再度操作パネルから機器を操作できるか確認してください。
  接続しない機器が表示される場合は、登録削除してください。
- ハイビジョンビデオカメラ（HDV）が「DV 互換モード」に設定されていると、機器選択画面で選択できません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

他のi.LINK機器から使うときは

- i.LINK機器を他のi.LINK機器で使うときは、「機器使用解除」を行ってください。

① i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する
② カーソルボタンで「機器選択」を選び、決定ボタンを押す
③ 下カーソルボタンで、機器選択画面の一番下にある「機器使用解除」を選び、決定ボタンを押す

機器選択画面のリストからi.LINK機器の名前を消す

- i.LINK機器をはずしても、機器選択画面のリストから名前は自動的に消えません。名前を選んで消してください。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

① i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する
② カーソルボタンで「機器選択」を選び、決定ボタンを押す
③ 上下カーソルボタンで削除したいi.LINK機器を選び、決定ボタンを押す
④ 左右カーソルボタンで「削除する」を選び、決定ボタンを押す

D-VHS ビデオデッキで録画・再生する

• i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

デジタル放送を録画する

・この操作では、本機が受信しているデジタル放送のチャンネルが録画されます。

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

3 ●（録画ボタン）を選ぶ

決定　決定する

・録画を止めるときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

録画した番組を再生する

1 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

2 決定　開始地点まで巻き戻す

・◀◀（巻戻しボタン）を選び、決定ボタンを押します。
・停止するときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

3 ▶（再生ボタン）を選ぶ

決定　決定する

・再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、❚❚（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
・停止するときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ

・２つのi.LINK 機器と接続している場合は、「i.LINK 機器の選択」（▶ **122**ページ）を済ませてから操作をしてください。
・機器（D-VHS ビデオデッキ）によっては、i.LINK 操作パネルで操作できない場合があります。
・D-VHS ビデオデッキのタイマーを使って録画予約しているときは、i.LINK 操作パネルで操作しないでください。録画予約に失敗することがあります。
・D-VHS ビデオデッキで記録するときは、D-VHS テープを使用してください。VHS テープや S-VHS テープではデジタル放送が記録できません。

機器（D-VHS ビデオデッキ）によっては、次のような場合があります

・番組の内容によっては、録画・録音ができない場合があります。
・テープを再生しても映像・音声を視聴できない場合があります。
・特殊再生時（送り再生や戻し再生など）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
・VHS テープや S-VHS テープ、またはアナログで記録されている D-VHS テープの再生映像・音声を本機の i.LINK 入力で視聴できない場合があります。この場合は、D-VHS ビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力（入力４～６）に接続し、本機を外部入力に切り換えて視聴してください。

次のページに続く

ハイビジョンビデオカメラ（HDV）で撮影・再生する

• i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

● ビデオモードとカメラモードの切り換え（下記手順 **1**）は、ハイビジョンビデオカメラ側の操作により行います。

• i.LINK 操作パネルの入力切換ボタンは、i.LINK 入力とその前の画面との切り換えを行います。

撮影する

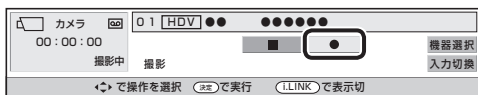
● ハイビジョンビデオカメラ（HDV フォーマット）の撮影操作をi.LINK 操作パネルで行えます。

1 ハイビジョンビデオカメラを「カメラモード」にする

• 「カメラモード」に切り換えると、本機の画面が自動的に i.LINK 入力に切り換わります。

2 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

3 ●（撮影ボタン）を選ぶ

決定　決定する

• 撮影が開始されます。
• 撮影を止めるときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ

• 機器（ハイビジョンビデオカメラ）によっては、静止画を記録する機能として「フォトモード」を備えたものがあります。「フォトモード」になっていると、i.LINK 操作パネルで操作できません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
• i.LINK 操作パネルの撮影ボタンは、ハイビジョンビデオカメラのカメラで映している映像・音声の撮影（録画）を開始します。
• 「カメラモード」で撮影していない状態のまましばらく放置すると、自動的に待機状態になる機器があります。この場合、i.LINK 操作パネルで操作できません。ハイビジョンビデオカメラ本体を直接操作してください。
• 本機で受信している放送または外部入力は、ハイビジョンビデオカメラで録画できません。
• 本機でテレビや外部入力を視聴しているときは、撮影ボタンは無効になります。

再生する

1 ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」にする

2 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

3 開始地点まで巻き戻す

• ◀◀（巻戻しボタン）を選び、決定ボタンを押します。
• 停止するときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

4 ▶（再生ボタン）を選ぶ

決定　決定する

• 再生が開始されます。
• 再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、❚❚（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
• 停止するときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ

• 本機で視聴することができる信号は、「HDV フォーマット」で撮影された信号のみです。「DV フォーマット」で撮影された信号は、本機で視聴できません。
• 「HDV フォーマット」と「DV フォーマット」が混在したテープを再生した場合、DV フォーマットの部分で「この信号を本機で再生することはできません。HDV 機器の設定を確認してください。」のメッセージが表示されます。
• i.LINK 操作パネルで頭出し操作はできません。

おしらせ

• 2つのi.LINK 機器と接続している場合は、「i.LINK 機器の選択」（▶ **122**ページ）を済ませてから操作をしてください。
• 操作できるボタンは接続している機器により異なります。ボタンが表示されていても、操作できない場合があります。
• i.LINK 操作パネルでハイビジョンビデオカメラの電源操作はできません。
• ハイビジョンビデオカメラの電源が「切」のときは、本機からハイビジョンビデオカメラの操作はできません。

AV専用ハードディスク(AV-HDD)やブルーレイディスクレコーダーで録画・再生する

- i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

デジタル放送を録画する

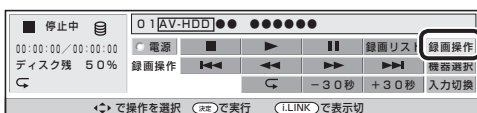
- この操作では、本機が受信しているデジタル放送のチャンネルが録画されます。

押すボタン

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

3 録画操作（録画操作ボタン）を選ぶ

決定　決定する

4 （録画ボタン）を選ぶ

決定　決定する

- 録画が開始されます。
- 録画を止めるときは、録画停止（録画停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ

- 2 つの i.LINK 機器と接続している場合は、「i.LINK 機器の選択」（▶ **122** ページ）を済ませてから操作をしてください。
- AV-HDD レコーダーによっては、動作モードが D-VHS モードになっている間は D-VHS ビデオデッキとして認識されます。
- ブルーレイディスクレコーダーの設定によっては、音声が AC3 フォーマットで記録されることがあります。AC3 フォーマットで記録された音声は、本機では出力されません。

機器(AV-HDD／ブルーレイディスクレコーダー)によっては、次のような場合があります

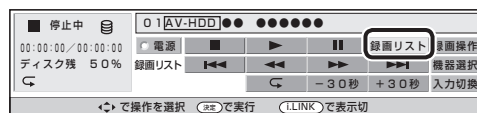
- i.LINK 操作パネルで操作できない場合があります。
- i.LINK 操作パネルの一部のボタンが働かない場合があります。
- 再生しても映像･音声を視聴できない場合があります。
- 番組の内容によっては、録画・録音ができない場合があります。
- 特殊再生時（送り再生や戻し再生）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- 録画中に、再生や録画リスト画面の表示などの操作ができない場合があります。
- 機器選択画面で他の i.LINK 機器を選ぶと自動的に再生を停止する場合があります。

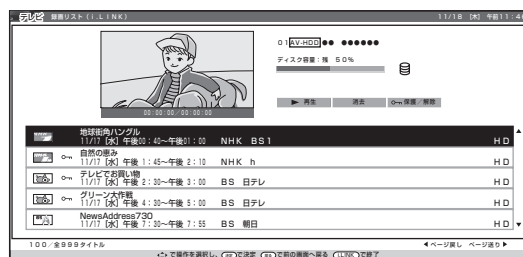
録画リストから再生する

- 録画リストから再生する録画番組（タイトル）を選べます。

押すボタン

1 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

2 （録画リストボタン）を選ぶ

決定　決定する

- 録画リストが表示されます。

3 再生する録画番組を選ぶ

決定　決定する

4 （再生ボタン）を選ぶ

決定　決定する

5 「先頭から再生」または「続きから再生」を選ぶ

決定　決定する

- 再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
- 停止するときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

次のページに続く

AV専用ハードディスク(AV-HDD)やブルーレイディスクレコーダーに録画した番組を消去・保護するには

• i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

● AV-HDD レコーダーまたはブルーレイディスクレコーダーの録画リストから、録画番組（タイトル）の保護や消去の操作ができます。

録画した番組を消去する

押すボタン

1 i.LINK操作パネルを表示する

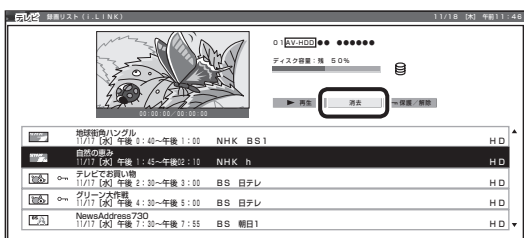
2 録画リスト（録画リストボタン）を選ぶ

決定 決定する

3 消去する録画番組を選ぶ

決定 決定する

4 消去（消去ボタン）を選ぶ

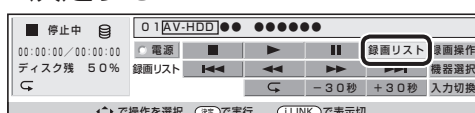
決定 決定する

5 「消去する」を選ぶ

決定 決定する

録画した番組を保護する

押すボタン

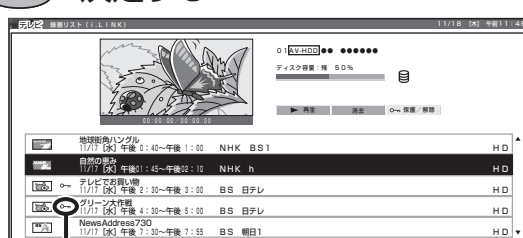
1 i.LINK操作パネルを表示する

2 録画リスト（録画リストボタン）を選ぶ

決定 決定する

3 消去禁止（保護）する録画番組を選ぶ

決定 決定する

4 保護／解除（保護／解除ボタン）を選ぶ

決定 決定する

保護したタイトルには鍵マークが表示されます。

保護を解除したいときは

・保護したタイトルを選んで決定ボタンを押し、保護／解除で決定ボタンを押すと、保護を解除します。

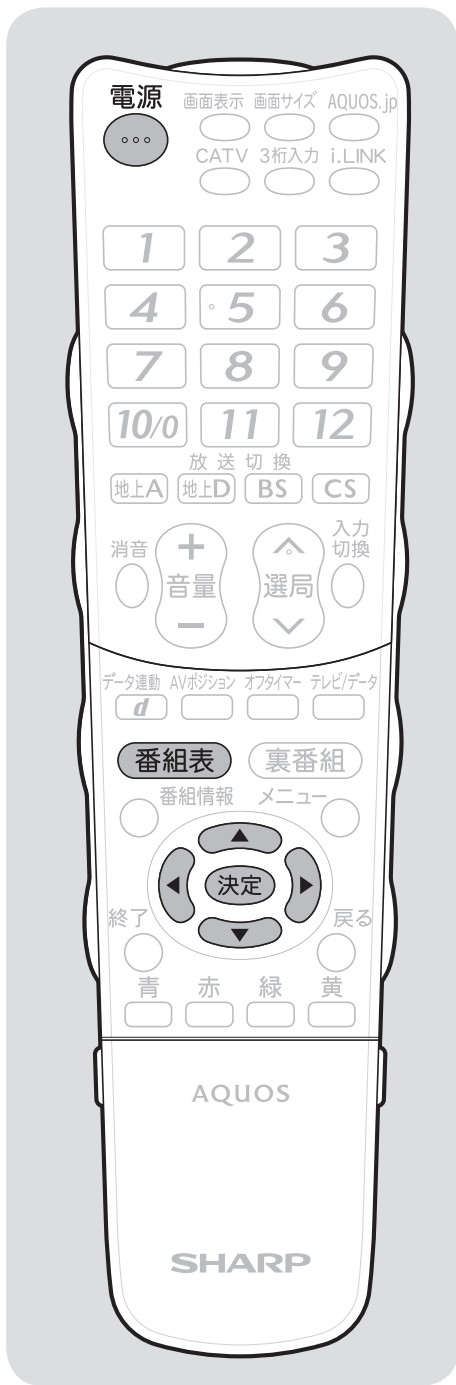
おしらせ

・２つのi.LINK機器と接続している場合は、「i.LINK機器の選択」（▶ 122ページ）を済ませてから操作をしてください。

録画リストについて

・機器によっては、再生小画面にカーソルで選択している番組の映像・音声が表示されない場合があります。
・機器によっては、録画中に録画リストを表示すると、録画を停止する場合があります。
・タイトルに表示される番組情報（番組名や日時）は、録画を始めたときの番組情報を元にしています。
・複数の番組を続けて録画した場合には、最初に録画を始めたときの番組情報が表示されます。
・録画リストに表示される再生小画面では、データ放送の操作や字幕の表示はできません。
・選局直後に録画を始めた場合、タイトルの番組情報が記録されないことがあります。
・他の機器で録画した番組は、タイトルの番組情報が正しく表示されないことがあります。
・録画中のタイトルには、録画中マーク「●」（赤丸）が表示されます。
・本機には、録画したタイトルを編集する機能はありません。
・ブルーレイディスクレコーダーによっては、録画したタイトルを編集する機能があり、編集されたタイトルには、プレイリストマーク「★」が表示されます。（編集されたタイトルは、「プレイリスト」と呼ばれます。）
プレイリストの場合、録画リストからの消去と保護／解除ができません。

電子番組表でi.LINK機器に録画予約する（ファミリンク[2]（i.LINK）予約）

● D-VHS ビデオデッキなどの i.LINK 機器に、予約した時間に合わせて録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送番組を録画します。i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

重要

- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画予約を設定した後に本機の電源を切るときのご注意

- リモコンの電源ボタン（赤）で「切」にしてください。本体の電源スイッチ（赤）で「切」にした場合は、予約が実行されません。

おしらせ

- i.LINK 機器によっては、i.LINK 機器側で接続するテレビの設定が必要な場合があります。
  i.LINK 機器のつなぎ変えや交換をした場合は、i.LINK 機器を選び直してください。（▶ **122** ページ）
- 番組開始の 2 分前から予約準備が始まります。
- 録画予約の準備が始まるとデジタル固定が解除されます。
- 本機のデジタル音声出力（光）端子に MD をつないで予約録音する場合は、ファミリンク [2]（i.LINK）予約ではなく、視聴予約を設定してください。
- 有料の放送は、契約しないと予約どおりの録画ができません。
- 16 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消しが必要です。
- 予約の確認・取り消し・変更については▶ **101** ページをご覧ください。
- 本機から i.LINK 端子経由で、外部の i.LINK 機器に録画した場合は、その i.LINK 機器がダビング 10 に対応していても、「1 回だけ録画可」の番組になり、録画した i.LINK 機器からはダビングできません。（ムーヴのみ可能。）
  ダビング 10 をご利用いただく場合は、ダビング 10 対応のハードディスクレコーダーに内蔵のチューナーでハードディスク (HDD) に録画してください。
- 私的目的で録画したものでも、著作権者等に無断で、販売したり、インターネットで公衆に送信すると著作権侵害となります。

実行中の録画予約を解除するには

- ▶ **106** ページの「おしらせ」をご覧ください。

録画予約した番組が録画されていなかった場合は

- 受信機レポート（▶ **180** ページ）に「予約時に指定された i.LINK 機器が使えませんでした。」という表示が出た場合は、i.LINK 機器の接続（▶ **118** ページ）や選択（▶ **122** ページ）を見直してください。

押すボタン

1 i.LINK 機器と本機を 1 対 1 で接続する（▶ **118** ページ）

- 複数の i.LINK 機器を接続すると、正しく録画されない場合があります。

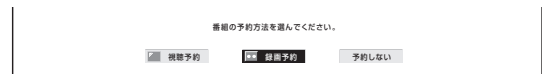
2 電子番組表を表示する

3 予約したい番組を選ぶ

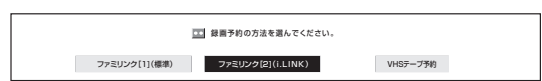
 決定する

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **69** ページ）

次のページに続く

4 「録画予約」を選ぶ

 決定する

5 「ファミリンク [2]（i.LINK)」を選ぶ

 決定する

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、手順 **6** で「詳細を設定する」を選び、使用する i.LINK 機器を変更してください。(▶右記)
- 複数の i.LINK 機器を接続している場合は、詳細設定で録画する機器を設定してください。設定していない場合は、録画先が変更されることがあります。

6 「予約する」を選ぶ

 決定する

（▶右記）

- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

7 決定 「戻る」で決定する

- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。
- 電源を切るときは、本機のリモコンで電源「切」(待機状態）にしてください。

録画する i.LINK 機器を変えるときは

● 録画先の i.LINK 機器を変更できます。

重要

- 複数の i.LINK 機器を接続して使用する場合、接続機器の仕様や相互接続性により、録画に失敗することがあります。この場合、使用していない機器の接続をはずしたり、接続のしかたを変更すると改善する場合があります。

おしらせ

- 「詳細を設定する」を選んで決定すると、メッセージが表示される場合があります。(詳細設定時のメッセージ▶ **106** ページ)
  画面に従って操作してから詳細設定を行ってください。

1 ▶ **127 ～ 128ページの手順 1 ～ 5を行う**

2 「詳細を設定する」を選ぶ

 決定する

3 「録画連動機器の変更」を選ぶ

 決定する

4 使用する i.LINK 機器を選ぶ

決定 決定する

5 「設定の確認」を選ぶ

決定 決定する

6 画面に表示された設定内容を確認する

決定 「確認」で決定する

- 番組表に戻ります。番組表ボタンを押すと、番組表が消えます。
- 電源を切るときは、リモコンの電源ボタン（赤）で切ります。

おしらせ

- ハイビジョンカメラには録画予約できません。(録画連動機器の変更で、選べません。)

本機の機能を活かした使いかた

視聴できる番組や操作を制限するには

暗証番号を設定し、視聴を制限する

● 視聴する人の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。

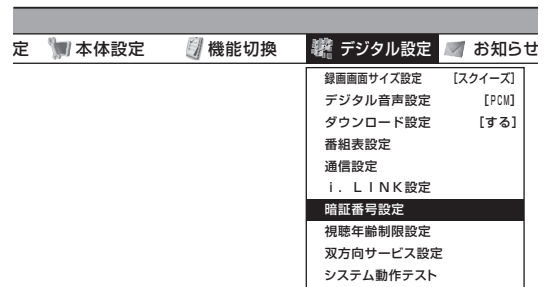
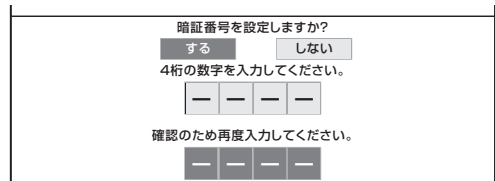
暗証番号設定

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「する」を選ぶ

決定　決定する

4 1 〜 10/0　4 桁の暗証番号を入力する

- 「0」を入力したい場合は 10/0 を押します。
- 暗証番号は必ずメモしてください。

5 1 〜 10/0　確認のため、再度同じ暗証番号を入力する

- 間違った番号を入力した場合は、手順 **4** からやり直してください。

6 決定　「確認」で決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

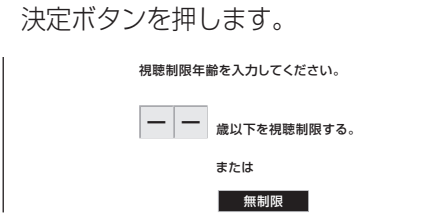
おしらせ

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOW やスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2008 年 3 月現在）

暗証番号を変更するときは

① メニューから「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ
- 暗証番号入力画面が表示されます。

② 数字ボタン（チャンネルボタン）で、暗証番号を入力する
- 暗証番号を入力すると、暗証番号を設定するときの画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

視聴年齢制限設定

- 年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。
- この設定をするには、前のページの暗証番号設定が必要です。

1 メニューを表示する

2 「デジタル設定」を選ぶ

3 「視聴年齢制限設定」を選ぶ

決定 決定する

4 1 ～ 10/0 暗証番号を入力する

5 年齢の入力欄を選ぶ

- 制限しない場合は「無制限」を選び、決定ボタンを押します。

6 1 ～ 10/0 制限する年齢の上限を入力する

決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

リモコンまたは本体の操作をロックする（チャイルドロック）

- リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。

チャイルドロックの設定項目

項目	内容
しない	リモコンでも本体ボタンでも操作できます。
リモコン操作ロック	リモコンでの操作ができない状態にします。
本体操作ロック	本体ボタンでの操作ができない状態にします。(本体の電源ボタン(赤)はロックされません。)

1 メニュー メニューを表示する

2 「機能切換」－「チャイルドロック」を選ぶ

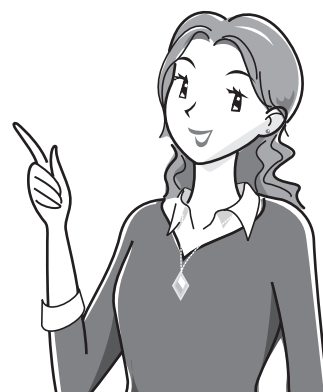
決定 決定する

3 「しない」「リモコン操作ロック」「本体操作ロック」のいずれかを選ぶ

決定 決定する

おしらせ

- 誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体右側面のボタン（▶ **34** ページ）で上記の操作をし、ロックを解除してください。

お子様などが誤って操作しても変わらないようにできます。

パソコンのモニターとして使う

パソコンと接続する

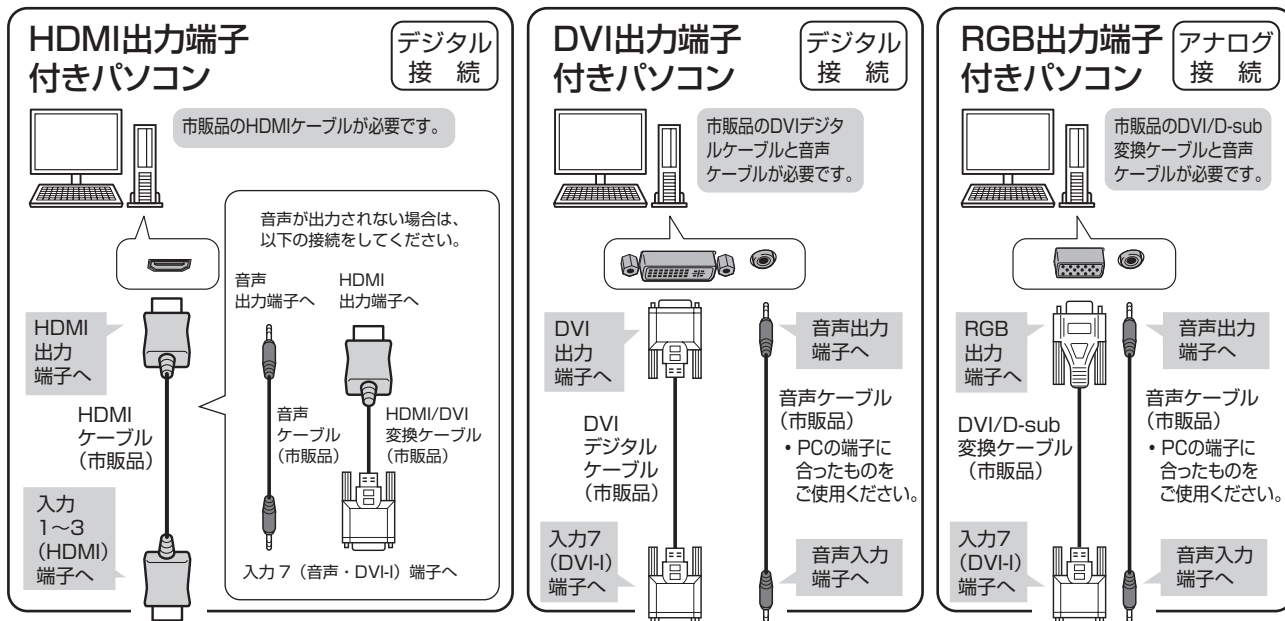
- 本機をパソコン（PC）のモニターとしても使用できます。

おしらせ

- 省エネの設定をすることができます。（▶ **179** ページ）

・接続の前に、本機とパソコンの電源を切ってください。

パソコンの出力端子を確認して適合するケーブルをご用意ください。

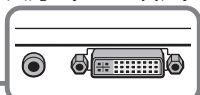
- HDMI 出力端子、DVI-I 出力端子の付いていない PC と接続するときは、DVI/D-sub 変換ケーブル（市販品）を使ってアナログ接続します。

入力1･2（HDMI）端子

- 本機のHDMI端子、DVI-I端子は、HDCP（コピープロテクト機能）に対応しています。

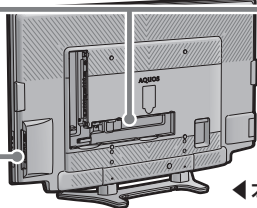
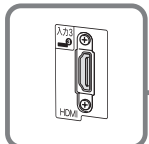
入力7（DVI-I･音声）端子

入力3（HDMI）端子

◀本体背面

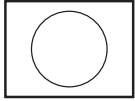
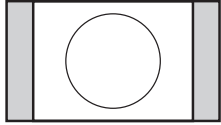
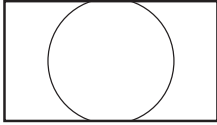
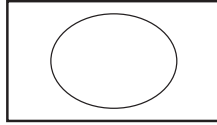
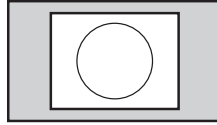
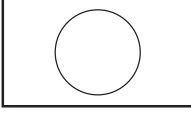
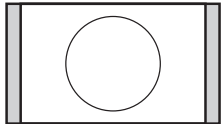
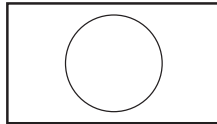
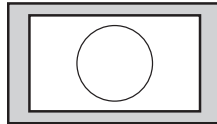
DVIデジタルケーブルの取扱いについて

① 端子とプラグの形状を合わせて差し込む。

② 両端のネジでしっかりと固定する。

おしらせ

- DVI/D-sub 変換アダプターは、形状によっては本機の端子スペースに入らない場合がありますのでご注意ください。
- アナログ接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（自動で画面を調整する ▶ **134** ページ）
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、「パソコンの画面を表示する」（▶ **133** ページ）をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。
- DVI-I 端子からの 1080p（24Hz）映像信号入力には対応していません。1080p（24Hz）映像信号は HDMI/DVI 変換ケーブルを使用して HDMI 端子に接続してください。
- HDMI/DVI 変換ケーブルを使用して HDMI 端子から 1080p（24Hz）信号を入力した場合、音声は本機のスピーカーから出力させることはできません。PC 付属のスピーカーまたは外部スピーカーを使用していただく必要があります。

パソコンの解像度について

下記の表は、本機が対応している解像度です。

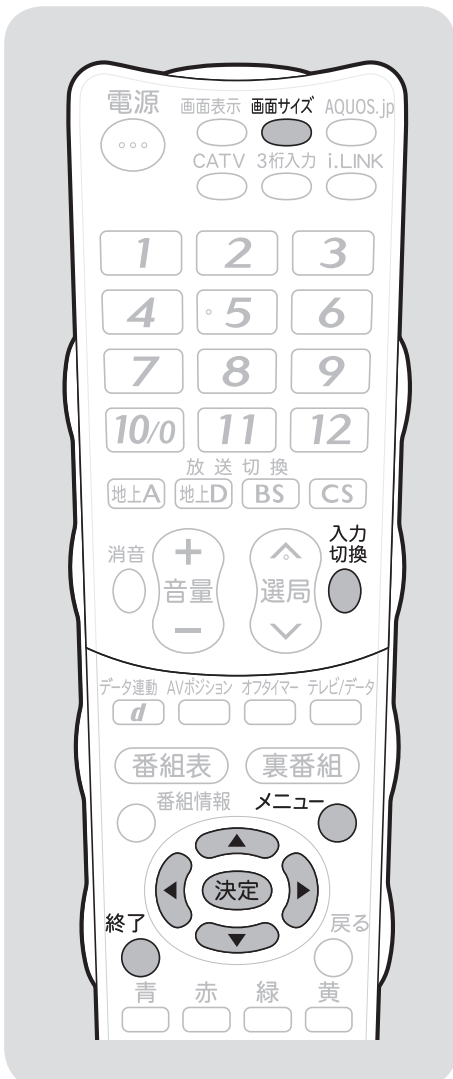
- パソコン（PC）の HDMI 出力／ DVI 出力／ RGB 出力の解像度を確認してください。

	解像度(画素)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
	VGA	720×400	31.5	70	
		640×480	31.5	60	○
			37.9	72	○
			37.5	75	○
	SVGA	800×600	35.1	56	○
			37.9	60	○
			48.1	72	○
			46.9	75	○
	XGA	1024×768	48.4	60	○
			56.5	70	○
			60.0	75	○
	WXGA	1360×768	47.7	60	○
	SXGA	1280×1024	64.0	60	○
	SXGA+	1400×1050	65.3	60	○
※	480p	720×480	31.5	60	
※	1080i	1920×1080	33.8	60	
※	720p	1280×720	45.0	60	
※	1080p	1920×1080	67.5	60	

※の入力信号の画面サイズについては、▶ **79** ページをご覧ください。

パソコンの画面を表示する

画面サイズの選びかた

● 以下の画面サイズを選べます。（入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4:3映像 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 1360×768、 1920×1080など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。		画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

押すボタン

1 パソコン（PC）の電源を入れる

2 入力切換 「入力 7」（PC 入力）を選ぶ
- パソコンの画面が表示されます。

3 画面サイズ 画面サイズ切換メニューを表示する
- 表示中に次の操作を行います。

4 画面サイズ お好みの画面サイズを選ぶ
- 上下カーソルボタンでも選べます。

5 決定 画面サイズ切換メニューを消す

- 画面の調整が必要なときは次のページをご覧ください。
- 画面が正しく映らないときは、▶ **135** ページをご覧ください。

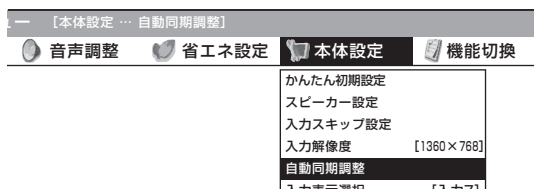
アナログ接続したパソコンの画面を調整する

自動で画面を調整する

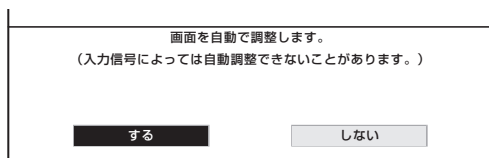
● 市販のDVI/D-sub変換ケーブルなどでパソコン（PC）とアナログ接続している場合に、最良に近い画面に自動的に調整されます。クロック周波数、クロック位相などが調整されます。

・動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号やPCによっては、自動調整だけでは、最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（▶右記）

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「本体設定」ー「自動同期調整」を選ぶ**

決定する

3 **「する」を選ぶ**

決定する

・「自動同期調整中」と表示されます。
・自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。
・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・画面が正しく映らないときは、▶ **135** ページをご覧ください。
・お使いのパソコンによっては、外部出力ボードを有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型パソコンの場合では、Fnキーと F5キーを同時に押すと、外部出力ボードが有効になります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手動で画面を調整する

● 以下の項目が調整できます。

項目	内容
水平位置	画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。
垂直位置	画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。
クロック周波数	縦じま状のチラツキがあるときに調整します。0～180の範囲で調整できます。
クロック位相	文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。0～40の範囲で調整できます。
リセット	工場出荷時の設定に戻します。

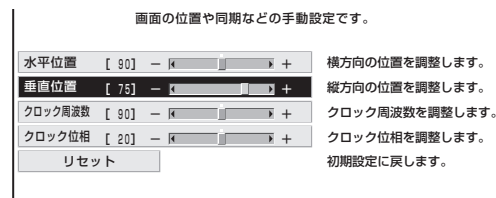
（例） 画面の垂直位置を調整する

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「本体設定」ー「画面調整」を選ぶ**

決定する

3 **「垂直位置」を選ぶ**

4 **適切な位置に調整する**

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

画面が正しく映らないときは

- 画面が正しく映らないときは以下の設定をしてください。
  - 入力端子の設定を行う必要がある場合があります。（入力信号の設定 ▶下記）
  - 入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。（入力解像度の設定▶右記）

入力信号の設定

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「機能切換」ー「入力選択」を選ぶ**

決定する

3 **接続したケーブルを確認し､「デジタル」または「アナログ」を選ぶ**

決定　**決定する**

入力端子の設定です。

自動	入力信号を自動で選択して表示します。
デジタル	常にデジタル入力信号を表示します。
アナログ	常にアナログ入力信号を表示します。

- 工場出荷時は「自動」に設定されています。通常は自動のままでかまいません。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

入力解像度の設定

- アナログ接続の場合は、一部の入力解像度（768 ライン）が自動判別できないため、手動での入力解像度の選択設定が必要な場合があります。
- パソコン（PC）の解像度が「1024 × 768」または「1360 × 768」の場合に必要な設定です。

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「本体設定」ー「入力解像度」を選ぶ**

決定する

3 **入力解像度を選ぶ**

決定　**決定する**

入力映像信号の解像度の手動設定です。

1024×768

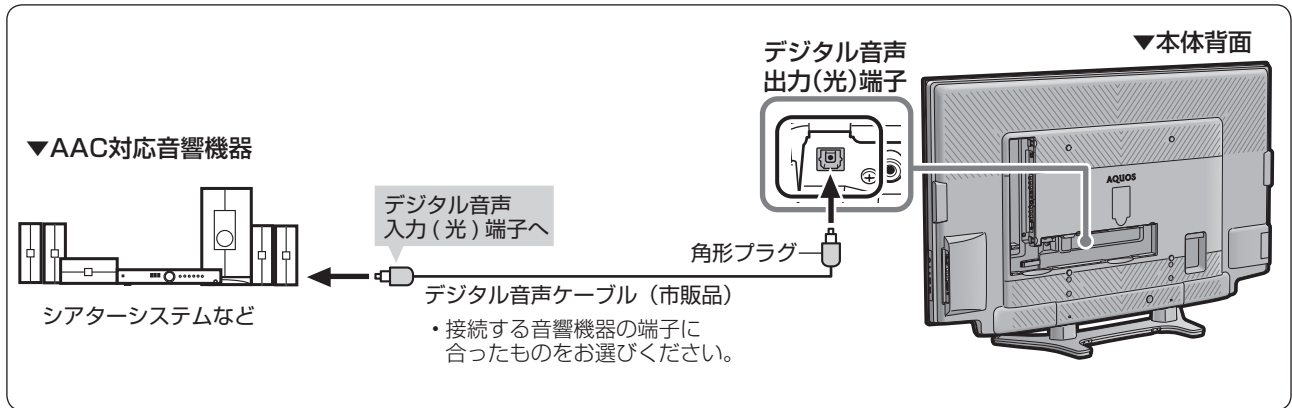
1360×768

- 垂直ライン数（非表示期間を含む）が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。
- 映像表示させた状態で正しい解像度を設定してください。設定後に映像表示させると、位置が大きくずれてしまうことがあります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

オーディオ機器で音声を楽しむには

デジタル音声（光）端子付きのオーディオ機器で聞く

・接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

● 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC 音声フォーマットを出力できます。AAC 対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

おしらせ

- 接続する機器が AAC/PCM の自動切換に対応していない場合は、機器側の設定を切り換えてください。
  詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 地上アナログ放送や CATV 放送、ビデオ入力の音声は、「AAC」に設定しても「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定すると、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。
- 本機の電源を切ると、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。（視聴しているときの音声が出力されます。）
- ファミリンク対応の AV アンプ（AQUOS オーディオ）を市販の HDMI 認証ケーブルとデジタル音声ケーブルでつなぐと、ファミリンク機能で操作できます。（▶ **108** ページ）
- 再生する機器、ソフトによってはデジタル音声出力されない場合があります。

デジタル音声出力（光）端子から出力される音声の種類について

HDMI 端子からの入力音声信号※	2ch のリニア PCM
視聴中のデジタル放送音声	AAC

※ HDMI 端子で接続したレコーダーからの音声信号は、本機のデジタル音声出力（光）端子から、2ch のリニア PCM で出力されます。レコーダーからの音声をサラウンドで楽しみたい場合は、直接レコーダーから AV アンプへ音声信号を入力してください。詳しくは、お手持ちのレコーダーおよび AV アンプの取扱説明書をご確認ください。本機で受信したデジタル放送（サラウンド対応番組）の場合は、デジタル音声出力（光）端子からサラウンドの AAC で出力できます。

出力される音声信号の設定（デジタル音声設定）

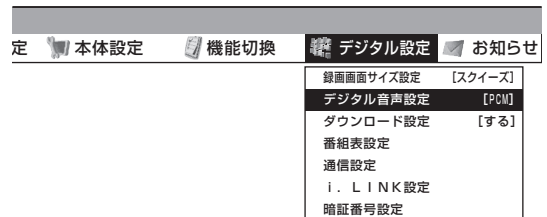
押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「デジタル音声設定」を選ぶ

 決定する

3 「PCM」または「AAC」を選ぶ

 決定する

- **「AAC」**：AAC 対応の AV アンプなどをつなぐときは、「AAC」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。
- **「PCM」**：AAC に対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主／副）が出力されます。

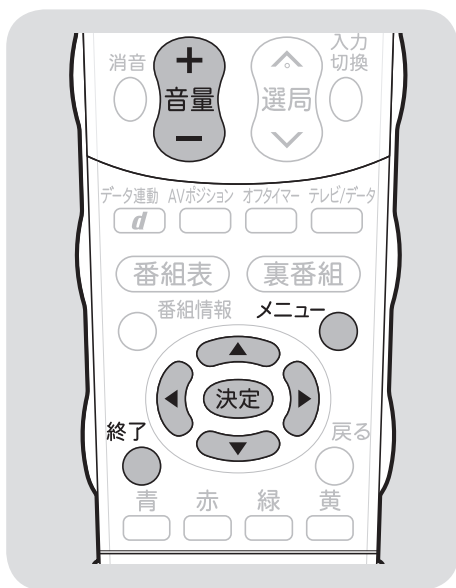
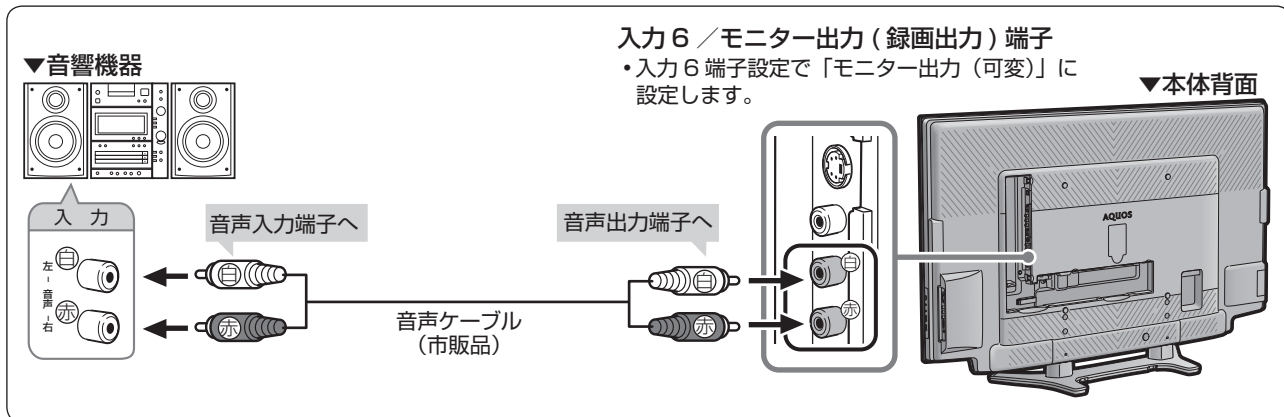
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

アナログ音声のオーディオ機器で聞く

・接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

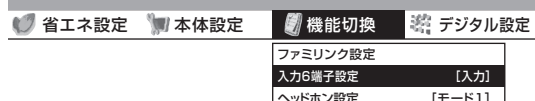
● 本機の入力６／モニター出力（録画出力）端子につなぐとアナログ音声を楽しめます。

おしらせ

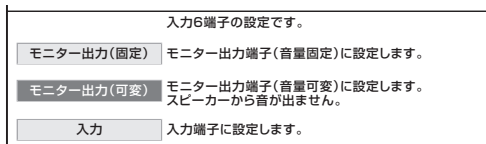
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- 「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定したときは、入力切換メニューの「入力６」の表示が「モニター出力」に変わります。

モニター出力端子から音を出したいときは（入力６端子設定）

押すボタン

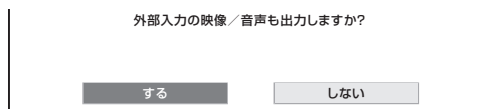
1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」－「入力６端子設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「モニター出力（可変）」を選ぶ

決定　決定する

- 本機のスピーカーからの音声が停止します。
- 出力される音量は音量ボタン(青)で調整できます。
- 「外部入力の映像／音声も出力しますか？」と表示されます。

4 「する」または「しない」を選ぶ

決定　決定する

- 本機と音響機器をループ接続（▶ **102** ページ）しないでください。ハウリング（ブー音）や画面の乱れを生じます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

次のページに続く

5.1ch サラウンド対応機器で聞く

・接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

● 本機の内蔵スピーカーをセンタースピーカーとして使用できますので、DVD 音声などを臨場感あふれる音で再生できます。

おしらせ

- 接続できる 5.1ch サラウンド対応 AV アンプは、センター出力端子（プリアウト）を持っている機器のみです。
- 本機で受信したサラウンド放送を AAC 対応の音響機器で楽しむには、「デジタル音声（光）端子付きのオーディオ機器で聞く」（▶ **136** ページ）の接続も必要です。
- センタースピーカー入力を「する」に設定すると、チャンネルサインの下および音量表示に「センタースピーカー」と表示されます。
- テレビ側の音量および AV アンプ側センターチャンネルのプリアウトの設定を調整し、音量を合わせてください。AV アンプ側の条件によっては、通常のテレビ視聴時の音量設定位置とは大きく異なることがあります。
- AV アンプでスピーカーサイズが設定できる場合は、センターチャンネルのスピーカーを「Small ／小」または「Normal」に設定してください。
- センタースピーカー入力を「する」に設定したときと「しない」に設定したときの音量は、それぞれ独立に設定できます。
- センタースピーカー入力を「する」に設定すると、AQUOS サラウンドの設定はできません。

本機をセンタースピーカーとして使うには（センタースピーカー入力）

押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」－「センタースピーカー入力」を選ぶ

決定　決定する

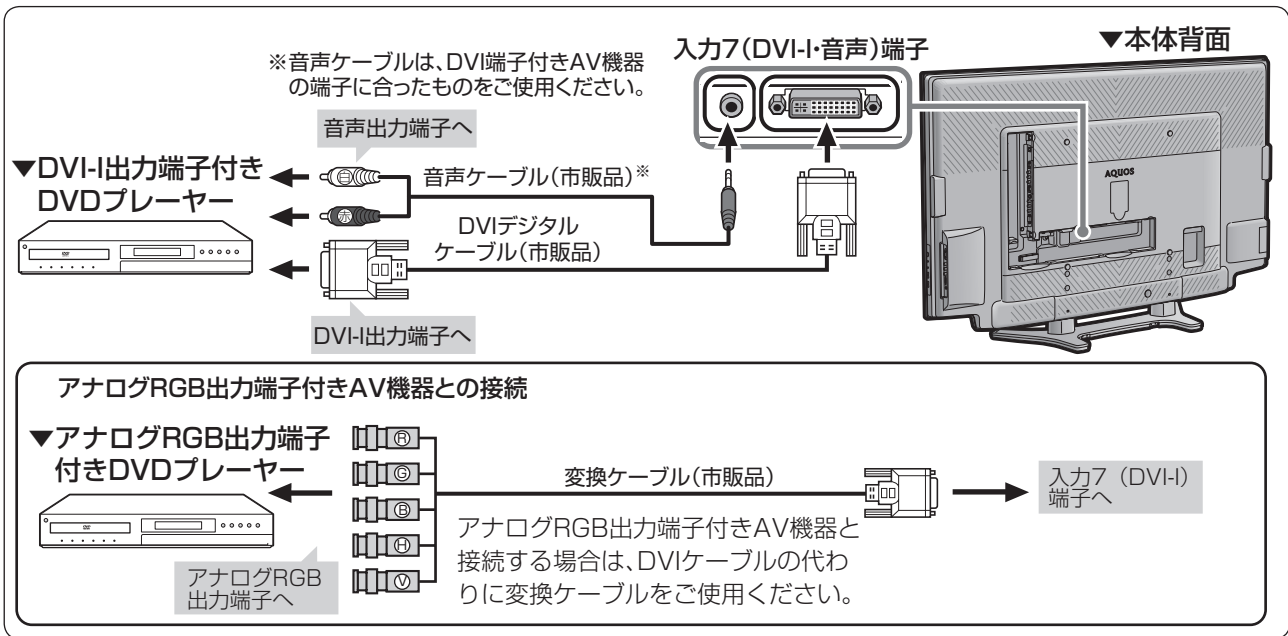
3 「する」を選ぶ

決定　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

DVI-I 出力端子付き AV 機器とつなぐ

・接続の前に、本機と機器の電源を切ってください。

● DVI-I 出力端子付き AV 機器との接続は、市販の DVI ケーブルを使用します。

DVI 対応 AV 機器の入力対応信号について

● DVI 対応 AV 機器の入力対応信号は、480p、1080i、720p、1080p です。

正しく表示されないときは

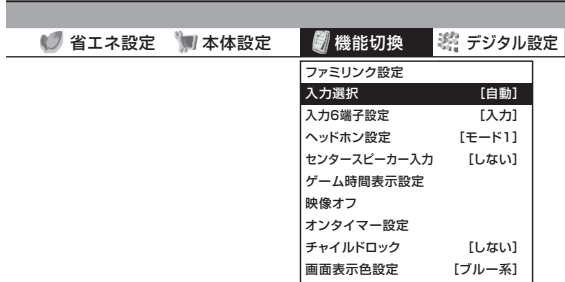
● 対応した信号で正しく表示されない場合は、下記の手順に従い、接続したケーブルを確認し、入力 7 を「デジタル」または「アナログ」に設定してください。**通常は「自動」のままでかまいません。**

1 入力切換 「入力 7」を選ぶ

2 メニューから「機能切換」ー「入力選択」を選ぶ

決定 決定する

省エネ設定 本体設定 機能切換 デジタル設定

ファミリンク設定	
入力選択	[自動]
入力6端子設定	[入力]
ヘッドホン設定	[モード1]
センタースピーカー入力	[しない]
ゲーム時間表示設定	
映像オフ	
オンタイマー設定	
チャイルドロック	[しない]
画面表示色設定	[ブルー系]

3 接続したケーブルを確認する

4 「デジタル」または「アナログ」を選ぶ

入力端子の設定です。

自動	入力信号を自動で選択して表示します。
デジタル	常にデジタル入力信号を表示します。
アナログ	常にアナログ入力信号を表示します。

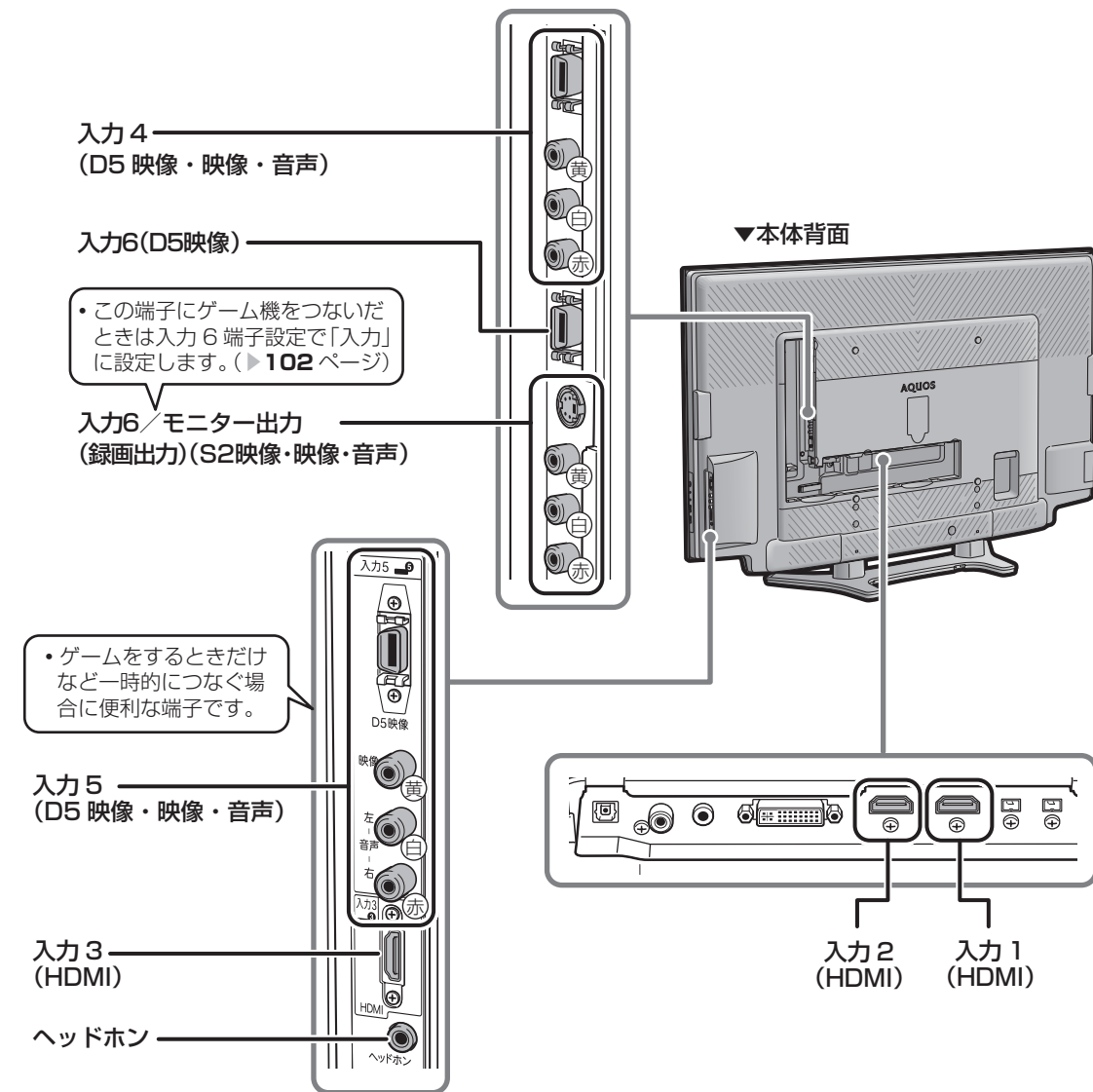
5 決定 決定する

ゲームをするときは

接続のしかた

- 接続について詳しくは、ゲーム機の取扱説明書をご覧ください。
  ゲーム機の種類により、本機と接続する端子や接続するケーブルが異なります。
- 本機の入力端子のうち、ゲーム機で対応している端子と接続してください。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

ゲームを楽しむときは

ゲームの画面に切り換える

- ゲーム機をつないだら、ゲーム機の画面を表示しましょう。

1 ゲーム機と本機の電源を入れる

2 入力切換 入力切換メニューを表示する
- 表示中に次の操作を行います。

3 入力切換 繰り返し押して、ゲーム機を接続した入力を選ぶ
- 選択した入力に切り換わり、ゲーム機の画面が表示されます。
- 例えば、本機の入力 1 にゲーム機を接続した場合は、「入力 1」を選びます。

上下カーソルボタンでも選べます。入力切換について詳しくは、**93**ページをご覧ください。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6
入力7

本機でテレビゲームをお楽しみになる前に

- テレビゲームをお楽しみになるときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適の AV ポジションの「ゲーム」にして、お使いいただくことをお奨めします。
- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。
- ゲームによっては、映像の動きの速いシーンにおいて、反応が遅くなる場合があります。
反応が遅くなるときは、AV ポジションを「ゲーム」に設定し、「映像調整」－「プロ設定」－「QS 駆動（120Hz）」で「しない」にしてください。

ゲームのプレイ時間を 30 分ごとに表示する（ゲーム時間表示設定）

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
- メニューの「機能切換」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。

項目	内容
する	外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから 30 分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます。
しない	何も表示しません。

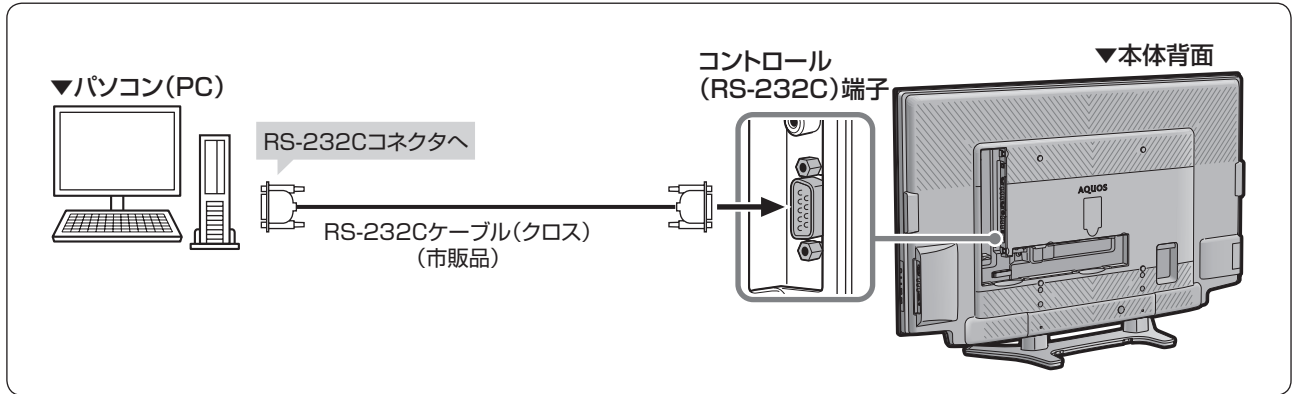
重要

- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力の AV ポジション（▶ **81** ページ）を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

パソコンで本機を操作するには

パソコン（PC）を使い慣れたかたのご利用をお願いします。

接続のしかた

● ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作ができます。

● パソコン側の RS-232C 通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。

● 本機の仕様は、右のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

通信のしかた

● パソコンからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをパソコン側に送ります。

● 複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時の戻り値(OK)を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(パソコンから本機へ)

レスポンス(本機からパソコンへ)

・正常時

・異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

O	K	↵

リターンコード(0DH)

E	R	R	↵

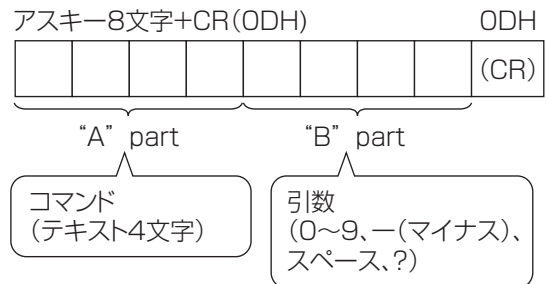
リターンコード(0DH)

戻り値について

・ コマンドの実行が終了したら、次の戻り値を返します。

O	K	(CR)

・ コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、次の戻り値を返します。

コマンドと引数について

・ "B" part は左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず 4 文字にしてください。）設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。

・ 次ページのコマンド一覧で引数が「ー」になっているものは、「0」～「9」、「ー」(マイナス)、スペース、「?」であれば何を書いてもかまいません。

・ いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

RS-232C コマンド一覧

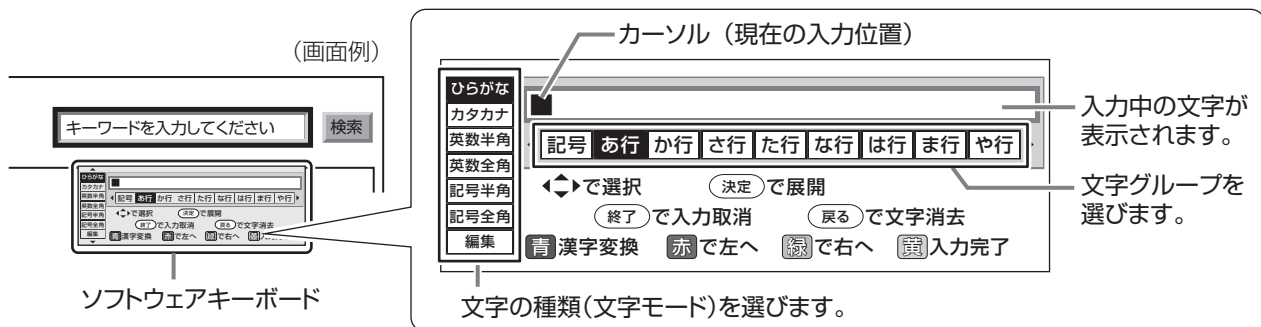
●下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

機能		"A"part	"B"part	Part動作説明	備考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	－※1	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	－		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま［ラストメモリー］）
	入力1～7	IAVD	1～7※1	（入力端子番号）	入力1～入力7に入力切換
	i.LINK	LINK	－		i.LINKに入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	－	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS1デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS1デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS2デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS2デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	－	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	－	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力4	INP4	0	自動	入力切換含む。入力4～7で有効
	入力5	INP5	1	D端子	入力4～6のみ有効
	入力6	INP6※1	3	S端子	入力6のみ有効
	入力7	INP7	4	ビデオ映像端子	入力4～6のみ有効
			5	デジタル	入力7のみ有効
			6	アナログ	入力7のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック（固定）	
			6	ダイナミック	
			7	PC	
音量		VOLM	0～60	音量値	
位置調整・画面調整	水平位置	HPOS	※2	移動値	
	垂直位置	VPOS	※2	移動値	
	クロック周波数	CLCK	0～180	移動値	PC入力時のみ有効
	クロック位相	PHSE	0～40	移動値	PC入力時のみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	（AV系／PC系）
			2	スマートズーム	（AV系）
			3	ワイド	（AV系）
			4	シネマ	（AV系／PC系）
			5	フル	（AV系／PC系）
			6	フル1	（AV系1080i）
			7	フル2	（AV系1080i）
			8	アンダースキャン	（AV系720p）
			9	Dot by Dot	（AV1080i、1080p／PC系）
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
音声切換		ACHA	－	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※1 入力6は、入力6端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。
※2 入力、信号、画面サイズによって範囲が変わります。

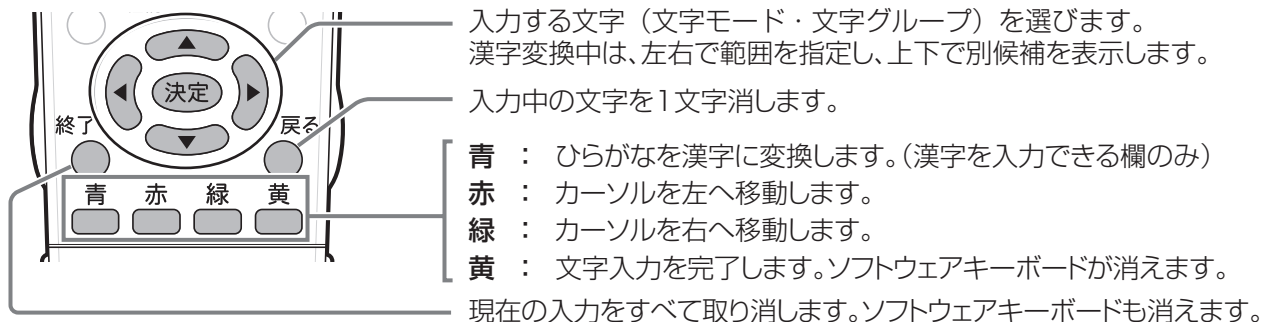
- "B" part欄の「－」は、「0」～「9」、「ー」（マイナス）、スペース、「？」であれば何を入力してもかまいません。

文字を入力するには（ソフトウェアキーボード）

- 入力表示の編集やインターネットを楽しむとき、LAN設定をするときは、ソフトウェアキーボードで文字を入力します。
- ソフトウェアキーボードは、文字入力できる欄を選んで決定ボタンを押すと、表示されます。

おしらせ

・メニューからソフトウェアキーボードを呼び出したときは「青 漢字変換」は表示されません。

文字の入力に使うリモコンのボタン

- ▲▼◀▶：入力する文字（文字モード・文字グループ）を選びます。漢字変換中は、左右で範囲を指定し、上下で別候補を表示します。
- 戻る：入力中の文字を1文字消します。
- 青：ひらがなを漢字に変換します。（漢字を入力できる欄のみ）
- 赤：カーソルを左へ移動します。
- 緑：カーソルを右へ移動します。
- 黄：文字入力を完了します。ソフトウェアキーボードが消えます。
- 終了：現在の入力をすべて取り消します。ソフトウェアキーボードも消えます。

入力できる文字の一覧

文字モード	入力できる文字
ひらがな	（下表）
カタカナ	ひらがなと同じ文字をカタカナで入力できます。
英数半角	（下表）
英数全角	「英数半角」と同じ文字を全角で入力できます。

ひらがな

記号	一、。・「」ー（全角ハイフン）		
あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ		
か行	かきくけこ ゛	さ行	さしすせそ ゛
た行	たちつてとっ ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ ゛゜	ま行	まみむめも
や行	やゆよゃゅょ	ら行	らりるれろ
わ行	わをんゎ		
空白	（全角スペース）		

英数半角

数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		
ABC	a b c A B C	DEF	d e f D E F
GHI	g h i G H I	JKL	j k l J K L
MNO	m n o M N O	PQRS	p q r s P Q R S
TUV	t u v T U V	WXYZ	w x y z W X Y Z
空白	（半角スペース）		

文字モード	入力できる文字
英字半角	半角のアルファベットを入力できます。文字グループの内容は「英数半角」のアルファベットと同じです。
数字半角	半角の数字を入力できます。
記号半角	（下表）
記号全角	「記号半角」と同じ文字を全角で入力できます。
編集	入力取消 / 左へ / 右へ / 入力完了 / 文字消去 / 改行 カラーボタンや戻るボタンなどを押したときと同じ働きをします。 「改行」は改行ができる場合のみ表示されます。

記号半角

@ . , :	@ . , :	;_－¥	; _ － ¥
$%!?	$ % ! ?	&#+*	& # + *
=/¦~	= / ¦ ~	"'^`	" ' ^ `
( )<>	( ) < >	[ ]{ }	[ ] { }
空白	（半角スペース）		

● ここでは、例として「場所」と入力する手順を説明します。

1 文字を入力できる欄を選ぶ

決定する

・ソフトウェアキーボードが表示されます。

文字を選ぶ

2 「ひらがな」を選ぶ

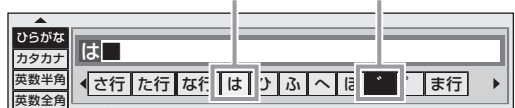
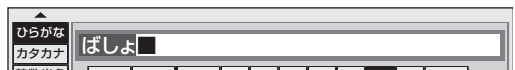
「は行」を選ぶ

決定する

3 「は」を選ぶ

決定する

「゛」を選ぶ

決定する

4 同じようにして「さ行」から「し」、「や行」から「ょ」を入力する

おしらせ

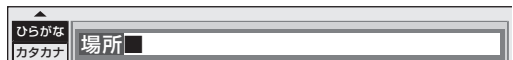
・入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し、戻るボタン（文字消去）を押します。

文字入力の制限について

・１つの入力欄に入力できる文字数は全角で 64 文字まで、半角で 128 文字までです。
・文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。
このとき、全角で 64 文字（半角の場合は 128 文字）を超える文字は削除されます。

漢字に変換する

● 漢字を入力できる欄では、ひらがなを漢字に変換できます。

5 青 入力欄にひらがなが表示された状態で、ひらがなを漢字に変換する

・上下カーソルボタンで別の候補を表示できます。
・左右カーソルボタンで変換する範囲を変更できます。

6 決定 入力したい文字（ここでは「場所」）が表示されたら、決定する

・文字が確定します。

文字入力を完了する

7 黄 ソフトウェアキーボードを消す

・黄ボタンを押すと入力中の文字が、入力欄に入力され、ソフトウェアキーボードが消えます。
これで文字の入力は完了です。

スペースを入力するとき

文字グループから「空白」を選ぶ

決定する

・文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

改行するとき

1 「編集」を選ぶ

2 「改行」を選ぶ

決定する

・改行マークが表示されます。入力を完了したとき、改行マークの位置で改行されます。

おしらせ

・入力欄によっては、改行できない場合もあります。
・改行マークは、全角 1 文字として数えられます。

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

● 双方向通信・インターネット・ホームネットワークをお楽しみになるには、次の環境が必要です。

双方向通信を利用するとき

- 電話回線の用意が必要です。
- 電話回線設定が必要です。

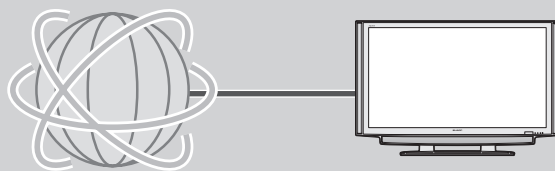
おしらせ

・ 一部の双方向番組は LAN 接続でも利用できます。

接続と設定のしかたについて

電話回線の接続と設定（▶下記）

インターネット・ホームネットワークを利用するとき

- インターネットとホームネットワークを利用するには、ブロードバンド環境の用意と LAN 設定が必要です。
- ホームネットワークを利用するには、インターネットプロバイダーとの契約は不要です。

接続と設定のしかたについて

ブロードバンド環境への
接続と設定（インターネットの準備）
▶**151**ページ

電話回線の接続と設定

● 下記の「ながれ」にしたがって、電話回線を接続し電話回線設定を行ってください。

電話回線の接続と設定のながれ

電話回線の接続（▶**147～148**ページ）

⬇

電話回線の設定（▶**148**ページ）
電話会社の設定（▶**149**ページ）

⬇

システム動作テスト（▶**150**ページ）

⬇

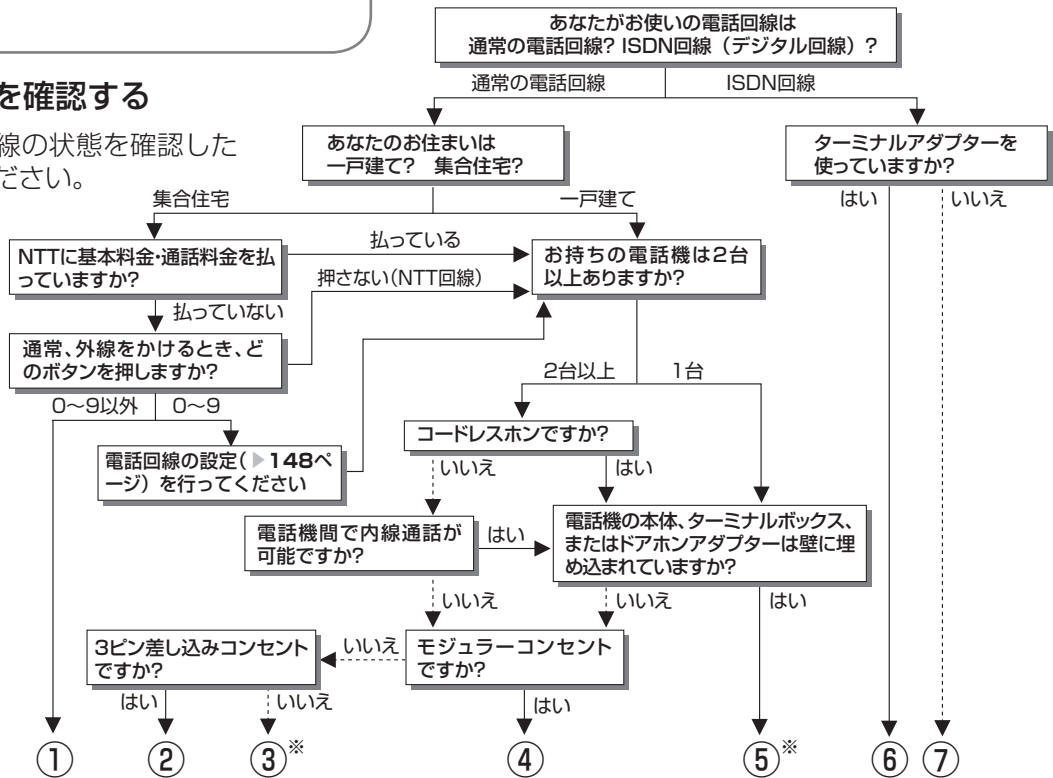
双方向サービスの利用の制限（▶**150**ページ）

⬇

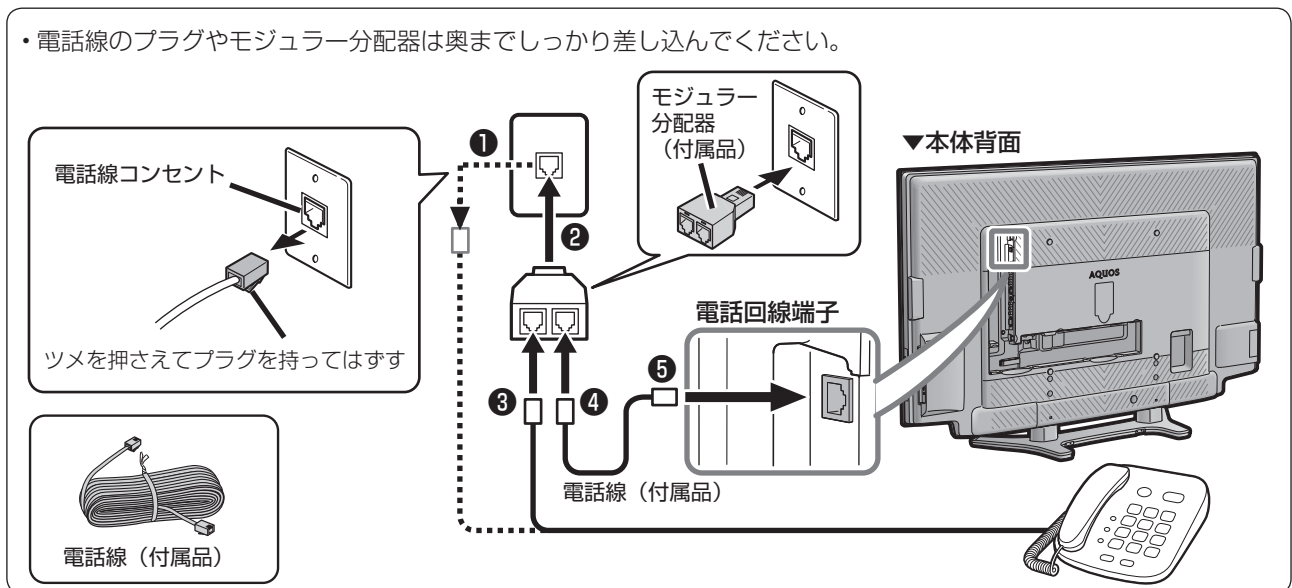
完了

電話回線の接続

電話回線の状態を確認する

- 右の図で電話回線の状態を確認した後、接続してください。
- 詳細は NTT へお問い合わせください。

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の 3 ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。（▶下記）
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
※ ③、⑤についての詳細は、お近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）でご相談ください。

電話回線に接続する

- 本機と電話機の電源を切り、下図の❶～❺の順番で取りはずしと接続を行います。

おしらせ

- 電話回線接続時には電話料金がかかります。（クイズ番組の答えを送信するときなど）
- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機や FAX が鳴る場合がありますが異常ではありません。

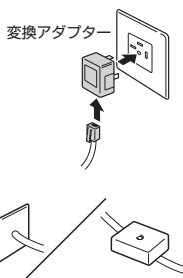
次のページに続く

次の電話回線では注意が必要です。

光回線や ADSL を使用する、インターネットを介した IP 電話などの電話回線の場合

- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

- ３ピンプラグの場合は、市販の３ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- 直結配線方式の場合は、簡単な工事が必要です。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）の場合

- そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
  詳細は電話設置会社にご相談ください。

> ● **ADSL回線を利用するときは、「ブロードバンド環境への接続と設定(インターネットの準備)」の説明(▶**151**ページ)をご覧ください。**
> - ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスを受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

キャッチホンの場合

- 通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

FAX を使っている場合

- FAX の「電話機へ」と書かれたモジュラージャック端子に接続している電話機の電話線をはずし、代わりにモジュラー分配器を差し込み、分配器の一方に電話機の電話線を、もう一方に本機に付属の電話線を接続してください。分配器で FAX と本機に分配すると、FAX が誤動作する場合があります。

本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。

- 通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ ....)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

直接デジタル回線に接続することはできません。

- 会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認の上、ご利用ください。ISDN などのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）等の端末器を介して接続してください。

電話回線の設定

● 接続した電話回線の設定をします。

おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。
- 電話回線のテスト実行には、回線の種類により最長 7 分程度かかる場合があります。
- 「電話回線設定－手動」で設定した内容を確認したい場合は、「電話回線設定－自動」で「テスト実行」を行ってください。

押すボタン

1 メニューを表示する

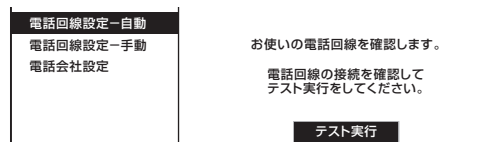
2 「デジタル設定」－「通信設定」を選ぶ

決定 決定する

3 「電話回線設定－自動」を選ぶ

決定 決定する

決定 「テスト実行」で決定する

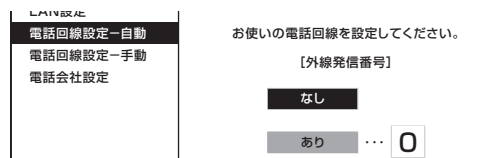
電話回線設定－自動
電話回線設定－手動
電話会社設定
お使いの電話回線を確認します。
電話回線の接続を確認してテスト実行をしてください。
テスト実行

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。

◆外線発信番号の設定

4 「なし」または「あり」を選ぶ

決定する

- 外線交換機を使用しない場合は、「なし」を選びます。（通常はこちらを選びます。）
- 電話交換機などをご使用の場合は、「あり」を選びます。数字ボタン(チャンネルボタン)（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

お使いの電話回線を設定してください。
[外線発信番号]
なし
あり … 0

5 決定 「テスト実行」で決定する

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 自動で電話回線の設定ができない場合は、以降の手順を行います。

◆手動による電話回線設定

6 「電話回線設定－手動」を選ぶ

 決定する

 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定する

7 電話回線種別を選ぶ

 決定する

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

8 外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

 決定する

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン（チャンネルボタン）（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

9 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を選ぶ

 決定する

- NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により、「する」または「しない」を選んでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

電話会社の設定
（通常は設定する必要はありません。）

- 各放送局など、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。

発信者番号通知設定

- 通信後、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

① メニューボタンを押し、メニューを表示する
② カーソルボタンで「デジタル設定」－「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
③ 上下カーソルボタンで「電話会社設定」を選び、決定ボタンを押す
④ 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定ボタンを押す

⑤ 上下カーソルボタンで「設定しない」「186」（電話番号を通知する）「184」（電話番号を通知しない）のいずれかを選び、決定ボタンを押す

事業者番号設定

- 電話回線での通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

⑥ カーソルボタンで利用している電話会社の事業者番号を選び、決定ボタンを押す

解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するように設定できます。

⑦ 左右カーソルボタンで「する」（マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信する）または「しない」（マイラインプラスを解除しないで発信する）を選び、決定ボタンを押す

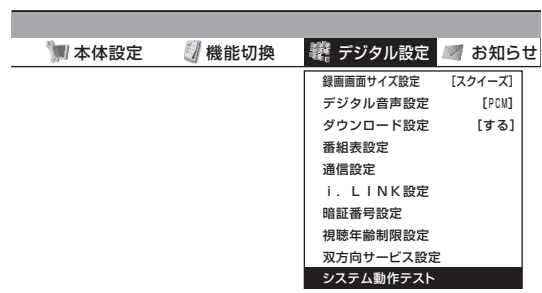
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

システム動作テスト

● 本機は、電話回線の接続やB-CASカードの挿入が正しく行われているかなどをテストできます。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「システム動作テスト」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 決定 **「テスト実行」で決定する**

- 表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

4 決定 **結果を確認し、「テスト終了」で決定する**

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

システム動作テストに失敗したときは

- 電話回線の接続と設定を確認してください。
（▶ **147**～**149** ページ）
- B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
（▶ **24**ページ）

双方向サービスの利用を制限する

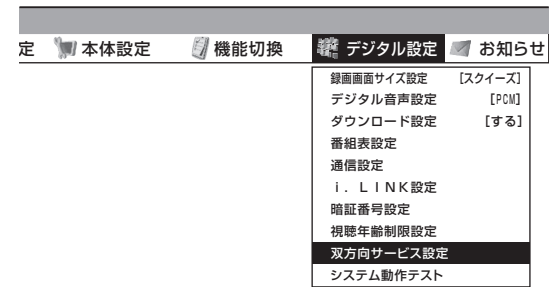
● 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送やインターネットでの接続を禁止したいときに便利な設定です。

おしらせ

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（▶ **130** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 1 ～ 10/0 **暗証番号を入力する**

4 **以下の設定項目を選ぶ**

決定 **決定する**

項目
デジタル放送での接続を禁止する
インターネットでの接続を禁止する
全ての接続を禁止する
禁止しない

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

- 「禁止しない」に設定した場合はデータ送信時に以下のアイコンを表示します。

灰色のときは**回線コール中**　**青色**のときは**回線使用中**

ブロードバンド環境への接続と設定(インターネットの準備)

● 本機をご家庭にあるブロードバンド環境に接続すると、本機でインターネットに接続し、「オーナーズラウンジ AQUOS.jp」を表示したり、デジタル放送の双方向通信(LAN 接続に対応している番組のみ)をお楽しみになれます。

おしらせ

- **ホームネットワーク(▶ 166 ページ)を利用するときは、インターネットプロバイダーへの契約は不要ですが、ブロードバンドルーターの設置と家庭内 LAN への本機の接続が必要です。**
- アナログ回線ではインターネットに接続できません。
- **LAN 接続しても電話回線で通信が行われることがありますので、電話回線にもつないでください。**(▶ **147** ページ)

ブロードバンド環境への接続と設定のながれ

本機が接続できるブロードバンド環境を確認する(▶ 152 ~ 153 ページ)

- 本機をインターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。詳しくは▶ **152** ページをご覧ください。

▼

ブロードバンドルーターと本機を接続する(▶153ページ)

- LAN ケーブル(市販品)を使って、ブロードバンドルーター(市販品)と本機をつなぎます。

▼

「AQUOS.jp」を表示してみる(▶154ページ)

- インターネットにつながったかどうか、「AQUOS.jp」を表示してみましょう。
「AQUOS.jp」が表示できたら、ブロードバンド環境への接続と設定は完了です。

「AQUOS.jp」が表示できない場合は…

本機のネットワークの設定を確認する(▶154ページ)

- 通信設定画面で、各項目の数値が表示されているかを確認します。

本機のLAN設定を変更する(▶155ページ)

- プロバイダーなどからプロキシサーバーを指定されている場合は、LAN の設定を変更します。

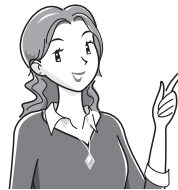
▼

双方向サービスの利用を制限する(▶150ページ)

▼

完了

「AQUOS.jp」とは

- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。

本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください

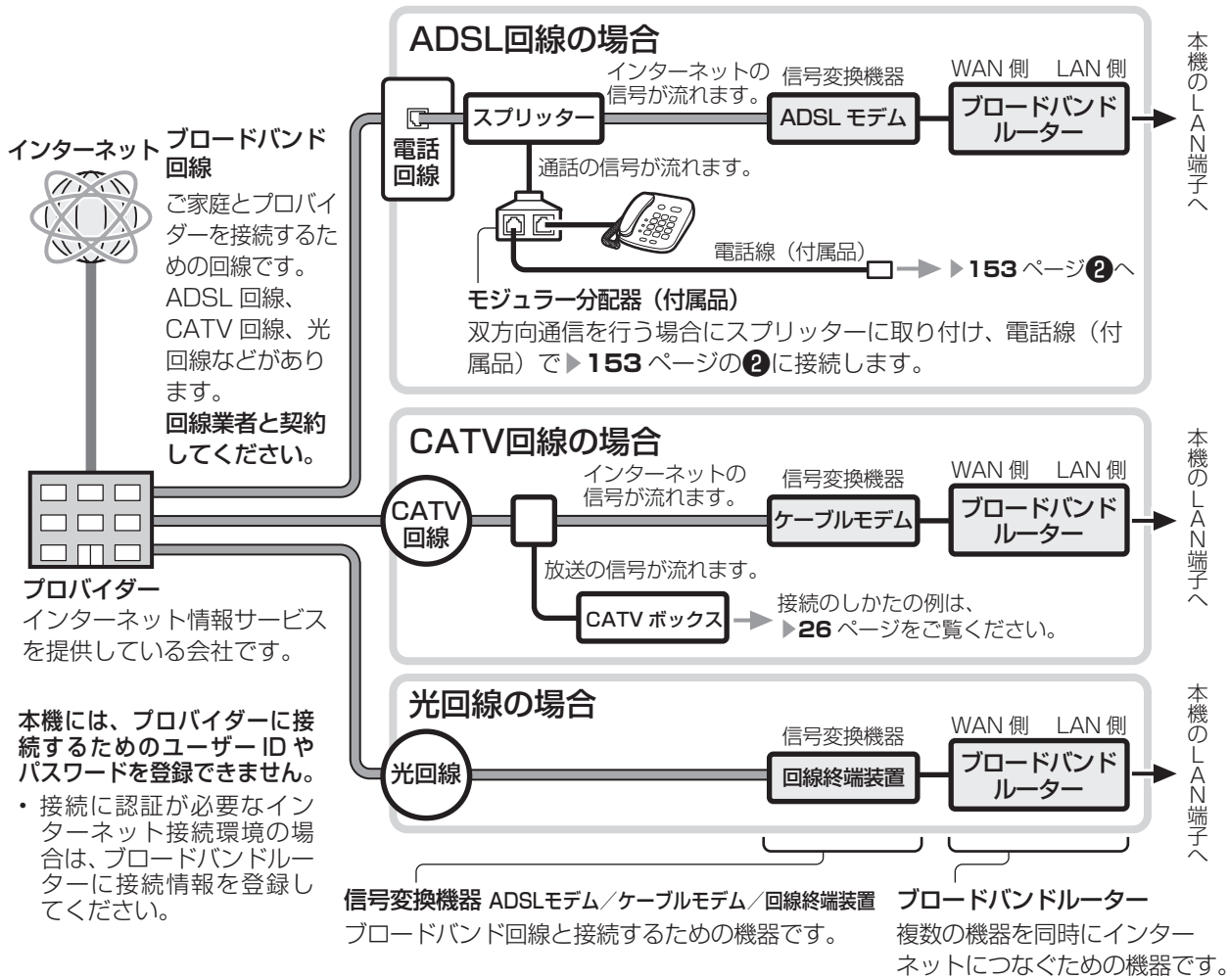
ブロードバンド環境に必要なもの

必要なもの	入手するためには	詳しくは
プロバイダー(▶207ページ)	プロバイダーと契約してください。	▶**152** ページの **1**
ブロードバンド回線(▶207ページ)	回線事業者と契約してください。	▶**152** ページの **1**
信号変換機器 (ブロードバンド回線と接続する機器で、ADSL モデム・ケーブルモデム・回線終端装置などがあります。)	レンタルまたは購入してください。	▶**152** ページの **1**
ブロードバンドルーター (複数の機器を同時にインターネットにつなぐための機器です。)	必要に応じて購入してください。	▶**153** ページの **2**
LAN ケーブル (ブロードバンドルーターを接続するためのケーブルです。)	購入してください。	▶**153** ページの **3**

次のページに続く

本機が接続できるブロードバンド環境を確認する

- 本機をインターネットに接続するためには、次の環境（ブロードバンド環境）が必要です。
- すでにブロードバンド環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。（▶ 153 ページ）

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境

- ブロードバンド環境がない場合は、まず、インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、ADSL 回線・CATV 回線・光回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買い上げの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。次のような手順が必要です。

1 サービスを提供するプロバイダーや回線事業者と契約する

- パソコン売り場などにあるパンフレットなどをご覧になり、申し込むプロバイダーや回線事業者を選びます。
- お申し込みになる前に、次の内容をプロバイダーや回線事業者に確認してください。
  - 申し込むサービスがお住まいの地域で提供されているか。
  - ブロードバンドルーターの機種に指定や制限がないか。
  - インターネットに接続する機器の台数やサポートなどに指定や制限がないか。
  - ADSL モデムやケーブルモデムなどの信号変換機器を、お客様自身で購入する必要があるか。購入する場合は、信号変換機器の種類も確認してください。
- 申し込み手続きが完了すると、プロバイダーからインターネットの接続に必要な設定情報が発行されます。

おしらせ

- プロバイダーによっては、ブロードバンド回線とセットでサービスを提供している会社もあります。
- プロバイダーの料金や回線使用料金はさまざまです。また、同じプロバイダーであっても、コースによって価格が異なります。
- 申し込みをされてから回線を使用できるようになるまでに、工事が必要になったり、手続きに時間がかかったりする場合があります。

2 必要に応じてブロードバンドルーターを購入する

- ブロードバンドルーターは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。

おしらせ

- 信号変換機器には、ブロードバンドルーター機能が内蔵されているものもあります。この場合、ブロードバンドルーターは必要ありません。ただし、LAN ケーブルを接続するための端子が 1 つしかない場合、ハブ（市販品）が必要です。信号変換機器にブロードバンドルーター機能が内蔵されているかどうかは、販売店やプロバイダー、回線事業者にご確認ください。

3 LAN ケーブルを購入する

- LAN ケーブルは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。
- LAN ケーブルは、10BASE-T/100 BASE-TX タイプのものをご使用ください。
- LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- LAN ケーブルをお買い求めになる前に、本機とブロードバンドルーターを設置する場所を決めて、必要なケーブルの長さを測っておいてください。

4 ブロードバンド回線と信号変換機器、信号変換機器とブロードバンドルーターを接続する

- 左図のように接続します。接続について詳しくは、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご確認ください。接続の際は、それぞれの説明書も併せてお読みください。

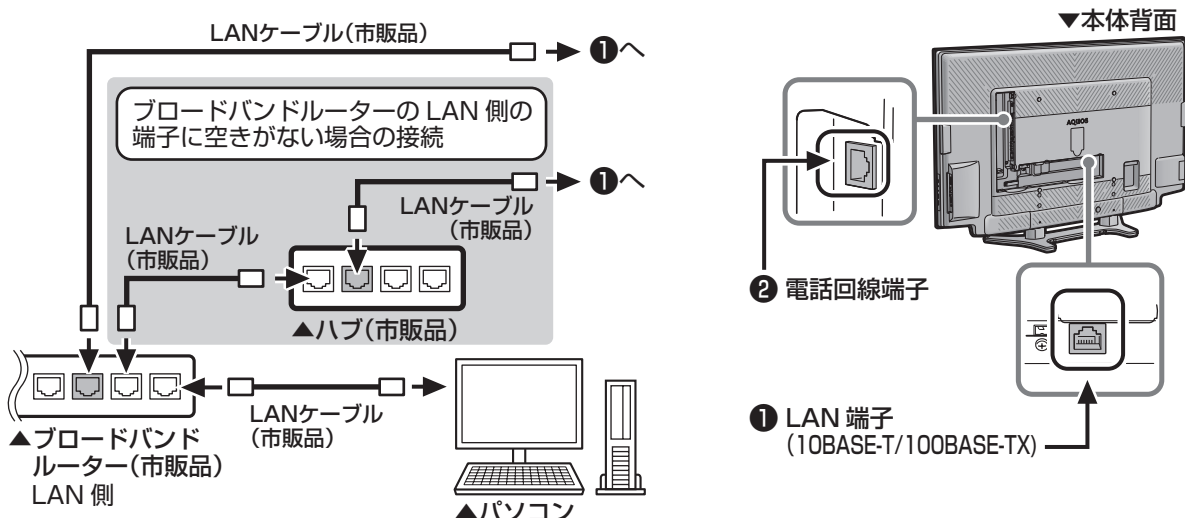
おしらせ

- ADSL モデムやケーブルモデムにルーター機能がある場合は、ブロードバンドルーターは不要です。モデムの説明書に従ってルーター機能をオンにしてください。なお、ご自身で別途ブロードバンドルーターを用意して接続する場合はモデムのルーター機能を無効にしないと正しく通信できない場合があります。詳しくは、モデムやブロードバンドルーターの説明書をご覧ください。

5 ブロードバンドルーターの設定をする

- プロバイダーから提供された設定情報（接続のためのユーザー ID やパスワード、IP アドレス、DNS など）をブロードバンドルーターに設定します。
- 設定の操作については、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 設定にはパソコンが必要になる場合があります。パソコンをお持ちでない方は、お買い上げの販売店や、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご相談ください。

ブロードバンドルーターと本機を接続する

● 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN側の端子をLANケーブルで接続します。

● 接続については、下記をご覧ください。
http://aquos.jp/connect/

AQUOS.jp を表示してみる

● ホームページ「AQUOS.jp」にアクセスして、正しく表示されるかどうかを確認します。

▶ **156** ページの操作でご確認ください。

AQUOS.jp が表示されたら

- インターネットへの接続は完了です。本機でインターネットをお楽しみください。
  インターネットについての操作は「インターネットを楽しむ（AQUOS.jp）」（▶ **156** ページ）をご覧ください。

AQUOS.jp が表示されないときは

- 「 LAN 接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。終了ボタンを押して、テレビの画面に戻してから下の「**インターネットに接続できない場合は**」をご覧になって、インターネットに接続してください。

インターネットに接続できない場合は

本機のネットワークの設定を確認する

インターネットの画面を表示しているときは

- 本機のネットワーク設定を確認する前に、終了ボタンを押してインターネットの画面からテレビの画面に切り換えておいてください。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「通信設定」を選ぶ**

決定する

3 **「LAN 設定」を選ぶ**

決定する

- 各項目に数値が表示されているか確認します。

LANの情報を設定します。

[現在の設定]

IPアドレス　：自動設定　192.168.100.5
ネットマスク　：自動設定　255.255.255.0
ゲートウェイ　：自動設定　192.168.100.1
DNS　：自動設定　192.168.100.1
プロキシ　：使用しない
MACアドレス　00:00:00:00:00:00

- この画面に表示されている数値は一例です。
  お客様のネットワーク環境によって表示される数値は異なります。

各項目に数値が表示されている場合

● 下記の「**その他の原因について**」をご覧ください。

各項目が空欄の場合

● 次のことを確認してください。

- ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターの DHCP 機能（IP アドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。
  DHCP 機能を使用しない場合は、LAN 設定で IP アドレスなどを入力してください。（▶ **155** ページ）

プロキシサーバーの指定が必要な場合

● プロバイダーなどからプロキシサーバーが指定されている場合は、LAN 設定で入力してください。（▶ **155** ページ）

その他の原因について

● LAN 設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。

- 接続する機器の電源は入っていますか。
- ブロードバンドルーターと ADSL モデムやケーブルモデム、回線終端装置などが正しく接続されていますか。
- ブロードバンド回線と ADSL モデムやケーブルモデム、回線終端装置などが正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
- ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
- メニューの「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を「禁止しない」に設定してください。（▶ **150** ページ）

● ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

本機の LAN 設定を変更する

・IP アドレスなどを手動で設定する場合やプロキシサーバーを指定する場合は、LAN 設定を変更します。

おしらせ

・LAN 設定を変更するときは、終了ボタンを押してインターネットの画面からテレビの画面に切り換えておいてください。
インターネットの画面を表示している間は、LAN 設定を変更しても、有効にはなりません。

1 前ページの手順 **1** ～ **3** を行い、その後の画面で「変更する」を選ぶ

決定 決定する

2 IP アドレスなどを入力する場合、「しない」を選ぶ

決定 決定する

・右記の「IP アドレスなどの入力のしかた」をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。

入力する必要がない場合

・「する」を選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押します。

3 DNS の IP アドレスなどを入力する場合、「しない」を選ぶ

決定 決定する

・右の「IP アドレスなどの入力のしかた」をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。

・セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合

・「する」を選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押します。

おしらせ

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき

・DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

4 プロキシサーバーの指定が必要な場合、「する」を選ぶ

決定 決定する

・プロバイダーから指定されるプロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。（文字入力のしかた▶ **144** ページ）

入力する必要がない場合

・「しない」を選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押します。

5 「しない」を選ぶ

決定 決定する

・設定した内容が表示されます。

・より詳細な設定では、LAN 接続スピードを設定できます。
通常は、工場出荷状態（自動検出）のままで使用できます。

6 決定 「完了」で決定する

IP アドレスについて

・TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて

・TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて

・異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

IP アドレスなどの入力のしかた

1 入力欄を選ぶ

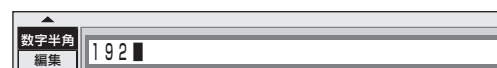
決定 決定する

・ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 「数字半角」を選ぶ

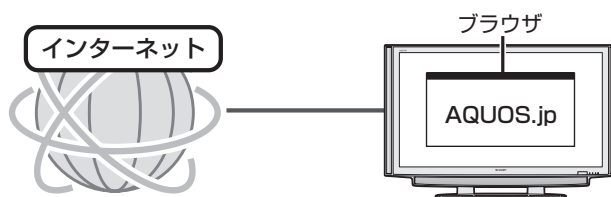
3 文字を選ぶ

決定 決定する

4 手順 **3** を繰り返し、入力したい数字をすべて入力欄に表示する

5 黄 入力した文字を確定する

・入力欄の文字が入力されます。

インターネットを楽しむ（AQUOS.jp）

インターネット（AQUOS.jp）の準備

インターネット　ブラウザ　AQUOS.jp

● AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

接続について

● インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。「ブロードバンド環境への接続と設定のながれ」（▶ **151** ページ）に従い、接続と設定を行ってください。

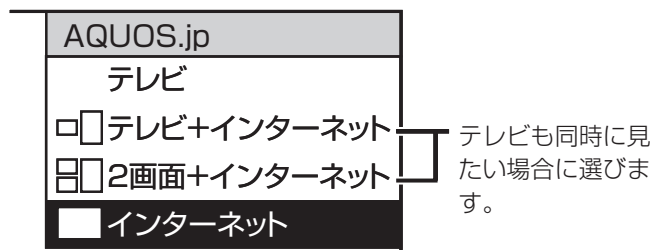
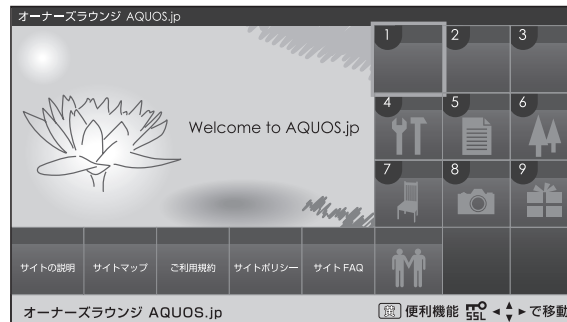
AQUOS.jp を表示する

1 AQUOS.jp　AQUOS.jp メニューを表示する

2 AQUOS.jp　「インターネット」を選ぶ

• 上下カーソルボタンでも選べます。

決定する

テレビも同時に見たい場合に選びます。

• ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。

• AQUOS.jp の表示内容は一例です。
• テレビの画面に戻すときは、終了ボタンを押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタン（緑）や放送切換ボタンでも戻せます。

おしらせ

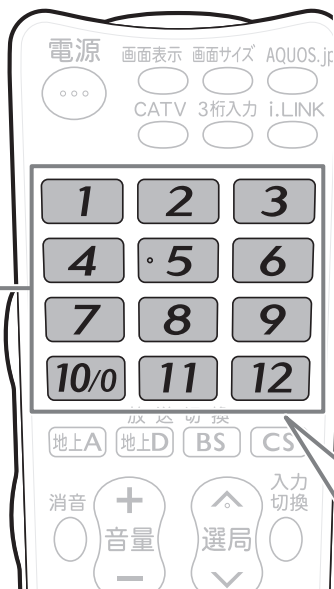
AQUOS.jp が表示されないときは

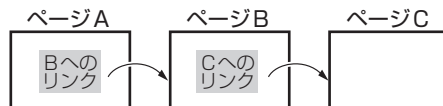
• 「LAN 接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。
終了ボタンを押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」（▶ **154** ページ）をご覧ください。

テレビと同時に表示したときは

• テレビの音声が聞こえます。インターネットのページの音声は聞けません。
• テレビのチャンネルは選局ボタン（緑）で切り換えてください。数字ボタン（チャンネルボタン）では、選局できません。
• テレビとインターネットの画面の位置は変更できません。
• 「2 画面＋インターネット」の場合、左半分のテレビ画面については、2 画面で表示したときと基本的な操作は同じです。2 画面の操作については「2 つの映像を同時に見たいときは（2 画面機能）」（▶ **74** ページ）をご覧ください。
• テレビとインターネットを同時に使用しているときは、ファミリンクでの外部接続の操作はできません。
• 「テレビ＋インターネット」「2 画面＋インターネット」のときは、データ放送画面は表示されません。

インターネットを見る画面（ブラウザ※）の使いかた

※インターネットのページを表示するためのソフトウェアのことです。

リンクについて

- インターネットのページには、他のページ（サイト）に移動できる「リンク」があります。
- 「リンク」の見た目は文章や画像などさまざまですが、選ぶとリンク先へ移動できる働きは同じです。
- 選んでいる項目（リンクや文字入力欄など）が黄色の枠で囲まれます。

「リンク」からリンク先へ移動できます。

重要

- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークやCookieなどの情報が正しく保存されない場合があります。

おしらせ

セキュリティの通知画面が表示されたとき

- 決定ボタンを押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」で設定できます。（▶ **164** ページ）

Cookieの確認画面が表示されたとき

- Cookie（▶ **165** ページ）を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- この画面を表示させるかどうかは、「Cookie設定」で設定できます。また、Cookieはまとめて削除することもできます。（▶ **165** ページ）

おしらせ

ページの中に ☒ が表示されたとき

- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像などに表示されます。ツールバーの（再読み込み）（▶ **158** ページ）を選んで、ページを表示し直してみてください。

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

● 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。

- ファイルのダウンロードはできません。
- 表示したページの履歴は表示できません。
- AQUOS.jp ボタンを押したあと最初に表示されるページは変更できません。
- ポップアップウインドウは、別のタブで表示されます。
- ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。

次のページに続く

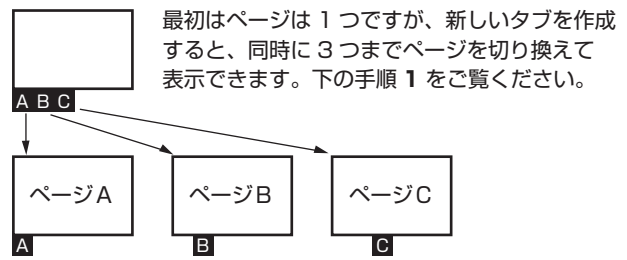
ツールバー（便利機能）について

ボタン	使い方
	リンク先のページを新しいタブで表示します。
	タブ操作メニューを表示します。
	1 つ前のページに戻ります。
	前のページを見たあとに元のページに再び進みます。
	ページを再表示します。ページを読み込んでいるときは、読み込みを中止します。
	AQUOS.jp を表示します。
	URL を入力するときに選びます。（▶**159** ページ）
	ブックマークを開くときに選びます。（▶**160** ページ）
	表示中のページをブックマークに登録します。（▶**160** ページ）
	ブラウザメニューを表示します。（▶**162** ページ）

おしらせ

- ツールバー（便利機能）を消したいときは、もう一度黄ボタンを押します。
- ツールバー（便利機能）を表示中に、AQUOS.jp ボタンを押して画面を切り換えると、ツールバー（便利機能）が消えます。

タブの使いかた

● インターネットのページを、同時に 3 つまで切り換えて表示できます。それぞれのページに「タブ」が付き、「タブ」でページを切り換えます。

押すボタン

1 緑 **タブ操作メニューを表示する**

- ツールバーから表示することもできます。

- リモコンの青で、選択しているリンク先のページを新しいタブで表示します。
- すでにタブを 3 つ表示しているときは、一番右のタブに表示されているページが書き換わります。

2 **操作したいタブを選ぶ**

3 **「このタブを選択」を選ぶ**

決定 **決定する**

ツールバー（便利機能）の使いかた

● ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。

押すボタン

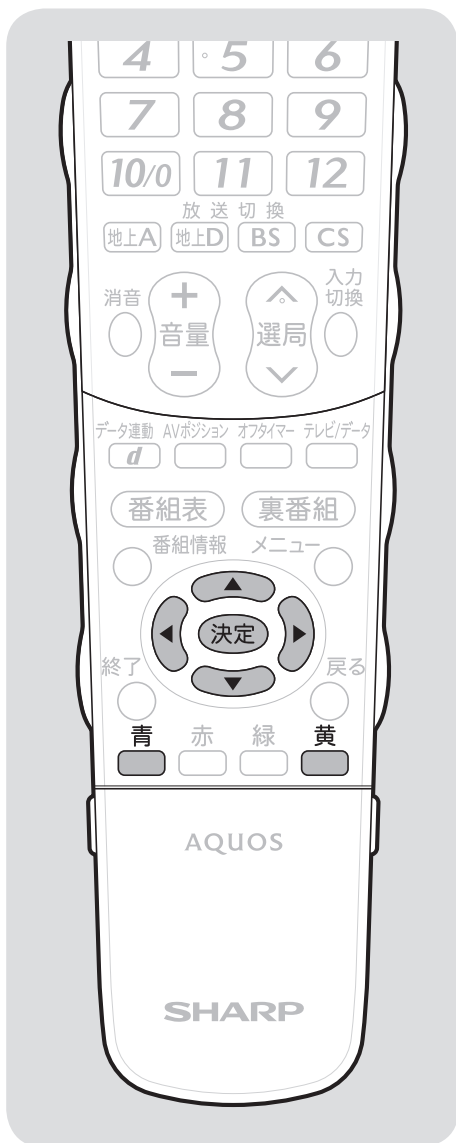
1 黄 **ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **機能を選ぶ**

 決定する

3 **機能を使う**

URL（アドレス）を入力してページを表示する

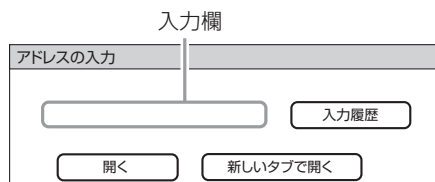
- URL（アドレス）は、インターネットの個々のページを家に例えたときの、住所（アドレス）のようなものです。雑誌や広告などで URL を知っているときは、URL を入力してページを表示できます。
- URL は、一般的に「http://」から始まります。

押すボタン

1 黄 ツールバー（便利機能）を表示する

2 ツールバー（便利機能）の（アドレスの入力）を選ぶ

決定 決定する

3 入力欄を選ぶ

決定 決定する

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 表示したいページの URL を入力する

- 文字入力の方法については▶ **144** ページをご覧ください。

5 「開く」を選ぶ

決定 決定する

URL を入力して表示したページを、入力履歴の一覧から選ぶ

押すボタン

1 黄 ツールバー（便利機能）を表示する

2 ツールバー（便利機能）の（アドレスの入力）を選ぶ

決定 決定する

3 「入力履歴」を選ぶ

決定 決定する

- 入力履歴の一覧が表示されます。

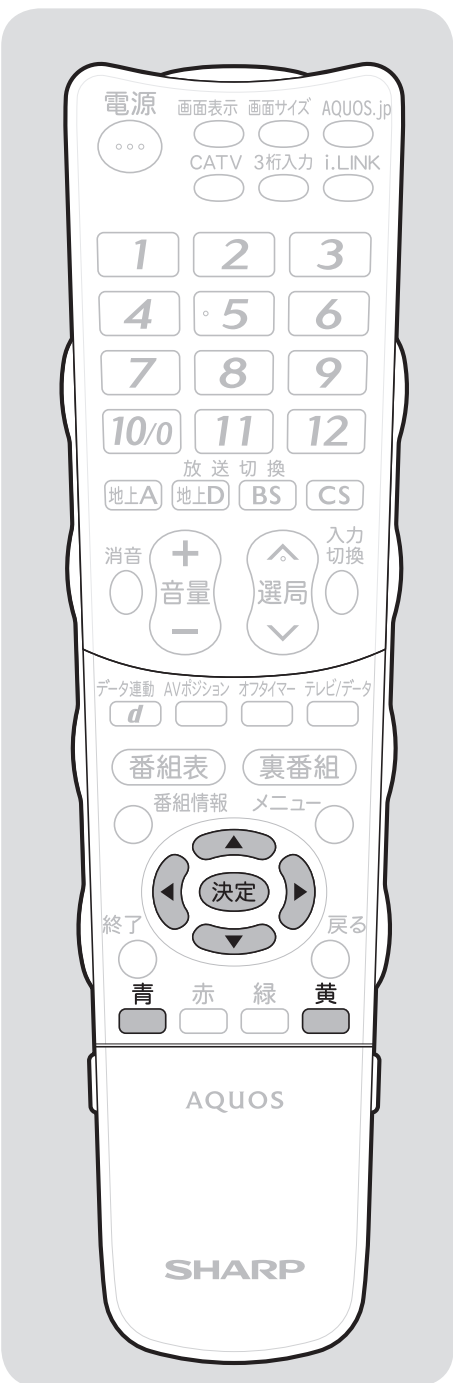
4 URL を選ぶ

決定 決定する

- アドレスの入力画面に戻ります。
  入力欄には、選んだ URL が入力されています。

入力履歴を削除するときは

① 入力履歴の一覧で、削除したい URL を選び、青ボタンを押す
　• 入力履歴メニューが表示されます。
② 上下カーソルボタンで「削除」を選び、決定ボタンを押す
　• 入力履歴をすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。
③ 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す

次のページに続く

表示しているページのURLを保存する（ブックマーク登録）

● ページをブックマーク（▶206ページ）に登録しておくと、次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

押すボタン

1 ブックマークに登録したいページを表示する

2 黄　ツールバー（便利機能）を表示する

3 ツールバーの（ブックマークに登録）を選ぶ

決定　決定する

4 「する」を選ぶ

決定　決定する

• ブックマークに登録されます。

ブックマークに登録したページを開く

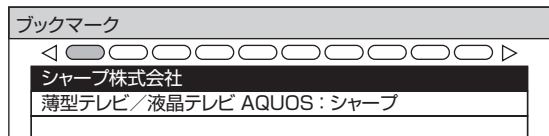
押すボタン

1 黄　ツールバー（便利機能）を表示する

2 ツールバーの（ブックマークを開く）を選ぶ

決定　決定する

• ブックマークの一覧が表示されます。

（画面例）

3 表示したいページを選ぶ

• ブックマークを11以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

4 決定する

• 選んだページが表示されます。

ブックマークを新しいタブで開くときは

• 決定ボタンの代わりに青ボタンを押し、「新しいタブで開く」を選んで決定ボタンを押します。

ブックマークを編集する

● ブックマークのタイトルや URL を編集（書き換え）したり、一覧の表示順を変更できます。

タイトルや URL を編集する

1 黄 **ツールバー（便利機能）を表示する**

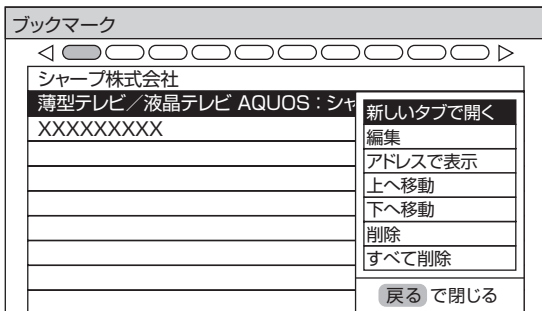
2 **ツールバー（便利機能）の♡（ブックマークを開く）を選ぶ**

決定 **決定する**

- ブックマークの一覧が表示されます。

3 **ブックマークの一覧から、編集したいタイトルを選ぶ**

青 **ブックマークメニューを表示する**

（画面例）

4 **ブックマークメニューの「編集」を選ぶ**

決定 **決定する**

- ブックマークの編集画面が表示されます。

5 **タイトル欄またはアドレス欄（URL）を選ぶ**

決定 **決定する**

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

6 **タイトルや URL を入力する**

- 文字入力の方法については ▶ **144** ページをご覧ください。

7 **編集が終わったら「する」を選ぶ**

決定 **決定する**

- 入力した文字が保存されます。

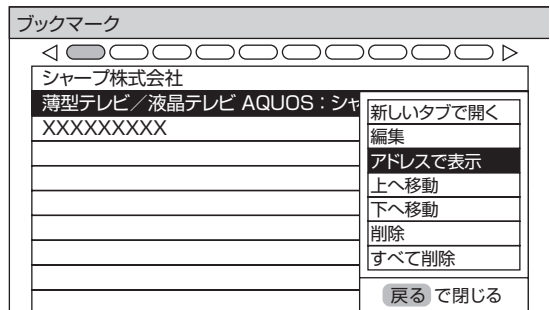
ブックマーク一覧の表示を変更するときは

押すボタン

1 青 **ブックマークの一覧を表示中に、ブックマークメニューを表示する**

2 **ブックマークメニューの「アドレスで表示」または「タイトルで表示」を選ぶ**

決定 **決定する**

（画面例）

- ブックマークの表示が変更されます。

表示順序を入れ替えるときは

1 **ブックマークの一覧から、表示順序を変更したいタイトルを選ぶ**

青 **ブックマークメニューを表示する**

2 **「上へ移動」または「下へ移動」を選ぶ**

決定 **決定する**

- 表示順序が入れ替わります。

ブックマークを削除するときは

1 **ブックマークの一覧から、削除したいタイトルを選ぶ**

青 **ブックマークメニューを表示する**

2 **「削除」を選ぶ**

決定 **決定する**

- ブックマークをすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

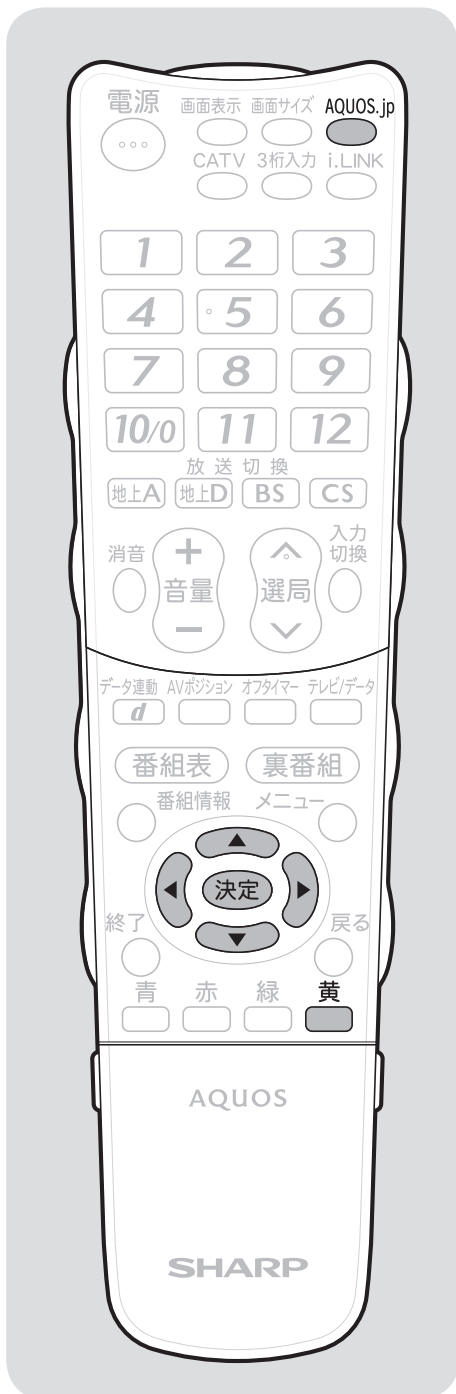
3 **「する」を選ぶ**

決定 **決定する**

次のページに続く

インターネットを見るための設定を確認・変更するには

● ブラウザの設定はブラウザメニューで確認・変更できます。

● ブラウザメニューには表示設定メニューとセキュリティ設定メニューがあります。

ブラウザメニューの基本操作

1 黄 **ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **（メニュー）を選ぶ**

決定 **決定する**

・ブラウザメニューが表示されます。

3 **「表示設定」または「セキュリティ設定」を選ぶ**

▼表示設定メニュー

▼セキュリティ設定メニュー

4 **変更する項目を選ぶ**

決定 **決定する**

5 **設定の変更や内容の確認をする**

・各項目の詳しい操作については、表示設定メニュー（▶ **163** ページ）およびセキュリティ設定メニュー（▶ **164** ページ）をご覧ください。

6 黄 **変更や確認が終わったら、ブラウザメニューを消す**

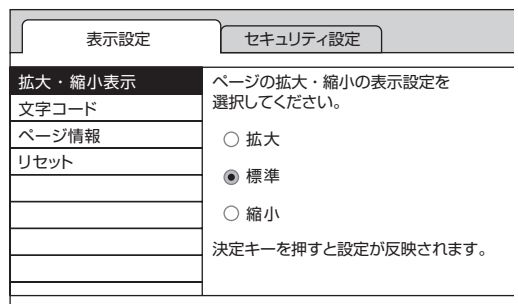
おしらせ

・ブラウザメニュー表示中に、AQUOS.jp ボタンを押して画面を切り換えると、ブラウザメニューが消えます。

表示内容の設定

・ブラウザメニューの基本操作については、▶ **162** ページをご覧ください。

表示サイズを変更する（拡大・縮小表示）

● ページの表示サイズを変更できます。

- 上下カーソルボタンで表示したいサイズを選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

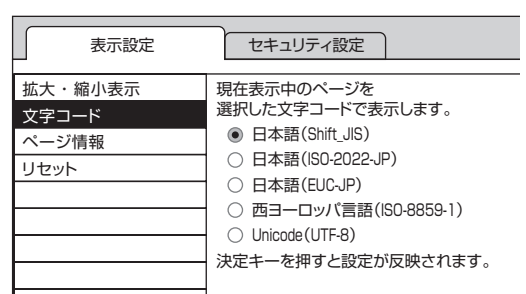
- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

ページの文字が正しく表示されないときは（文字コード）

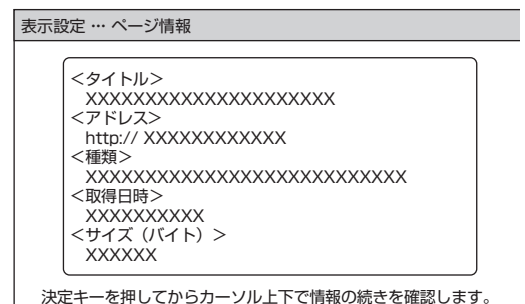
● ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

表示設定　セキュリティ設定

拡大・縮小表示
文字コード
ページ情報
リセット

現在表示中のページを
選択した文字コードで表示します。
◉ 日本語(Shift_JIS)
○ 日本語(ISO-2022-JP)
○ 日本語(EUC-JP)
○ 西ヨーロッパ言語(ISO-8859-1)
○ Unicode(UTF-8)
決定キーを押すと設定が反映されます。

- 上下カーソルボタンで文字コードの種類を選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

ページの情報を確認する

● 表示しているページの情報を確認できます。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻す（リセット）

● ブラウザメニューで設定できる項目を、工場出荷時の状態に戻せます。

1 ブラウザメニューで「表示設定」を選ぶ

決定　決定する

2 「リセット」を選ぶ

決定する

- 確認の画面が表示されます。

3 「する」を選ぶ

決定する

- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効 / 無効（▶ **164** ページ）は戻りません。

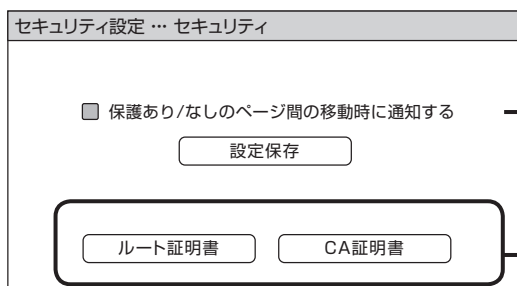
セキュリティ設定

・ブラウザメニューの基本操作については、▶162ページをご覧ください。

セキュリティの設定をする／本機のルート証明書・CA 証明書を確認する（セキュリティ）

● この画面では次のことができます。

- セキュリティで保護されたページ（サイト）とされていないページ（サイト）の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定
- 本機に保存されている証明書※の確認と、証明書の有効・無効の切り換え

※ページを表示しても安全であることを証明するものです。

証明書を確認するとき

1 **上記の画面で確認したい証明書の種類を選ぶ**

 決定する

- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 **確認したい証明書を選ぶ**

 決定する

- 選んだ証明書の内容が表示されます。
- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

証明書を無効にするとき

1 **上記の画面で無効にしたい証明書の種類を選ぶ**

 決定する

- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 **無効にしたい証明書を選ぶ**

 サブメニューを表示する

3 **「無効にする」を選ぶ**

 決定する

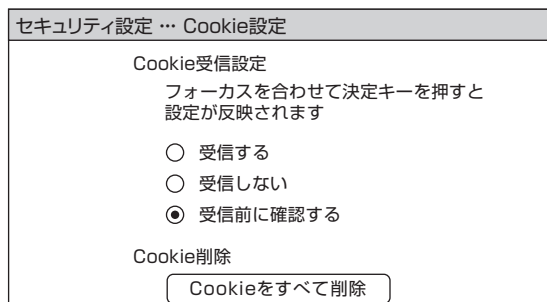
- 無効にした証明書は証明書の一覧画面でチェックがはずれます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie（クッキー）の設定を変更する

- Cookie（▶ **204** ページ）の受信方法の設定と、受信した Cookie の削除ができます。

セキュリティ設定 … Cookie設定

Cookie受信設定
フォーカスを合わせて決定キーを押すと
設定が反映されます
○ 受信する
○ 受信しない
◉ 受信前に確認する

Cookie削除
Cookieをすべて削除

- 上下カーソルボタンで選びたい設定を選び、決定ボタンを押します。
- 「受信前に確認する」にしておくと、Cookie を使用するページを表示するときに確認のメッセージが表示されます。Cookie を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie をすべて削除するときは

・Cookie を削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

1 上記の画面で「Cookie をすべて削除」を選ぶ

決定する

2 「する」を選ぶ

決定する

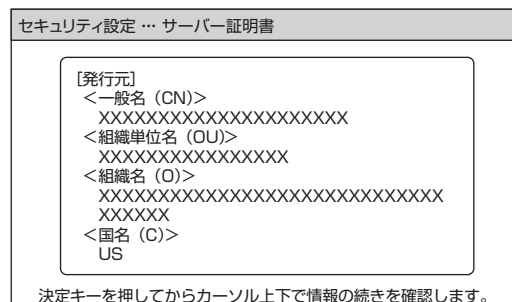
・操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

サーバー証明書を確認する

- セキュリティで保護されているページのサーバー証明書を確認できます。

セキュリティ設定 … サーバー証明書

［発行元］
<一般名（CN）>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
<組織単位名（OU）>
XXXXXXXXXXXXXXXXX
<組織名（O）>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXX
<国名（C）>
US

決定キーを押してからカーソル上下で情報の続きを確認します。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

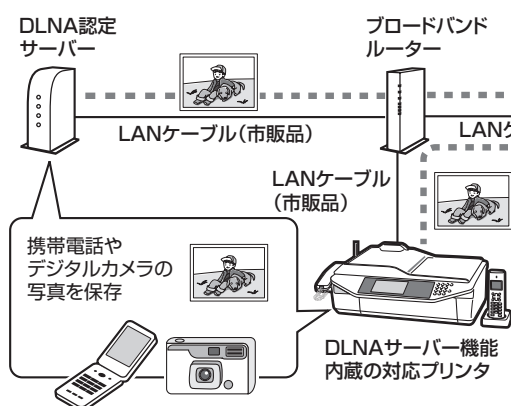
・本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
（c）2008 ACCESS CO., LTD.
・ACCESS、NetFront は株式会社 ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
・本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™
NetFront®

写真を表示・印刷して楽しむ

- 写真の表示のしかたには 2 つあります。
- 表示した写真を本機対応プリンタで印刷することができます。

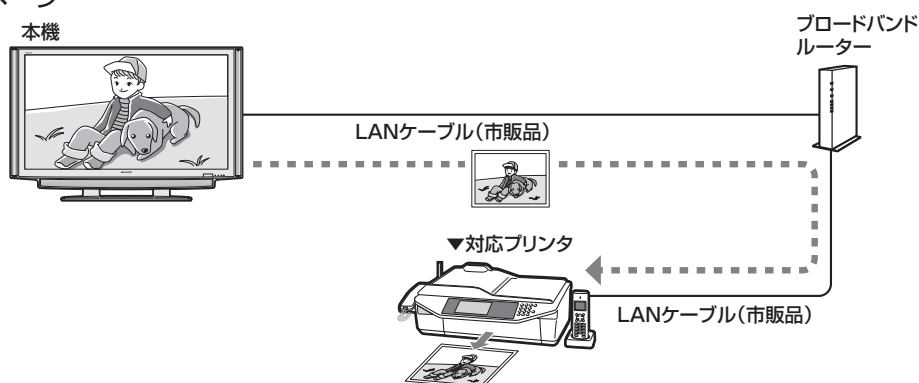
サーバー内の写真を表示する

▶ホームネットワークで写真を楽しむ(▶下記)

携帯電話の写真を表示する

▶IrSS™で携帯電話の写真を楽しむ(▶171ページ)

- IrSS™ とは、片方向赤外線受信機能です。

表示した写真を印刷する

▶175ページ

ホームネットワークで写真を楽しむ

本機で表示できる写真データの形式

- 対応データ形式:DCF2.0規格対応JPEG静止画※1※2
- 最大ファイルサイズ:5MB ※3
- 最大解像度(画像サイズ):4096 x 3072　画素※3

※ 1　以下の形式に対応しています。
色情報:YUV420、YUV422、ベースライン DCT
JPEG ヘッダーの回転タグは 4 方向(上、下、右 90 度、左 90 度)に対応しています。

※ 2　以下の形式は表示できません。
プログレッシブＪＰＥＧ、ロスレス回転ＪＰＥＧ、グレースケールＪＰＥＧ、ＹＵＶ４４４(パソコンで加工した画像に多い)形式の JPEG など

※ 3　約 1000 万画素以上のデジタルカメラや携帯電話では解像度(画像サイズ)や画質設定により、この制限を超えるため本機で高品位に表示できないことがあります。デジタルカメラや携帯電話の解像度(画像サイズ)や画質設定を小さめに変えて撮影するようにしてください。撮影後はデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能でサイズを小さくすることができる場合があります。またプリンタの扱えるファイルサイズ上限により印刷できないことがあります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

使用可能なサーバーやプリンタについて

- サーバーおよび本機対応プリンタの動作確認機種の最新情報については、下記でお知らせします。
  AQUOS サポートステーションの「Q&A 情報」
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

おしらせ

- 本機は DLNA 認定フォトプレーヤー (DLNA CERTIFIED™ Photo Player) です。
- DLNA 認定機器とは DLNA ガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
- JPEG 静止画は DCF2.0 規格のデジタルカメラまたはカメラ付携帯電話で撮影されたものが対象です。
- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- 本機には静止画を保存することはできません。
- 印刷中にチャンネル切換や入力切換を行うと印刷が正しく完了しないことがあります。またシャープ製ファクシミリ複合機（DLNA サーバー機能、およびプリント機能内蔵）では印刷中のエラーはプリンタには表示されますが、本機の画面に表示されないことがあります。
- サーバー機器は 10 台まで選択できます。
- サーバー機器の設定についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

DLNA 認定サーバー内の写真の表示／印刷について

- 本機の「ホームネットワーク」で表示できるのは、ホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの JPEG 静止画の写真だけです。
- 現在動作を確認しているサーバーおよび本機対応プリンタについては、上記の SHARP web ページ内の **AQUOS サポートステーション**をご覧ください。
- SD カードスロットをもつサーバーではスロットに SD カードが入っているときだけサーバー機能が動作する場合があります。また、サーバーに JPEG ファイルを書き込んでから、サーバーのデータとしてホームネットワーク側に提供されるまで数分かかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- JPEG 静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかるように感じることがあります。
- DLNA とは、デジタル時代の相互接続性を実現させるために標準化活動を推進している団体です。
  DLNA®、DLNA ロゴおよび DLNA CERTIFIED™ は、Digital Living Network Alliance の商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

ホームネットワークのサーバーにある写真を表示する

押すボタン

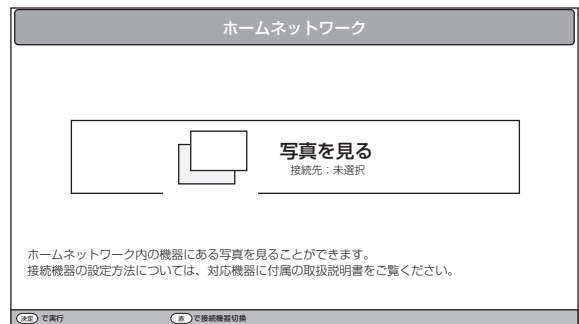
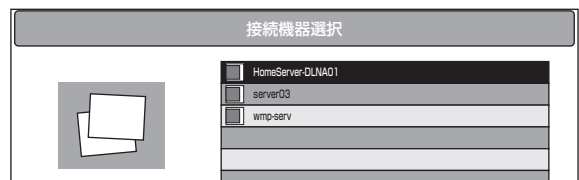
1 入力切換　**入力切換メニューを表示する**

2 入力切換　**入力切換ボタンを繰り返し押し、「ホームネットワーク」を選ぶ**

- 上下カーソルボタンでも選べます。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6
入力7
i.LINK
IrSS
ホームネットワーク

- 「写真を見る」画面が表示されます。

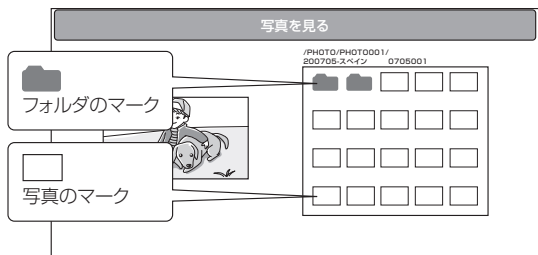
3 決定　**決定する**

4 **サーバー機器を選ぶ**

 決定する

- 一度接続機器が選択されれば、次回は「写真を見る」の画面で決定ボタンを押すとサーバーの写真フォルダリストが表示されます。

次のページに続く

5 フォルダを選ぶ

決定する

- フォルダと写真が混在している場合は両方が表示されます。

- 青ボタンを押すと、一覧の表示のしかたを変えられます。(▶**169**ページ)
- フォルダ内の写真が一覧表示されます。

6 写真を選ぶ

決定する

- 写真が全画面表示になり、スライドショーになります。
- スライドショーを停止するには、もう一度決定ボタンを押します。
- 「BGM 再生」(▶右記) を「する」に設定しているときは、内蔵の音楽が流れます。(曲の変更はできません。)

おしらせ

- シャープ製ファクシミリ複合機では、動作中に SD カードを抜くと写真を取得できません。また電話や FAX の使用中や操作パネルに操作中のメッセージなど（ダイアログと呼ばれています）が表示されている間は DLNA サーバー機能が停止します。
  詳しくはファクシミリ複合機の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは

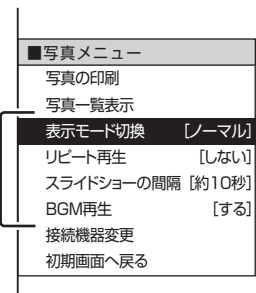
- エラーメッセージについては▶ **189** ページをご覧ください。
- 本機で表示できる写真データの形式については▶ **166** ページをご覧ください。
- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

写真表示のしかたを変える

- スライドショーの間隔や BGM のオン／オフなど、写真表示の設定を変更できます。

1 赤 写真表示中に、写真メニューを表示する

2 設定したい項目を選ぶ

決定する

設定のための項目

項目	内容
表示モード切換	「ノーマル」（縦横比を変えずに画面内に最大で収める）と「シネマ」（縦横比を変えずに、黒帯をなくすように画面内に最大で収める）を切り換えます。
リピート再生	「する」と「しない」（スライドショーで最後の写真の後に最初の写真に戻るか、一覧表示に戻るか）を切り換えます。
スライドショーの間隔	スライドショーで、次の写真に行くまでの時間を設定します。「約 5 秒」「約 10 秒」「約 30 秒」「約 60 秒」から選びます。
BGM 再生	・「する」と「しない」（写真表示中に音楽を流すか流さないか）を切り換えます。 ・音楽は「弦楽セレナーデ･ホ短調」です。

- 写真の縦横比が16:9 の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。

3 好みの設定を選ぶ

決定する

- 下の画面は「表示モード切換」の例です。

おしらせ

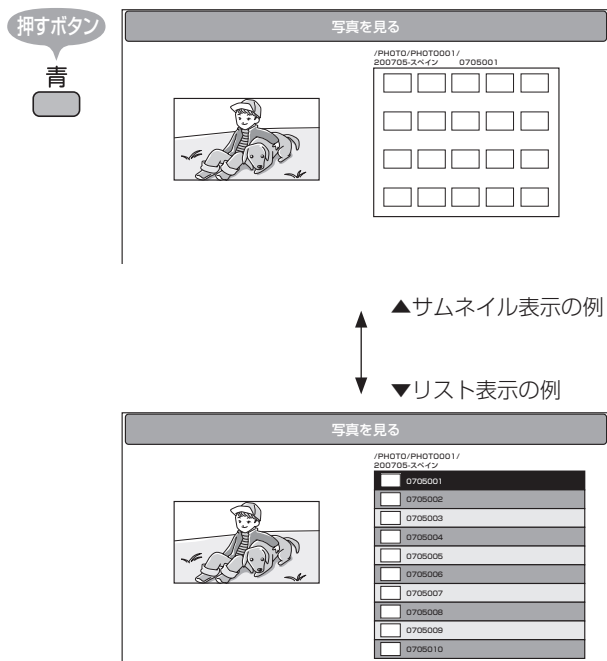
- 表示モードが「ノーマル」のときは、左右に黒い帯が出ることがあります。
- 表示モードが「シネマ」のときは、拡大により、写真の一部がはみ出すことがあります。

一覧表示のしかたを変える（リストとサムネイル）

● フォルダの一覧表示中または写真の一覧表示中に、リスト表示とサムネイル表示を切り換えることができます。

押すボタン

▲サムネイル表示の例

▼リスト表示の例

- 写真フォルダ一覧メニュー（右記）から「サムネイル表示へ切換」または「リスト表示へ切換」を選んでも切り換えられます。

おしらせ

- サーバー機器や写真データによってはサムネイルが表示されないことがあります。

写真やフォルダの一覧表示中の便利な機能（写真フォルダ一覧メニュー）

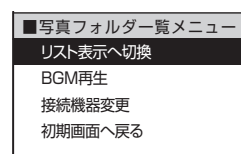
● 写真やフォルダの一覧表示中に、写真フォルダ一覧メニューを呼び出して便利な機能を使うことができます。

押すボタン

1 赤 **写真表示中に、写真フォルダ一覧メニューを表示する**

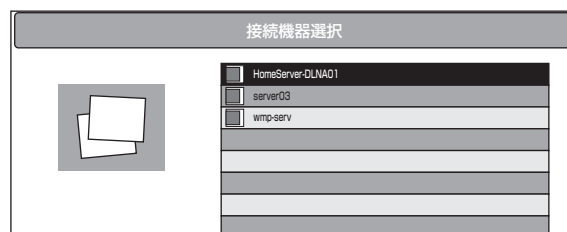
2 **設定したい項目を選ぶ**

決定 **決定する**

■写真フォルダ一覧メニュー
リスト表示へ切換
BGM再生
接続機器変更
初期画面へ戻る

利用できる項目

項目	内容
リスト表示へ切換／サムネイル表示へ切換	写真やフォルダが一覧表示されているとき、リスト表示とサムネイル表示を切り換えます。
BGM 再生	•「する」と「しない」（写真表示中に音楽を流すか流さないか）を切り換えます。 • 音楽は「弦楽セレナーデ · ホ短調」です。
接続機器変更	接続している対応機器を変更します。
初期画面へ戻る	初期画面へ戻ります。

接続機器を変更する

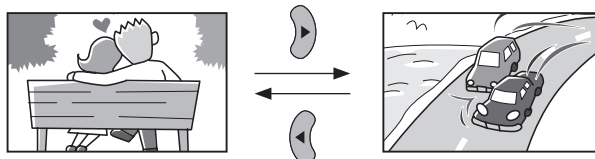
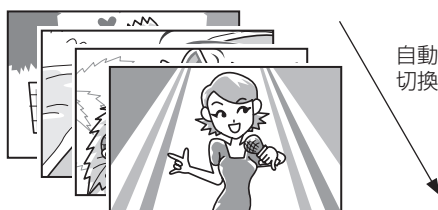
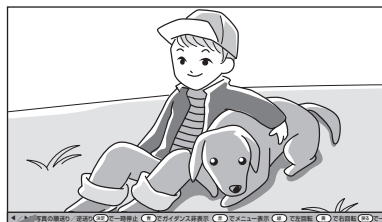
● ホームネットワークにサーバーなどの対応機器が複数接続されている場合、接続機器を選択することができます。

押すボタン

接続する機器を選ぶ

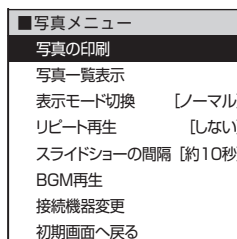
決定する

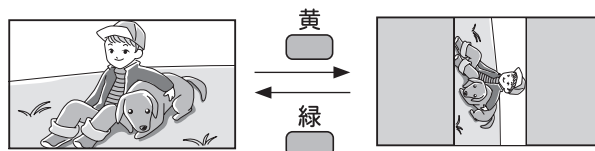
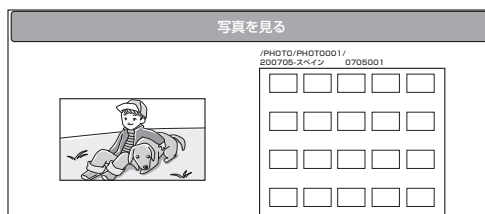
写真表示中の表示操作

- 写真表示中に、次の写真に切り換えたり写真を回転させたりすることができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

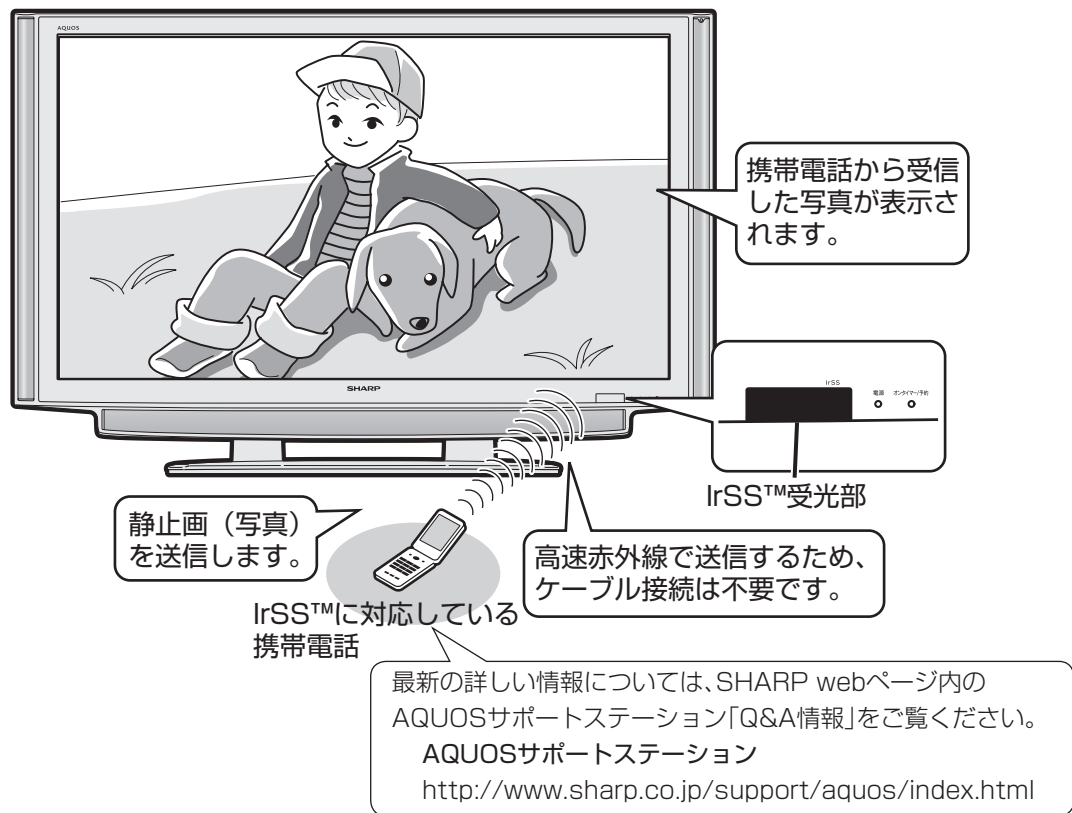
- 右カーソルボタンで次の写真を表示します。
- 左カーソルボタンで 1 つ前の写真を表示します。
- リピート再生時は、最後の写真で右カーソルボタンを押すと最初の画面に戻ります。リピートしない場合は、「サムネイル表示」または「リスト表示」に戻ります。

- スライドショーを開始します。
- もう一度決定ボタンを押すとスライドショーを停止します。

- ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。

ガイダンス（操作案内）

◀／▶で写真の順送り／逆送り　決定で一時停止　青でガイダンス非表示　赤でメニュー表示　緑で左回転　黄で右

- 写真メニューを表示します。

- 黄ボタンで写真を右に 90 度回転します。

- 緑ボタンで写真を左に 90 度回転します。

- 一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。

IrSS™で携帯電話の写真を楽しむ

● IrSS™ 対応の携帯電話に記録されている静止画を本機で受信し、表示できます。

最新の詳しい情報については、SHARP webページ内のAQUOSサポートステーション「Q&A情報」をご覧ください。
AQUOSサポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 本機で受信できるのは、静止画だけです。
- 携帯電話からの出力が禁止されている静止画は、携帯電話から送信できません。
- 高速赤外線の送受信は片方向通信です。そのため、本機が受信できない場合でも、携帯電話の送信は正常に終了します。
- 本機からは静止画を送信できません。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話本体に挿入して使うメモリーカード（SD、mini SD、micro SDカードなど）に記録された静止画を送信できないことがあります。この場合は、携帯電話の本体メモリーにいったんコピーまたは移動してから送信してください。なお、画像のサイズ制限でコピーや移動ができなかったり、携帯電話側でデータ管理情報の更新をしないと携帯電話から送信できないことがあります。詳しくは携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。
- IrSS™ とは、IrSimple1.0 準拠の片方向通信機能 Home Appliance Profile です。
- IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
- 本機には静止画を保存することはできません。チャンネル切換や入力切換をしたり、新たな静止画を表示すると、前に表示していた静止画のデータは本機から消去されます。

本機が対応している仕様

- 対応データ形式：JPEG ※1 ※2
- 最大ファイルサイズ：約 3MB
- 最大解像度：4096 × 2160 画素

※1　以下の形式に対応しています。
　　色情報：YUV420、YUV422、ベースラインDCT
　　（JPEGヘッダーの回転タグは4方向（上、下、右90度、左90度）に対応しています。）
※2　以下の形式は表示できません。
　　プログレッシブJPEG、ロスレス回転JPEG、グレースケールJPEG、YUV444（パソコンで加工した画像に多い）形式のJPEGなど

- これらの制限がありますので、本機に IrSS™ で静止画を送信する場合、IrSS™ 送信をサポートしている動作確認機種自体で撮影（作成）された静止画を送信してください。

ファミリンク設定時の静止画受信

- IrSS™ 対応の AQUOS レコーダーを本機と HDMI ケーブルで接続している場合に、携帯電話から送信したデータを IrSS™ 対応の AQUOS レコーダーが受信すると、その画像がファミリンクを経由して本機で表示されます。

次のページに続く

携帯電話※から静止画を受信する

※ IrSS™ 対応の携帯電話

押すボタン

1 入力切換

入力切換メニューを表示する

入力切換

入力切換ボタンを繰り返し押し、「IrSS」を選ぶ

・ 上下カーソルボタンでも選べます。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6
入力7
i.LINK
IrSS
ホームネットワーク

・ IrSS™ のスタンバイ画面が表示されます。

IrSS

IrSSに対応した送信機器から、
画面右下の受光部へ向けて
写真データを送信してください。

2

携帯電話を操作して、送信したい静止画を選択し、送信する

・ 下図で示す範囲から送信してください。

携帯電話の赤外線発光部の位置や送信操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

メニューから「送信」を選ぶ機種の送信のしかた

- 送信したい静止画を選んだ後に、メニュー項目から「送信」を選んで送信します。

IrSS™ボタンで送信する機種の送信のしかた

- 送信したい静止画を選んだ後に、IrSS™ボタンを押して送信します。(しばらく押しつづけると送信する機種もあります。)

3 本機で静止画を受信する

- 本機が受信を始めると、「受信中」を示すメッセージが表示されます。
- ガイダンスを非表示にすると、「受信中」のメッセージの表示場所が画面下部に移動します。
- 受信中に戻るボタンまたは終了ボタンを押すと、受信スタンバイ画面に戻ります。

IrSS

受信中…

- 数秒後に静止画が表示されます。
- 携帯電話から続けて静止画を送信すると、受信の完了とともに静止画が切り換わります。前の静止画に戻したいときは、手順 **2** からやり直してください。
- 本機には静止画を保存できません。

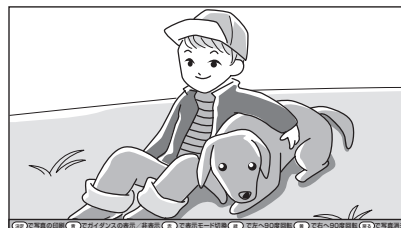
おしらせ

受信に失敗したときは

- 受信に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。(IrSS™ に関するエラーメッセージ ▶ **187** ページ)
- 次のような場合は、赤外線受信に失敗します。
  - 本機に、IrSS™ スタンバイ画面が表示される以前に静止画を送信した場合
  - データが IrSS™ の規格以外の場合
  - 距離が遠すぎるなど、受信データをとりこぼした場合
  - 受信が途切れた場合
  - 本機が対応している仕様以外のデータの場合
  - 写真データが大きすぎる場合
  - 写真データが壊れている場合
  - 通信中に直射日光などの強い光が当たったり、リモコン操作による赤外線が当たったりした場合（一部のノート PC やゲーム機などでは赤外線を利用するものがあります。本機の IrSS™ も赤外線を使用するため、その影響により写真の受信に失敗する場合があります。そのようなときは、ノート PC やゲーム機本体や赤外線センサー部を本機と離して設置するか、ノート PC やゲーム機の使用を終えてから再度写真を送信してください。）

写真表示中の表示操作

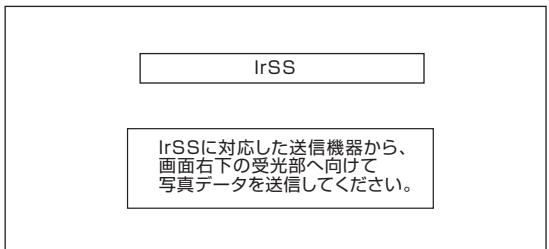
- 本機のリモコンで、受信した静止画を回転するなどの操作ができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

- ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。
- ガイダンスを非表示にした場合、続けて受信･表示される写真データにもガイダンスは表示されません。

ガイダンス（操作案内）

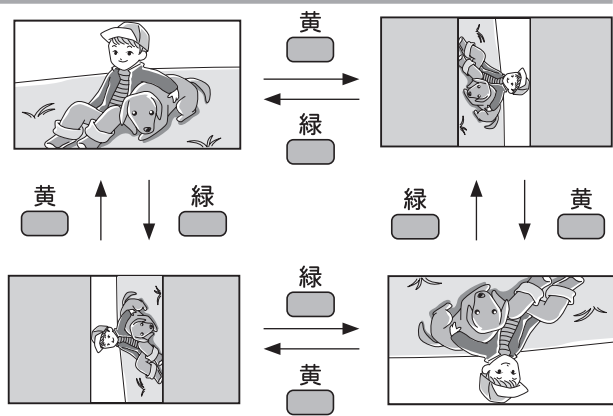
決定で写真の印刷 青でガイダンスの表示／非表示 赤で表示モード切換 緑で左へ90度回転 黄で右へ90度回転 戻るで写真消去

戻る
- 表示している画像を消して、受信スタンバイ（待機）画面に戻ります。

IrSS

IrSSに対応した送信機器から、
画面右下の受光部へ向けて
写真データを送信してください。

黄
緑

- 黄ボタンで写真を右に 90 度回転します。
- 緑ボタンで写真を左に 90 度回転します。
- 画像を回転させていても、続けて受信されるデータは回転しない状態（正位置）で表示されます。

赤

- 「表示モード切換」メニューが表示されます。
- 何回か押して表示モードを選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 選べる表示モードは右のとおりです。

■ 表示モード切換
ノーマル
Dot by Dot
シネマ
フル

ノーマル
- 縦横比を変えずに画面内に最大で収めます。

Dot by Dot
元の写真の縦横いずれかの画素サイズが本機の解像度（1920×1080　画素）より大きい（はみ出す）場合は「Dot by Dot」メニューは表示しません。また回転すると画面からはみ出す場合は回転できません。
- 画素の数や縦横比を変えずに元のまま表示します。

シネマ
- 縦横比を変えずに、黒帯を無くすように画面内に最大で収めます。
- 拡大により、写真の一部がはみ出す場合があります。

フル
- 縦横比と写真の画素サイズを無視して、画面内いっぱいに表示します。

- 写真の縦横比が16:9 の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。

表示した写真を印刷する

おしらせ

- 対応プリンタにはホームネットワーク接続するための設定が必要です。詳しくはプリンタの取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- 本機対応プリンタの動作確認機種の最新情報については、SHARP web ページ内のAQUOS サポートステーションをご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- 印刷に使うプリンタを指定する場合や印刷に使うプリンタを変更する場合は、印刷設定画面で「プリンタ選択」を選んで決定します。プリンタ選択画面で、プリンタを選んで決定します。

対応プリンタ名が表示されないときは

- 対応プリンタの電源が入っているか、対応プリンタにIP アドレスが設定されているかを確認してください。

● 表示した写真は、ホームネットワークの対応プリンタに印刷することができます。

◆印刷設定画面を表示する

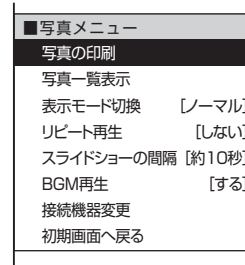
押すボタン

1 **ホームネットワークで写真を表示した場合**

赤 写真表示中に、写真メニューを表示する

「写真の印刷」を選ぶ

決定 決定する

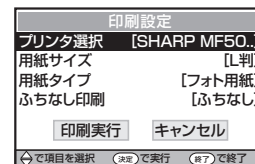
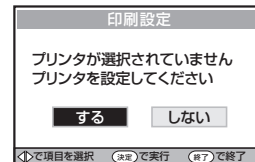
■写真メニュー
写真の印刷
写真一覧表示
表示モード切換 [ノーマル]
リピート再生 [しない]
スライドショーの間隔 [約10秒]
BGM再生 [する]
接続機器変更
初期画面へ戻る

- 印刷設定画面が表示されます。
  手順 **2** へ進みます。

IrSS™ で静止画を受信して表示した場合

決定 写真表示中に、決定ボタンを押す

- 印刷設定画面が表示されます。
  手順 **2** へ進みます。

2 プリンタ名を確認する

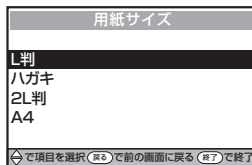
印刷設定
プリンタ選択 [SHARP MF50..]
用紙サイズ [L判]
用紙タイプ [フォト用紙]
ふちなし印刷 [ふちなし]
印刷実行 キャンセル
で項目を選択 決定で実行 終了で終了

- ホームネットワークに接続された対応プリンタ名が表示されていれば印刷することができます。
- プリンタが選択されていない場合は、「プリンタを設定してください。」と表示されます。
  「する」を選んで決定すると、プリンタ選択メニューが表示されます。

使用するプリンタを選んで決定すると、印刷設定画面に戻ります。

次のページに続く

◆用紙の設定をする

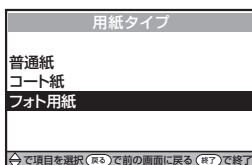
3 「用紙サイズ」を選ぶ

- 用紙サイズ画面が表示されます。

決定する

- 「L判」「ハガキ」「2L判」「A4」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

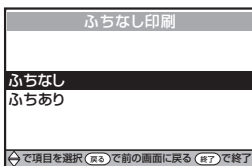
4 「用紙タイプ」を選ぶ

- 用紙タイプ画面が表示されます。

決定する

- 「普通紙」「コート紙」「フォト用紙」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

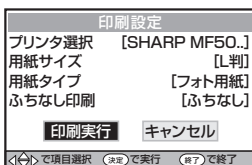
5 「ふちなし印刷」を選ぶ

- ふちなし印刷画面が表示されます。

決定する

- 「ふちなし」「ふちあり」のどちらかを選んで決定します。
- ふちなし印刷が不可能な場合は、「ふちなし」は選べません。

◆印刷する

6 「印刷実行」を選ぶ

決定する

- 「この写真の印刷を受け付けました」という表示が出て、印刷が実行されます。
- 印刷中に選局や入力切換をすると印刷が完了しないことがありますので、「この写真の印刷を受け付けました」の表示が消えるまでお待ちください。

おしらせ

- 用紙タイプ、用紙サイズはプリンタにより呼び方が本機と異なる場合があります。
  「普通紙」はコピー用紙などに相当します。
  「コート紙」はつや消しのある写真用用紙に相当します。
  「フォト用紙」は写真印画紙のような光沢のある写真用用紙に相当します。
- プリンタにセットされた用紙と、印刷設定画面での用紙設定が一致していないと用紙の一部にのみ印刷されたり、写真の一部のみ印刷される場合があります。

- 印刷に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。（ホームネットワークに関するエラーメッセージ▶ **189** ～ **190** ページ）

こんなときは

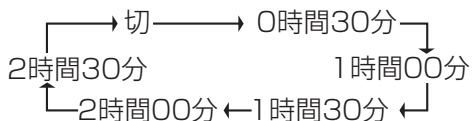
省エネの設定をする

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

● テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

繰り返し押してオフタイマーを設定する

・押すごとに次のように画面の表示が変わります。

切 → 0時間30分 → 1時間00分 → 1時間30分 → 2時間00分 → 2時間30分 → 切

・オフタイマーの残り時間が 5 分になると、残り時間が画面左下に表示されます。

● メニューを表示して設定することもできます。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「省エネ設定」ー「オフタイマー」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 **電源が切れるまでの時間を選ぶ**

・オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

決定 **決定する**

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

オフタイマーの残り時間を確認するには

押すボタン オフタイマー

オフタイマーの残り時間を確認する

・オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
・しばらくすると表示が消えます。
・残り時間が表示されている間は、オフタイマーボタンを押さないでください。残り時間が変わってしまいます。

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

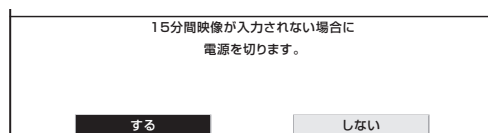
● 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「省エネ設定」ー「無信号オフ」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 **「する」を選ぶ**

決定 **決定する**

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。
・電源が切れる 5 分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ機能について

・工場出荷時は「しない」に設定されています。
・放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
・放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
・入力 7 のときは、「パワーマネージメント」の設定となります。（▶ **179** ページ）

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

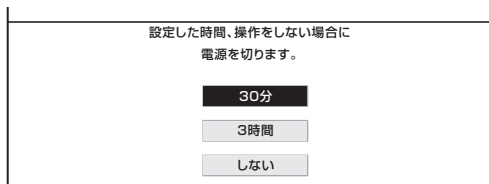
● 操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 メニューを表示する

2 「省エネ設定」－「無操作オフ」を選ぶ

決定 決定する

3 「30 分」または「3 時間」を選ぶ

決定 決定する

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・工場出荷時は「しない」に設定されています。

パソコンをつないでいるときに省エネを設定する（パワーマネージメント）

● パソコン（PC）の画面が消えたときに自動的に本機の電源も切れるように設定できます。（パワーマネージメント）

● 「パワーマネージメント」は、入力 7 を選択しているときに選べます。

（例） パワーマネージメントを「モード1」に設定する

1 「入力 7」（PC 入力）を選ぶ

2 メニューを表示する

3 「省エネ設定」－「パワーマネージメント」を選ぶ

決定 決定する

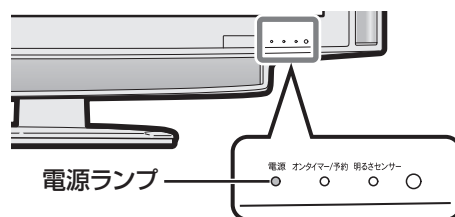
4 「モード 1」を選ぶ

決定 決定する

項目	内容
しない	パワーマネージメントを行いません。
モード 1	PC（パソコン）の画面が消えると、約 8 分後に自動的に電源が切れる機能です。電源が切れる 5 分前から、画面左下に残り時間が表示されます。 パワーマネージメント　残り　5分
モード 2	PC（パソコン）の画面が消えると、8 秒後に自動的に電源が切れる機能です。PC の映像信号が入力されると電源が入ります。

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

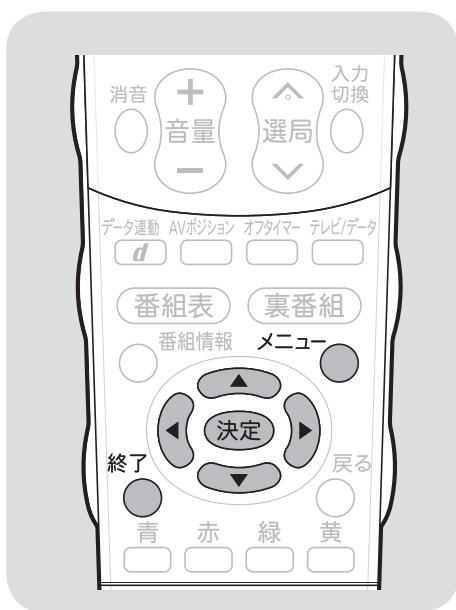
・パワーマネージメントを「モード 2」に設定している場合、パワーマネージメント状態になると、本体前面右下の電源ランプが橙色に点灯します。

おしらせ

・パワーマネージメントを「モード 2」に設定しているとき、コンセントを抜くなどして本機の電源をしゃ断すると、電源を入れなおしても正常に動作しない場合があります。このときは、リモコンの電源ボタン（赤）を押してください。

・パワーマネージメント「モード 2」は、アナログ接続しているときにのみ、機能します。

お知らせを見る

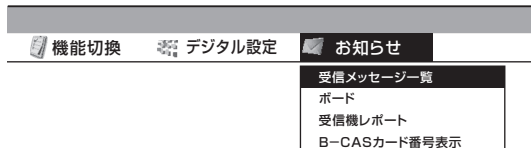
- 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、B-CAS カード番号などが確認できます。

項目	内容
受信メッセージ一覧	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
ボード	送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。
受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
B-CASカード番号表示	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 カードID……カード固有の番号です。

押すボタン

1 メニューを表示する

2 「お知らせ」を選ぶ

3 見たい項目を選ぶ

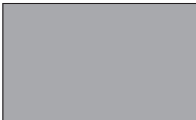
決定する

- 項目によっては、この後ネットワーク(放送の種類)を選ぶ手順になります。

4 見たい情報を選ぶ

決定する

(例)「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

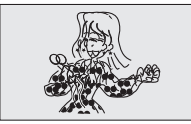
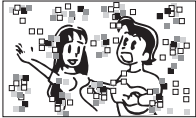
	受信日時	
未読	2/26[月]	ダウンロード成功のお知らせ
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●

5 情報の内容を確認する

- ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを選び、決定ボタンを押します。
- 画面に従って操作してください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 未読の受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。未読の受信メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。
- 受信機レポートの表示中、左右カーソルボタンで「消す」を選んで決定ボタンを押すと、その受信機レポートが消去されます。
- 受信機レポートに「予約時に指定されたi.LINK機器が使えませんでした。」という表示が出た場合は、i.LINK機器の接続を見直してください。(▶ **118**・**122** ページ)

故障かな？と思ったら／エラーメッセージが出たら

- 次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
  なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（▶ **199** ページ）をご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • 電源が「切」の状態になっていませんか。 • テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • 接続ケーブルが抜けていないか確認してください。	31 33 93 –
	リモコンが動作しない	• 乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。 • リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。 • リモコン番号が本体と一致しているか確認してください。画面左下に「リモコン番号が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。 • 乾電池が消耗すると、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換してください。 • リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えるなどしてみてください。 • 蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。 • 受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） • 電池の端子が酸化（薄黒く）、消耗、室温低下で不活発になり、動作しにくいことがあります。	33 33 33 87•88 –
	映像は出るが音声が出ない	• 音量調整が最小になっていませんか。 • 「消音」状態になっていませんか。 • ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 • 入力6端子設定が「モニター出力（可変）」に設定されていませんか。「モニター出力（固定）」にしてください。 • D映像・S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	61 61 18 102 90•91
	音声は出るが映像が出ない	• 映像オフが「する」になっていませんか。 • 映像ケーブルが抜けていませんか。	85 90•91
	色が薄い 色あいが悪い	• 「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	82
	画面が暗い 黒色が潰れる	• 「AVポジション」をご確認ください。「標準」でも暗いと感じる場合は、「AVメモリー」を試してください。	81
	特定のチャンネルだけ映らない	• チャンネルの受信微調整がずれていませんか。	54
	画面が大きくなったり、小さくなったりする	• オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	80

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般（つづき）	テレビの上部が熱い	・内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	−
	画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	・本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 ・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 ・本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。	− − −
	リモコンや本体ボタンの操作ができない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を「入」にしてみてください。 ・チャイルドロックが設定されていませんか。 ・本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。 ・画面左下に「リモコン番号が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	− 131 87•88
	ときどき「ピシッ」と音がする	・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	−
	リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする（数回鳴る場合があります。）	・本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 ・デジタル放送の録画予約を実行している場合 ・ダウンロードをしている場合 ・有料放送の契約情報を取得している場合 ・地上デジタル放送の電子番組表の情報を取得している場合	98 191 − 70
アンテナ	映像が出ず雑音のみ出る	・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	26～29
	画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	14
	映像が二重になる（ゴースト）	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。アンテナの向きや高さを変えてみてください。	−
	色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 ・付属のアンテナケーブルを使用していますか。古いケーブルは使わないでください。	− 8•26～29
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ・アンテナの向きが変わったり、アンテナが壊れたりしていませんか。 ・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。	26～29 − − 26

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	・個人でBS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。 ・個人でBS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 ・その局が放送していない時間帯ではありませんか。 ・ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・B-CASカードは正しく挿入されていますか。	40 40 – 93 24
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	・アンテナの向きがずれていませんか。 ・受信強度を確認してください。 ・アンテナの前方に障害物はありませんか。 ・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 38•41 – 26～29
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ・有料放送を視聴するための契約はしていますか。	24 24
	110度CSデジタル放送が受信できない	・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ・ブースターや分配器などをご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	27～29 27
	BSデジタル･110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	・強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 ・春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	– –
	地上デジタル放送が受信できない	・お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 ・地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 ・チャンネル設定は正しくされていますか。	– 22 26～29 42•43 44～46
	画面にノイズが出る	・VHF/UHFのアンテナケーブルがBS･110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送ではありませんか。 ・受信強度を確認してください。	24 38•41
	電子番組表が表示されない 電子番組表に表示されない番組がある	・地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」（待機状態）にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 ・電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 ・スキップを「する」に設定していませんか。	70 – 45・46
	番組の予約をしても受信できない	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
	デジタル放送が受信できない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を「入」にしてみてください。	–

次のページに続く

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
インターネット関係	AQUOS.jpのページが表示されなくなった	•ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が「切」になっていませんか。 •LANケーブルがはずれていませんか。 •双方向サービス設定を「禁止しない」に設定してください。 •ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありませんか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	– 153 150 –
	文字が読めない文字になった	•ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	163
	カーソルボタンでページの続きを表示できない	•ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	–
	インターネットに接続できない	•「ブロードバンド環境への接続と設定」をご覧いただき、接続・設定状況をご確認ください。 •【パソコンをお持ちの場合】 本機に差し込まれているLANケーブル(CAT5以上)をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 できる場合は、ブロードバンドルーターからLAN側(本機側)の接続・設定を確認してください。できない場合は、ブロードバンドルーターからWAN側(プロバイダー側)の接続・設定を確認してください。 •【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】 電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。	151～155
	電話線をつないだのにインターネットに接続できない	•電話回線ではインターネットを利用できません。「ブロードバンド環境への接続と設定」をご覧いただき、LAN回線に接続してください。	151
	ホームページの音声が聞こえない ホームページの動画が再生できない	•本機では、一部の形式の音声ファイル(WAVやAAC形式の一部)については再生可能ですが、一般のWebページで配信されている動画や音声はパソコン向けに作られており、特に本機の機種名が対応機種としてそのWebページに明記されていない限りは、基本的に再生できないとお考えください。	–
	パソコンのインターネット機能でできることが、本機ではできない	•本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて以下のような点などが異なりますので、ご了承ください。 •ファイルのダウンロードはできません。 •PDF(電子文書)を読み込む機能はついておりません。 •メールの送受信機能はありません。	157
その他	i.LINK接続されない	•接続先の機器の電源は入っていますか。 •i.LINKケーブルがはずれていませんか。 •接続する機器はD-VHSビデオデッキ・AV-HDDレコーダー・ブルーレイディスクレコーダー・HDV方式ハイビジョンビデオカメラですか。本機はこれらの機器のみ接続が可能です。 •i.LINK機器を正しく選択していますか。 i.LINK録画機器の接続を変更、あるいはi.LINK録画機器の交換を行った場合は、i.LINK機器の設定を再度行ってください。	– 118 118 122

おしらせ 停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目

- テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。デジタル放送が受信できないなど、時刻の自動設定がされないときは、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定してください。（時刻が合っていないときは（時刻設定）▶ **77** ページ）
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  ・静止画　・オフタイマー　・消音（消音ボタンによる）　・デジタル固定　・映像オフ　・２画面

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	＊＊＊＊	B-CASカードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入しなおしてください。	**24**
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**24**
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	＊＊＊＊	本機に付属のB-CASカードを挿入してください。	**24**
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
放送チャンネルではないため、視聴できません。	**E200**	このチャンネル（番組）は視聴できません。	**–**
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	**E201**	降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	**23**
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	＊＊＊＊	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	**–**
放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。	**E202**	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**26～29 37•40**
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	**E203**	番組表などで放送時間を確かめてください。	**–**
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	**E204**	番組表などでチャンネルを確かめてください。	**–**
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	＊＊＊＊	電源を入れ直してください。 BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	**26～29• 40•41**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	**E210**	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	**–**
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	＊＊＊＊	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	**–**
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	電話回線の接続を確認の上、電源を切ってからB-CASカードを一度抜き、挿入し直してください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**24•147**

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
データの通信に失敗しました。	**E301**	電話回線の接続を確認して、メニューの「通信設定」を正しく行ってください。	**147~149**
データが受信できません。	**E400**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	**–**
対象地域外のため、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	**–**
この受信機では、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	**–**
データの表示に失敗しました。	**E402**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	**–**

■アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が60以下です。【B】	受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	**38•41**
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。 ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。 販売店などにご相談ください。	**–**
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や挿入が必要です。 販売店などにご相談ください。	**–**
アンテナ信号が良くありません。【D】	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**26~29 37•40**
受信できません。【E】	アンテナが正しく設置されているか確認してください。 アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**26~29 37•40**

■i.LINKに関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。他の機器を選択しなおしてください。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。「i.LINK機器をつなぐ」(▶**118**ページ)をお読みの上、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作し、選択している機器の使用を中断する必要があります。

■双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	**C104**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**147~149**
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	**C105**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**147~149**
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	**C006**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**147~149**
アクセスできませんでした。[C204]	**C204**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	**C208**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	**C209**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。	****	双方向サービス設定で「禁止しない」を選択してください。	**150**
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。電話回線設定を確認してください。	****	電話回線設定を確認してください。	**148**
まだルート証明書※3を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明書※3を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–

※1 情報センター…… 双方向通信において、お客様からのデータを受け取るセンター。
※2 サーバー証明書… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書…… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

■IrSS™に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
IrSS™に対応した送信機器か確認してください。	IrSS™対応の送信機器をご使用ください。IrSS™対応の送信機器であってもIrSS™以外の赤外線通信モードで送信した場合、本機では受信できないことがあります。IrSS™、IrSimpleShot™、高速赤外線通信などと表示された通信モードになっていることをご確認ください。また、近くに赤外線を利用する機器（一部のノートPCやゲーム機など）がある場合はその機器の使用をやめて電源を落とすか、本機から遠ざけてください。
この形式の写真データは表示できません。	規格外の写真は表示できません。
データの容量が大きすぎます。	データの容量が約3MB以下のデータを送信してください。
写真のサイズが大きすぎます。	画素サイズ4096×2160以下のデータを送信してください。
このデータは表示できません。	JPEG以外のデータや、壊れたデータは表示できません。 なお、パソコンでは表示可能な場合があります。

次のページに続く

■IrSS™に関するエラーメッセージ(つづき)

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
送信機器を本機の受光部に近づけて、再度送信してください。(他の機器からは離してご使用ください)	送信機器を本機右下のIrSS™受光部の正面から上下左右15度以内、約2m以内に近づけて、再度送信してみてください。また、データ容量の大きな画像の送信には数秒かかる場合がありますので、送信が完了するまで送信機器をIrSS™受光部から離さないようにご注意ください。
印刷設定。 機器が見つかりません。 対応プリンタの電源、接続を確認ください。	プリンタの電源が入っていないか、プリンタがホームネットワークに接続されていないか、ホームネットワーク接続設定が正しくされていない可能性があります。プリンタの電源、接続、設定を確認してください。
写真の印刷。 印刷したい写真データを 再度送信してください。	印刷するための写真データが壊れている可能性があります。印刷したい写真を再度送信してください。
写真の印刷。 印刷の準備をしています。	プリンタに印刷指示を行っていますので、しばらくお待ちください。
写真の印刷。 この写真の印刷を受け付けました。 プリンタにデータ転送中です。 このままお待ち下さい。	プリンタへの印刷指示を完了しましたが、プリンタにデータを転送しています。転送完了まで表示されますので、しばらくお待ちください。
印刷できません。 プリンタが使用中の可能性があります。	プリンタが印刷実行中か使用中の場合にさらに印刷しようとすると、このメッセージが表示される場合があります。印刷完了または使用できるようになるまでお待ちください。
印刷を中断しました。 プリンタとの接続を確認してください。	プリンタが何らかの原因で印刷を中断しました。プリンタの状態または正常に接続できているか確認してください。
印刷できません。 プリンタを確認してください。	プリンタが何らかの原因で印刷できなくなりました。プリンタのインクや用紙が無くなっていないか、用紙が詰まっていないか、カバーが開いていないか、などを確認してください。

■ファミリンク録画時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	**S05**	録画ができないコンテンツ(放送や番組)、または録画ができない記録メディア(HDD・DVD などの録画媒体)です。コンテンツまたは録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	**S06** **S07**	このネットワークは録画することができません。 ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。	**S09** **S10** **S11** **S12**	ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。

■ファミリンク録画時のエラーメッセージ(つづき)

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	**S13** **S14**	このコンテンツ(放送や番組)は録画することができません。 コンテンツを確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	**S16**	録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	**S17**	再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	**S18**	現在録画中のため、新たに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	**S19**	録画メディアが書き込み禁止です。 録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	**S20**	放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	**S21**	録画メディアに録画できません。 録画メディアを確かめてください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	**S22**	録画メディアの容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	**S23**	視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	**S31**	録画機器を確認してください。

■ホームネットワーク利用時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	規格外の写真は表示できません。なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。
データの容量が大きすぎます。	データの容量が5MB以下のデータとしてください。デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズを小さくすると、5MB以下のデータで撮影できる場合があります。 例) 4300×3225 ⇒ 2048×1536 また撮影済みのデータではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
写真のサイズが大きすぎます。	画素サイズ4096×3072以下の写真にしてください。 デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズは変更できる場合があります。 例) 4300×3225 ⇒ 2048×1536 また撮影済みの写真ではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
このデータは表示できません。	本機で表示可能な仕様のJPEG以外のデータや、壊れたデータは表示できません。

次のページに続く

■ホームネットワーク利用時のエラーメッセージ(つづき)

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
次の写真を取得できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。 ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後SDカードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
印刷設定。 機器が見つかりません。 対応プリンタの電源、接続を確認ください。	プリンタの電源が入っていないか、プリンタがホームネットワークに接続されていないか、ホームネットワーク接続設定が正しくされていない可能性があります。プリンタの電源、接続、設定を確認してください。
写真の印刷。 印刷の準備をしています。	プリンタに印刷指示を行っていますので、しばらくお待ちください。
写真の印刷。 この写真の印刷を受け付けました。	プリンタへの印刷指示を完了しました。写真を表示することができます。
印刷できません。 プリンタが使用中の可能性があります。	プリンタが印刷実行中か使用中の場合にさらに印刷しようとすると、このメッセージが表示される場合があります。印刷完了または使用できるようになるまでお待ちください。
印刷を中断しました。 プリンタとの接続を確認してください。	プリンタが何らかの原因で印刷を中断しました。プリンタの状態または正常に接続できているか確認してください。
印刷できません。 プリンタを確認してください。	プリンタが何らかの原因で印刷できなくなりました。プリンタのインクや用紙が無くなっていないか、用紙が詰まっていないか、カバーが開いていないか、などを確認してください。

本機のソフトウェアを更新するときは(ダウンロード設定)

- ダウンロードとは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのもので、自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。
- お買いあげ時は利便性を考えて「する」(自動)に設定されています。

おしらせ

ダウンロードの可能な環境について

- ダウンロードは BS デジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ダウンロードについて

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、リセットの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定しなおしてください。
- **ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン(赤)で、待機状態にしてください。本体の電源スイッチで電源を切っている場合や電源コードをコンセントから抜いている場合、ダウンロードは実行されません。**

自動ダウンロードを「しない」に設定する

- 自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

1 メニューを表示する

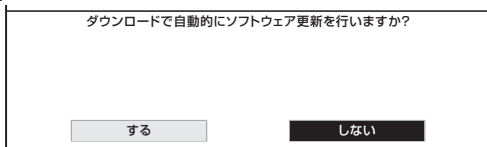
2 「デジタル設定」ー「ダウンロード設定」を選ぶ

決定 決定する

3 「しない」を選ぶ

決定する

ダウンロードで自動的にソフトウェア更新を行いますか?

する　しない

- 操作を終了する場合には、終了ボタンを押します。

手動でダウンロードを行う

- 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、受信メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードを行えます。

1 メニューを表示する

2 「お知らせ」ー「受信メッセージ一覧」を選ぶ

決定する

3 「ダウンロードのお知らせ」を選ぶ

決定 決定する

4 画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ

決定する

5 画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ

決定する

ダウンロードのお知らせ

今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源(受像)ボタンで「切」にする事でダウンロードを実行します。
(ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます)
ダウンロードしますか。

する　しない

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
(お知らせを見る ▶ **180** ページ)

本機から個人情報をすべて消すには（本機を廃棄するときなど）

● 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報と操作情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。

重要

・お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号など）がすべて初期化されます。

• **この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。**
データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「本体設定」－「個人情報初期化」を選ぶ

決定　決定する

3 「する」を選ぶ

決定　決定する

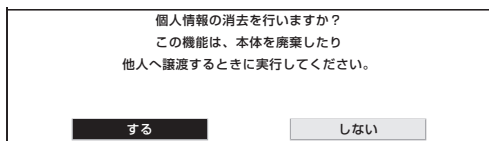
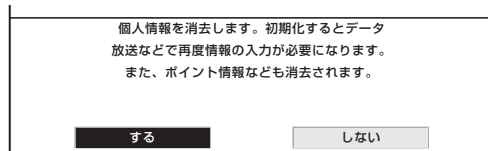
個人情報の消去を行いますか？
この機能は、本体を廃棄したり
他人へ譲渡するときに実行してください。

する　　しない

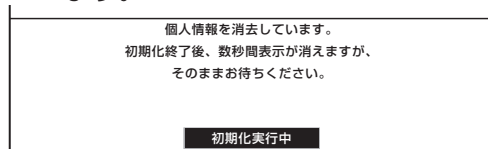
4 「する」を選ぶ

決定する

個人情報を消去します。初期化するとデータ
放送などで再度情報の入力が必要になります。
また、ポイント情報なども消去されます。

する　　しない

・表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。
初期化には、しばらく時間がかかります。

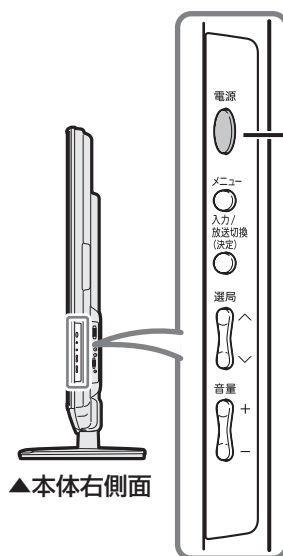
個人情報を消去しています。
初期化終了後、数秒間表示が消えますが、
そのままお待ちください。

初期化実行中

・初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、本体側面操作部の電源ボタン（赤）を押してください。

・初期化すると本体のリモコン番号は 1 になります。リモコン番号を変更してお使いになっていた場合は、リモコンのリモコン番号を「1」にしてください。

本機の操作ができなくなったときは

● 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
このときは、本体右側面の電源ボタンを押して、一旦電源を切った後、再度電源を入れてから、操作をやりなおしてください。
電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体右側面の電源ボタンを 5 秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、電源ボタンを押して電源を入れたあと、再び操作をやりなおしてください。この操作をしてもチャンネル設定やメニューなどの設定項目は保持されます。

▲本体右側面

おしらせ

・再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPLおよびLGPLも、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPLおよびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープGPL情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- DirectFB
- aka dlmalloc
- modutils
- OpenSSL
- XMLRPC-EPI
- glibc
- zlib
- Anti-Grain Geometry (Version 2.3)
- Simple IPv4 Link-Local addressing

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
この製品にはEric Youngによって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkitにおける使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

XMLRPC-EPI

Copyright 2000 (C) Epinions, Inc.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント（複製禁止）が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LCフォントでないものも使用しています。

Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954
5,400,433	5,222,189	5,357,594
5,752,225	5,394,473	5,583,962
5,274,740	5,633,981	5,297,236
4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037
97/02875	97/02874	98/03036
5,227,788	5,285,498	5,481,614
5,592,584	5,781,888	08/039,478
08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239
5,299,240	5,197,087	5,490,170
5,264,846	5,268,685	5,375,189
5,581,654	5,548,574	5,717,821

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

メニュー項目の一覧

テレビ、入力4～6選択時（入力1～3、入力7選択時については、▶196、197ページをご覧ください。）

おしらせ

• 表中の※については▶ 197 ページのおしらせをご覧ください。

次のページに続く

入力1～3、入力7選択時（記載以外の参照ページについては、▶194、195ページをご覧ください。）

デジタル設定	i.LINK設定 → i.LINK自動切換	する、しない
お知らせ	▶**195**ページと同じ	

おしらせ

※ 1　AV ポジションごとに設定できます。また、AV ポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※ 2　AV ポジションが「ダイナミック（固定）」になっているときは設定できません。
※ 3　「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※ 4　インターネット閲覧時、IrSS™ モード、ホームネットワークモードのときは表示されません。または選択できません。
※ 5　IrSS™ モードでは選択できません。
※ 6　プログレッシブ信号入力時には選択できません。
※ 7　入力 7 選択時は選べません。
※ 8　AV ポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
※ 9　「入力 6 端子設定」が「モニター出力（可変）」に設定されているとき、または「AQUOS オーディオで聞く」に設定されているときは選択できません。
※ 10 センタースピーカー入力が「する」に設定されているときは選択できません。
※ 11 入力 1 ～ 3 選択時のみ表示されます。
※ 12 入力 7 選択時のみ表示されます。
※ 13 録画予約実行中およびデジタル固定中は選択できません。
※ 14 ヘッドホンをつないでいるときは選択できません。
※ 15 入力 7 選択時で入力信号の解像度が 1024 × 768 または 1360 × 768 のときに選択できます。
※ 16 入力 1 ～ 7 選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※ 17 現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※ 18 PC をアナログ接続しているときのみ表示されます。
※ 19 設定の範囲は、入力、信号、画面サイズによって異なります。
※ 20 時刻が自動設定されている場合は選択できません。
※ 21 オンタイマーの「オン入力」が「入力 6」に設定されているときは選択できません。
※ 22 ファミリンク対応の AQUOS オーディオが接続されていないときは選択できません。
※ 23「入力 6 端子設定」が「入力」以外のとき、「入力 6」はスキップされます。
※ 24 アナログ放送視聴時は選択できません。
※ 25 テレビ視聴時のみ表示されます。
※ 26 デジタル放送視聴時には選択できません。
※ 27 入力 6 選択時のみ表示されます。
※ 28 入力 4・5・6 選択時のみ表示されます。
※ 29 オンタイマー機能を使うためには、時刻が設定されている必要があります。
※ 30 テレビ視聴時、インターネット閲覧時、IrSS™ モード、ホームネットワークモードのとき表示されます。
※ 31 入力 1 ～ 7 のときのみ選択できます。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。
- テレビ、入力 4 ～ 6 選択時のメニュー項目一覧については、▶ **194**、**195** ページをご覧ください。

おもな仕様について

項目		仕様
品名		液晶カラーテレビ
形名		LC-52GX5
液晶パネル	画面サイズ	52V型（横1152mm×縦648mm／対角1322mm）
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	1,920（水平）×1,080（垂直）画素
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型（地上デジタル入力共用）、BS-IF 75Ω不平衡型
スピーカー		6.5cm 丸型 3個、2.0cm 丸型 2個、3×10cmトラック型2個
音声実用最大出力（JEITA）		総合30W（7.5W+7.5W+15W）
使用電源		AC100V・50/60Hz
消費電力		315W（待機時電力：0.1W、クイック起動「する」時電力：33W）
年間消費電力量		• 区分名：BJJ　• 受信機型サイズ：52V • 年間消費電力量：255kWh／年[標準時※1]
接続端子		HDMI3系統3端子、D5映像入力3系統3端子、S2映像入力1系統1端子、 ビデオ入力3系統3端子（入力6はモニター出力／録画出力兼用）、 モニター出力1系統1端子（入力6／録画出力兼用・S2映像付き）、DVI-I端子（音声入力端子付き）、 デジタル音声出力（光）1系統1端子、 アンテナ入力地上デジタル地上アナログ（VHF・UHF）端子、 アンテナ入力BS・110度CSデジタル端子、ヘッドホン接続端子、AC入力端子、 コントロール（RS-232C）端子、i.LINK（TS）2端子、電話回線端子、 LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX）、センタースピーカー入力端子
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch・UHF13～62ch、CATV13～63ch、 BSデジタル001～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル（ワンセグを除く）011～528ch（CATVパススルー対応）
BS・110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2（MP@HL）
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2（MP@HL）
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯
キャビネット		ノンハロゲン材
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅1320×奥行85（最薄部79）×高さ806（mm）
	スタンド装着時	幅1320×奥行328×高さ874（mm）
本体質量	ディスプレイ部のみ	約29.0kg
	スタンド装着時	約31.0kg
使用温度		0℃～40℃

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した部品です。
■ 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっている。その区分名称を言う。
※1：一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。（本機では、AVポジション「標準」の場合です。）

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】
携帯・PHS OK **0120 - 001 - 251**
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな?と思ったら」(▶181ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名:液晶カラーテレビ
- 形　　名:LC-52GX5
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所(付近の目印もあわせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

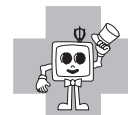
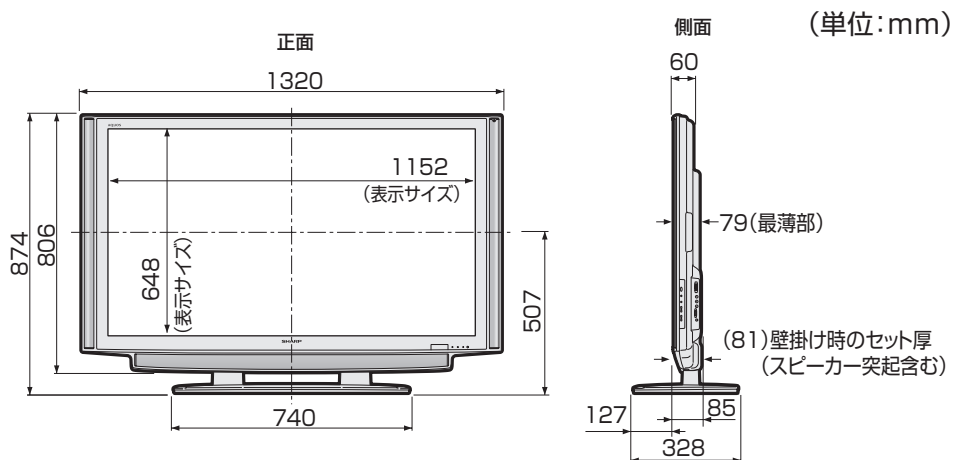
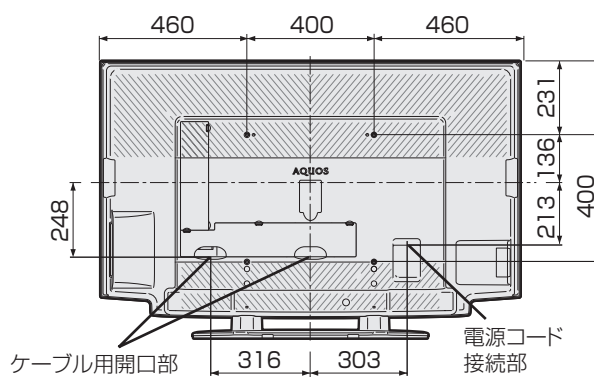
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ!（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

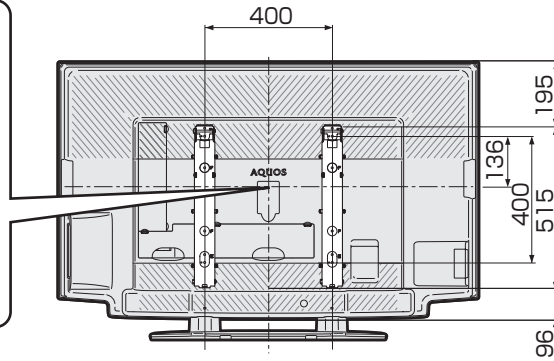
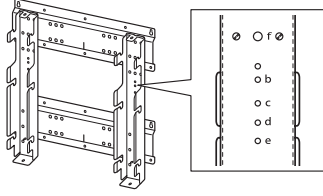
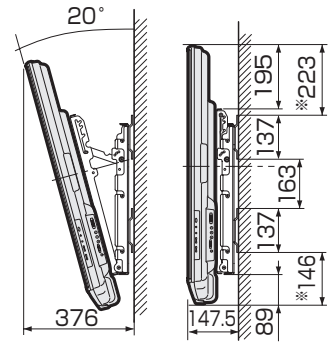
- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

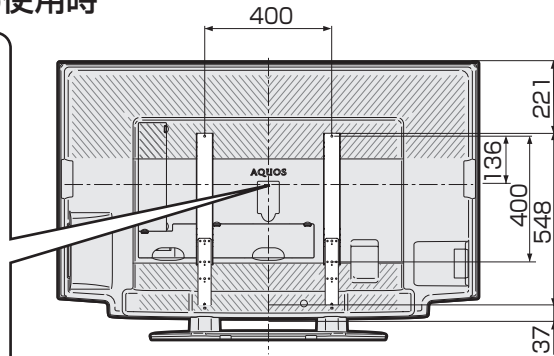
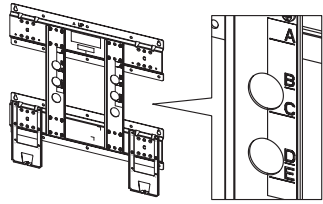
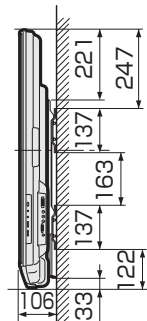
故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

寸法図

壁掛け金具取り付け時の寸法

壁掛け金具AN-52AG4使用時

(単位:mm)

壁掛け金具AN-52AG4の壁用金具には、ディスプレイの中心を示す刻印「f」があります。

※ この数値は、取り付け位置を変更することにより、50mm変動します。

壁掛け金具AN-52AG5使用時

壁掛け金具AN-52AG5の壁用金具には、ディスプレイの中心を示す刻印「A」があります。

傾けての設置はできません。

スタンドをはずす

● 別売の壁掛け金具（AN-52AG4／AN-52AG5）で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。（壁掛け設置のしかた（例）▶ **203** ページ）

重要

- 取付け方法など詳しくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客様ご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。
  当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

- 以下の手順は壁掛け金具 AN-52AG4 を例に説明しています。（壁掛け金具 AN-52AG5 をご使用の場合は、AN-52AG5 の取扱説明書に従って作業してください。）

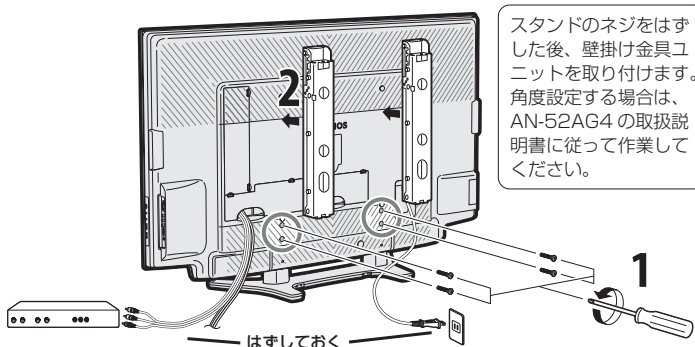
壁に掛ける前の準備

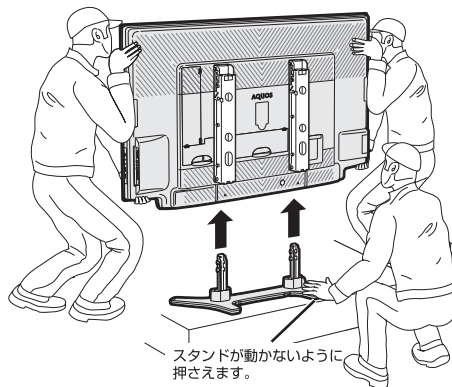
- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付け、端子カバーを取り付けてください。
- 電源プラグはコンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルは、録画機器側をはずしておいてください。これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなげます。

1 スタンドのネジ（4 箇所）を取りはずす

- ⊕（プラス）ドライバーを使います。

2 壁掛け金具ユニットを取り付ける

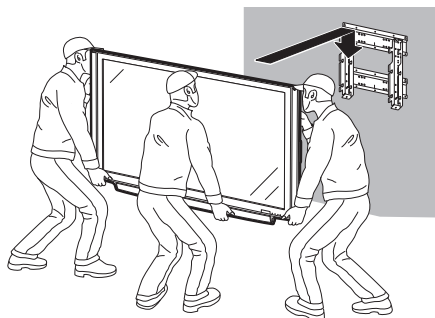
- 角度設定していない状態（0°設定）で取り付けます。

3 本機を持ち上げてスタンドから取りはずす

- スタンドを押さえ、液晶テレビを少し後ろに傾けながらはずしてください。
- スピーカーネット部を強く押さないでください。
- ほこりなどが入らないよう、本機底面の穴を保護カバーでふさいでください。

- 壁に掛けて設置する場合は、壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。
- 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。

保護カバーで本機底面の穴をふさぐ

① 保護カバーのテープをはがす

② 壁に掛けて設置するときなど、スタンドをはずしたあとの穴に保護カバーを取り付ける（最初に背面側の辺を合わせ、矢印のように取り付けます。）

③ 保護カバーを本機底面に貼り付ける

壁掛け設置のしかた（例）

・詳しくは、壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。

● 本機を別売の壁掛け金具（AN-52AG4 ／ AN-52AG5）を使って壁掛け設置して使用することができます。その場合は、必ず付属のスタンドをはずしてください。（スタンドのはずしかた ▶ **202** ページ）

おしらせ

- 壁掛け金具 AN-52AG4 を取り付ける場合は、AN-52AG4 に付属のテレビ取付用ネジⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-52AG5 を取り付ける場合は、AN-52AG5 に付属のテレビ取付用ネジⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-52AG5 を使用する場合は、付属のケーブルクランプは使用しないでください。ケーブルクランプを取り付けた状態では、壁掛け設置ができません。
- 壁掛け金具 AN-52AG4、AN-52AG5 の壁用金具を壁に取り付ける場合は、市販のネジ（径 6mm）をご使用ください。

1 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける

- 水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 4 箇所の目印から対角線を引き、その交点（テレビのほぼ中心となる位置）に目印を付ける

- 糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

3 この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける

- 下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

4 ①本機をスタンドからはずす（▶ **202** ページ）
②本機底面の穴を保護カバーでふさぐ（▶ **202** ページ）
③壁掛け用金具に、本機を取り付ける

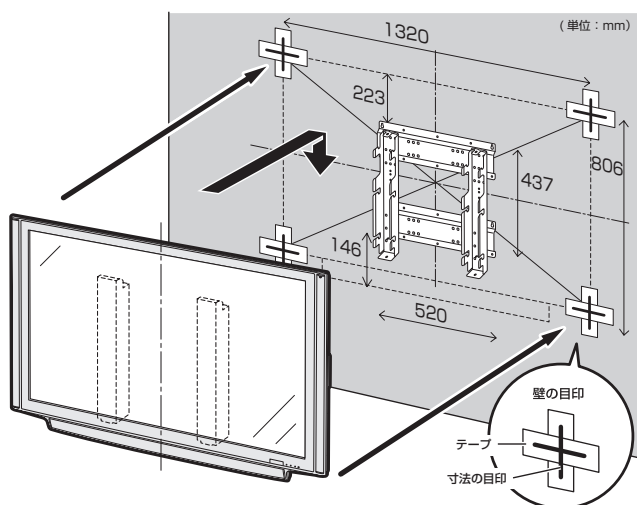
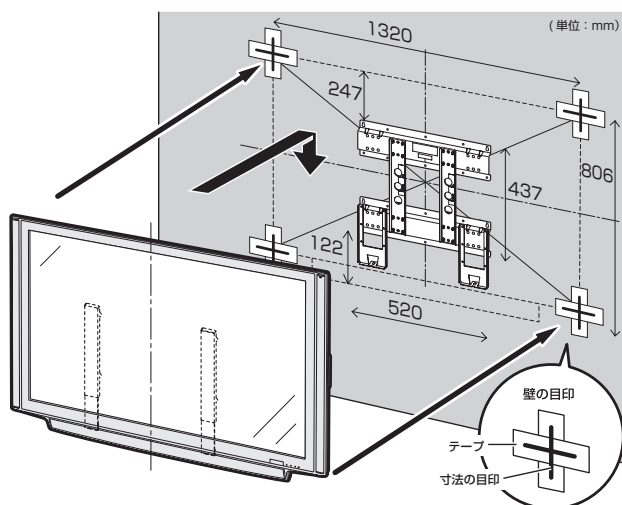
- 接続ケーブル類を踏まないように注意してください。

5 壁掛け金具固定用ネジ 2 箇所を取り付ける

6 目印のテープ類を取り除く

7 ①本機につないでいる電源コードをコンセントにつなぐ
②録画機器などを接続するためのケーブルをつないでいるときは、そのケーブルを録画機器につなぐ

壁掛け金具 AN-52AG4 使用時

（単位：mm）
1320
223
437
806
146
520
壁の目印
テープ
寸法の目印

壁掛け金具 AN-52AG5 使用時

上記の方法はあくまで参考です。設置環境に合った方法で取付設置を行ってください。

用語の解説

● 1ビットデジタルアンプ
シャープ独自開発の1ビットデジタルアンプ技術は、アナログ信号を内部で１ビットのデジタル信号に変換し、そのまま伝達/増幅を行う技術です。
１秒間に1228.8万回（12.288MHz）というCDの約278倍に相当する超高速サンプリングによって、音の分解能を向上させています。
従来のマルチビット信号処理のように、情報の間引きや補完といった音質処理がないため、より原音に近い音で、「音の立ち上がり」の速さや滑らかさを高品位に再現します。

● 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用したデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴するしくみになっています。一部、無料放送もあります。

● 1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線 750 本（有効走査線 720 本）、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線 525 本（有効走査線 480 本）、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線 525 本（有効走査線 480 本）、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）や BS アナログ放送と同等の画質です。

● 1080p（24Hz）
映像信号の方式の1つであり、フィルム映画などは、この方式により毎秒24コマ（24p信号）で撮影されています。

● 16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

● AAC（Advanced Audio Coding）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。AACは、デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるにもかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

● ADSL回線
ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

● B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が映りません。）

● BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

● CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。
最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。本機は「パススルー方式」のCATVに対応しています。

● CATV回線
ブロードバンド回線のひとつで、ケーブルテレビ網を使った回線です。

● Cookie
Webサイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。
例えば、買い物ができるWebサイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれます。その情報は、選んだ商品を確認するときや、購入商品の代金を計算するときに利用されます。

● DLNA
DLNAとは、デジタル時代の相互接続性を実現させるための標準化活動を推進している団体です。
デジタルAV機器やPCなどがホームネットワーク内で画像や音楽などのデータをやり取りするためのガイドラインを定めています。

● D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1〜D5の規格があり(本機はD5に対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

● EPG(Electronic Program Guide)
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。
本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

● HDMI(High Definition Multimedia Interface)
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。
高精細な映像入力に対応しています。

● HTML
インターネット上にページを作るための記述ルールです。この記述ルールをブラウザが読み取って、ページが表示されます。

● i.LINK(アイリンク)
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbps、800Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400、S800と表示されます。
本機は最大400Mbpsの転送が可能です。

4ピンの場合

● LAN
Local Area Network(ローカル・エリア・ネットワーク)の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。
一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

● MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

● NTSC(National Television System Committee)
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、有効走査線数480本のインターレース方式です。

● PCM(Pulse Code Modulation)
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

● S1/S2映像
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。
セパレート(S)映像信号は、輝度信号と色信号を分離して伝送することで映像の劣化を抑えています。

● WAN
Wide Area Network(ワイド・エリア・ネットワーク)の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。
広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

● Webサイト
サーバーに保存されている、関連したページの集まりのことです。AQUOS.jpもひとつのWebサイトです。

● インターネット
世界中にある小さなコンピューター・ネットワークがお互いにつながりを持つようになってできた、世界規模のネットワークです。

● インターネットサービスプロバイダー
ご家庭のパソコンなどをインターネットに接続するためのサービスを提供している事業者のことです。プロバイダーと呼ばれたり、ISPと表記されることもあります。

次のページに続く

● **インターレース(飛び越し走査)**
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、480本の有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線(240本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。次に偶数番めの有効走査線(240本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて有効走査線480本の1枚の完全な画像(フレーム)を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

● **液晶パネル**
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

● **お知らせ**
BS/110度CS/地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

● **キャッシュ**
ブラウザが、表示したページのデータを一時的に保管しておくところです。
ページのデータは、インターネットを通じて取り込まれています。いつもインターネットからデータを取り込んで表示させると、常にデータを取り込むための時間がかかってしまいます。このため、保管したデータを再利用し、データを取り込むための時間を節約しています。

● **コンポーネント接続**
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

● **コンポジット接続**
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

● **サーバー**
コンピューター・ネットワークでサービスや情報を提供するコンピューターのことです。
インターネットの世界では、Webページのデータを保存しているWWWサーバー、指定したURLがどこにあるかを探すDNSサーバー、企業などの内部ネットワークとインターネットの間で効率よくWebページを表示したり、内部ネットワークを保護したりするプロキシサーバーなど、いろいろなサーバーが無数にあります。

● **スプリッター**
ADSL回線でインターネットに接続する際に、インターネット用のデータ信号と電話用の音声信号を分離する機器です。

● **地上デジタル放送**
2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始されている放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

● **ハイビジョン放送**
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

● **ハブ**
LANなどのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

● **光回線**
ブロードバンド回線のひとつで、光ファイバー網を使った回線です。
ADSL回線やCATV回線に比べてデータの転送スピードの速さが特長です。

● **ブックマーク**
ページのURLを記憶する機能です。
ブックマークに登録することで、URLを入力したり、何度もリンクをたどったりする必要がなくなります。「お気に入り」と呼ばれることもあります。

● **ブラウザ**
インターネット上のページを見るためのソフトウェアです。Webブラウザ、インターネットブラウザなどと呼ばれることもあります。

● **ブロードバンド回線**
一度に大量のデータをやりとりすることができるインターネットに接続するための回線のことです。
ADSL回線、CATV回線、光回線などがあります。

● **プログレッシブ(順次走査)**
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

● **プロバイダー**
一般にはインターネットサービスプロバイダー(ISP、インターネット接続業者)のことをいいます。
電話回線などを使って顧客のコンピューターをインターネットに接続するほか、メール利用などのサービスを行うことがあります。
本機では、インターネットのBMLコンテンツ(デジタル放送で使用されるデータ放送言語)を使った双方向サービスが楽しめます。

● **文字コード**
コンピューターの内部は、すべて0と1の組み合わせで成り立っています。画面に表示される文字も0と1の組み合わせになります。この0と1の組み合わせをどの文字にするかを取り決めたものが文字コードです。
世界中にはさまざまな文字があり、その文字に合わせて各地域で標準となっている文字コードがあります。このため、ページを作成するために使われた文字コードとブラウザの文字コードが異なる場合もあり、この場合、文字が正しく表示されなくなることがあります。

● **リンク**
インターネットのページ上にあって、他のページなどを表示するための入り口のことです。
一般的には、青い文字や青い枠で表示されたり、下線がついていたりします。

索引

本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、▶ 17 ～ 20 ページをご覧ください。

●な行

●は行

●ま行

●や行

●ら行

●わ行

● The number shown in each ➡ is the page number where the part's function and/or use are explained in Japanese.

Front view

Side view

Back view

Connect the telephone line
Telephone line jack 147·153
AV in 4 91
AV in 6 91
Connect a recorder
Monitor out (REC OUT)/ AV in 6 91·97·102
RS-232C 142
Main power switch 33
Menu button 34
Input / TV select (Enter) button 34·93
Channel up (∧) / down (∨) buttons
Volume up (+) / down (–) buttons
電源
メニュー
入力/放送切換(決定)
選局
音量
Connect a video game equipment, video camera, etc.
AV in 5 91
Connect a video game equipment, video camera, etc.
AV in 3 (HDMI) 91·92·109·110
Headphones jack 18·86
D5映像
映像
左
音声
右
入力3
HDMI
ヘッドホン
AQUOS
AC cord connector (AC 100V) 31
Connect the AC cord
VHF·UHF antenna input terminal 26~29
BS·CS 110 antenna input terminal 27~29
Digital audio output jack (optical) 110·136
Center speaker jack 138
Connect a PC with the DVI terminal, etc.
AV in 7 (DVI-I, Audio) 132·139
LAN jack (10BASE-T/ 100BASE-TX) 153
i.LINK (TS) jack 118
Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.
AV in 1 and 2 (HDMI) 91·92·109·110

Part Names – Remote Control Unit

Active/Standby 33
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

CATV
CATV 63
When selecting a CATV channel by entering the channel number, press this button first, then enter the 2-digit number with the TV channel select buttons (1-10/0).

3桁入力
Digital channel number input 63
Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

地上A **Terrestrial analog select** 60
地上D **Terrestrial digital select** 60
BS **BS select** 60
CS **CS select** 60
Select the CS digital channel for the first time. 39

消音 **Mute** 61
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

音量 **Volume up (+)/down (–)** 61
Press to adjust the volume.

Linked data broadcast 76
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

AV mode select 81
Press to select the picture/sound setting that best matches the current program.

番組表 **EPG** 66・68
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

裏番組 **Other on-air programs** 67
Press to display the EPG for currently on-air programs only (裏番組).

番組情報 **Program info** 76
Press to display detailed information on the current digital program.

Finish 34
Press to finish menu operation, etc.
* This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

お好み選局 登録 **Favorite channel select/register** 63
Press to select a user-registered channel and to turn on/off the favorite channel register/registered channel table screen.

映像切換 **Picture select** 73
Press to select the desired picture when watching a digital multi-picture program.

字幕 **Caption** 73
Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

音声切換 **Audio select** 72・73
Press to select the desired audio.

Familink 112・114~117
Press to operate “Familink” Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.

画面表示 **Display** 62
Press to display or turn off the channel call, etc.

画面サイズ **Screen mode** 79・133
Press to select the desired screen mode.

AQUOS.jp **AQUOS.jp** 156
Press to connect to the internet.

i.LINK **i.LINK** 120
Press to display the i.LINK control panel.

Channel select 61
- Press to select a channel.
- Use to input a number for various settings.

選局 **Channel up (∧)/down (∨)** 61
Press to select channels in the current network, media and CATV channels in the ascending or descending order.
* CATV channels are factory set to be skipped.

入力切換 **Input select** 93
Press to select the desired input.

Media select 60
Press to select the desired media (TV or data).

Sleep timer 178
Press to select the desired remaining time period after which the TV set is automatically turned off and enters the standby mode.

Menu 34
Press to display or turn off the menu screen.
The menus can be displayed in English. See 213 for instructions on how to switch the display language.

Cursor (up, down, left, right) 34
Use to select a menu item, column, etc.

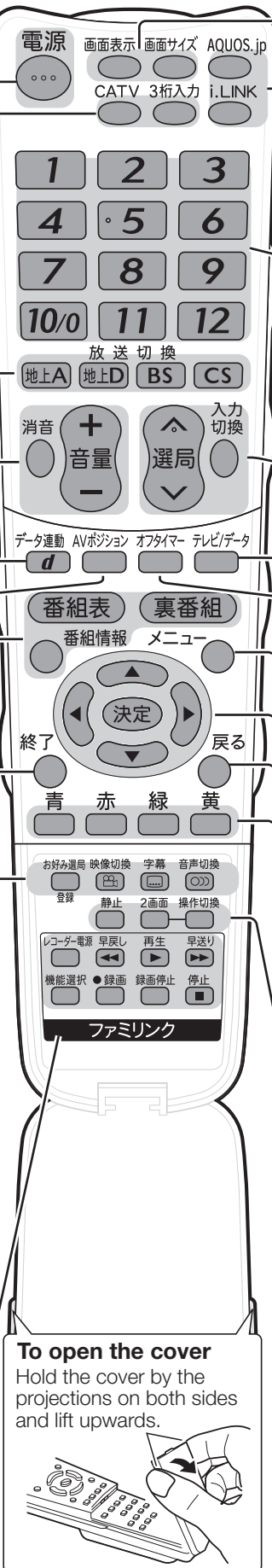
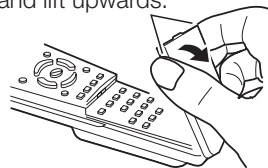
決定 **Enter/Confirm** 34
Press to confirm a selected setting or menu item.

Return 34
Press to go back to the previous screen. Press this button instead of the Enter/Confirm (決定) button when you have selected the wrong item or input the wrong number, etc.

青 赤 緑 黄 **Color** 68・69・76
Use to operate EPGs and data program screens.

静止 **Freeze** 75
Press to freeze the picture.

2画面 **Split screen** 74
Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

操作切換 **Operable screen** 74
Press to switch the operable screen when the TV set is in the split screen mode.

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

Switching the Display Language to English
メニューなどの言語を英語にする

● Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

メニューなどの画面表示を英語にすることができます。

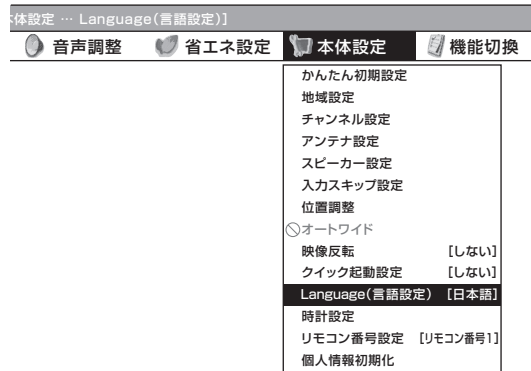
誤ってメニューを英語にしてしまったときは

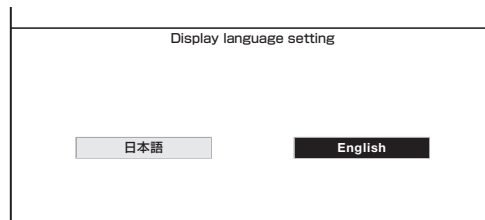
・メニューから「Setup」－「言語設定(Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

Press

1 メニュー Display the menu screen.
メニューを表示する

2 Select " 本体設定 "(Setup) ー "Language (言語設定)".
「本体設定」－「Language（言語設定）」を選ぶ

決定 Enter.
決定する

3 Select "English".
「English」を選ぶ

決定 Enter.
決定する

• The menu screen is now displayed in English.

• 画面表示が英語になります。

4 終了 Finish this operation.
終了する

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-52GX5

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

■ よくあるご質問などはパソコンから検索できます ▶▶▶▶

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ　検　索

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜：**9:00～20:00**　●日曜・祝日：**9:00～17:00**　（年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2008.3）

シャープ株式会社

本　　社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部	〒329-2193	栃木県矢板市早川町174番地

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

TINS-D593WJZZ
08P04-JA-OK